香川県農業試験場移転事業に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第1冊

西末則遺跡 I

2005. 10

香 川 県 教 育 委 員 会

香川県農業試験場移転事業に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第１冊

西末則遺跡Ⅰ

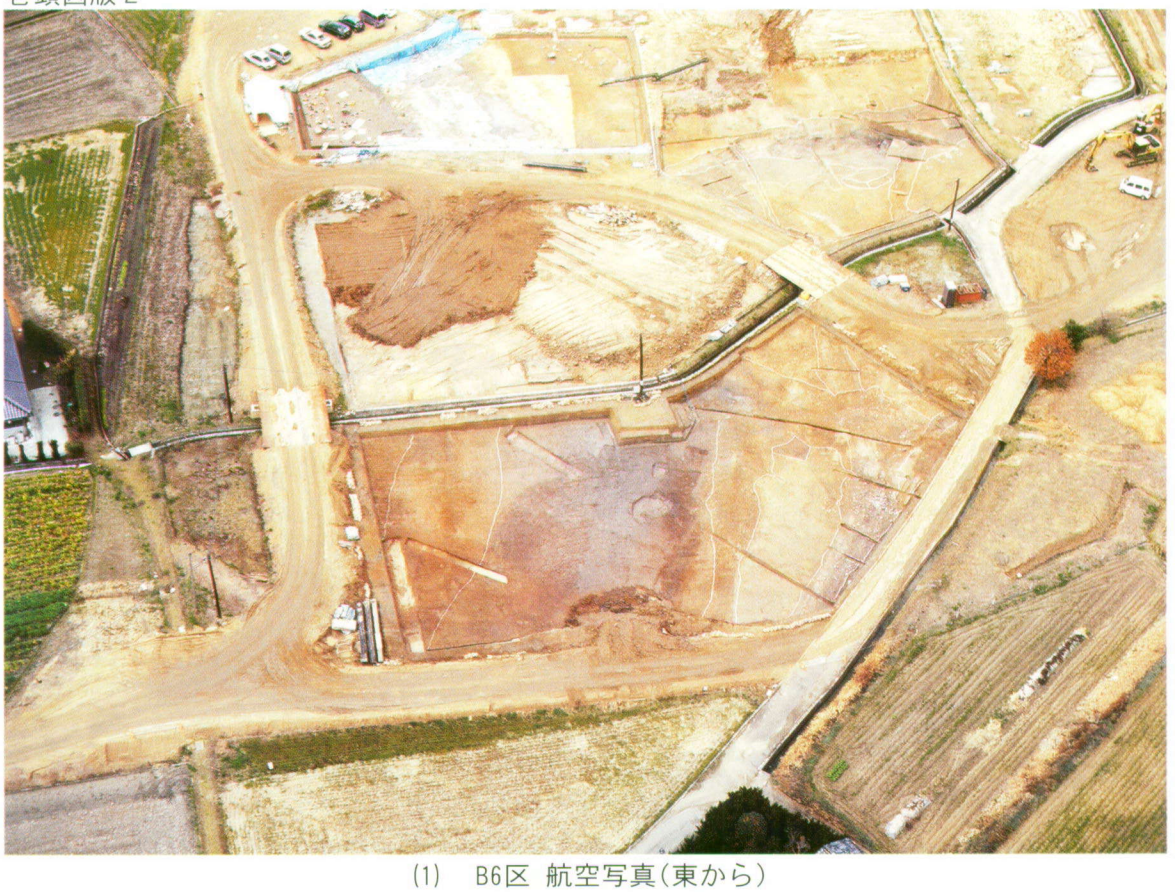
2005. 10

香 川 県 教 育 委 員 会

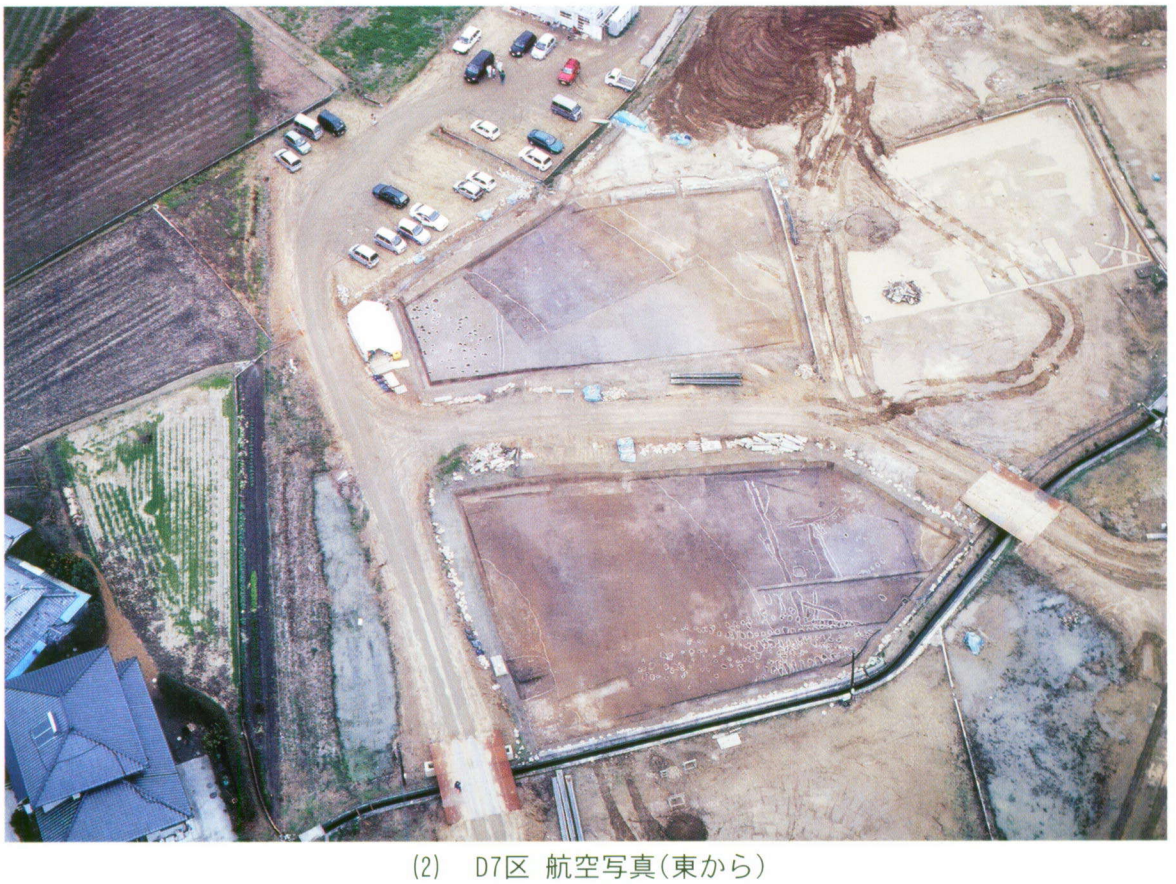
(1)　西末則遺跡 周辺航空写真(西から)

(2)　A8, B9・10区 周辺航空写真(北から)

巻頭図版２



(1)　B6区 航空写真(東から)



(2)　D7区 航空写真(東から)

序　　文

西末則遺跡は香川県農業試験場の移転事業に伴い発掘調査を行った、綾上町山田下及び綾南町北に所在する遺跡です。

発掘調査は、香川県教育委員会からの委託で、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成13年度から開始し、平成15年度末の財団解散に伴い、事業を引き継いだ香川県埋蔵文化財センターが、平成17年度まで継続して実施しました。発掘調査の対象となる範囲は広く、縄文時代晩期から江戸時代までの遺構と遺物が多量に出土しました。注目されるものとしては、弥生時代後期頃の大規模な灌漑水路跡、有力者を葬った奈良時代の火葬墓、奈良時代から江戸時代に至る集落跡などがあります。

整理作業は，香川県埋蔵文化財センターが16年度に開始し、その成果を「香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第1冊　西末則遺跡Ⅰ」として報告書を刊行することになりました。本報告書が香川県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理、報告書の刊行に至るまでの間、香川県農政水産部農業経営課及び関係諸機関、地元関係者各位に多大な御協力と御指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表すとともに、今後とも御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年10月

香川県埋蔵文化財センター
所長　　渡部　明夫

例　　言

1．本報告書は、香川県農業試験場移転に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第1冊で、香川県綾歌郡綾上町山田下、綾南町北に所在する西末則遺跡（にしすえのりいせき）のａ地区（整理区画）の報告を収録した。

2．発掘調査は、香川県農政水産部農業経営課から依頼を受けて、香川県教育委員会が調査主体となり、現地調査は平成13～15年度を財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが担当し、平成15年度末の財団解散に伴い、平成16・17年度については、香川県埋蔵文化財センターが担当した。

3．発掘調査の期間及び担当は「第Ⅰ章　第2節　調査の経過」を参照していただきたい。なお、今回の報告対象地区に係わる調査担当は以下のとおりである。

平成13年度　Ａ・Ｂ地区　柏　徹哉、木下晴一、川原和生、小野秀幸、武井美和、大塚純司
平成14年度　Ｅ地区　　柏　徹哉、小野秀幸、飯間俊行
平成16年度　Ｂ地区　　蔵本晋司、松井和久、平尾勝洋

4．調査にあたっては、下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同、敬称略）
香川県農政水産部農業経営課、綾上町農林商工課、綾南町経済課、地元自治会、地元水利組合

5．本報告書の作成は、香川県埋蔵文化財センターが実施した。
本報告書の執筆・編集は西村尋文が担当した。なお、「第Ⅱ章　第1節―地理的環境―」については、平成13年度の調査概報の記述を再録した。

6．石器の石材鑑定にさいしては、元香川大学教授　谷山　穣氏の教示をえた。記して謝意を表したい。

7．本報告書で用いる方位の北は、国土座標系第Ⅳ系（日本測地系）の北であり、標高は東京湾平均海面（Ｔ．Ｐ．）を基準としている。

8．本書で用いている遺構記号は次のとおりである。
ＳＨ：竪穴住居跡　ＳＢ：掘立柱建物跡　ＳＡ：柵列跡　ＳＰ：柱穴　ＳＥ：井戸跡　ＳＫ：土坑
ＳＤ：溝状遺構　ＳＦ：焼成土坑　ＳＴ：墓　ＳＸ：不整形遺構　ＳＲ：自然河川跡

9．報告遺構名は整理区画と遺構種類を単位として、「01」から始まる通し番号により再整理を行った。さらに、整理区画を明確にすることを目的に、遺構名中に整理区画記号の「a」を記入した。　（例：SBa01）

10．挿図の一部に国土交通省国土地理院作成の1/25,000地形図を使用した。

11．本遺跡の報告にあたっては、下記の機関に分析を委託した。
植物珪酸体分析、花粉分析・・・パレオ・ラボ

12．添付ＣＤのビューワはトリワークス「蔵衛門2005」を使用した。

本 文 目 次

第Ⅰ章　調査の経緯と経過
第１節　調査に至る経緯 …… 1
第２節　調査の経過 …… 1
第Ⅱ章　遺跡の立地と環境
第１節　地理的環境 …… 7
第２節　歴史的環境 …… 10
第Ⅲ章　調査の成果
第１節　調査と整理の方法 …… 13
第２節　A8，B9・10 区の調査
1．概要 …… 17
2．遺構・遺物
（1）掘立柱建物跡，柵列跡，柱穴 …… 17
（2）土坑 …… 21
（3）溝状遺構 …… 23
（4）焼成土坑 …… 34
（5）不整形遺構 …… 35
（6）包含層出土の遺物 …… 37
第３節　A6，B2・3・6，D7 区の調査
1．概要 …… 49
2．遺構・遺物
（1）柱穴 …… 49
（2）土坑 …… 50
（3）溝状遺構 …… 51
（4）焼成土坑，墓 …… 59
（5）不整形遺構 …… 60
（6）自然河川跡 …… 67
（7）包含層出土の遺物 …… 104
第Ⅳ章　自然科学分析結果 …… 115
第Ⅴ章　まとめ …… 125

挿 図 目 次

第 1 図 遺跡位置図 ……1
第 2 図 年度別地区割図 ……3
第 3 図 微地形分類予察図 ……8
第 4 図 10cm 等高線図 ……9
第 5 図 遺跡分布図 ……11
第 6 図 グリッド割図 ……14
第 7 図 調査区割図 ……15
第 8 図 整理対象地区割図 ……15
第 9 図 SBa01 平・断面図 ……18
第 10 図 SBa02・03 平・断面図 ……19
第 11 図 SBa02・05 出土遺物 ……19
第 12 図 SBa04・05, SAa01 平・断面図 ……20
第 13 図 SPa66 平・断面図，出土遺物 ……21
第 14 図 SKa01 ～ 05 平・断面図，出土遺物 ……22
第 15 図 SDa01 ～ 04 平・断面図，出土遺物 ……24
第 16 図 SDa05・06・08 断面図 ……25
第 17 図 SDa05 出土遺物 (1) ……25
第 18 図 SDa05 出土遺物 (2) ……27
第 19 図 SDa05 出土遺物 (3) ……28
第 20 図 SDa05 出土遺物 (4) ……29
第 21 図 SDa05 出土遺物 (5) ……30
第 22 図 SDa06 出土遺物 (1) ……31
第 23 図 SDa06 出土遺物 (2) ……32
第 24 図 SDa08・10 ～ 12 断面図，出土遺物 ……34
第 25 図 SFa01 平・断面図，出土遺物 ……35
第 26 図 SXa01 ～ 03 平・断面図，出土遺物 ……36
第 27 図 A8, B9 区壁面土層図 ……38
第 28 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (1) ……39
第 29 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (2) ……40
第 30 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (3) ……41
第 31 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (4) ……42
第 32 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (5) ……43
第 33 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (6) ……44
第 34 図 A8, B9・10 区包含層出土遺物 (7) ……45
第 35 図 A8, B9・10 区遺構配置図 ……47・48
第 36 図 SPa154 ～ 158 平・断面図，出土遺物 ……49
第 37 図 SKa06 ～ 08 平・断面図，出土遺物 ……50
第 38 図 SDa14 ～ 16・18 ～ 21 断面図 ……51
第 39 図 SDa13・14 出土遺物 ……52
第 40 図 SDa15 出土遺物 (1) ……54
第 41 図 SDa15 出土遺物 (2) ……55
第 42 図 SDa15 出土遺物 (3) ……56
第 43 図 SDa15 (4)・17 ～ 19・21・23・25 出土遺物 ……57
第 44 図 SFa02 平・断面図 ……59
第 45 図 STa01 平・断面図，出土遺物 ……59
第 46 図 SXa04 断面図 ……60
第 47 図 SXa04 出土遺物 ……61
第 48 図 SXa05 ～ 08 平・断面図 ……62
第 49 図 SXa09 平・断面図，出土遺物 (1) ……64
第 50 図 SXa09 出土遺物 (2) ……65
第 51 図 SRa01 出土遺物 (1) ……66
第 52 図 SRa01 出土遺物 (2) ……67
第 53 図 A6, B2 区東壁面土層図 ……69・70
第 54 図 B3 区東壁面土層図 ……71・72
第 55 図 D7 区壁面土層図 ……73
第 56 図 SRa02 土層断面図 ……74
第 57 図 SRa02 出土遺物 (1) ……76
第 58 図 SRa02 出土遺物 (2) ……77
第 59 図 SRa02 出土遺物 (3) ……78
第 60 図 SRa02 出土遺物 (4) ……79
第 61 図 SRa02 出土遺物 (5) ……80
第 62 図 SRa03 土層断面図 ……81
第 63 図 SRa03 出土遺物 (1) ……82
第 64 図 SRa03 出土遺物 (2) ……83
第 65 図 SRa03 出土遺物 (3) ……84
第 66 図 SRa03 出土遺物 (4) ……85
第 67 図 SRa03 出土遺物 (5) ……86

第 68 図 SRa03 出土遺物 (6) ……87
第 69 図 SRa03 出土遺物 (7) ……88
第 70 図 SRa04 出土遺物 (1) ……91
第 71 図 SRa04 出土遺物 (2) ……92
第 72 図 SRa04 出土遺物 (3) ……93
第 73 図 SRa04 出土遺物 (4) ……94
第 74 図 SRa04 出土遺物 (5) ……95
第 75 図 SRa04 出土遺物 (6) ……96
第 76 図 SRa04 出土遺物 (7) ……97
第 77 図 SRa04 出土遺物 (8) ……98
第 78 図 SRa04 出土遺物 (9) ……99
第 79 図 SRa04 出土遺物 (10) ……100
第 80 図 SRa04 出土遺物 (11) ……101
第 81 図 SRa04 出土遺物 (12) ……102
第 82 図 A6 区包含層出土遺物 (1) ……105
第 83 図 A6 区包含層出土遺物 (2) ……106
第 84 図 A6 区包含層出土遺物 (3) ……107
第 85 図 B2 区包含層出土遺物 ……110
第 86 図 B3 区北包含層出土遺物 ……111
第 87 図 B3 区南包含層出土遺物 ……112
第 88 図 B6 区 , D7 区 (1) 包含層出土遺物 ……113
第 89 図 D7 区包含層出土遺物 (2) ……114
第 90 図 機動細胞珪酸体分布図 ……116
第 91 図 西末則遺跡のプラント・オパール ……118
第 92 図 西末則遺跡の花粉化石分布図 ……122
第 93 図 西末則遺跡の花粉化石 (1) ……123
第 94 図 西末則遺跡の花粉化石 (2) ……124
第 95 図 西末則遺跡周辺条里型地割復元図 ……126
第 96 図 周辺の水利図 ……128
第 97 図 石器計測基準図

表 目 次

第 1 表 西末則遺跡調査工程表 ……4
第 2 表 西末則遺跡整理作業工程表 ……5
第 3 表 西末則遺跡掘立柱建物跡一覧表 ……21
第 4 表 試料 1g 当たりの機動細胞珪酸体個数 ……116
第 5 表 産出花粉化石一覧表 ……120
第 6 表 西末則遺跡出土土器観察表 ……131
第 7 表 西末則遺跡出土瓦観察表 ……159
第 8 表 西末則遺跡出土石器観察表 ……160

付 図 目 次

付図 1 西末則遺跡遺構配置図 (A8, B9・10 区)
付図 2 西末則遺跡遺構配置図 (A6, B2・3・6, D7 区)

図 版 目 次

巻頭図版 1 (1) 西末則遺跡周辺航空写真（西から）
(2) A8, B9・10 区周辺航空写真（北から）
巻頭図版 2 (1) B6 区航空写真（東から）
(2) D7 区航空写真（東から）
図版 1 (1)西末則遺跡航空写真（南から）
(2) SBa01 ～ 03 全景（南から）
(3) SBa04・05, SAa01 全景（南西から）
(4) SBa04・05 全景 1（西から）
(5) SBa04・05 全景 2（東から）
図版 2 (1) SKa02 全景（南西から）
(2) SKa02 遺物出土状況（南から）
(3) SKa03 遺物出土状況（東から）
(4) SKa05 全景（南から）
(5) SDa03 全景（西から）
(6) SDa04 全景（西から）
(7) SDa05・06 全景 1（北から）
(8) SDa05・06 全景 2（南から）
図版 3 (1) B9 区 SDa05・06 全景（南西から）
(2) A8 区 SDa05・06 全景（北から）
(3) SDa05 土層断面（南から）
(4) SDa06 土層断面（南から）
(5) SDa05 遺物出土状況（南から）
(6) SDa06 遺物出土状況（西から）
(7) SDa08 全景（北西から）
(8) SDa06・08 土層断面（南東から）
図版 4 (1) SFa01 全景（北西から）
(2) SFa01 土層断面（北西から）
(3) SXa01 全景（東から）
(4) SXa03 全景（南から）
(5) A6 区全景（北から）
(6) A6 区北半部全景（南から）
(7) A6 区南半部全景（西から）
(8) B2 区全景（北から）
図版 5 (1) D7 区航空写真（東から）
(2) B6 区航空写真（東から）
図版 6 (1) SDa14 ～ 16 全景（北から）
(2) SDa15 全景（北西から）
(3) SDa18 全景（西から）
(4) SFa02 土層断面（南から）
(5) STa01 全景 1（北から）
(6) STa01 全景 2（北から）
(7) SXa04 全景（北から）
(8) SXa06 ～ 08 全景（北から）
図版 7 (1) SXa09 全景（北から）
(2) B6 区 SRa02 全景（東から）
(3) A6 区 SRa02 土層断面 1（南西から）
(4) A6 区 SRa02 土層断面 2（西から）
(5) D7 区 SRa02 土層断面 1（南西から）
(6) D7 区 SRa02 土層断面 2（東から）
(7) B2 区 SRa03 土層断面（北西から）
(8) B2 区 SRa03 遺物出土状況（南から）
図版 8 (1) B3 区 SRa03 全景（南西から）
(2) B3 区 SRa03 土層断面（西から）
(3) B3 区 SRa03 遺物出土状況（東から）
(4) B2 区 SRa04 全景（北西から）
(5) B2 区 SRa04 土層断面（西から）
(6) B2 区 SRa04 遺物出土状況 1（南から）
(7) B2 区 SRa04 遺物出土状況 2（北から）
(8) B2 区 SRa04 遺物出土状況 3（南から）

遺物写真 土器類
Page 1 SBa05 2
SKa02 4・5
SKa02 見込 4・5
Page 2 SDa03 11・12
SDa03 底部外面 11・12
SDa05 (1) 14
Page 3 SDa05 (2) 17・20・24
SDa05 (3) 18
SDa15 (4) 22

Page 4 SDa05 (5) 33
SDa05 (6) 39
SDa05 (7) 40
Page 5 SDa06 (1) 87
SDa06 (2) 90
SDa06 (3) 93
Page 6 SDa06 (4) 98
SDa06 (5) 99・100
SDa06 (5)底部外面 99・100
Page 7 SXa03 114
A8, B9・10 区包含層(1) 125
A8, B9・10 区包含層(2) 130
Page 8 A8, B9・10 区包含層(3) 140・141
A8, B9・10 区包含層(4) 153・154
A8, B9・10 区包含層(5) 155・156・157
Page 9 A8, B9・10 区包含層(6) 158・159・160
A8, B9・10 区包含層(7) 167
A8, B9・10 区包含層(8) 173
Page10 A8, B9・10 区包含層(8)側面 173
A8, B9・10 区包含層(9)凹面
207・208・248・249
A8, B9・10 区包含層(9)凸面
207・208・248・249
Page11 A8, B9・10 区包含層(10) 203
A8, B9・10 区包含層(11) 210・211・212・213
A8, B9・10 区包含層(12) 224
Page12 SKa08 304
SDa14 (1) 307
SDa14 (2) 309
Page13 SDa14 (3) 310
SDa14 (4) 311
SDa15 (1) 320
Page14 SDa15 (2) 323
SDa15 (3) 326
SDa15 (4) 327
Page15 SDa15 (5) 335
SDa15 (6) 336
SDa15 (7) 338
Page16 SDa15 (8) 339
SDa15 (9) 340
SDa15 (10) 342
Page17 SDa15 (11) 346
SDa15 (12) 347・348
SDa15 (13) 349
Page18 SDa15 (14)凹面 350
SDa15 (14)凸面 350
SDa18 (1) 374
Page19 SDa18 (2) 375
SDa21 385
STa01 上面 389
Page20 STa01 389
STa01 下面 389
SXa04 (1) 395・396
Page21 SXa04 (2) 398
SXa04 (3) 404
SXa09 (1) 411
Page22 SXa09 (2) 423
SXa09 (3) 427
SXa09 (4) 429
Page23 SXa09 (5) 430
SRa01 (1) 437
SRa01 (2) 443
Page24 SRa01 (3) 445
SRa01 (4) 449
SRa01 (5) 451・457
Page25 SRa01 (6) 459・460
SRa01 (7)凹面 463
SRa01 (7)凸面 463
Page26 SRa02 (1) 490
SRa02 (2)外面 525
SRa02 (2)内面 525
Page27 SRa02 (3) 534
SRa02 (4) 538
SRa02 (5) 539
Page28 SRa02 (6) 545
SRa02 (7) 546

	SRa02 (8)	565
Page29	SRa02 (9)	568
	SRa02 (10)	574
	SRa02 (11)	577
Page30	SRa02 (12)	582
	SRa02 (13)	595
	SRa03 (1)	614
Page31	SRa03 (2)	619
	SRa03 (3)	620
	SRa03 (4)	621
Page32	SRa03 (5)	622
	SRa03 (6)	623
	SRa03 (7)	625
Page33	SRa03 (8)	626
	SRa03 (9)	632
	SRa03 (10)	637
Page34	SRa03 (11)	638
	SRa03 (12)	639
	SRa03 (13)	641
Page35	SRa03 (14)	642
	SRa03 (15)	643
	SRa03 (16)	644・698
Page36	SRa03 (17)	645
	SRa03 (18)	646
	SRa03 (19)	647
Page37	SRa03 (20)	648
	SRa03 (21)	649
	SRa03 (22)	650
Page38	SRa03 (23)	651
	SRa03 (24)	653
	SRa03 (25)	654
Page39	SRa03 (26)	657
	SRa03 (27)	658
	SRa03 (28)	660
Page40	SRa03 (29)	661
	SRa03 (30)	672
	SRa03 (31)	679
Page41	SRa03 (32)	682
	SRa03 (33)	690
	SRa03 (34)	691
Page42	SRa03 (35)	692
	SRa03 (36)	694
	SRa03 (37)	701
Page43	SRa03 (38)	703
	SRa04 (1)	712
	SRa04 (2)	715
Page44	SRa04 (3)	721
	SRa04 (4)	722
	SRa04 (5)	724
Page45	SRa04 (6)	725
	SRa04 (7)	729
	SRa04 (8)内面	732・733
Page46	SRa04 (8)外面	732・733
	SRa04 (9)上面	746
	SRa04 (9)	746
Page47	SRa04 (10)	734・743
	SRa04 (11)	751
	SRa04 (12)	755
Page48	SRa04 (13)	772
	SRa04 (14)	773
	SRa04 (15)	776・804
Page49	SRa04 (16)	785
	SRa04 (17)	788
	SRa04 (18)	791
Page50	SRa04 (19)	792
	SRa04 (20)	793
	SRa04 (21)	796
Page51	SRa04 (22)	802
	SRa04 (23)	803
	SRa04 (24)	806
Page52	SRa04 (25)	814
	SRa04 (26)	815
	SRa04 (27)	816
Page53	SRa04 (28)	823
	SRa04 (29)	824
	SRa04 (30)	828

Page54 SRa04 (31) 831・832
SRa04 (32) 833
SRa04 (32)底部外面 833
Page55 SRa04 (33)内面 834
SRa04 (33)外面 834
SRa04 (34) 838
Page56 SRa04 (35) 839
SRa04 (36) 840
SRa04 (37) 842
Page57 SRa04 (38) 844
SRa04 (39) 845
SRa04 (40) 849
Page58 SRa04 (41) 868
SRa04 (42) 869
SRa04 (43) 874・898
Page59 SRa04 (44) 892
SRa04 (45) 896
SRa04 (46) 909
Page60 SRa04 (47) 910
SRa04 (48) 911
SRa04 (49) 914
Page61 SRa04 (50) 916
SRa04 (51) 918
SRa04 (52) 922
Page62 SRa04 (53) 924
SRa04 (54) 928
SRa04 (55) 931
Page63 SRa04 (56) 934
A6 区包含層(1)内面 959
A6 区包含層(1)外面 959
Page64 A6 区包含層(2) 968
A6 区包含層(3) 1036・1037
A6 区包含層(4) 1042
Page65 B2 区包含層(1) 1088
B2 区包含層(2) 1094
B2 区包含層(2)側面 1094
Page66 B6 区包含層 1152
D7 区包含層(1) 1173
D7 区包含層 (2) 1197
Page67 D7 区包含層 (3) 1202
D7 区包含層 (4) 1205
D7 区包含層 (5) 1238

遺物写真 石器類

Page 1 SDa05 (1)表面 53 ～ 61
SDa05 (1)裏面 53 ～ 61
Page 2 SDa05 (2)表面 62 ～ 65・74・75
SDa05 (2)裏面 62 ～ 65・74・75
Page 3 SDa05 (3)表面 66 ～ 73
SDa05 (3)裏面 66 ～ 73
Page 4 SDa06・08 (1)表面 102 ～ 106・108 ～ 110
SDa06・08 (1)裏面 102 ～ 106・108 ～ 110
Page 5 SDa08 (2)・13 表面 111・306
SDa08 (2)・13 裏面 111・306
Page 6 A8, B9・10 区包含層(1)表面
251 ～ 258・261・263・265
A8, B9・10 区包含層(1)裏面
251 ～ 258・261・263・265
Page 7 A8, B9・10 区包含層(2)表面
270 ～ 273・277
A8, B9・10 区包含層(2)裏面
270 ～ 273・277
Page 8 A8, B9・10 区包含層(3)表面
280 ～ 282・286 ～ 288
A8, B9・10 区包含層(3)裏面
280 ～ 282・286 ～ 288
Page 9 A8, B9・10 区包含層(4)表面
290・293 ～ 298
A8, B9・10 区包含層(4)裏面
290・293 ～ 298
Page10 SDa15 (1)表面 359 ～ 365
SDa15 (1)裏面 359 ～ 365
Page11 SDa15 (2)表面 366・368・370
SDa15 (2)裏面 366・368・370
Page12 SXa04 表面 406 ～ 409
SXa04 裏面 406 ～ 409

Page13　SXa09 (1)表面　432 ～ 434

SXa09 (1)裏面　432 ～ 434

Page14　SXa09 (2)表面　436

SXa09 (2)裏面　436

Page15　SRa01, SRa02 (1)表面

466・469・506・532・533・600・604

SRa01, SRa02 (1)裏面

466・469・506・532・533・600・604

Page16　SRa02 (2)表面　509・510・605

SRa02 (2)裏面　509・510・605

Page17　SRa03 表面　670・706・707

SRa03 裏面　670・706・707

Page18　SRa04 (1)表面　852・853・856 ～ 858

SRa04 (1)裏面　852・853・856 ～ 858

Page19　SRa04 (2)表面　854・855・862

SRa04 (2)裏面　854・855・862

Page20　A6 区包含層 表面　1054 ～ 1064

A6 区包含層 裏面　1054 ～ 1064

Page21　B2・3, D7 区包含層 表面　1096・1097

1128 ～ 1130・1145・1146・1149・1242

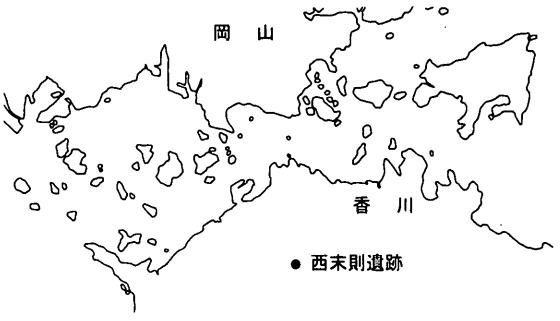
B2・3, D7 区包含層 裏面　1096・1097

1128 ～ 1130・1145・1146・1149・1242

第Ⅰ章　調査の経緯と経過

第１節　調査に至る経緯

高松市仏生山町に所在する香川県農業試験場の老朽化に伴う移転整備事業は、移転予定地の文化財の取り扱いについて、平成８年度より香川県農業経営課と香川県教育委員会文化行政課との間で協議を重ね、地下遺構に影響を与える範囲については発掘調査を実施することに決定した。移転予定地は、綾歌郡綾南町北及び綾上町山田下の２町に及ぶ綾川北岸の段丘面上に位置する。移転予定地の面積は 18ha を測る。



第１図 遺跡位置図

遺構の有無を確認する試掘調査は、香川県教育委員会が平成 12 年８月に、（財）香川県埋蔵文化財調査センターが東辺の丘陵裾部の予備調査を同 13 年２月に実施し、予定地内の丘陵裾部及び段丘面上の広範囲に遺跡が広がることを確認した。さらに香川県教育委員会は不確定であった綾南町側で、同 14 年３、７月に追加の試掘調査を行い、最終的に保護措置の必要な調査範囲 75,857㎡ を確定した。

第２節　調査の経過

１．発掘調査の経過

西末則遺跡の発掘調査は（財）香川県埋蔵文化財調査センターを調査担当として、平成 13 年 10 月から準備にかかり、12 月より綾上町側の東辺道路部分を中心に２班体制で開始した。

平成 13 年度の対象地はＡ地区とＢ地区に区分し、延べ調査面積は 4,164㎡ を測る。Ａ地区は地形的には丘陵（末則丘陵）の裾部に位置し、下層より弥生時代後期末頃の大型の溝状遺構、古代末～中世の溝状遺構、土坑、炭焼き窯跡、上層より近世の掘立柱建物跡、溝状遺構等の諸遺構を検出した。Ｂ地区は予定地の南端に位置し、下層より弥生時代後期末頃の自然河川跡、古代末以降の自然河川跡、上層より古代～近世の土坑、溝状遺構、火葬墓等の諸遺構を検出し、大まかながら遺跡の状況が把握できた。なお、当該地周辺は大規模な開発がおよんでいないため、条里型地割や古い水路網などが良く残っている。そのため、調査成果を補強する目的で周辺地域の水利調査を合わせて実施した。

平成 14 年度は、調査地区を北端部よりＣ・Ｄ・Ｅ地区に３区分し、３班体制で年度当初より調査を実施した。対象面積は、当初綾上町部分の大部分にあたる 24,549㎡ を予定していたが、年度末に綾南町側で、500㎡ の調査を追加したため、25,049㎡ となった。遺跡内容が不明瞭な当初の段階では、複数遺構面の範囲が広範囲に広がることを予測して、延べ調査面積 34,695㎡ を予定していたが、複数遺構面範囲の減少により 32,053㎡ に変更になった。

北端部のＣ地区では９月頃まで段丘面上の調査を実施し、それ以降丘陵裾部の調査に移った。段丘面上からは中世後半の幹線水路群、丘陵裾部からはＡ地区より南北に続く弥生時代後期末頃の大型の溝状遺構、古代～中世の溝状遺構群、古墳時代後期末の竪穴住居跡、古代の掘立柱建物跡、中世の炭焼き窯跡等の諸遺構を検出した。

Ｄ地区では11月頃まで段丘面上の調査を実施し、12月頃より丘陵裾部の調査に移った。段丘面上からは、中世後半～近世の集落跡、幹線水路、炭焼き窯跡等を検出した。集落跡の遺構密度は高く、集落範囲も広くＥ区にまでおよんでいる。なお、Ｄ地区の集落内からは、有力農民層クラスの住居が想定できる区画溝を伴う屋敷地跡を検出した。丘陵裾部からはＡ地区から続く弥生後期末頃の大型の溝状遺構、古代～中世の溝状遺構群、炭焼き窯跡等の遺構を検出した。

Ｅ地区の地形を区分すれば、段丘面部分とＢ地区から続く自然河川部分とに分けられる。調査は当初、段丘面上から開始し、10月頃より本格的に自然河川部分の調査に移った。段丘面上からは、僅かながら縄文晩期の土坑と、古代～中世に至る集落跡を検出した。自然河川部分からは弥生後期後半の不整形遺構、溝状遺構等を検出した。

なお、年度末になり綾南町側で予定している来年度の調査を、年度当初より迅速に取りかかるため、予定地内の安全柵設置、進入路造成等の仮設工事と、予定地内の耕作土の除去等を実施した。

平成15年度の調査は、前年度調査を実施した綾上町部分のＤ地区の残地と、西側の綾南町側のＦ・Ｇ・Ｈ・Ｉ地区の調査を２班体制で年度当初から実施した。調査面積は20,000㎡である。対象地の中央に位置するＤ・Ｇ・Ｈ地区からは、複数の自然河川跡、鎌倉時代後期頃の小集落跡、条里型地割の坪堺溝を含む溝状遺構群、炭焼き窯跡、区画溝を伴う中世墳墓、縄文時代と考えられるサヌカイト集積遺構等を検出した。サヌカイト集積遺構は石器製作跡と考えられ、約400㎡の範囲内において総点数25,000点を超えるサヌカイト製の石器・剥片等が出土している。ただ、土器が共伴しないため、詳細な時期決定については問題を残している。Ｈ地区の西側に隣接するＩ地区からは弥生時代後期の自然河川跡、平安時代後半の建物跡、井戸跡、中世後半～近世の建物跡等を検出した。Ｆ地区は農業試験場用地の北西隅に位置する飛び地状の調査区で、縄文晩期の自然河川跡、溝状遺構、弥生時代後期の土坑群、出水状遺構、中世後半では条里型地割に重複する大型の幹線水路、近世の建物跡等を検出した。

なお、前年度同様、年度末になり綾南町側で予定している次年度の調査を、当初より迅速に取りかかるため、予定地内の進入路造成等の仮設工事と、予定地内の耕作土の除去作業等を実施した。

平成16年度の調査は、前年度からの継続で綾南町のＪ・Ｋ地区、綾上町側のＢ・Ｅ地区の残地部分の調査を実施した。調査面積は17,675㎡である。

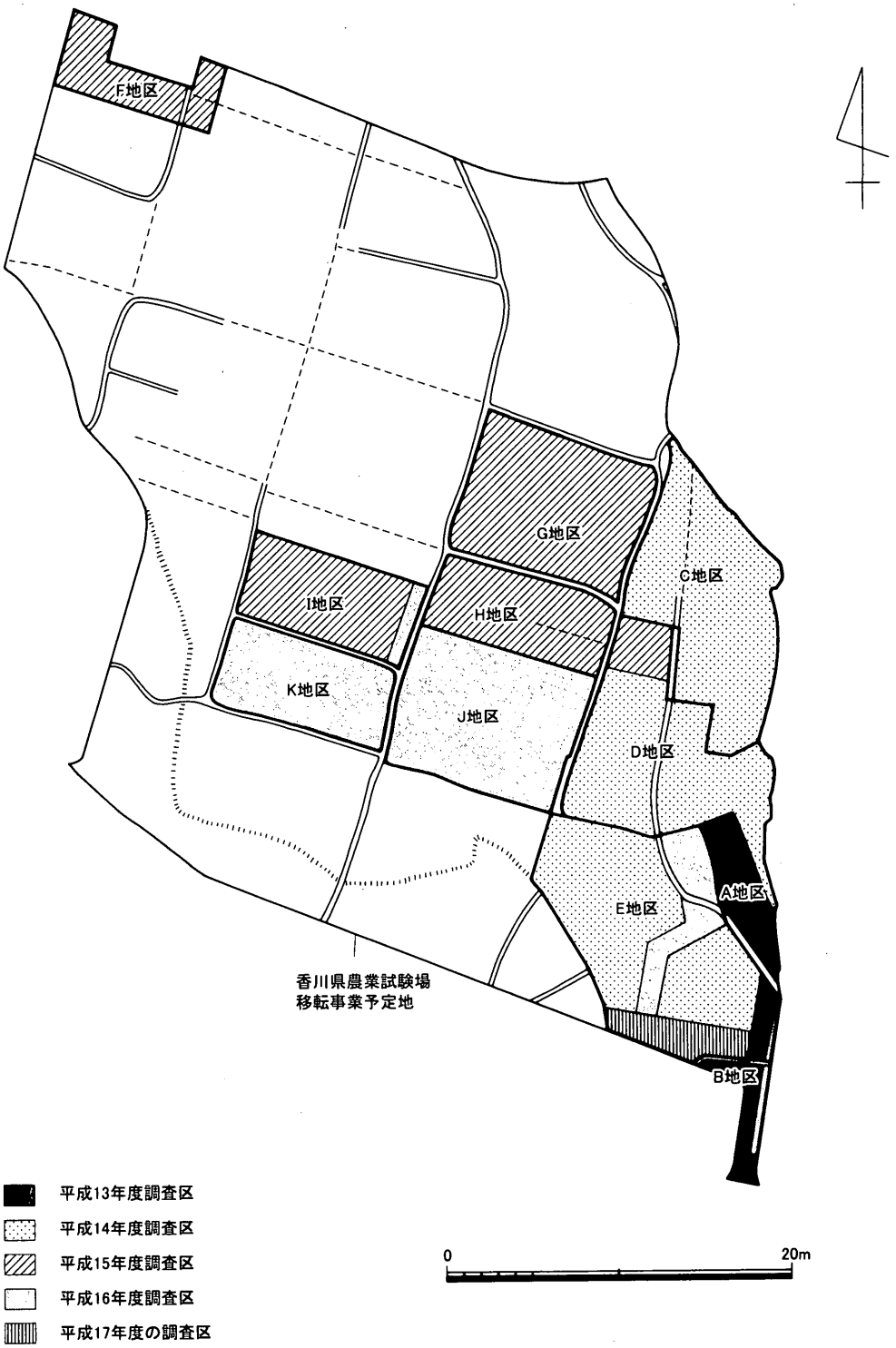
平成13～16年度の発掘調査は、以下の体制で実施した。

（平成13年度）

期間　平成13年10月～平成14年3月

総括　所　長　小原　克己　　調査　主任文化財専門員　藤好　史郎

次　長　川原　裕章


F地区
G地区
C地区
I地区
H地区
K地区
J地区
D地区
A地区
E地区
B地区
香川県農業試験場
移転事業予定地
平成13年度調査区
平成14年度調査区
平成15年度調査区
平成16年度調査区
平成17年度の調査区
0
20m

第２図 年度別地区割図

第１表 西末則遺跡調査工程表

年度	地区	調査担当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成13年	A	木下，柏，大塚												
	B	小野，川原，武井												
平成14年	C	木下，石原，武井												
	D	西村，川原，角田												
	E	小野，柏，飯間												
平成15年	D	小野，川原，角田												
	F	蔵本，柏，武井												
	G	小野，川原，角田												
	H	小野，川原，角田												
	I	北山，柏，武井												
	K	小野，川原												
平成16年	B	蔵本，松井，平尾												
	E	北山，佐々木，武井												
	J	蔵本，松井												
	K	北山，佐々木，武井												

総務　副主幹　大西　誠治
　　係　長　多田　敏弘
　　主　査　山本　和代
　　主任主事　高木　康晴
　　参　事　河野　浩征

文化財専門員　柏　徹哉
　　木下　晴一
　　川原　和生
主任技師　小野　秀幸
参　事　梅木　正信
調査技術員　武井　美和
　　大塚　純司

（平成 14 年度）

期間　平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月

総括　所　長　小原　克己
　　次　長　渡部　明夫
総務　副主幹　野保　昌弘
　　係　長　多田　敏弘
　　主　査　山本　和代
　　主任主事　高木　康晴
　　参　事　河野　浩征

調査　主任文化財専門員　藤好　史郎
　　柏　徹哉
　　文化財専門員　西村　尋文
　　木下　晴一
　　川原　和生
　　主任技師　石原　徹也
　　小野　秀幸
　　参　事　梅木　正信
　　調査技術員　武井　美和
　　角田　三保
　　飯間　俊行

（平成 15 年度）

期間　平成 15 年 4 月～平成 16 年 3 月

総括	所　長	中村　仁	調査	主任文化財専門員	藤好　史郎
	次　長	渡部　明夫			柏　　徹哉
総務	副主幹	野保　昌弘		文化財専門員	北山健一郎
	係　長	多田　敏弘			蔵本　晋司
	主　査	塩崎かおり			川原　和生
	主任主事	田中　千晶		主任技師	小野　秀幸
	参　事	河野　浩征		調査技術員	武井　美和
					角田　三保

（平成 16 年度）

期間　平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月

総括	所　長	中村　仁		調査課　課長	藤好　史郎
	次　長	渡部　明夫		文化財専門員	北山健一郎
総務課	副主幹	野保　昌弘			蔵本　晋司
	係　長	松崎日出穂			佐々木和裕
	主　査	塩崎かおり		主任技師	松井　和久
	主任主事	田中　千晶		調査技術員	武井　美和
	参　事	河野　浩征			平尾　勝洋

2．整理作業の経過

西末則遺跡の整理作業は、平成 16 年度から継続して進めることになり、初年度の平成 16 年度のは、平成 13・14 年度に調査を実施した、調査対象地の南端部から南東部にあたるA・B 地区とE 地区の南半部を対象とした。なお、B 地区の東辺に位置するＢ３区は 16 年度の春に調査を実施した調査区であったが、遺構の連続性を考慮して今年度の整理対象地区に含め、合わせて報告することにした。

第 2 表 西末則遺跡整理作業工程表

内容	平成１６年									平成１７年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
遺物接合・復元												
遺物実測												
遺物写真												
浄書												
原稿執筆												
編集												

平成16年度の整理作業は以下の体制で実施した。

（平成16年度）

総　括	所　長	中村　仁
	次　長	渡部　明夫
総務課	副主幹	野保　昌弘
	係　長	松崎　日出穂
	主　査	塩崎　かおり
	主任主事	田中　千晶
	参　事	河野　浩征
資料普及課	課　長	渡部　明夫（兼務）
主任文化財専門員		西村　尋文
	臨時職員	岡崎　江伊子・西桶　右子・矢野　ゆかり・森川　理恵・徳永　貴美

（参考文献）

香川県教育委員会・
（財）香川県埋蔵文化財調査センター　2002『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』
香川県教育委員会・
（財）香川県埋蔵文化財調査センター　2003『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』
香川県埋蔵文化財センター　2004「西末則遺跡」『香川県埋蔵文化財センター年報　平成15年度』

第Ⅱ章　遺跡の立地と環境

第１節　地理的環境

西末則遺跡を考える際に必要と思われる地理的事象を概論する。

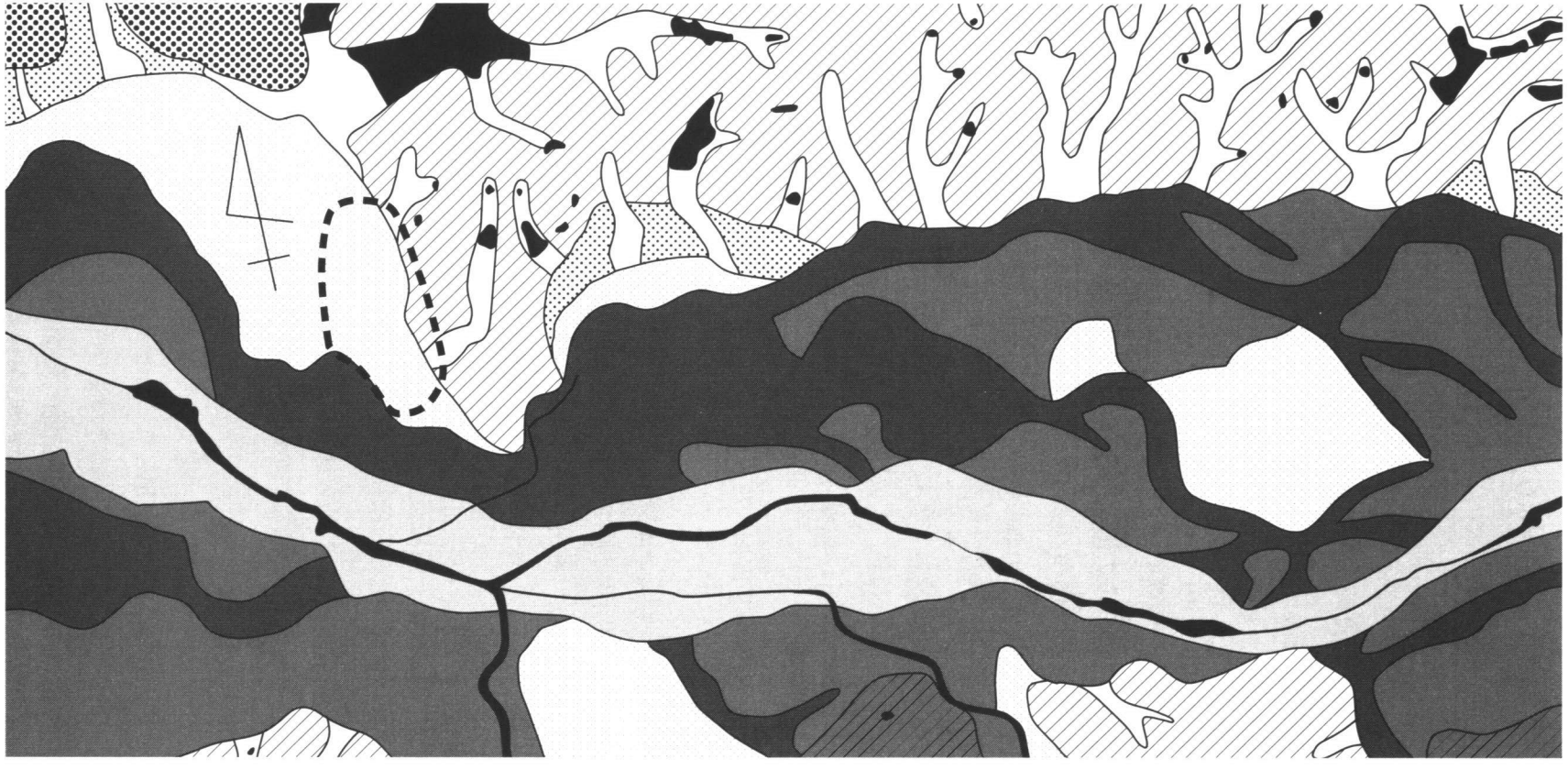
香川県の地形を巨視的に見ると、徳島県との県境付近の和泉層群よりなる標高700～1000ｍの讃岐山脈、讃岐山脈北縁の花崗岩よりなる丘陵地帯及び頂部に安山岩などの溶岩をのせた屋島や国分台等の山塊、前者の前縁や山塊間に発達する洪積台地（標高60～200m)、その前縁の扇状地や三角州からなる沖積平野に四分類できる。綾歌郡綾上町は、丘陵地帯を東西方向に横断して流れる綾川の流域を中心とする町である。綾川は東方の塩江町安原戸石川東を水源とし、瀬戸内海に注ぐ全長約38kmの河川で、西末則遺跡付近では幅0.5～1kmの河谷を形成している。空中写真の実体視による地形分類によると河谷の平野は数段の平坦面に分類できる。最も低いのは綾川沿いの氾濫原、次は条里型地割の遺存する平坦面である。両者は比高2mほどの段丘崖に画されており、条里型地割の遺存する平坦面を段丘Ⅰ面と呼称する。段丘Ⅰ面より高位の段丘面は存在が不明瞭であるが、丘陵の裾部に付着するように分布している。なお、この段丘崖は瀬戸内海東部の臨海平野に通有に見られる完新世段丘崖に相当する可能性が高く、後述する条里型地割との関係から古代末頃に形成されたと考えられる。

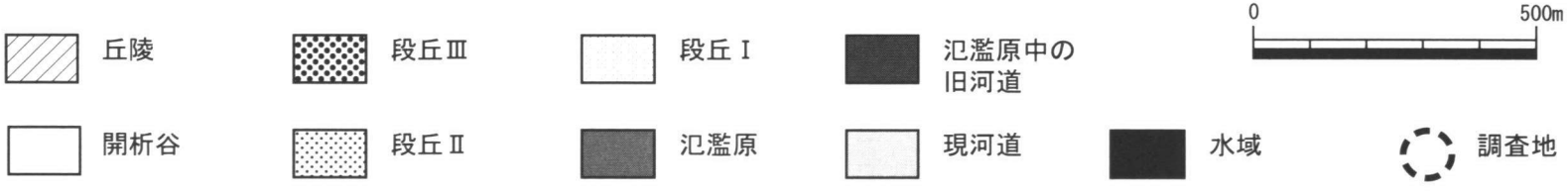
西末則遺跡付近では座標北より東に17度振った方向の条里型地割が見られる。当遺跡付近の綾川流域（綾南町羽床下～綾上町山田上）にはこの他に４箇所の条里型地割の遺存地域があるが、いずれも阡陌の方向が異なっている。このことは綾川河谷に統一的な条里が施工されたのではなく、洪水に遭いにくい安定した地形面に個別的に施工されたことを示している。

氾濫原面では、周囲の水田より一段低い水田が帯状に連続しているのが観察される。これは古代末より新しい時代の綾川の旧河道である。第１図に示されるように、綾川河谷内を大きく蛇行しながら多くの旧河道が錯綜している。

河谷を南北に区切る丘陵は、もと丘陵を横切るように綾川が流れているため、綾川北岸の丘陵の分水界は南に偏っている。丘陵は無数の開折谷が刻まれるが、これらは北に向かう谷筋は延長が長く、南に向かう谷筋は短く急傾斜である。これらの開折谷は、ほとんどが水田に造成されている。集水面積が狭く、稲作には不適と考えられるにもかかわらず、必ずといってもよいほど谷頭部に小さな溜め池を造築し開田しているのは、当地域の特徴的な景観といえる。

以上のような地形的概観のうえに西末則遺跡の立地をみると、条里型地割の遺存する地形面上に位置することから、相対的に安定した地形面に立地していると見ることができる。また、微視的には遺跡東側に河谷に突き出すような丘陵が存在することが注意される。この丘陵が障害になって上流からの灌漑用水を引くことが困難になることが想定でき、また、完新世段丘の形成による綾川の河床低下によって灌漑用水の確保がさらに困難になったことが想定できる。この想定を検証するために遺跡調査に並行して現行の水利調査を行い、その成果の一部は概報に掲載している。また、検出した溝状遺構についても、この視点から評価を行っている。



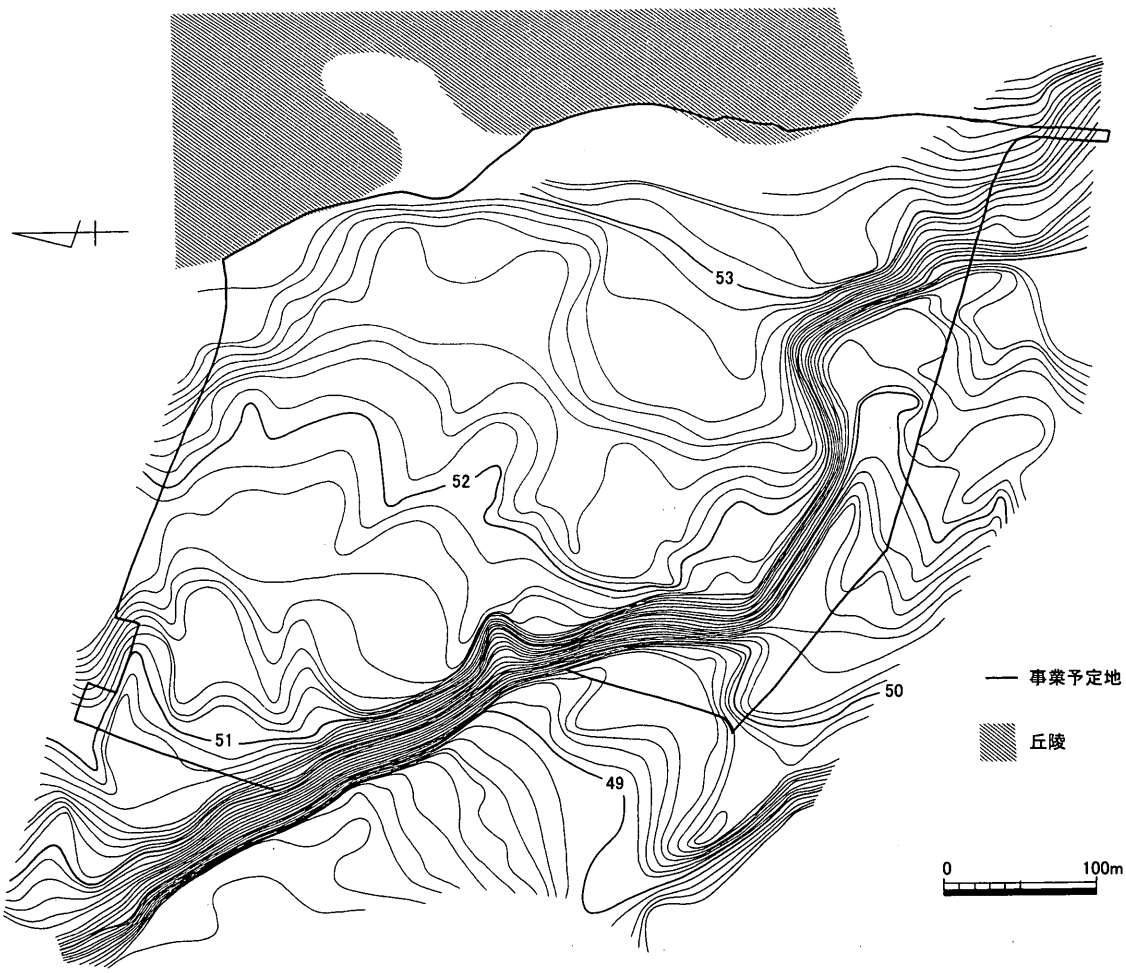


（木下晴一　2002「地理的環境」『香川県農業試験場移転事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』一部加筆）

第３図 微地形分類予察図

最後に、農業試験場用地の10cm等高線図を作製しているので概説する。10cm等高線図は水田一筆毎の標高を割り込んで等高線を引いた図である。水田は広範囲の灌排水の関係で、局所的に盛り土したり切り土したりする可能性は低く、地形の凹凸に従順に開田している可能性が高い。したがって等高線図に現れる微起伏が、元の地形の微起伏を表すものと考えることができる。第２図を見ると東南から西北方向に等高線の間隔の密になるところがある。これが先述の完新世段丘崖で、この西側が氾濫原面、東側が段丘Ｉ面となる。段丘Ｉ面に西末則遺跡が所在するが、事業予定地の南半分に微高地が、北半部には数条の旧河道の存在を暗示する微凹地が指摘できる。今後、調査の進展によって、この推定も検証されるであろう。

（木下晴一　2002「Ⅱ．遺跡周辺の地理的環境・歴史的環境　１．地理的環境」『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書　西末則遺跡』香川県教育委員会（財）香川県埋蔵文化財調査センター　を再録）



（木下晴一　2002「地理的環境」『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』一部加筆）

第４図 10cm 等高線図

第２節　歴史的環境

本遺跡の所在する綾南町羽床より綾上町山田下にかけての地域は、弥生時代より中世に至るまで遺跡が多数位置している。地域性が表れるのは古墳時代以降である。綾歌町の快天山古墳を中心とした前期古墳、綾南町の津頭古墳を中心とした中期古墳、それに多数の後期古墳を含めると、100 基を越す古墳が分布し、県下有数の古墳密集地帯であり羽床古墳群と総称されている。

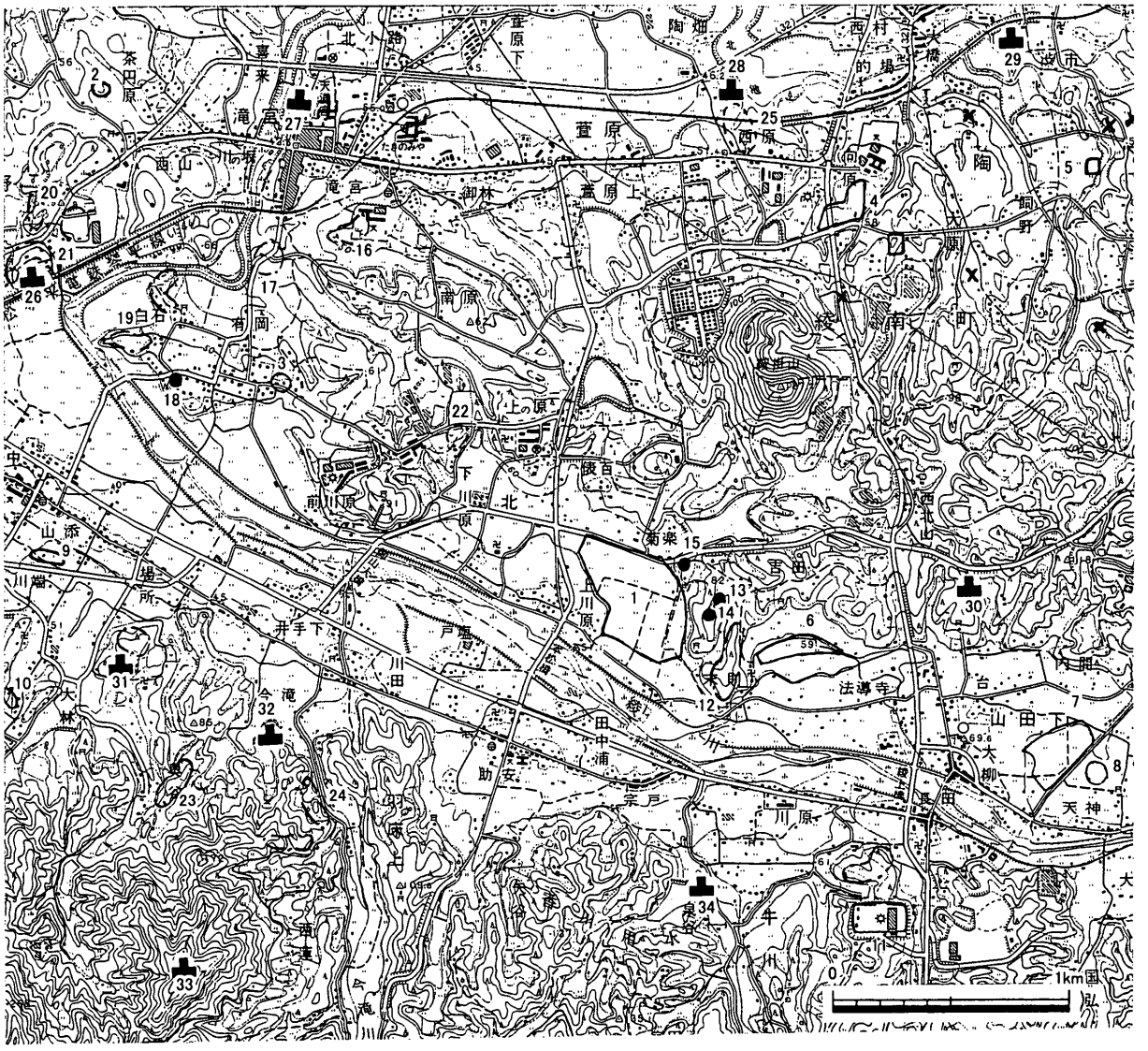
次に代表的な遺跡を時代順で紹介する。旧石器～縄文時代の資料は限られている。事例としてあげられるものでは、綾南町陶の西村遺跡出土のナイフ形石器・角錐状石器・槍先形石器・有舌尖頭器・翼状剥片等の資料がある。また、府中湖で表採された遺物の中に数点、旧石器も確認されており、今後、資料増加の可能性が高い地域といえる。

弥生時代になれば遺跡数は増加する。注目されるものでは、綾南町の内間において、銅鐸が出土している。この銅鐸は現在所在がわからないが、記録によると高さ 30cm 程の扁平紐式袈裟襷紋銅鐸とされている。また、本遺跡の東側の丘陵（末則丘陵）上の末則遺跡では、弥生時代中期末～後期前半のピット、包含層等が検出しており、本遺跡との関連性が考えられる資料になっている。

先にも触れたが、古墳時代になるとこの地域周辺では、多数の古墳の所在が知られている。主な古墳では、まず、綾歌町栗熊には快天山古墳があげられる。この古墳は全長約 100 ｍを測る前方後円墳で、後円部から鷲ノ山産の刳抜式石棺が３基出土している。出土した刳抜式石棺は、他県にこの時期の石棺がないことから、国内最古の石棺として考えられている。讃岐の石棺つくりの興味深い記録として「播磨国風土記」の記述がある。文中の内容は、息長帯日女命（神功皇后）が石作連をひきいて、讃岐の「羽若の石」を求めたとの記述である。「羽若」は綾南町・綾上町の「羽床」と考えられ、快天山古墳が近くにあることから、古代讃岐の石棺つくりを伝えているものと考えられる記述である。なお、快天山古墳より東方の丘陵上には、横山２・３号墳等の古墳時代前期の積石塚古墳と、前方後円墳２基、方墳１基からなる陣の丸古墳群等が立地している。中期の古墳では、津頭東古墳・津頭西古墳等があげられる。津頭東古墳は、綾川が東へ向きを変える手前の東丘陵に立地する約 35 ｍを測る円墳で、４基の竪穴式石室と２基の粘土槨からは、仿製内行花文鏡や短甲等が出土し、４世紀末～５世紀前半に比定される。津頭西古墳は竪穴式石室から、耳飾・甲冑類・鉄製武器・須恵器等が出土し、５世紀後半に比定される古墳である。５世紀後半頃になると、岡の御堂１号墳・中尾古墳群・浦山古墳群・末則古墳群等の、小地域単位の有力な円墳が築造され、同時期と考えられる群集墳も多く、数も前期に比べ格段に増加する。本遺跡の東側に隣接する南北丘陵上には、末則古墳群と吉田古墳群が所在している。末則古墳群は７基の古墳からなり、調査が実施された１号墳は葺石と埴輪をもつ径約 25 ｍの円墳で、墳頂部からは竪穴式石室を検出した。古墳の規模や石室の形態より中期後半から末頃の築造が考えられる。後期になると大規模な古墳は築造されなくなり、規模の大きな群集墳もない。代表例としては浦山古墳群、岡田井古墳群、今滝古墳群等の群集墳があげられる。

古代になると本遺跡の北約 4.0 ｋｍに位置する、十瓶山周辺の洪積台地上に県下最大規模の窯跡群が形成される。100 基以上の窯跡が確認されており、７世紀から 13 世紀頃までの長期間の操業が確認されている。これらの窯跡で生産された土器類は、県下に限らず、県外にまで供給していることが、最近の調査例の増加に伴い明らかになってきている。

中世以降、この地域は羽床氏が統治していた地域にあたり、多数の中世城館跡が築かれている。



1.西末則遺跡
2.白梅遺跡
3.お藤天神遺跡
4.向原遺跡
5.飼野遺跡
6.山田下吉田遺跡
7.北代西遺跡
8.北代遺跡
9.井出上遺跡
10.大林遺跡
11.牛川遺跡
12.末則古墳群
13.吉田古墳1号
14.吉田古墳2号
15.菊楽古墳
16.岡の御堂古墳
17.岡田井古墳群
18.津頭東古墳
19.津頭西古墳群
20.白梅古墳群
21.浦山古墳群
22.滝宮万塚古墳群
23.奥谷古墳群
24.今滝古墳群
25.藤棚窯跡群
26.脇城跡
27.滝宮城跡
28.西村城跡
29.背月所城跡
30.伊賀城跡
31.羽床城跡
32.羽床上城跡
33.西蓮城跡
34.牛川城跡

● 古墳・古墳群
× 窯跡・窯跡群
城跡
卍 寺院跡

第５図 遺跡分布図

最近行われた中世城館の詳細分布調査では、周辺に分布する脇城跡・滝宮城跡・西村城跡・指月所城跡・伊賀城跡・羽床城跡・羽床上城跡・西蓮城跡・牛川城跡・後藤城跡等の諸城の実態が明らかになってきている。なお、羽床城跡周辺は、羽床氏と土佐の長宗我部氏が激戦を交わした地域にあたり、周辺に分布する中世城館跡の実態は、本遺跡の中世後半～近世初頭の集落の社会背景を理解する上で、重要な参考資料となるであろう。

（参考文献）

香川県教育委員会　1976「末則古墳調査概報」『香川県埋蔵文化財調査報告　昭和51年度』

綾上町誌編纂委員会　1978『綾上町誌』綾上町教育委員会

香川県史　1988「第1巻　通史編　原始・古代」『香川県史』四国新聞社

綾南町誌編纂委員会　1998『綾南町誌』綾南町

木下晴一　2002「Ⅱ．遺跡周辺の地理的環境・歴史的環境　1．地理的環境」『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書　西末則遺跡』香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター

香川県教育委員会　2003『香川県中世城館跡詳細分布調査報告』

第Ⅲ章　調査の成果

第１節　調査と整理の方法

１．調査の方法

対象地を調査するにあたり、まず事業予定地全体に南東隅を基点とする20ｍメッシュのグリットを設定した。グリット基点Ａ－１は国土座標第Ⅳ系のＸ＝135.820、Ｙ＝40.520で、座標北の方向に１，２，３・・、西の方向にＡ，Ｂ，Ｃ・・・と付し、各交点をＢ－２、Ｄ－２等のように呼称することにした。また、20ｍメッシュのグリッドの呼称は南東隅の交点名によっている。

調査区全体の図化は、遺構密度の高い地域に限り業者に委託して航空測量を実施し、1/100・1/50の縮尺で図化した。また、航空測量の対象外の区域と主要な遺構については、トータルステーションによる測量及び手描きの実測等により対応した。対象地内に設置する基準点については、対象地内の数地点に限り測量業者に委託し設置した。

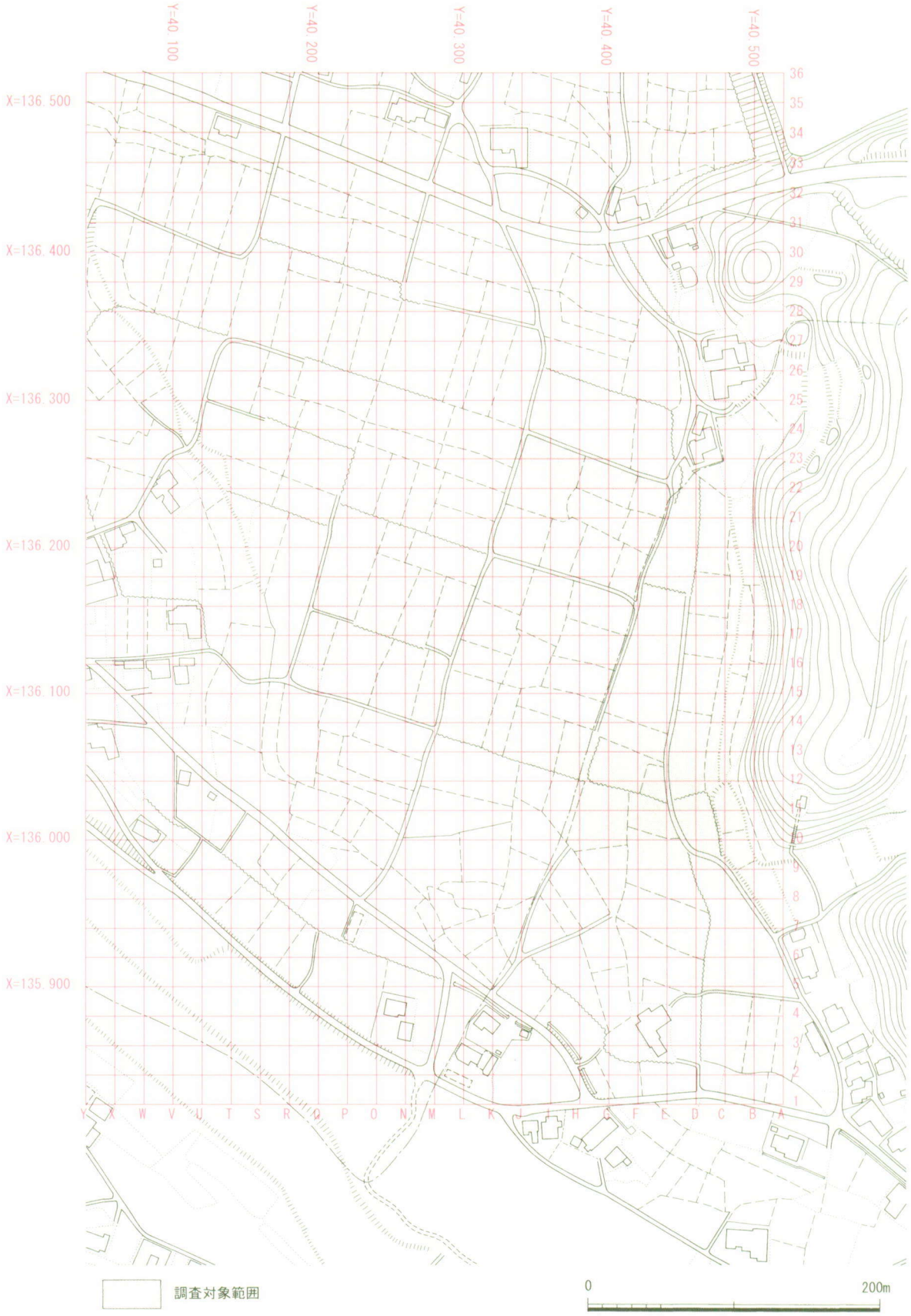
２．調査区の設定

事業予定地は綾上町山田下、綾南町北の二町に及び綾川の北岸の段丘面上に位置する。県道278号線を北限とし、南限は綾川の氾濫原まで、東限は東辺に所在する南北丘陵（末則丘陵）までで、南北約450ｍ、東西約400ｍを測り、面積は約18haを測る。調査対象地は、予定地の南東部、綾上町側に所在する南北丘陵(末則丘陵)の西斜面から綾南町に広がる地域と、予定地の北西部、県道278号線の南に広がる飛び地状の地域とに分かれる。

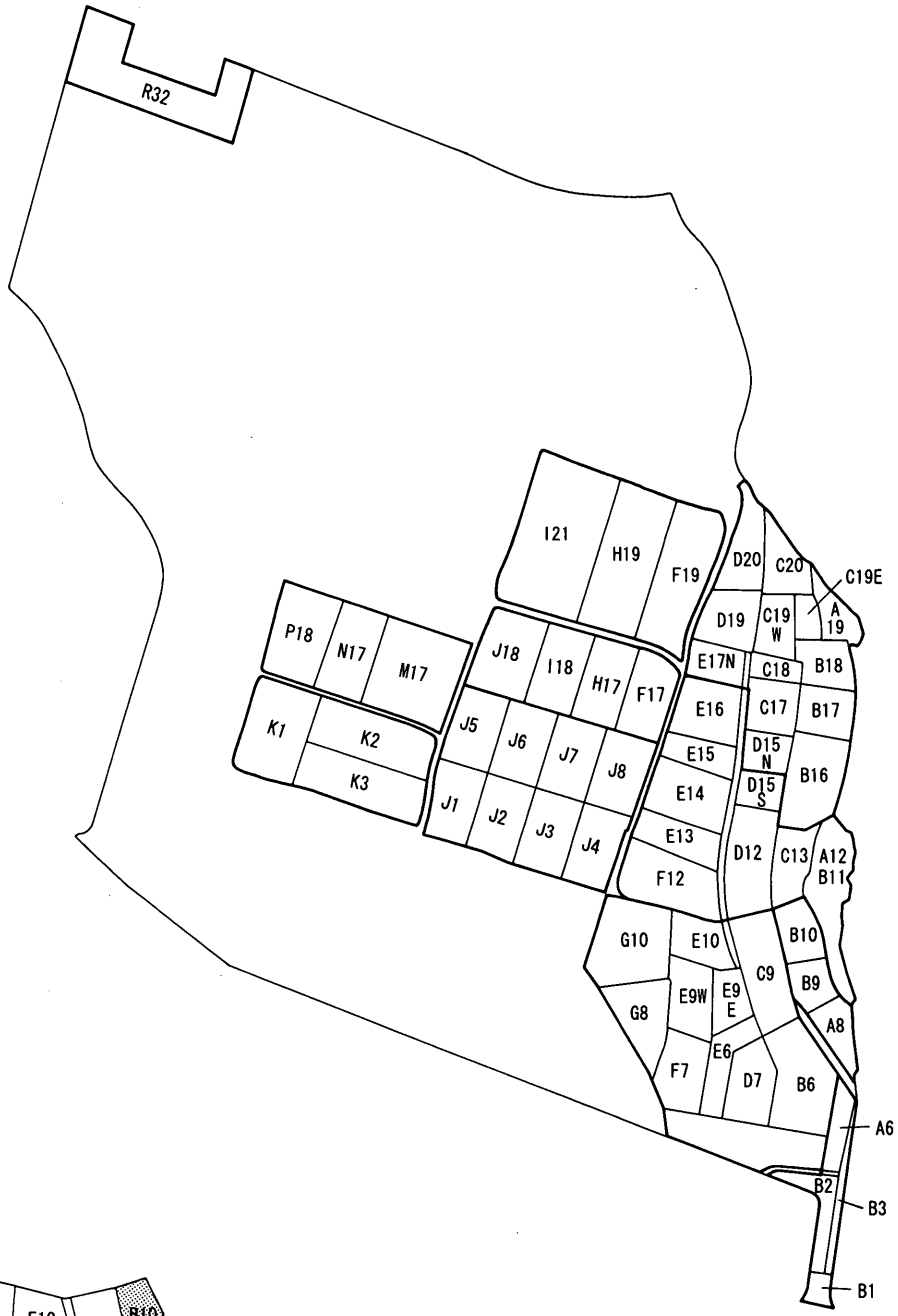
調査区の設定としては、調査対象地の面積がかなり広いため、まず、対象地をＡ～Ｋ地区までの８地区に区分した。また、調査を進める都合上、大区画内をさらに小区分し調査区を設定した。調査区名の付け方は、調査区画内の最も代表的なグリッド名を採用して、Ｂ２区、Ａ６区等と呼称することとした。これは、農業試験場用地内の発掘調査が複数年次にまたがり、調査区も全面ではなく局所的に、設定される可能性もあり、調査区名によって大まかな位置が把握できることを目的にしたものである。

３．整理作業の方法

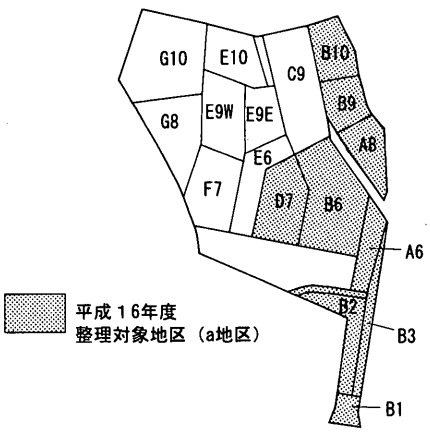
本遺跡は、広大な調査対象地を数ヵ年にわたり、複数パーティーで調査を実施してきている関係上、相当数の職員が調査に関与し、複雑な小区画割が多数存在することになり、全体像を把握しにくい状況になっている。整理作業に際しては、調査時での区画割のとおりに整理の範囲が確定できない問題と、発掘調査の担当者が必ずしも整理まで担当できるとは限らない人事上の問題等があり、整理作業を順調に進めるための課題となっている。そのため、これらの問題点を解消し、計画的に整理作業を進めるため、高年次に及ぶ整理計画を作成し作業を進めることにした。


Y=40.100
Y=40.200
Y=40.300
Y=40.400
Y=40.500
X=136.500
X=136.400
X=136.300
X=136.200
X=136.100
X=136.000
X=135.900
調査対象範囲
0
200m

第6図 グリッド割図



第７図 調査区割図



第８図　整理対象地区割図

整理区画の設定

計画的に整理作業を進め、記載事項の混乱を防ぐ目的で、発掘調査時でのＡ～Ｊ地区までの区画とは別に、新たに整理作業用の区画割を設定した。なお、この区画は次年度以降の整理作業の進行状態を考慮して、適宜改変する必要が出てくるものと考えられる。

今年度の整理対象地区は整理区画でいえば「a 地区」に当り、平成13・16年度に調査を実施したＡ地区（Ａ８，Ｂ９・10区）、Ｂ地区（Ａ６，Ｂ２・３区）と、平成14年度に調査を実施したＥ地区（Ｂ６，Ｄ７区）に当る。以上のように今年度の整理対象地は、調査が複数年度に分かれ、調査区も各年度単位で細かく分かれ、それとともに担当も各々異なっている。これらの状況から、整理作業に混乱が生じることが当初より予測できたため、各調査区をもとにした整理作業を実施することにした。

報告遺構名の呼称法

現場作業で付された個々の遺構の名称は、各調査区単位に適宜付された遺構名で、異なる遺構に同一名称を与えている事例や、遺構内容と照らし修正すべき遺構名称等が含まれている。そのため、報告書刊行時には数ブロックに分割した整理区画と遺構種類を単位として、全種類について「01」から始まる通し番号により再整理を行うものとした。さらに、各整理区画を明確にすることと、番号の混乱を防ぐことを目的として、遺構略称中に整理区画記号を記入し報告することにした。（例：SBa01）

第2節　Ａ８，Ｂ９・１０区の調査

１．概要

調査地は対象地の東辺に所在する南北丘陵（末則丘陵）の西側斜面部にあたる。また、調査地の南端部周辺は、北東方向に延びる幅50ｍ程の開折谷の谷口に接する。開折谷の谷口にあたるのが、Ａ８区である。地表面での標高は約55.6ｍを測り、西側に広がる段丘面上より2.0ｍ程高い。丘陵裾部の西斜面にあたるのが、Ｂ９・10区である。なお、Ｂ10区の西半部は北西方向に傾斜しており、北端部の平坦部は更に狭くなっている。地表面での標高は約55.5ｍを測る。

調査前の対象地は、斜面部を切り開き、畑地として平坦に整地されていて、地山面との比高差はＡ８区の西端部で約1.0ｍを測る。その堆積層中に上･下二面の遺構面が検出できた。上層遺構面は中世後半～近世頃の遺構面にあたり、掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構、不整形遺構等を検出した。下層遺構面は弥生後期末～古墳時代前期、古代末～中世前半頃の遺構面に当り、大型の溝状遺構、土坑、焼成土坑等を検出した。最も注目できる遺構としては、下層遺構面上から検出した、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の灌漑用の幹線水路と考えられるSDa05・06等の溝状遺構である。なお、Ｂ10区からは末則用水の前身の溝と考えられる12世紀頃のSDa05、SXa03等を検出した。

堆積層中からは多量の遺物が出土している。上層遺構面の上位に堆積する遺物を上位包含層、上層遺構面と下層遺構面間に堆積する包含層を下位包含層、Ｂ10区の北西の斜面部に堆積する包含層を北西斜面部包含層として整理した。

２．遺構・遺物

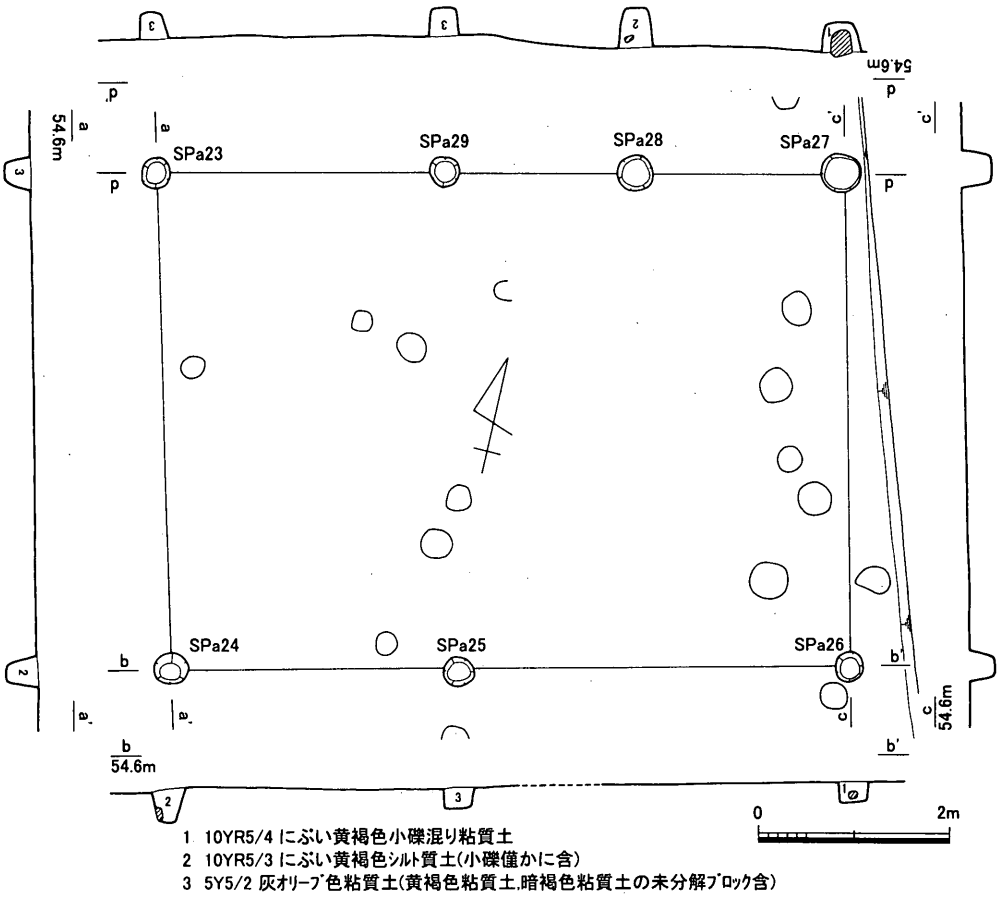
（１）掘立柱建物跡，柵列，柱穴

SBa01（第９図）

Ｂ10区中央の上層遺構面上で検出した、残りの悪い東西棟の掘立柱建物跡である。SBa02･03等の南北棟の掘立柱建物跡と重複しているため、これらの建物跡との時期差が考えられるが、柱穴相互の切り合いが認められないため、前後関係は不明である。１間（5.0m）×３間（7.2m）、面積は36.0㎡、主軸方位はＮ－77°－Ｅを測る。柱間は梁間5.0ｍ、桁行2.0～3.0ｍを測る。なお、南側柱列の柱穴は削平のためか残りが悪く１柱穴しか検出できなかった。柱穴堀形は円形を呈し、径0.3ｍ～0.4ｍ、深さ0.2ｍ～0.4ｍを測る。また、根石を据えた柱穴も認められる。出土遺物としては、土器片が数点出土しただけで、詳細な時期については不明であるが、主軸方位・配置等より、近接するSBa04・05等の建物と類似する時期が考えられる。

SBa02（第10・11図）

Ｂ10区中央の上層遺構面上で検出した、南北棟の掘立柱建物跡である。SBa01・03と重複しているため、これらの建物跡との時期差が考えられるが、柱穴相互の明瞭な切り合いが掴めなかったため前後関係は不明であるが、南北棟のSBa03とは配置・規模で類似しており比較的近い時期の建物の可能性がある。１間（4.0m）×３間（7.0m）、面積は28.0㎡、主軸方位はＮ－12°－Ｗを測る。柱間は梁間3.9～4.0ｍ、桁行2.0～2.8ｍを測る。柱穴堀形は円形を呈し、径約0.3ｍ、深さ0.3ｍ



第９図 SBa01 平・断面図

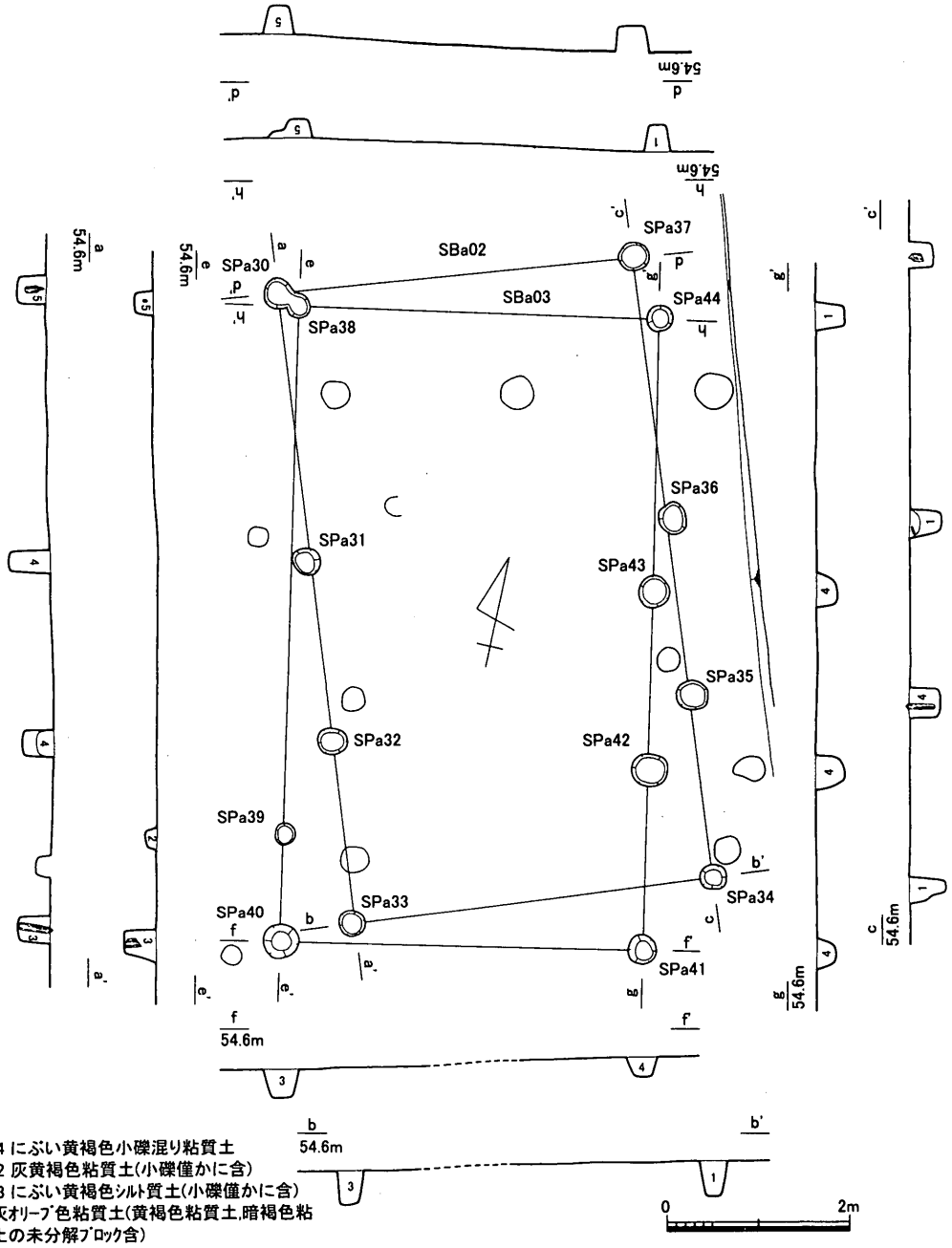
～ 0.4 mを測る。また、柱穴の一部からは柱材を検出した。出土遺物としては土器片が数点出土しただけで詳細な時期については問題を残すが、近接する SBa04・05 等の建物跡と類似する時期が考えられる。１は SBa02 内の SPa32 から出土した、土師器杯片である。

SBa03（第 10 図）

Ｂ 10 区中央の上層遺構面上で検出した、南北棟の掘立柱建物跡である。SBa01・02 と重複しているため、これらの建物跡との時期差が考えられるが、柱穴相互の明瞭な切り合いが掴めなかったため前後関係は不明であるが、南北棟の SBa02 とは配置・規模が類似しており、比較的近い時期の建物跡の可能性がある。１間（4.0m）×３間（7.0m）、面積は 28.0㎡、主軸方位はＮ - 20°- Ｗを測る。柱間は梁間 4.0 m、桁行 2.0 ～ 3.0 mを測る。柱穴堀形は円形を呈し、径約 0.3 m、深さ 0.2 m～ 0.4 mを測る。また、柱穴の一部からは柱材を検出した。出土遺物としては土器片が数点出土しただけで、詳細な時期については問題を残すが、近接する SBa04・05 等の建物跡と類似する時期が考えられる。

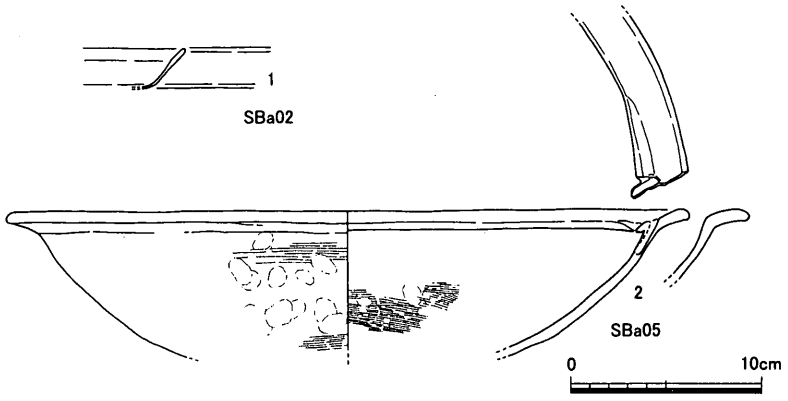
SBa04（第 12 図）

Ｂ９区中央の上層遺構面上で検出した、東西棟の掘立柱建物跡である。東に隣接する SBa05 は柱列を揃えており、比較的近い時期ないし同時並存の建物跡の可能性がある。また、北には主軸を揃えて SBa04 の雨落ち溝と考えられる SDa01・02 が配されている。この建物跡は西壁に隣接しているため、建物の西辺は検出している現状より更に延びる可能性がある。東半部で束柱と考えられる２基の柱穴（SPa90・91）を検出した。そのため、この建物の東半部は床張構造の建物跡と考えられる。２間（4.8m）×４間（7.4m）、面積は 37.5㎡、主軸方位はＮ - 74° - Ｅを測る。柱間は梁間 2.2 m、

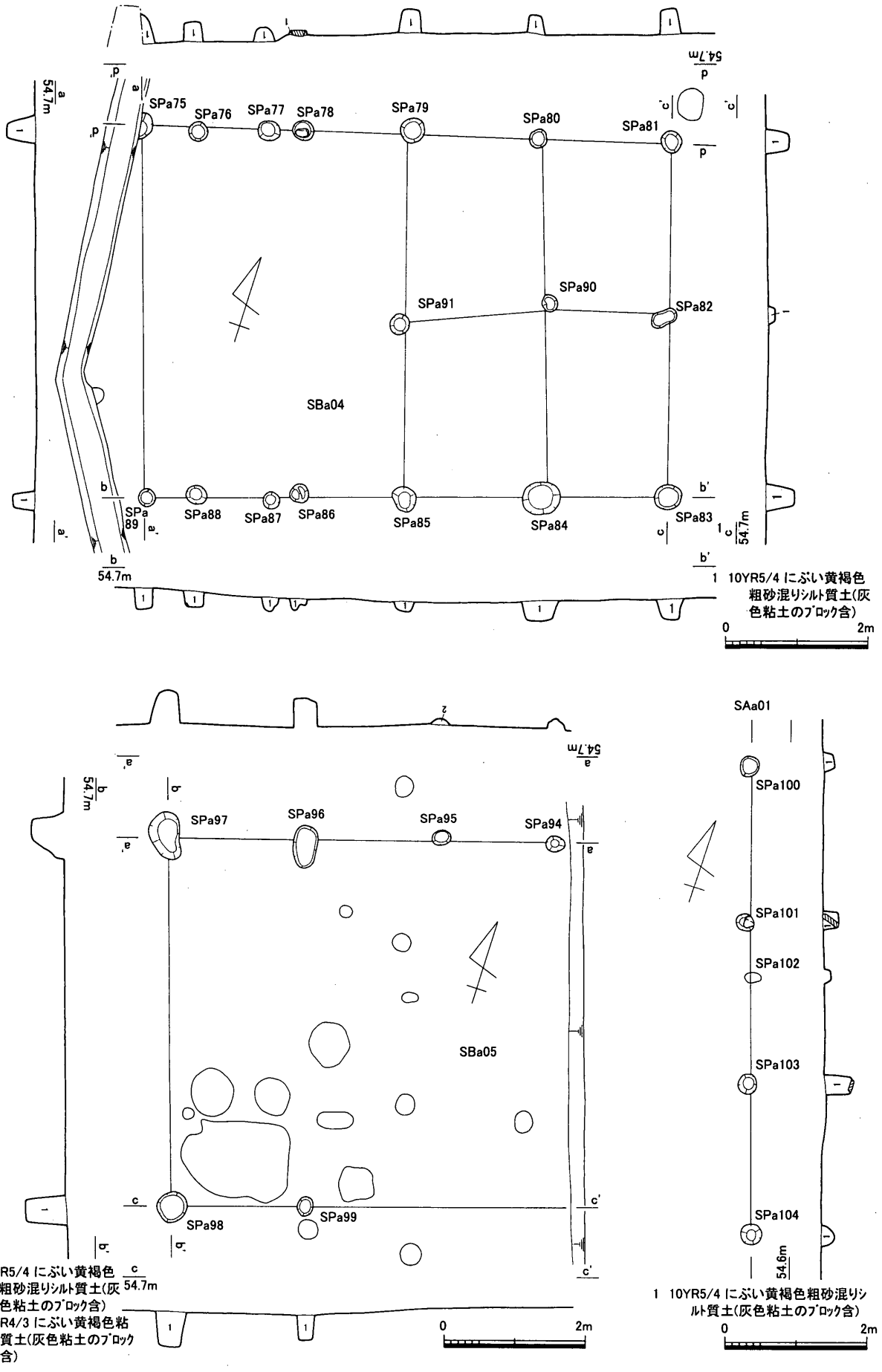


1 10YR5/4 にぶい黄褐色小礫混り粘質土
2 10YR5/2 灰黄褐色粘質土(小礫僅かに含)
3 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質土(小礫僅かに含)
4 5Y5/2 灰オリーブ色粘質土(黄褐色粘質土,暗褐色粘質土の未分解ブロック含)
5 5Y6/1 灰色粘土

第 10 図 SBa02・03 平・断面図



第 11 図 SBa02・05 出土遺物



第 12 図 SBa04・05, SAa01 平・断面図

第３表 西末則遺跡掘立柱建物跡一覧表

報告遺構名	調査区名	主軸方向	構造･規模	面積(㎡)	柱間寸法	
			梁間(m)×桁行(m)		梁間(m)	桁行(m)
SBa01	B10区	N-77° -E	1間(5.0)×3間(7.2)	36.0	5.0	2.0～3.1
SBa02	B10区	N-12° -W	1間(4.0)×3間(7.0)	28.0	4.0	2.0～3.0
SBa03	B10区	N-20° -W	1間(4.0)×3間(7.0)	28.0	4.0	2.0～2.9
SBa04	B9区	N-74° -E	2間(5.0)×4間(7.5)	37.5	2.5	1.8～2.0
SBa05	B9区	N-73° -E	1間(5.2)×3間(5.5)以上	28.6以上	5.2	1.6～2.0

桁行 1.8 ～ 2.0 mを測る。柱穴堀形は円形ないし不整円形を呈し、径 0.2 ～ 0.5 m、深さ 0.2 m～ 0.4 mを測る。出土遺物としては土器片が数点出土しただけで詳細な時期については問題を残すが、雨落ち溝と考えられる SDa01・02 の出土遺物より 18 世紀前半頃の時期が考えられる。

SBa05（第 11・12 図）

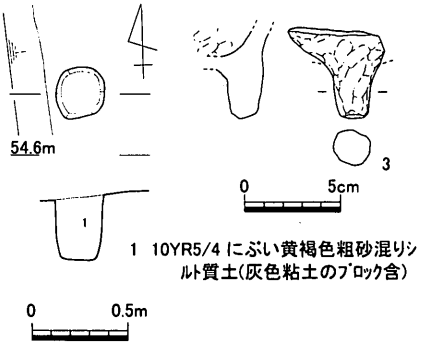
Ｂ９区中央の上層遺構面上で検出した、東西棟の掘立柱建物跡である。西に隣接する SBa04 は柱列を揃えており、比較的近い時期ないし同時並存の建物跡の可能性がある。建物跡の東半部は東壁より外に延びるため、約２／３程度を検出したものと考えられる。１間（5.2m）×３間（5.4m）以上、面積は 28.6㎡ 以上、主軸方位はＮ - 73° - Ｅを測る。柱間は梁間 5.2 m、桁行 1.8 ～ 2.0 mを測る。柱穴堀形は円形ないし不整円形を呈し、径 0.2 ～ 0.6 m、深さ 0.1 m～ 0.4 mを測る。出土遺物としては土器片が数点出土しただけで詳細な時期については問題を残すが、主軸方位・配置等より SBa04 とほぼ同時期の、18 世紀前半頃の時期が考えられる。２は SBa05 内の SPa97 から出土した、土師器焙烙である。口縁部の内側には小さな孔を僅かに残す。

SAa01（第 12 図）

Ｂ９区の中央の上層遺構面上で検出した、南北方向で３間の柵列跡である。柱間は 2.0 ～ 2.2 m、主軸方位はＮ - 16 ° - Ｗを測る。柱穴堀形は円形で、径約 0.2 mm、深さ 0.2 m～ 0.4 mを測る。柱穴の中に根石を据えているものが２柱穴含まれる。なお、この柵列跡は SBa04 の東側に位置し、SBa04 の建物主軸方向に揃えており、SBa04 の付属施設の可能性が高く、18 世紀頃の時期が考えられる。

SPa66（第 13 図）

Ｂ９区の北西端の上層遺構面上で検出した柱穴である。柱穴堀形は円形で径約 0.5 mm、深さ 0.6 mを測る。３は SPa66 から出土した、土師質の支脚部である。おそらく甕の底に付く支脚と考えられる。

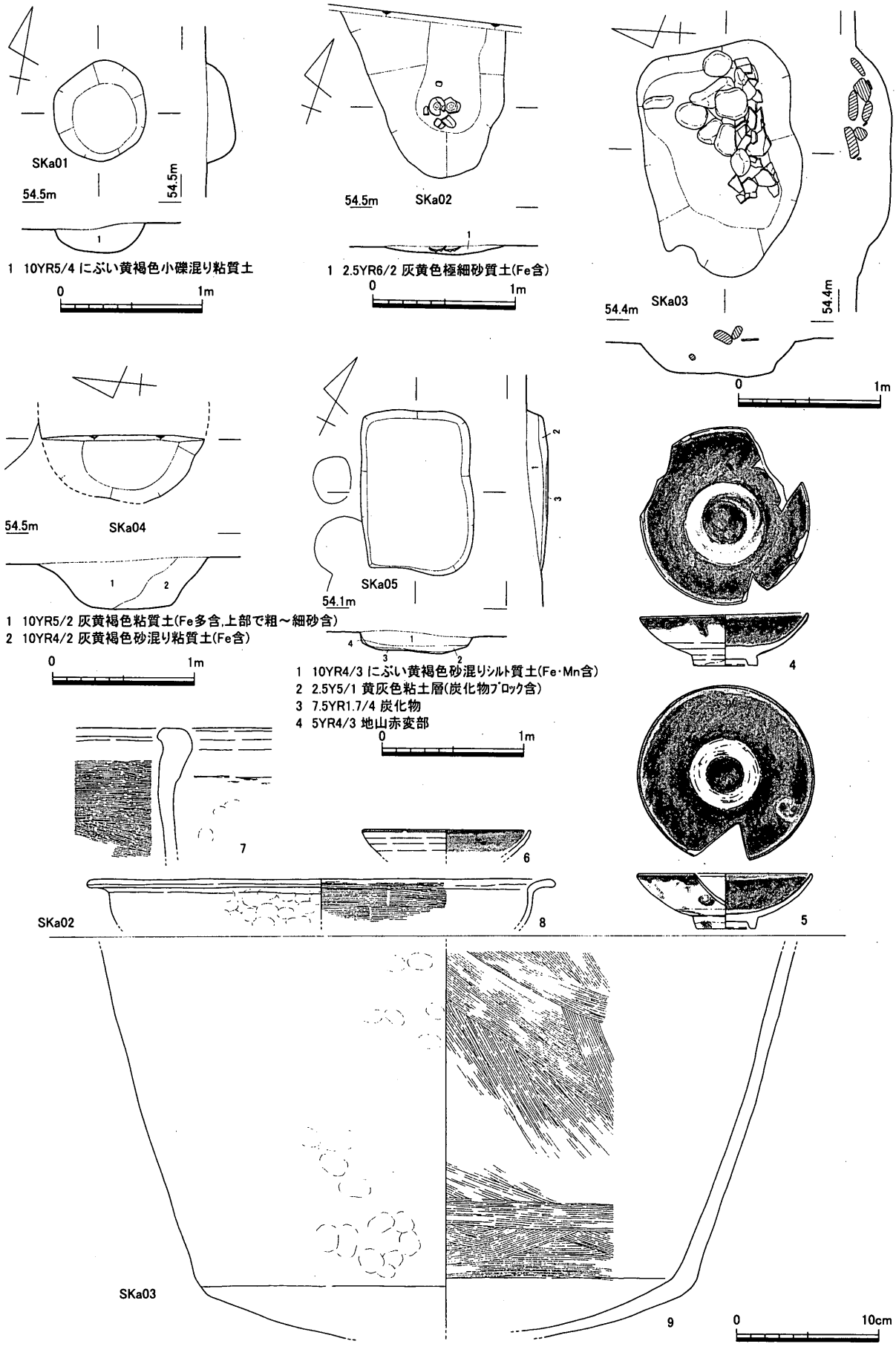


第 13 図 Spa66 平・断面図，出土遺物

（２）土坑

SKa01（第 14 図）

Ｂ 10 区の南東端部の上層遺構面上で検出した土坑である。平面は円形状を呈し、断面は浅いＵ字状を呈する。埋土は単層で黄褐色小礫混じりの粘質土である。出土遺物としては弥生土器、土師器の細片が数点出土しているだけで、詳細な時期については問題を残すが、おそらく中世後半以降であろう。



第 14 図 SKa01 ～ 05 平・断面図，出土遺物

SKa02（第 14 図）

Ｂ９区の北端中央部の上層遺構面上で検出した土坑である。土坑の北半部は北壁より外に延びるため、約１／２程度を検出したものと考えられる。北半部が不明瞭であるため、全体の形状は定かではないがおそらく不整形な落ち込み状の形態を呈するものと考えられる。断面は削平を受けたものか浅い皿状を呈する。長径 1.2 m以上×短径 1.0 m以上、深さ 0.1 mを測る。埋土は単層で灰黄色の砂質土である。出土遺物としては、肥前系の陶器、土師器片等が少量出土した。４～８は SKa01 から出土した遺物である。４～６は肥前系の磁器の銅緑釉皿で、底部内面には蛇ノ目釉剥を行っている。７は土師器の大甕の口縁部である。８は土師器の焙烙の口縁部である。出土遺物から 18 世紀頃の時期が考えられる。

SKa03（第 14 図）

Ｂ９区中央部の上層遺構面上で検出した土坑である。平面は不整形な楕円形状を呈し、断面は隅丸の逆台形状を呈する。上面に小円礫の集積を検出した。長径 1.6 m×短径 1.1 m、深さ 0.3 mを測る。９は SKa03 の出土遺物で、土師器の大甕の底部である。

SKa04（第 14 図）

Ａ８区の東辺部の上層遺構面上で検出した土坑である。土坑の東半部は東壁より外に延びるため、約１／２程度を検出したものと考えられる。北半部が不明瞭であるため、全体の形状は定かではないが、おそらく楕円形状の形態を呈するものと考えられる。断面は隅丸の逆台形状を呈する。長径 1.2 m×短径 0.5 m以上、深さ 0.3 mを測る。埋土は２層に分かれる。出土遺物としては土師器細片、黒色土器Ａ類小片等が少量出土しており、12 世紀前半以降の時期が考えられる。

SKa05（第 14 図）

Ｂ 10 区中央の下層遺構面上で検出した土坑である。平面は北に主軸を向けた長方形状を呈し、断面はかなり削平を受けたものと考えられ、浅い逆台形状を呈する。長径 1.1 m×短径 0.8 m、深さ 0.2 mを測る。この土坑の底面は、被熱のために赤変し、また埋土の最下層に炭層の堆積が認められることから、この土坑は焼成土坑の範疇で捉えられる。出土遺物としては土師器、須恵器、黒色土器Ａ類、瓦器等の細片が少量出土しており、出土遺物から 13 世紀以降の時期が考えられる。

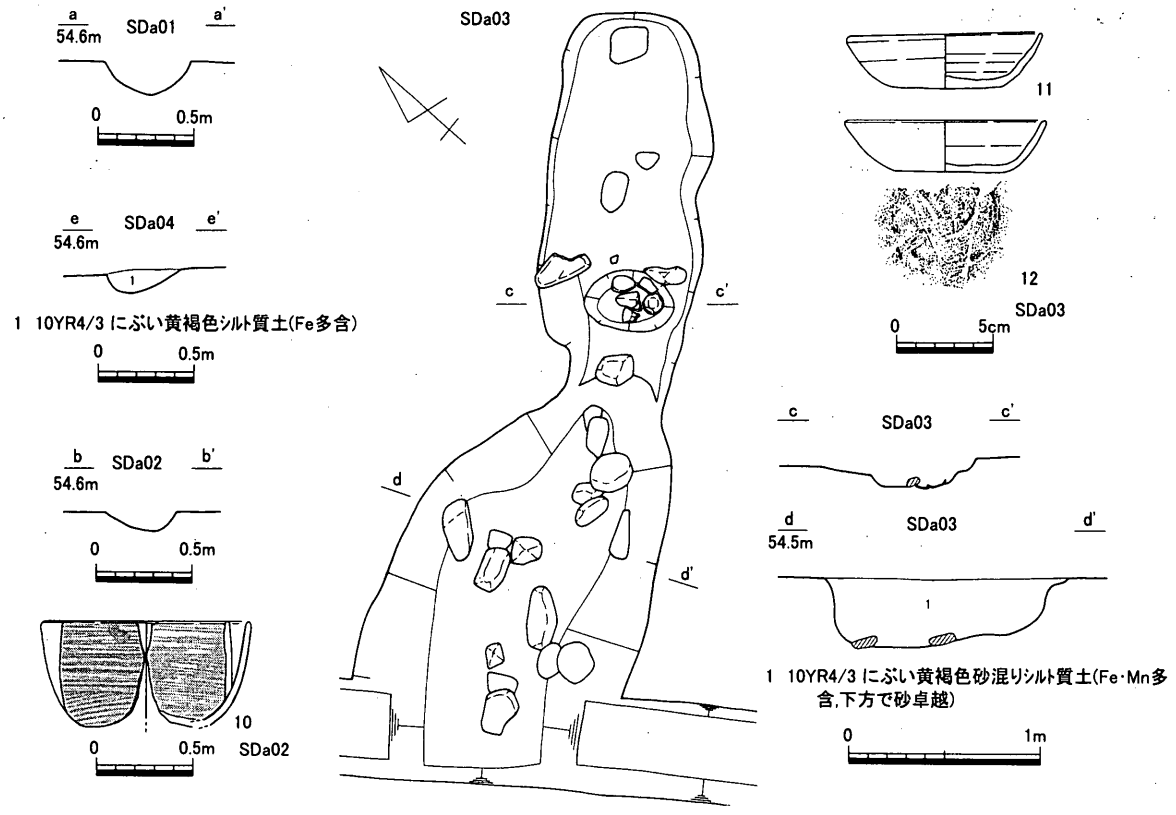
（３）溝状遺構

SDa01（第 15 図）

Ｂ９区北西部の上層遺構面上で検出した東西方向の溝である。東端部では SDa02 が分岐している。この溝は SBa04 の北側柱列より北に約 1.0 m隔て、建物主軸に揃えて配されていることから、SBa04 の雨落ち溝の可能性が高い。断面は浅いＵ字状を呈し、検出長 4.5 m、幅 0.5 m、深さ 0.2 mを測る。この溝は、後述する SDa02 と一連の遺構であることから、SDa02 と同一時期と考えられる。

SDa02（第 15 図）

Ｂ９区北西部の上層遺構面上で検出した SDa01 より北に分岐し、途中で東に大きく湾曲する溝である。断面は浅いＵ字状を呈し、検出長 4.5 m、幅 0.4 m、深さ 0.1 mを測る。出土遺物としては、土師器、陶器の細片が数点出土した。10 は SDa02 の出土遺物で、18 世紀前半頃の肥前系陶器の刷毛目碗である。この遺構は、出土遺物から 18 世紀前半頃の時期が考えられる。



第 15 図 SDa01 ～ 04 平・断面図，出土遺物

SDa03（第 15 図）

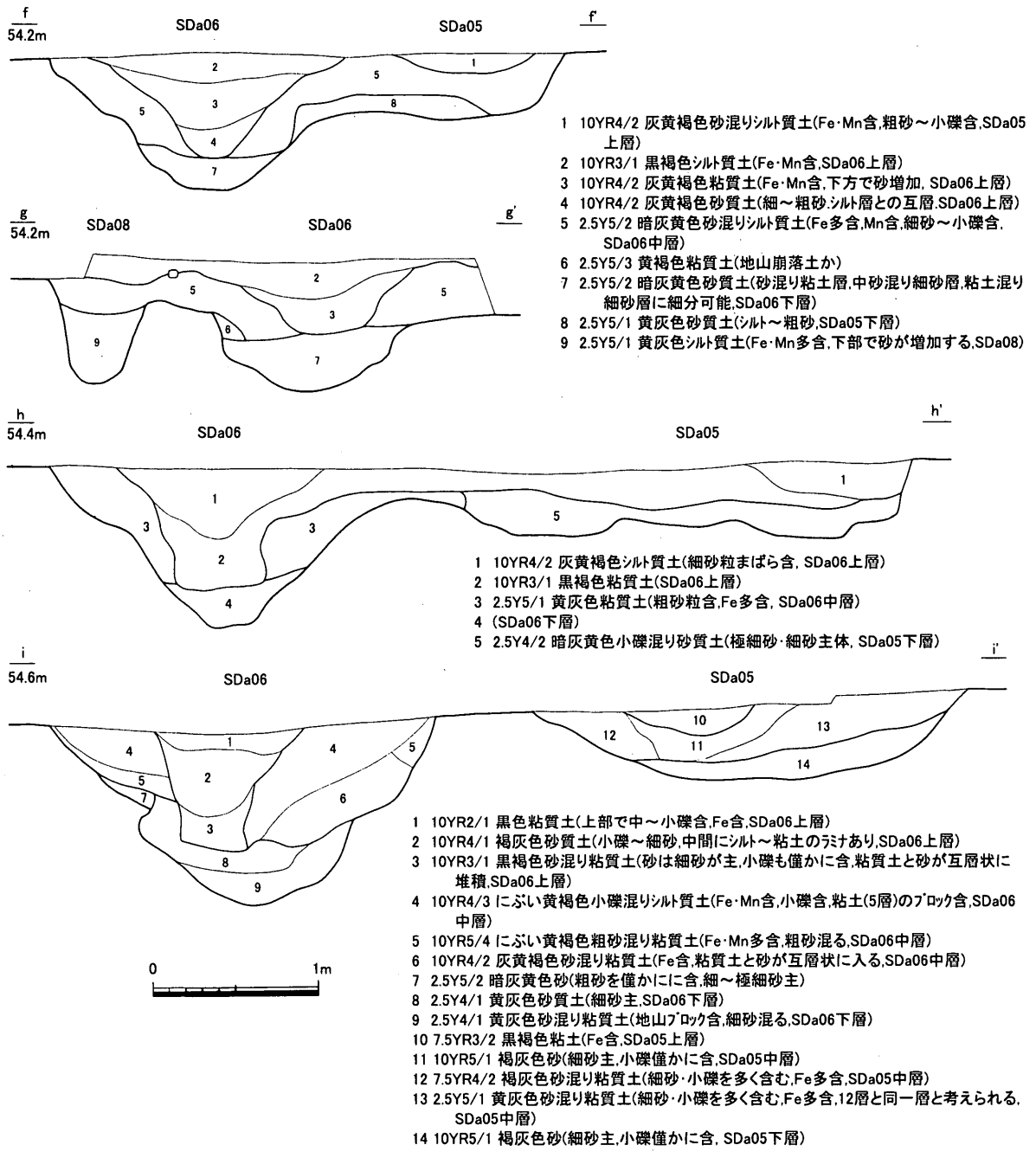
Ａ８区中央の上層遺構面上で検出した、東西方向の不整形な溝である。南西に傾斜する地形に影響を受けたものと考えられ、西に傾斜するにつれ幅も広くなり深さも増している。なお、溝底には 20 ～ 30cm 程の円礫が 20 数個出土した。断面は浅いＵ字状を呈し、検出長 3.9 m、幅 0.5 ～ 1.5 m、深さ 0.1 ～ 0.4 mを測る。11・12 は SDa03 から出土した土師器杯である。12 の杯底部外面には板状圧痕を顕著に残している。出土遺物からこの遺構は、12 世紀後半以降の時期が考えられる。

SDa04（第 15 図）

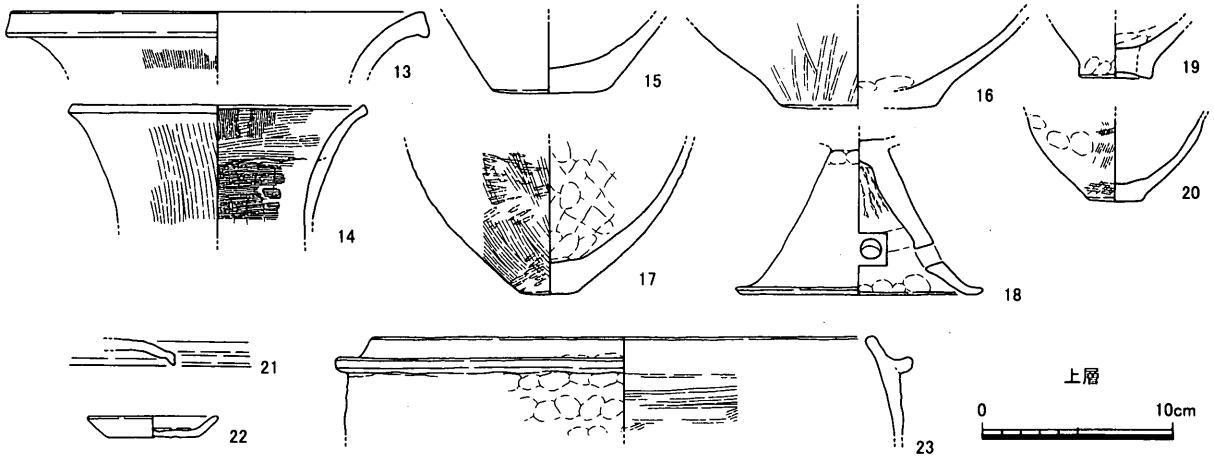
Ａ８区南部の上層遺構面上で検出した東西方向の溝である。断面は浅いＵ字状を呈し、検出長5.0 m、幅 0.4 m、深さ 0.1 mを測る。埋土は単層で黄褐色のシルト質土である。出土遺物としては、土師器、黒色土器Ａ類の小片が出土しており、出土遺物から 12 世紀以降の時期が考えられる。

SDa05（第 16 ～ 21 図）

Ａ８，Ｂ９・10 区の東辺、南北丘陵（末則丘陵）の裾部を等高線に沿うように南北に延びる大型の溝状遺構である。この溝の西側には SDa05 同様の大型の溝状遺構 SDa06 が同方向に配されていて有機的な関連性が伺える。溝の西辺は SDa06 と接するが、Ｂ 10 区の北端及びＡ８区の南端では分離している。この二つの溝は埋土の堆積状況より一時期同時並存していたものと考えられる。断面の形状は SDa06 と接する部分と分離している部分とでは異なるが、大まかには浅い幅広なＵ字状を呈するものといえる。検出長約 60.0 m、幅 1.5 ～ 3.0 m、深さ約 0.5 mを測る。埋土は地点により微妙に異なり、SDa05・06 間の堆積状況を見る限り、両者は少なくとも３時期以上の掘り直しが考えられる。掘削の順序を簡単にまとめれば、１段階－ SDa06（SDa06 が掘削される段階）２段階―SDa05・06（SDa05 が掘削され、06 も再掘削される。両者が接するＢ９・10 区では、3.0 ～ 5.2 m程の幅広の溝を形成している）３段階 SDa05・06 とも再掘削されるが、規模は小さくなる。以上の経



第 16 図 SDa05・06・08 断面図



第 17 図 SDa05 出土遺物 (1)

過が認められる。

出土遺物は多量で、調査時には上・中・下層の３段階で取り上げていたが、遺物整理においてはその層位的区分を、先に述べた掘削段階をもとに再区分をしようとしたが、不可能であった。そのため、調査時での取上げ区分をものに報告する。

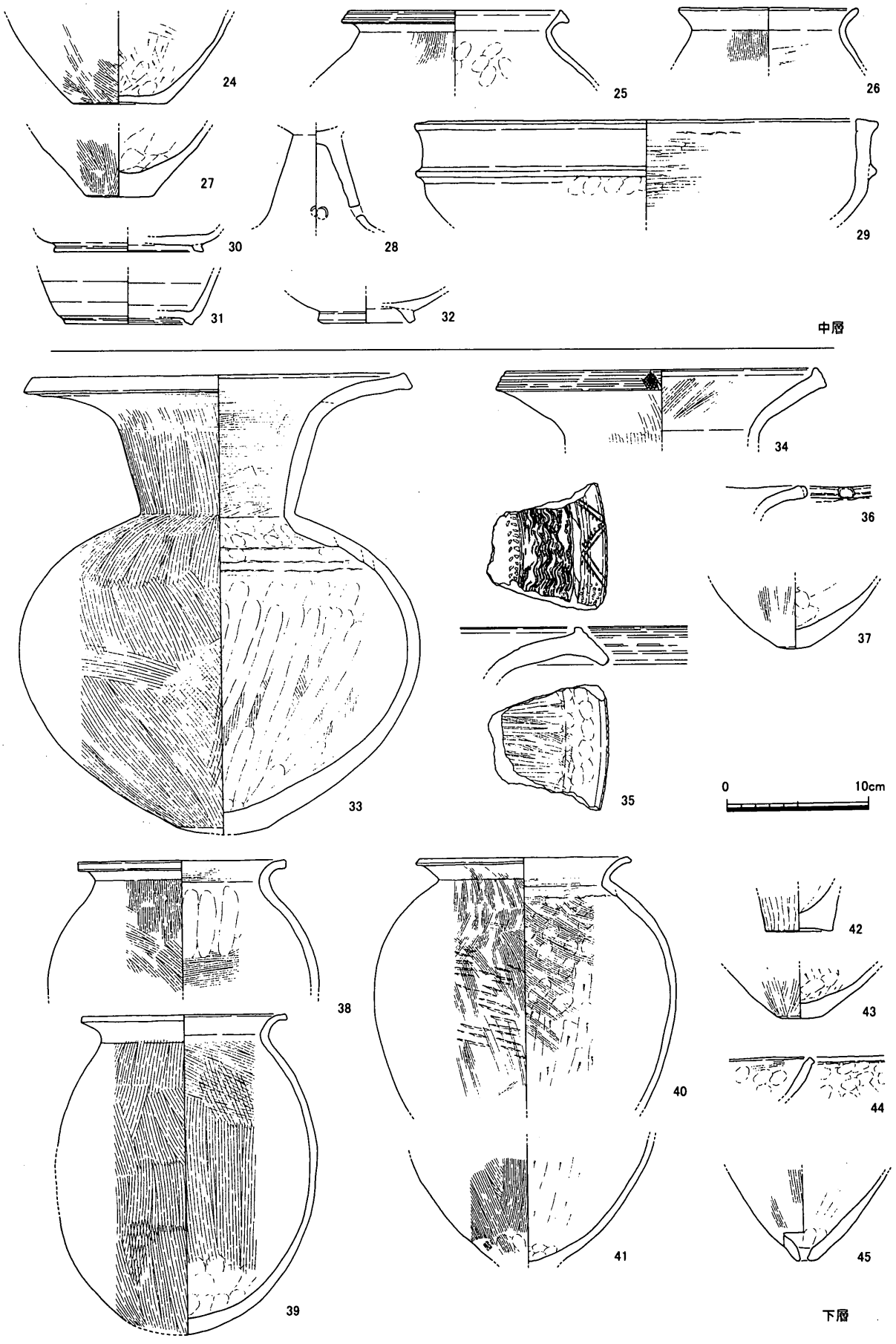
上層としてあげられるものは、13 ～ 23 の土器である。弥生後期・古代前半・古代末～中世の遺物等が含まれているが、奈良・古代末～中世の遺物等は混入の遺物と考えられる。13 ～ 20 は弥生後期の土器である。13・14 は広口壺の口縁部、15・16 は壺の底部である。17 は尖り気味ながら小さな平底を呈する、小型の甕の下半部である。18 は高杯の脚部、19・20 は小型の鉢である。21 ～ 23 は奈良・中世後半の資料で、混入品である。21 は８世紀頃の須恵器杯蓋の口縁部である。22 は中世後半の土師器の小皿、23 は土釜の口縁部である。

中層としてあげられるものは、24 ～ 32 の土器である。上層同様に古代前半・中世の遺物等が含まれているが、奈良・中世の遺物等は混入の遺物と考えられる。24 ～ 29 は弥生時代中～後期の土器である。24 は壺の底部で、形状より弥生時代後期前半頃の土器と考えられる。25・26 は甕の上半部にあたる。25 の口縁部には退化した凹線文を残し、後期の前半頃の甕であろう。27 は甕の底部、28 は高杯の脚部である。29 は口縁部の下に小さな突帯をもつ鉢の上半部である。30・31 は、８世紀頃の須恵器高台付杯の底部である。32 は黒色土器 A 類の椀である。

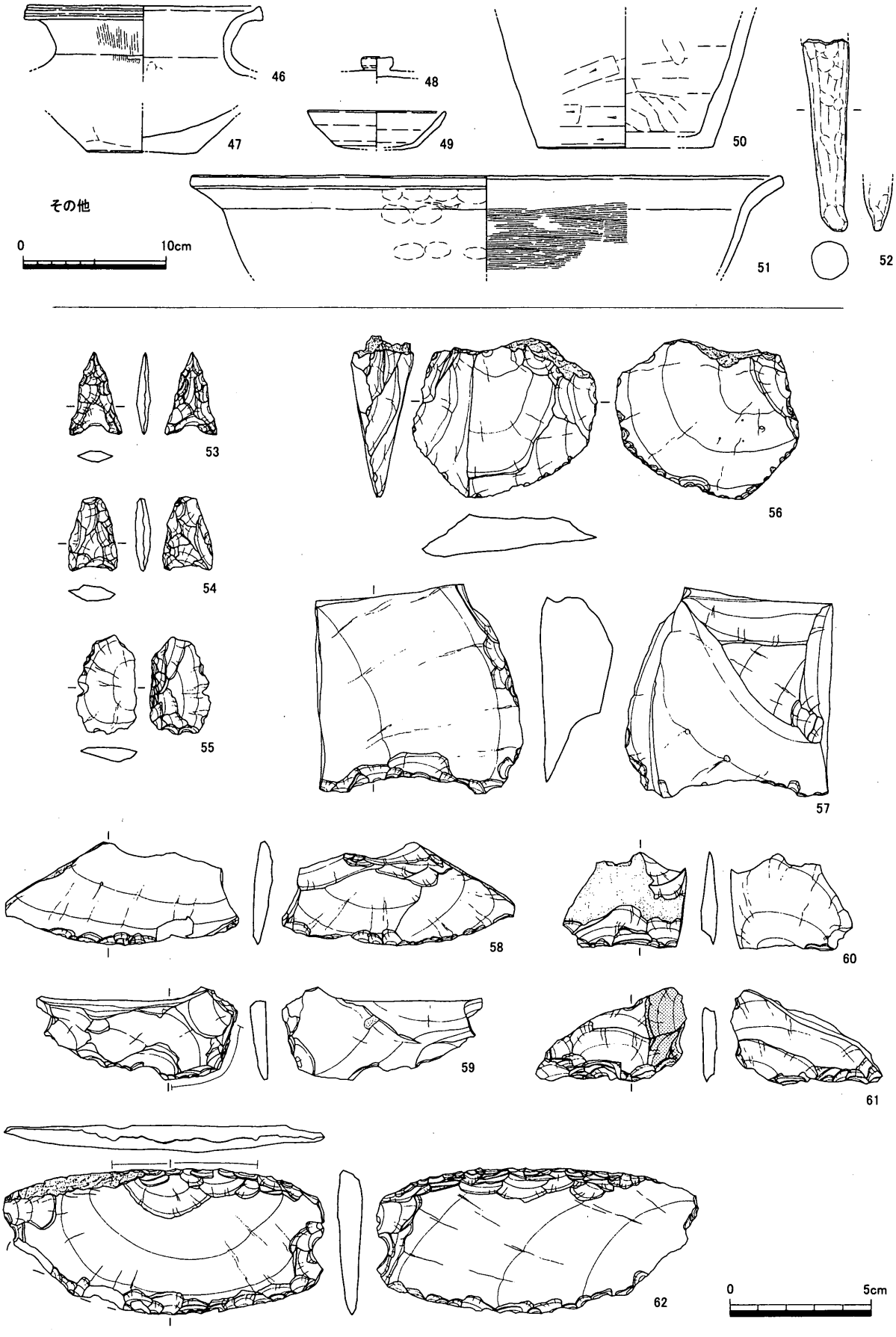
下層としてあげられるものは、33 ～ 45 の土器である。上・中層と異なり、古代前半・中世の遺物は混入していない。33 ～ 37 は弥生後期の壺の資料である。33 は弥生後期末頃の広口壺である。比較的残りが良く、ほぼ完形に復元できた資料である。口縁部はラッパ状に大きく開き、体部は球体化が著しいが、底部は僅かに平底を呈している。下川津Ⅴ式段階前後の土器であろう。34 は口縁部端部に退化した凹線文を数条残した、弥生後期の前半頃の広口壺の口縁部である。35 は波状文、刺突文等を顕著に施した、比較的大型の広口壺の口縁部である。36 は円形浮文を施している、広口壺の口縁部である。37 は平底を僅かに残す、後期末頃の小型壺の底部である。38 ～ 43 は弥生後期末～古墳時代前期初頭頃の甕の資料である。38・39 は「S」字状の口縁部を呈する同タイプの甕である。39 は長胴気味の体部を呈し、底部は丸底化しており、下川津Ⅵ式段階の甕である。40 は底部を欠く甕の上半部、41 ～ 43 は甕の底部である。44 は鉢口縁部、45 は甑の底部である。

46 ～ 52 の出土遺物は一括で取り上げた、その他の土器である。48 ～ 52 の土師器、須恵器等は混入の遺物と考えられる。46・47 は弥生時代後期の壺の口頸部、及び底部である。48 は８世紀頃の須恵器高台付杯の蓋、49 は 12 世紀以降の土師器杯である。50 は十瓶山窯跡の須恵器壺の底部である。51 は土師器土鍋、52 は土師器土釜の脚部である。

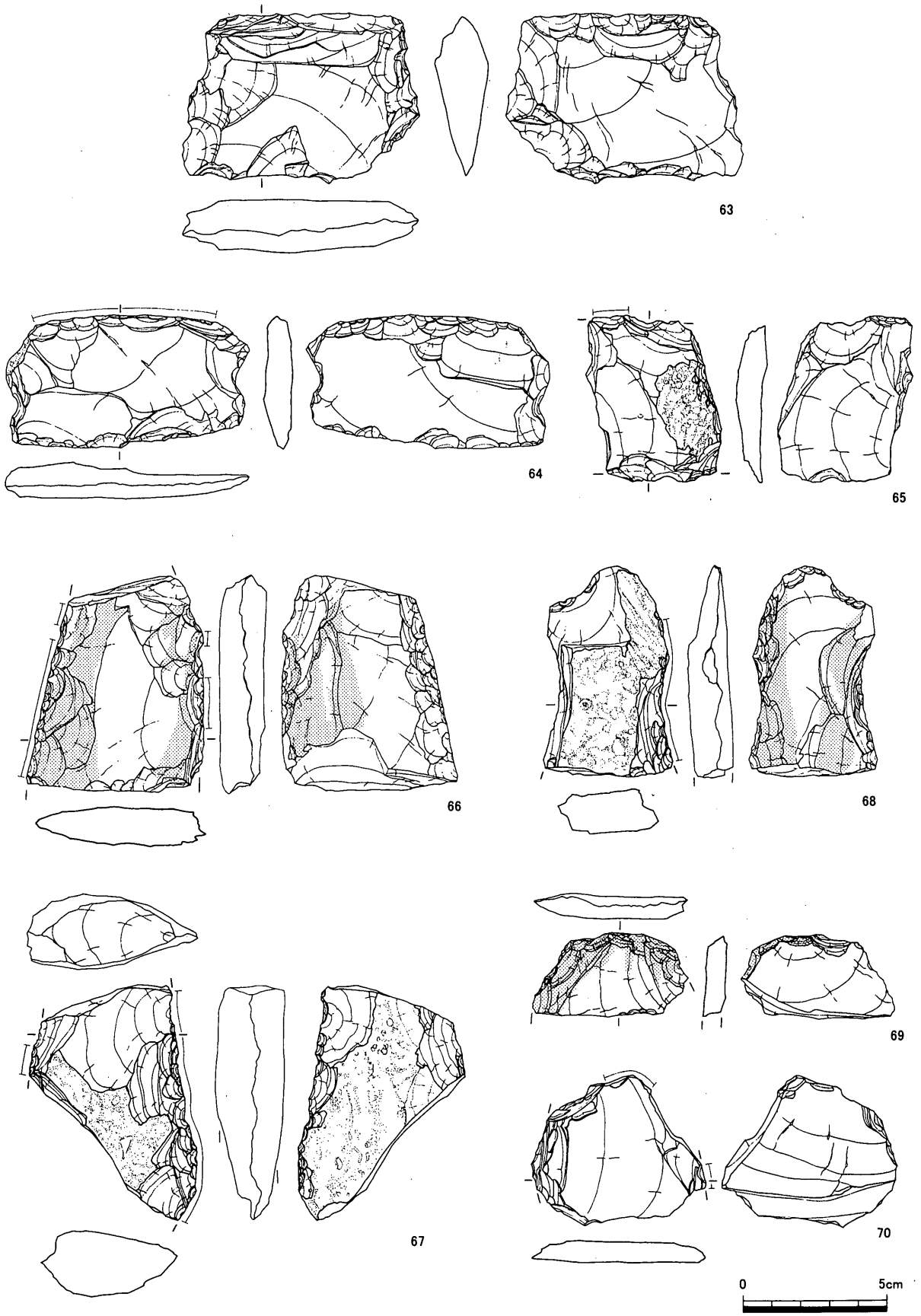
53 ～ 79 は SDa05 から出土した石器類である。53 ～ 55 はサヌカイト製の石鏃類である。55 は素材に横長状の剥片を用い、片面に素材の剥離面を大きく残している、石鏃の未製品と考えられる。56 ～ 61 はサヌカイト製の削器である。56 は側縁部に刃部を形成しているため削器と分類したが、背面部には横長状の大きな剥離痕を残していて、石核転用の削器の可能性が高い。62～65はサヌカイト製の打製石庖丁類である。63 を除いて側縁部にマメツ痕が認められる。63 は調整が比較的荒く、側縁部に使用痕ないし装着痕と考えられるマメツ痕が認められないため、打製石庖丁の未製品に分類した。66 ～ 73 はサヌカイト製の打製石斧片である。側縁部及び体部外面にマメツ痕を残すものが多い。66・67・71・72 は体部、68 ～ 70 は基部、73 は先端部片である。74・75 はサヌカイト



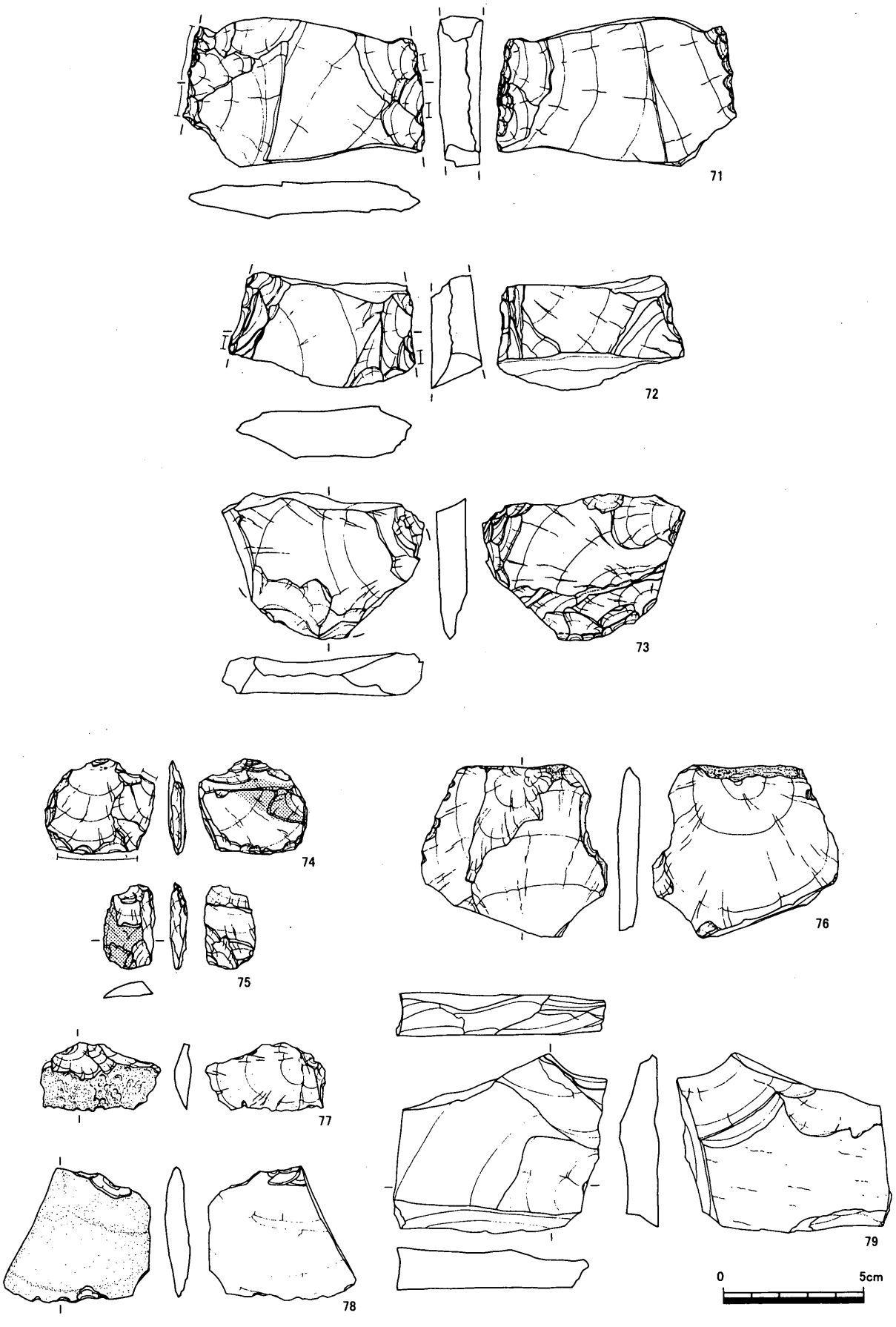
第 18 図 SDa05 出土遺物 (2)



第19図 SDa05出土遺物 (3)



第 20 図 SDa05 出土遺物 (4)



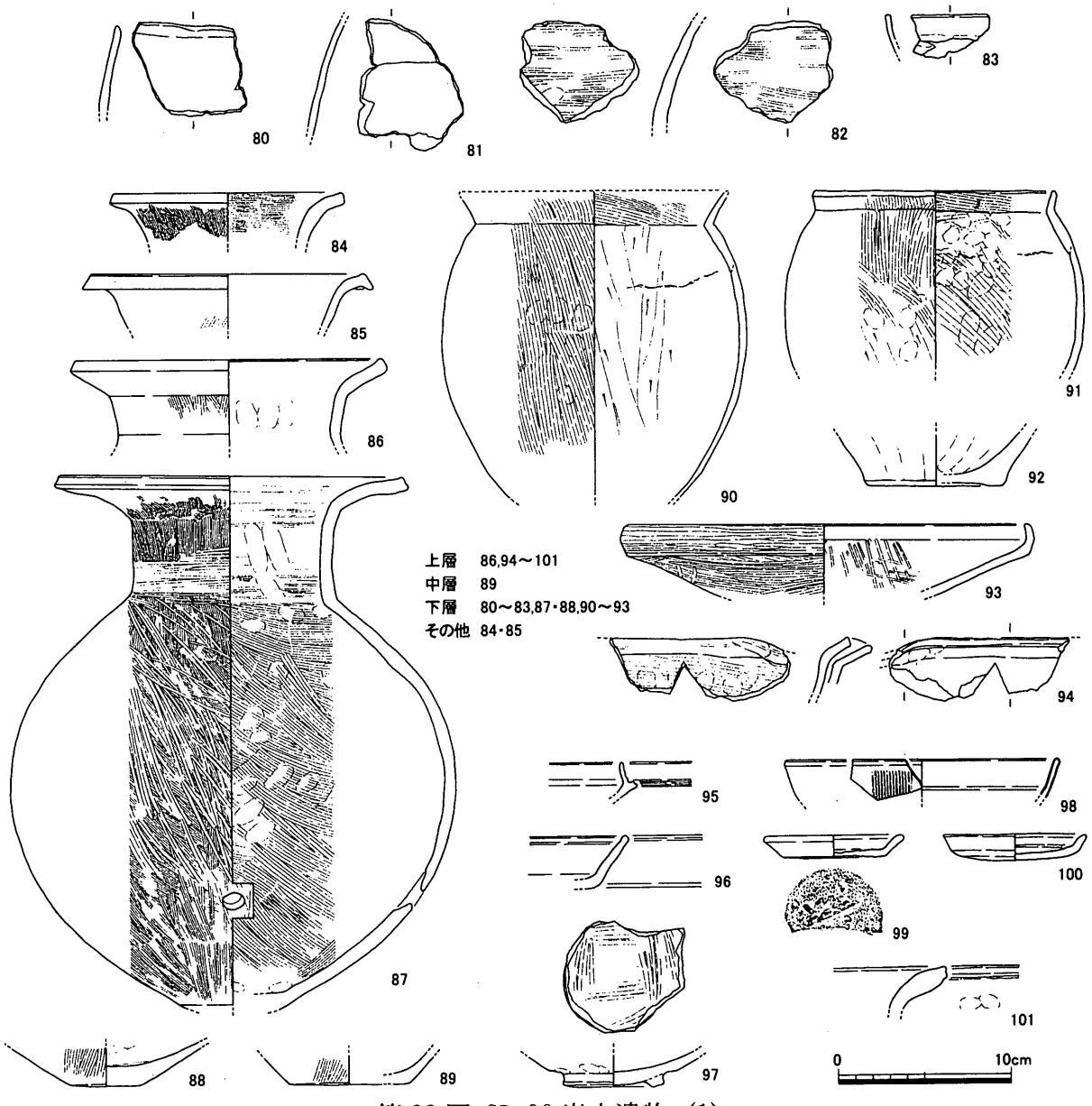
第 21 図 SDa05 出土遺物 (5)

製の楔形石器類である。74 は明瞭な裁断面をもたないため、楔形石器の未製品として分類した。76 はサヌカイト製の調整ある剥片、77 はサヌカイト製の剥片でかなり風化している。78 は安山岩の剥片である。79 は、サヌカイト製の板状の肉厚な剥片を素材とした石核である。形状より不整形な横長状の剥片を剥ぎ取った石核と考えられる。

上記の出土遺物を概観し、SDa05 の掘削時期の上限を、下層出土の遺物をもとに考えた場合、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の時期が考えられる。なお、SDa05・06 の２つの溝は、来年度以降に報告対象となる、北側の C13, B16 ～ 18 区へ続いており、総検出長は約 300 m を測る。また、これらの溝の性格は、周辺地域に張り巡らされる農耕用の灌漑用水路の中でも、根幹となる幹線水路と考えられる。

SDa06（第 16・22・23 図）

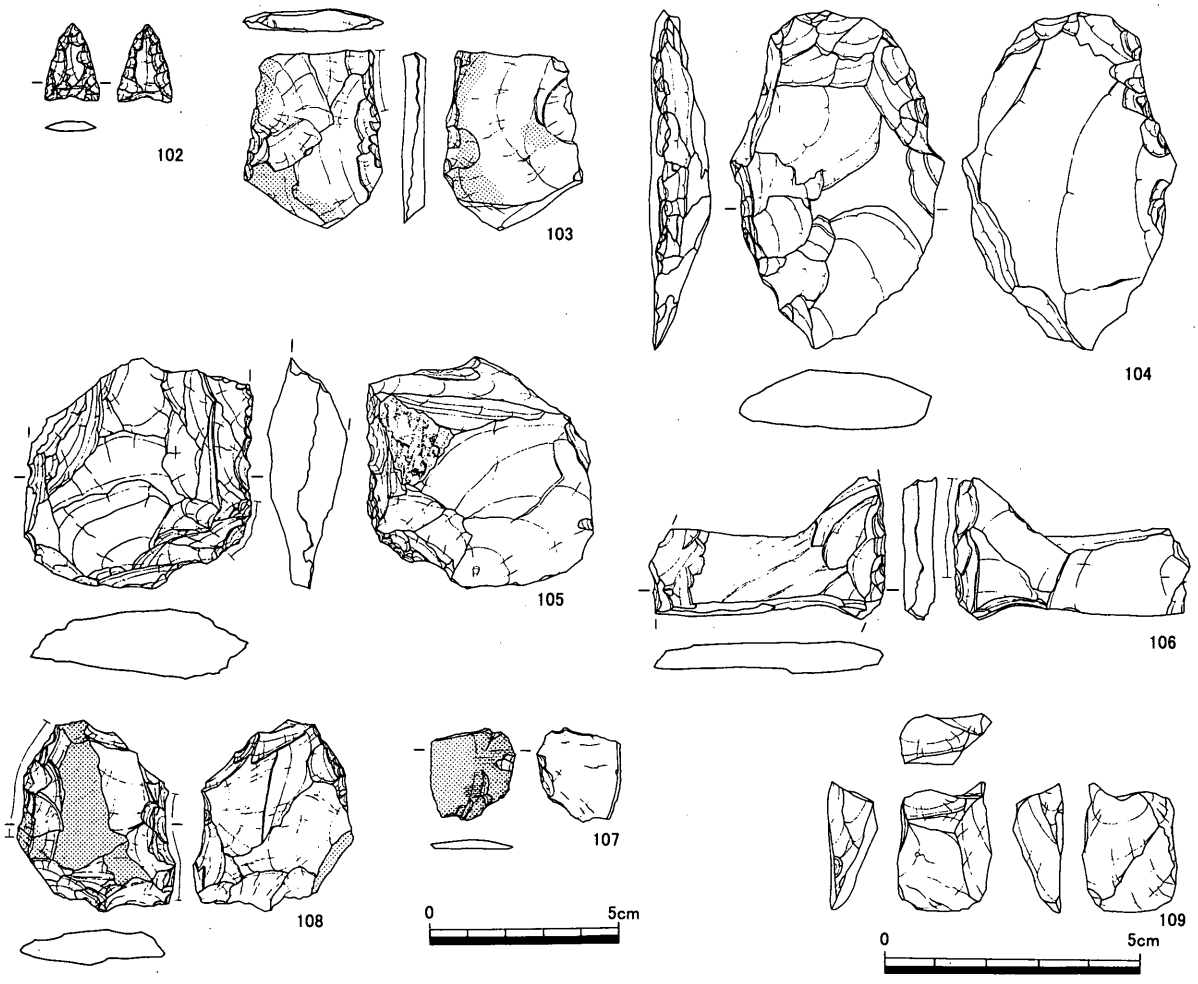
Ａ８，Ｂ９・10 区の東辺、南北丘陵（末則丘陵）の裾部を等高線に沿うように南北に延びる大型の溝状遺構である。東側には大型の溝状遺構 SDa05 が同方向に配されている。溝の東辺は SDa05 と



第 22 図 SDa06 出土遺物（1）

接するがＢ 10 区の北端及びＡ８区の南端では分離し、北端部では北西斜面部から北に向きを変え、次年度以降に報告するＣ 13 区へ続くものと考えられるが、その接点の箇所を SXa03 が切り込んでいるため詳細な点は検討を要する。南端部では南西方向へ向きを振る。先にも触れたように、SDa05・06 は埋土の堆積状況より一時期同時並存していたものと考えられる。断面の形状は地点により異なるが、大まかには幅広なＵ字状を呈するものといえる。検出長約 67.0 m、幅 1.5 ～ 2.5 m、深さ 0.8 ～ 1.0 mを測る。SDa05・06 間の堆積状況については先に触れたように、SDa05・06 は少なくとも３時期以上の掘り直しが考えられる。再度略述すれば、１段階－ SDa06（SDa06 が掘削される段階）２段階―SDa05・06（SDa05 が掘削され、06 も再掘削される。両者が接するＢ９・10 区では、3.0 ～ 5.2 m程の幅広の溝を形成している）３段階 SDa05・06 とも再掘削されるが、規模は小さくなる。以上の経過が認められる。

80 ～ 101 は SDa06 から出土した土器である。調査時においては、上・中・下層の３段階で取り上げており、調査時での取り上げ区分をもとに区分すれば、上層 86・94 ～ 101、中層 89、下層 80 ～ 83，87・88，90 ～ 93 に分けられる。80 ～ 83 は縄文土器の深鉢片である。器面はマメツしており詳細な点は不明である。いずれの土器もＡ８区の下層から出土している。この地域は開折谷の谷口にあたり、これらの縄文土器は開折谷の遺物の可能性がある。84 ～ 89 は弥生後期後半の壺である。84 ～ 86 は広口壺の口頸部である。87 は底部の一部を欠くが、ほぼ完形の広口壺である。下半部に楕円形状の穿孔が認められる。形状より下川津Ｖ式前後の土器であろう。88・89 は壺の底部片である。



第 23 図 SDa06 出土遺物（2）

89の底部はしっかりした平底を呈し、後期でも前半頃に当たる可能性が高い。90～92は弥生後期の甕である。90・91は底部を欠き、91は短い口縁部が体部に付くタイプの甕である。93は弥生中期後半～後期前半頃の高杯の杯部である。口縁部は内湾し、外面にはヘラミガキを顕著に施している。94は弥生後期の片口鉢の口縁部である。95～101は上層出土遺物の中で、混入品と考えられる遺物である。95は6世紀後半の須恵器杯身の口縁部、96は8世紀頃の須恵器杯の口縁部である。97は西村産の須恵器椀の底部である。98は青磁碗の口縁部片、99・100は土師器小皿、101は土師器土鍋の口縁部片である。

102～109はSDa06から出土した石器類である。102はサヌカイト製の石鏃である。103はサヌカイト製の槍先形石器片である。調整が及んでいない箇所が多く未製品の可能性があるが、側縁部及び器面にマメツ痕が認められるため完成品とした。104は流紋岩製の横長状の剥片を用いた削器である。105～108はサヌカイト製の打製石斧片である。105は打製石斧の先端部と考えたが、比較的大きな剥離痕が認められる点より、石核に含めるものかもしれない。106は石斧の体部片、107は一見磨製石斧片のように見えるが、一方向のマメツ痕が顕著な打製石斧と考えた。109はハリ質安山岩製の楔形石器と分類したが、器面調整の形状及び樋状剥離痕とも見られる縦長の小剥離痕、細石刃核に多いハリ質安山岩を素材に用いる等より、旧石器時代の「細石刃核」の可能性が考えられるが、他の関連遺物が見当たらないため、今回可能性を指摘するのみにとどめる。

上記の出土遺物を概観する限り、SDa06の掘削時期の上限は、弥生時代中期後半～後期前半頃の遺物を少量含むが、下層出土の遺物をもとに考えた場合、弥生時代後期末頃の時期が考えられる。

SDa07

B 10区北西部の下層遺構面上で検出した、SDa06より分かれる小溝である。断面は不整形なU字状を呈し、検出長3.0 m、幅0.4～1.0 m、深さ0.3 mを測る。検出状況よりSDa07は、SDa06より西へ分岐する小規模な灌漑用の溝で、時期的な点ではSDa06とほぼ同一の時期が考えられる。

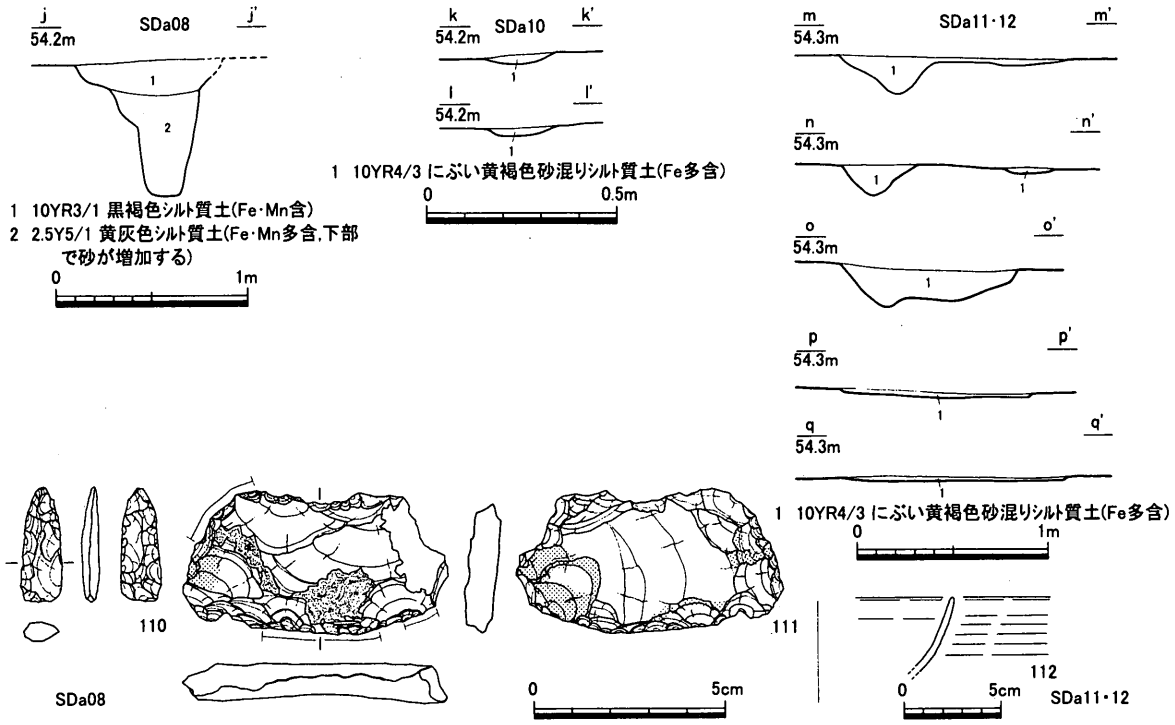
SDa08（第24図）

B 10区中央の下層遺構面上で検出した、SDa07同様にSDa06より分かれる溝である。断面は不整形な逆台形状を呈し、比較的直線状に延びる。検出長12.0 m、幅0.5～1.0 m、深さ約0.7 mを測る。埋土はSDa06に類似し、SDa06と並存し分岐する溝であることは間違いなく、弥生後期末頃の時期が考えられる。これらの諸点よりSDa08は、灌漑用の幹線水路であるSDa06より、恒久的に北西方向の段丘面上に導水するための灌漑水路と考えられる。出土遺物としては、弥生土器、須恵器片、サヌカイト製の石器類等が少量出土した。110・111はSDa08から出土した、サヌカイト製の石鏃及び打製石庖丁である。111の石庖丁は不整形ながらほぼ全周に刃部の調整を施し、部分的にマメツ痕を残している。

SDa10（第24図）

B 9区中央の下層遺構面上で検出した、東西方向に延びる残りの悪い小溝である。断面は浅い皿状を呈し、比較的直線状に延びる。検出長8.0 m、幅約0.4 m、深さ約0.1 mを測る。埋土は単層である。出土遺物としては、時期不詳の須恵器片が出土しているだけで、詳細な時期については問題を残すが、SDa11・12等に類似する時期が考えられる。

SDa11（第24図）



第 24 図 SDa08・10 ～ 12 断面図，出土遺物

B 9 区南半部の下層遺構面上で検出した、東西方向に延びる不整形な溝である。削平を受けたものと考えられ、途中で途切れている部分もある。形状はかなり不整形で東端部では幅広に肥厚している。なお、西端部では SDa12 と切り合う。断面は浅い皿状を呈し、検出長 5.0 m、幅約 0.2 ～ 2.0 m、深さ約 0.1 mを測る。埋土は単層で SDa12 の埋土とほぼ同一である。そのため、SDa12 との前後関係は不明である。出土遺物としては、土師器、須恵器片が少量出土した。112 は SDa11 から出土した須恵器杯で、この土器は SDa12 から出土した可能性もある。出土遺物より 12 世紀以降の時期が考えられる。

SDa12（第 24 図）

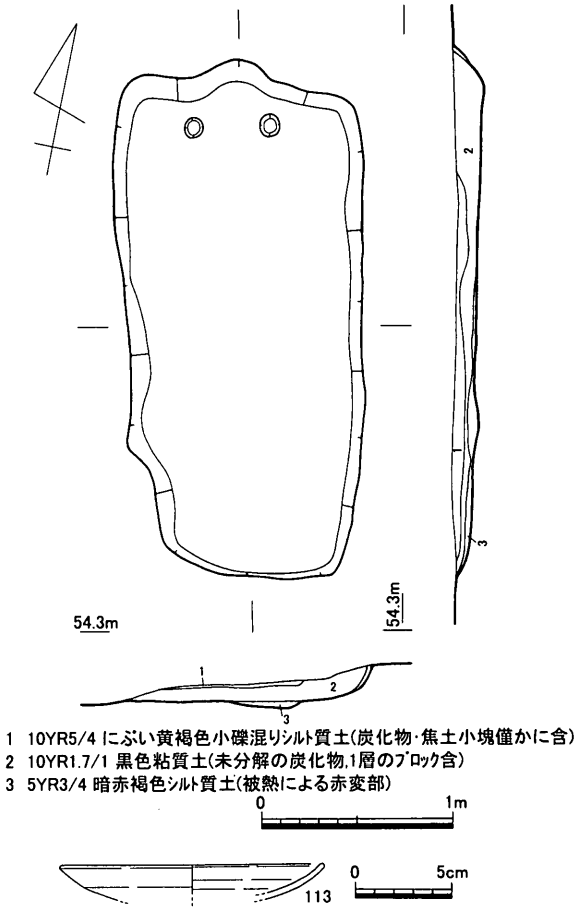
B 9 区南半部の下層遺構面上で検出した、現状の地割り方向に沿うように東西方向に延びる溝である。削平を受けたものと考えられ、形状は不整形で東端部では SDa11 同様に幅広に肥厚している。なお、西端部では SDa11 と切り合い、東端端部では SDa06 を切り込んでいる。断面は幅広 U 字状を呈し、検出長 8.0 m、幅約 0.7 ～ 1.7 m、深さ約 0.2 ～ 0.4 mを測る。埋土は単層で SDa11 の埋土とほぼ同一である。そのため SDa11 との前後関係は不明である。この溝は東端部が肥厚する事や埋土が類似する点等、近接する SDa11 と類似し、時期的にも大差があるものとは考えられない。これらの点より、SDa10 ～ 12 等の溝は丘陵裾部より流下する流れを、後述する SDa15・16 等の幹線水路に導水する目的で、斜面部に配された溝の可能性が高い。

（4）焼成土坑

SFa01（第 25 図）

B 10 区の中央部の上層遺構面上で検出した炭焼き窯と考えられる焼成土坑である。長楕円形状を呈し、北端部に煙出しが付く。断面は削平を受けたものか幅広で浅い逆台形状を呈する。床面上の一部には被熱により赤変している箇所が認められる。また、煙出しに隣接して一対の小ピットを

検出した。長径 2.7 m×短径 0.8 m、深さ 0.1 mを測る。埋土は複数に分かれ、炭化物・焼土小塊等を含む。113 はSFa01から出土した土師器の皿である。出土遺物よりこの遺構は 12 世紀前半以降の時期が考えられる。



第 25 図 SFa01 平・断面図，出土遺物

（5）不整形遺構

SXa01（第 26 図）

Ａ８区の西辺部の上層遺構面上で検出した不整形な遺構である。西半部は東壁より外に延びるため、全体の形状は定かではないが、壁際になる程深さを増す点より、おそらく西斜面部に延びる雨裂状の遺構と考えられる。なお、この遺構に近接する SXa02 も同様の遺構と考えられる。断面は幅広の「V」字状を呈し、埋土は上・下２層に分かれる。長径 1.2 m以上×短径 1.2 m、深さ約 0.7 mを測る。詳細な時期は不明であるが、おそらく 12 世紀後半以降の時期が考えられる。

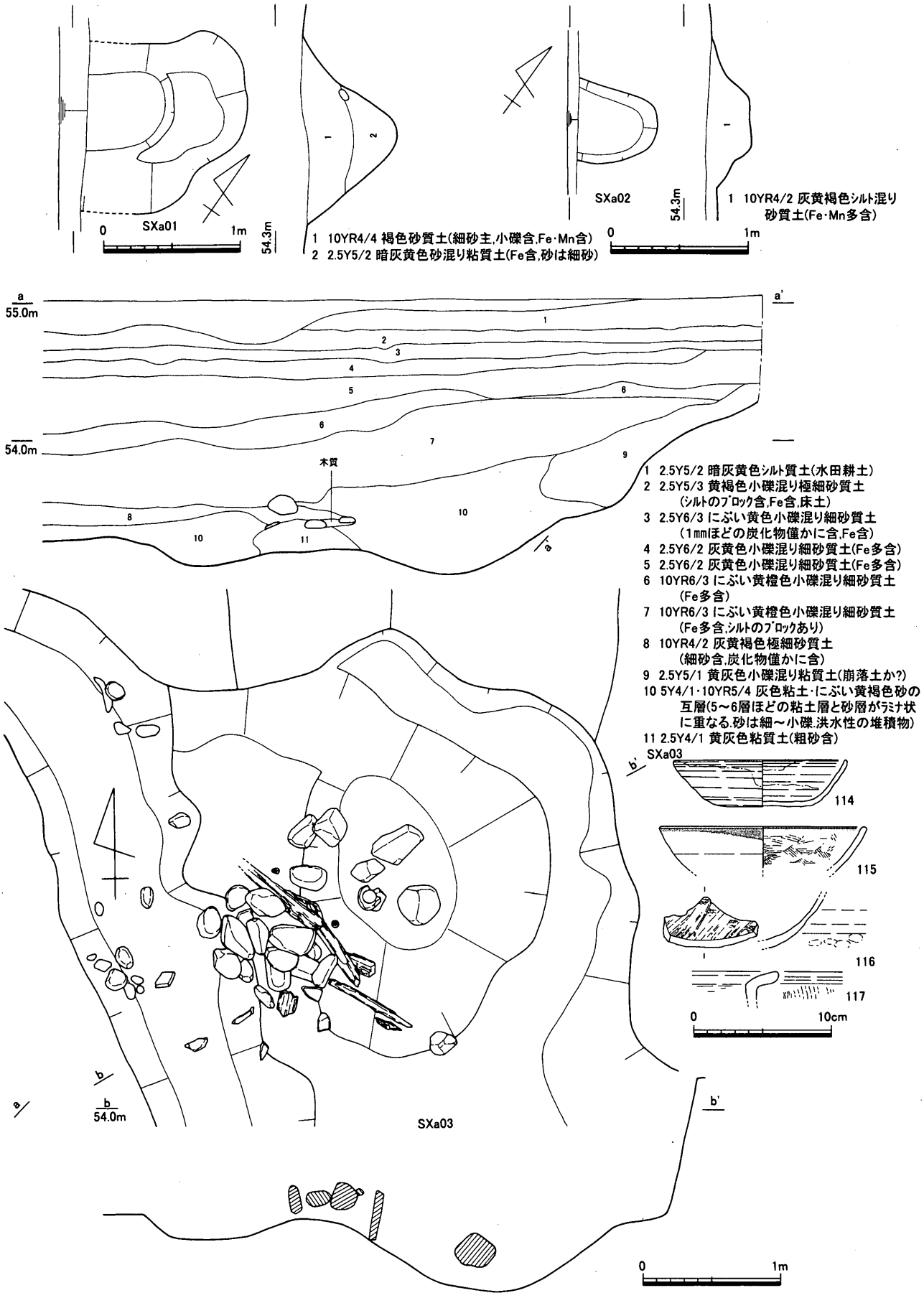
SXa02（第 26 図）

SXa01 同様、Ａ８区の西辺部の上層遺構面上で検出した雨裂と考えられる不整形な遺構である。西半部は東壁より外に延びるため、全体の形状は定かではない。なお、先述したが、この遺構に近接する SXa01 も同様の遺構と考えられる。断面は不整形な逆台形状を呈し、埋土は単層である。長径 0.6 m以上×短径 0.6 m、深さ約 0.3 mを測る。出土遺物は土師器の細片が数点出土しているのみで、詳細な時期は不明であるが、SXa01 同様に 12 世紀後半以降の時期が考えられる。

SXa03（第 26 図）

Ｂ10区北端で検出した不整形な出水状の遺構である。西辺部には付随するSDa30がSXa03に接する。東辺部は花崗岩の地山からなる斜面部を切り込んでいる。また、この遺構は、Ｂ10区よりＣ13区へ続くと考えられる SDa06 を切り込んでいる。平面は不整円形を呈し、断面は削平を受けたものか浅い半円状を呈する。長径 3.5 m×短径 3.0 m、深さ約 0.7 mを測る。埋土に粘土層と砂層が相層に堆積する層が主である。なお、西辺に付随する SDa30 との間には、多数の円礫及び木杭等が出土していて、水の出入りを調整した堤状の遺構が想定できる。出土遺物としては、土師器杯、須恵器椀、土師器土鍋等が少量出土した。114は土師器杯で、煤の付着状態より灯明用に転用しているものと考えられる。115・116 は須恵器の椀で、おそらく西村産である。出土遺物より SXa03 は、12 世紀前半以降の時期が考えられる。

SXa03に付随するSDa30は、現在の末則用水の配置に似ており、末則用水の前身となる水路の可能性が高い。その水路の方向を追えば、SDa30 の中間に位置する SXa03 を屈曲点として、SDa30 の北半部は現状の地割りに沿うように西に向きを変え、現在の末則用水の方向へ延びる。SXa30 より南



第 26 図 SXa01 ～ 03 平・断面図，出土遺物

半部は不明瞭ながら、丘陵裾部の地形に沿いながら、末則用水の前身の溝と考えられるSDa15・16方向に延びており、これらの溝に繋がる可能性が高い。なお、次年度以降の整理対象区であるD地区のC13区では、SDa30に切られる数条の南北溝を検出している。これらの溝には8世紀頃の溝も含まれており、末則用水以前の灌漑水路として、今後検討を加える必然性が高いものと考えられる。

(6) 包含層出土の遺物

A8，B9・10区の包含層中からは縄文土器、弥生土器、石器類、古代から中近世にかけての遺物が多量に出土した。その包含層出土土器類を大まかに4つに分けた。内訳は ①上層遺構面より上位の遺物を上位包含層出土土器 ②上層遺構面と下層遺構面間の物を下位包含層出土土器 ③北西斜面部より出土した土器を北西斜面部出土土器 ④機械掘削時等の出土層位が不確定な土器をその他土器 以上の4区分で報告する。なお、この区分は大まかなもので、取り上げ時での混入遺物等が、かなり存在しているものと考えられる。なお、石器類については一括して掲載した。

上位包含層出土の土器（第28・29図）

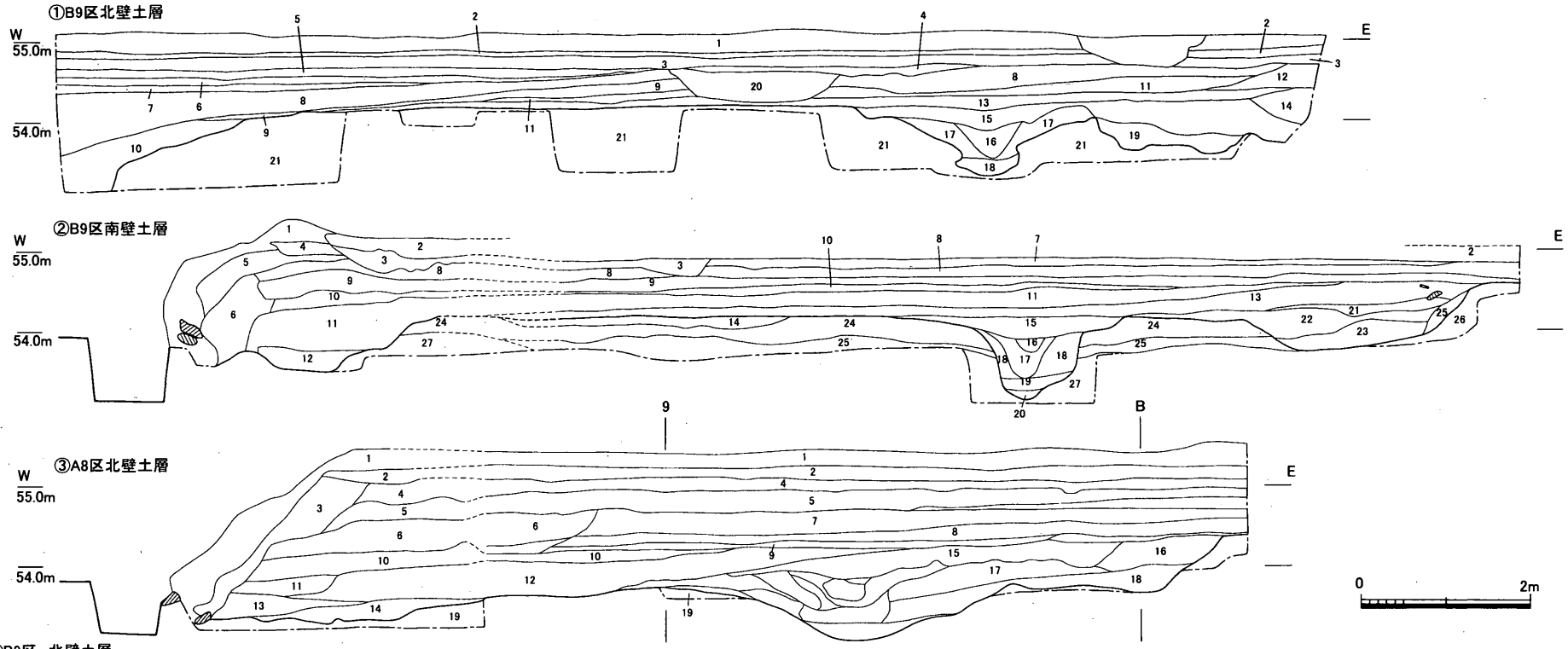
118～163は上位包含層出土の土器類である。118は円形浮文を施した、弥生後期の広口壺の口縁部である。119～125は古代の須恵器類である。119は6～7世紀初頭の杯蓋の天井部、120・121は8世紀頃の高台付杯の底部である。122・123は壺の口縁部、123・124は8世紀頃の、長頸壺の口頸部及び底部である。125は大甕の上半部で、内・外面伴にタタキ調整が顕著である。126～137は古代～中世の土師器・須恵器等の供膳形態の土器である。126～128は土師器杯、129・130は須恵器杯である。131～134は須恵器椀で、135は土師器椀、136は黒色土器A類の椀底部である。137は和泉型の瓦器椀の口縁部片である。今年度の整理対象地区からは瓦器の出土が少なく、希少な資料である。138～143は供膳形態の陶磁器類である。138は中国産の白磁鉢で、横田・森田編年Ⅳ類に当る。139は瀬戸美濃系の折縁皿、140・141は同安窯系の青磁碗、142は肥前系の磁器小杯、143は肥前陶器の陶胎染付碗である。144～163は煮沸、調理具類の資料である。144は土師器の取っ手付の甕、145は土師器甕の口縁部、146は十瓶産の甕の体部片である。147～150は土師器土鍋、151～160は土師器土釜で、151～154は口縁部で、155～160は脚部である。161は土師器甑の上半部、162は須恵器の捏鉢の下半部、163は須恵質の土瓶の注口部である。

北西斜面部出土の土器（第29図）

164～173は北西斜面部出土の土器類である。164は6世紀後半頃の須恵器杯身の口縁部である。165・166は12～13世紀前半頃の土師器杯、167・168は12世紀頃の黒色土器A類の椀である。169～171は和泉型の瓦器椀、172・173は土師質の竈片である。173は肉厚な縁部が外上方に外反し、炊口部の上端部を僅かに残している。

下位包含層出土の土器（第29・30図）

174～209は下位包含層出土の土器類である。174～181は弥生土器である。174は退化した凹線文を口縁部に施した、弥生後期前半頃の広口壺の口頸部である。175は頸部と体部の境に施した突帯部で、外面には刺突文を施している。176・177は大型壺の底部である。178は甕の口頸部、179は甕の底部である。180・181は高杯の脚部である。182～190は6・8世紀頃の須恵器杯の資料である。182は6世紀後半の杯身口縁部である。183～185は8世紀頃の高台付杯の蓋、186～190は同じく高台付杯身の底部である。191～193は土師器の杯である。194は10世紀頃の須恵器杯の底部である。195・196は土師器の小皿である。197・198は黒色土器A類の椀である。199～202は須



①B9区　北壁土層

1　水田耕土
2　5Y6/2 灰黄色小礫混りシルト質土
（1・3層がブロック状に混る,床土）
3　2.5Y6/2 にぶい黄色粗砂混りシルト質土
（Fe多含,造成土）
4　2.5Y6/3 にぶい黄色粗砂粒混りシルト質土
5　2.5Y6/3 にぶい黄色小礫混りシルト質土(Fe含)
6　2.5Y5/3 黄褐色小礫混りシルト質土(Fe多含)
7　2.5Y4/3 オリーブ褐色小礫混りシルト質土(Fe・Mn含)
8　2.5Y5/3 黄褐色粘質土(Fe多含)
9　2.5Y5/2 暗灰黄色粗砂粒混りシルト質土(Fe多含)
10　10YR4/2 灰黄褐色シルト質土
11　10YR5/2 灰黄褐色シルト質土(粗砂粒まばらに含)
12　2.5Y5/3 黄褐色粗砂混りシルト質土(Fe含)
13　10YR3/2 黒褐色シルト質土
14　10YR4/2 灰黄褐色シルト質土(粗砂粒まばらに含)
15　10YR4/2 灰黄褐色シルト質土
（細砂粒まばらに含,SDa06上層）
16　10YR3/1 黒褐色粘質土(SDa06上層)
17　2.5Y5/1 黄灰色粘質土
（粗砂粒含,Fe多含,10層に類似,SDa06中層）
18　(SDa06下層)
19　2.5Y4/2 暗灰黄色小礫混り砂質土
（極細砂・細砂主体,SDa05下層）
20　2.5YR6/2 灰黄色極細砂質土(Fe含,SKa02)
21　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質土
（高師子僧状のMn斑紋,ベース）

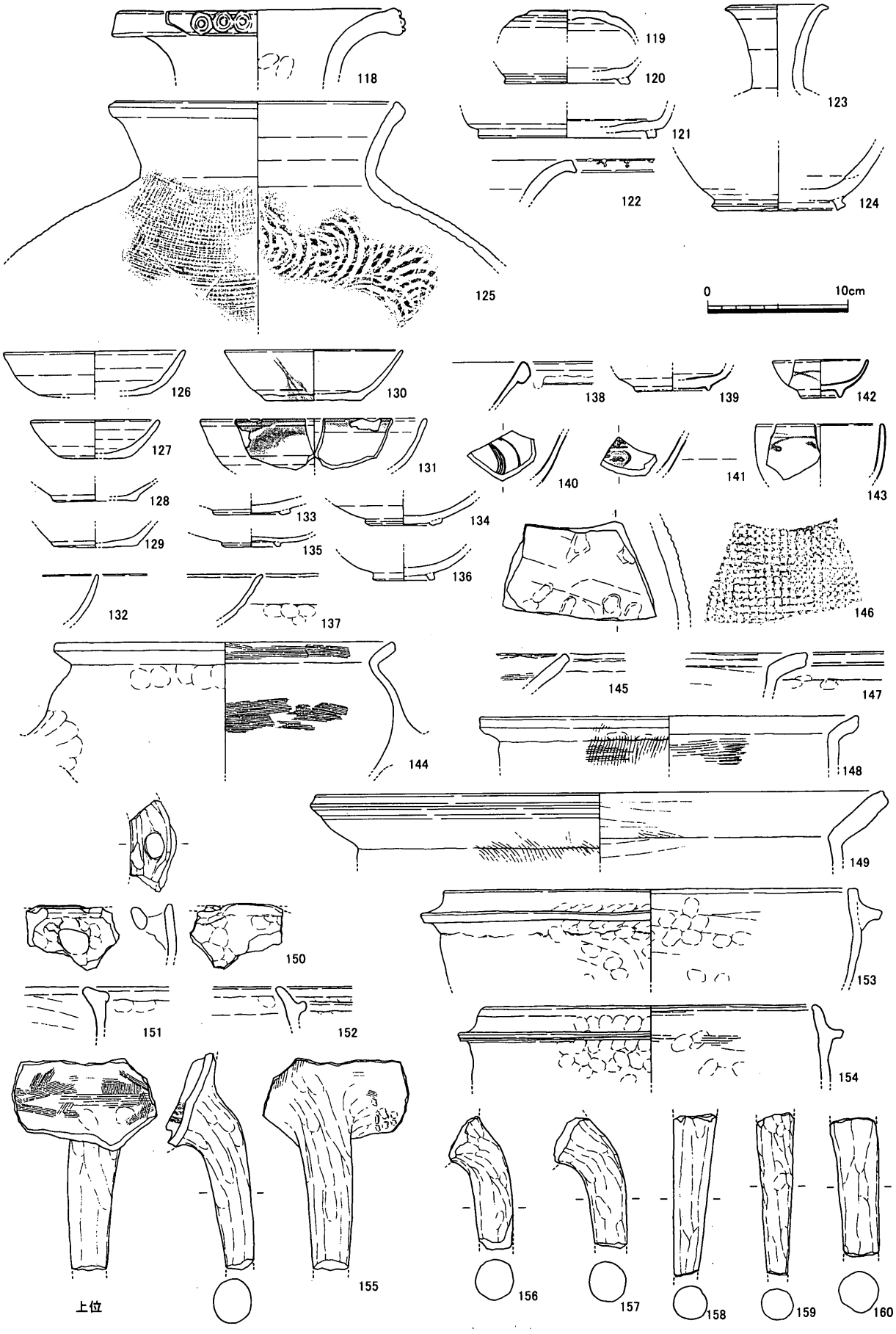
②B9区　南壁土層

1　表土
2　水田耕土
3　花崗土
4　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質土(旧耕土)
5　10YR5/4 にぶい黄褐色砂混り極細砂質土
（Fe多含,中礫含）
6　10YR5/4 にぶい黄褐色小礫混り極細砂質土
（5層より緻密）
7　10YR6/4 にぶい黄橙色小礫混りシルト質土(Fe・Mn含)
8　2.5Y6/3 にぶい黄色シルト質土(粗砂粒含,Fe多含)
9　2.5Y5/2 暗灰黄色小礫混りシルト質土(Fe・Mn含)
10　10YR5/2 灰黄褐色小礫混じりシルト質土(Fe・Mn含)
11　2.5Y5/1 黄灰色小礫混りシルト質土(Fe含)
12　10YR5/2 灰黄褐色シルト質土(小礫含,Fe含)
13　2.5Y5/2 暗灰黄色小礫混りシルト質土(Fe多含,炭化物片含)
14　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質土(小礫混る,Fe多含)
15　10YR3/3 暗褐色シルト質土
（粗砂粒僅かにに含,Fe多含,Mn含）
16　2.5Y4/1 黄灰色砂(細砂主,Sortあり,SDa06上層)
17　10YR2/1 黒色粘土(Fe含,SDa06上層)
18　10YR4/1 褐灰色小礫混りシルト質土(Fe含,SDa06中層)
19　10YR3/1 黒褐色粘質土(シルト含,SDa06下層)
20　10YR4/1 褐灰色砂混り粘質土
（細～中砂混,SDa06下層）
21　2.5Y4/1 黄灰色小礫混りシルト質土(Fe含)
22　2.5Y3/1 黒褐色粘質土(小礫含,Fe含,SDa05上層)
23　2.5Y5/1 黄灰色砂(細～中砂, SDa05下層)
24　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質土(小礫含,Fe多含)
25　2.5Y5/2 暗灰黄色砂(中砂～小礫)
26　花崗岩盤
27　5Y5/2 灰オリーブ色シルト質土
（Fe含,小礫まばらに含,ベース）

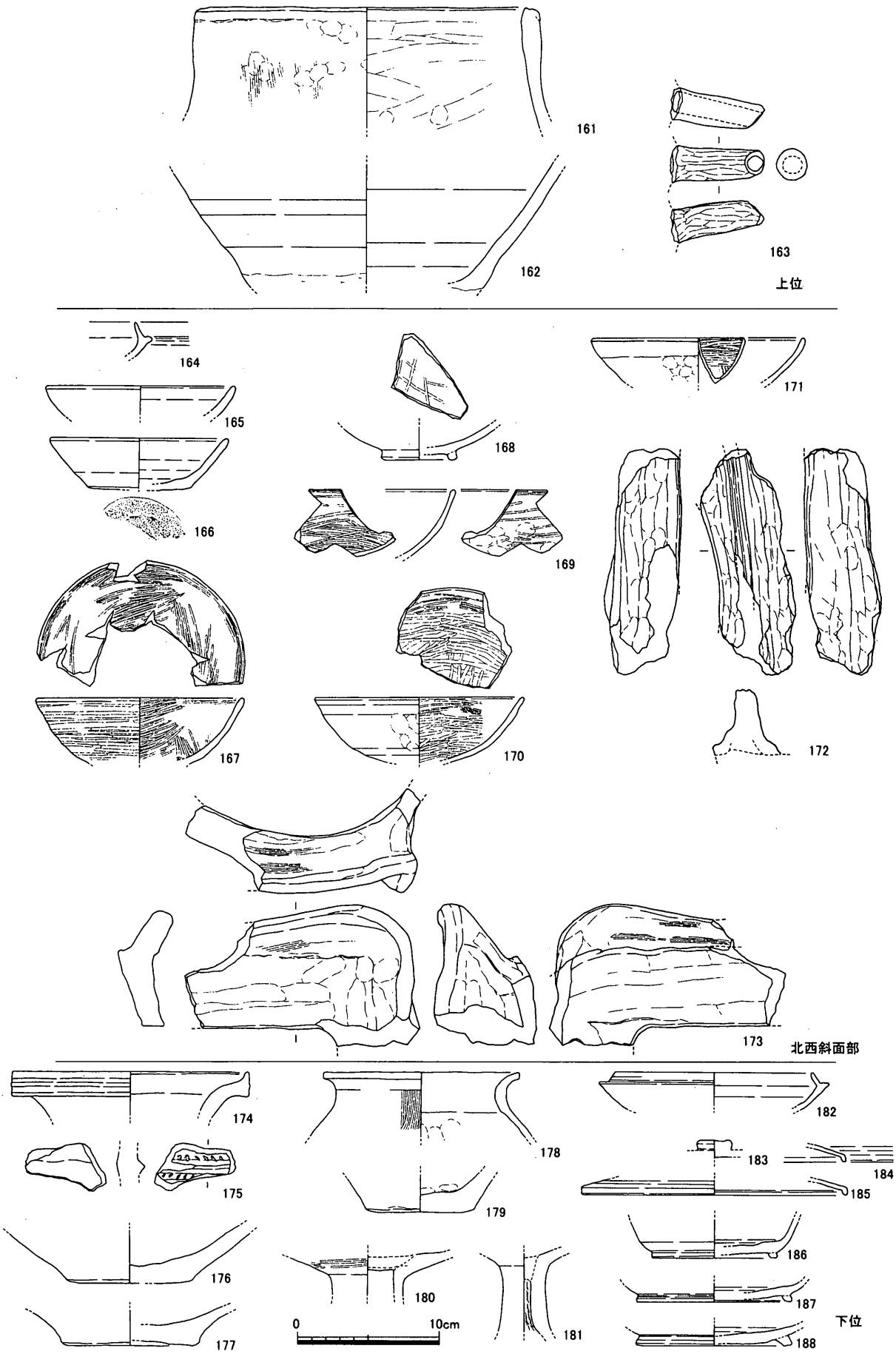
③A8区　北壁土層

1　表土
2　水田耕土
3　10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質土(造成土)
4　2.5Y6/3 にぶい黄色シルト質土
（粗砂粒含,2層程度に細分可）
5　2.5Y5/4 黄褐色小礫混りシルト質土(Fe・Mn含,造成土)
6　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト質土
（にぶい黄色砂混りシルト質土のブロック含）
7　10YR5/2 灰黄褐色砂混りシルト質土(Fe含)
8　10YR5/2 灰黄褐色砂混りシルト質土
（Fe含,7層より砂粒多く粒径大）
9　10YR4/2 灰黄褐色砂混りシルト質土(Fe多含)
10　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質土(Fe多含,粗砂粒含)
11　10YR5/3 にぶい黄褐色砂混りシルト質土(Fe・Mn含,造成土)
12　10YR4/2 灰黄褐色粘質土(Fe・Mn多含)
13　10YR5/3 にぶい黄褐色粘土混り砂質土
14　2.5Y6/1 黄灰色砂質土(細～中砂含,遺物包含)
15　10YR3/1 黒褐色粗砂粒混りシルト質土
16　2.5Y3/1 黒褐色粗砂混りシルト質土(SDa05上層)
17　10YR4/2 灰黄褐色砂質土(小礫多含,細砂主)
18　2.5Y4/1 黄灰色砂(細～中砂,SDa05下層)
19　10YR5/2 灰黄褐色粘質土(Fe・Mn多含,ベース)

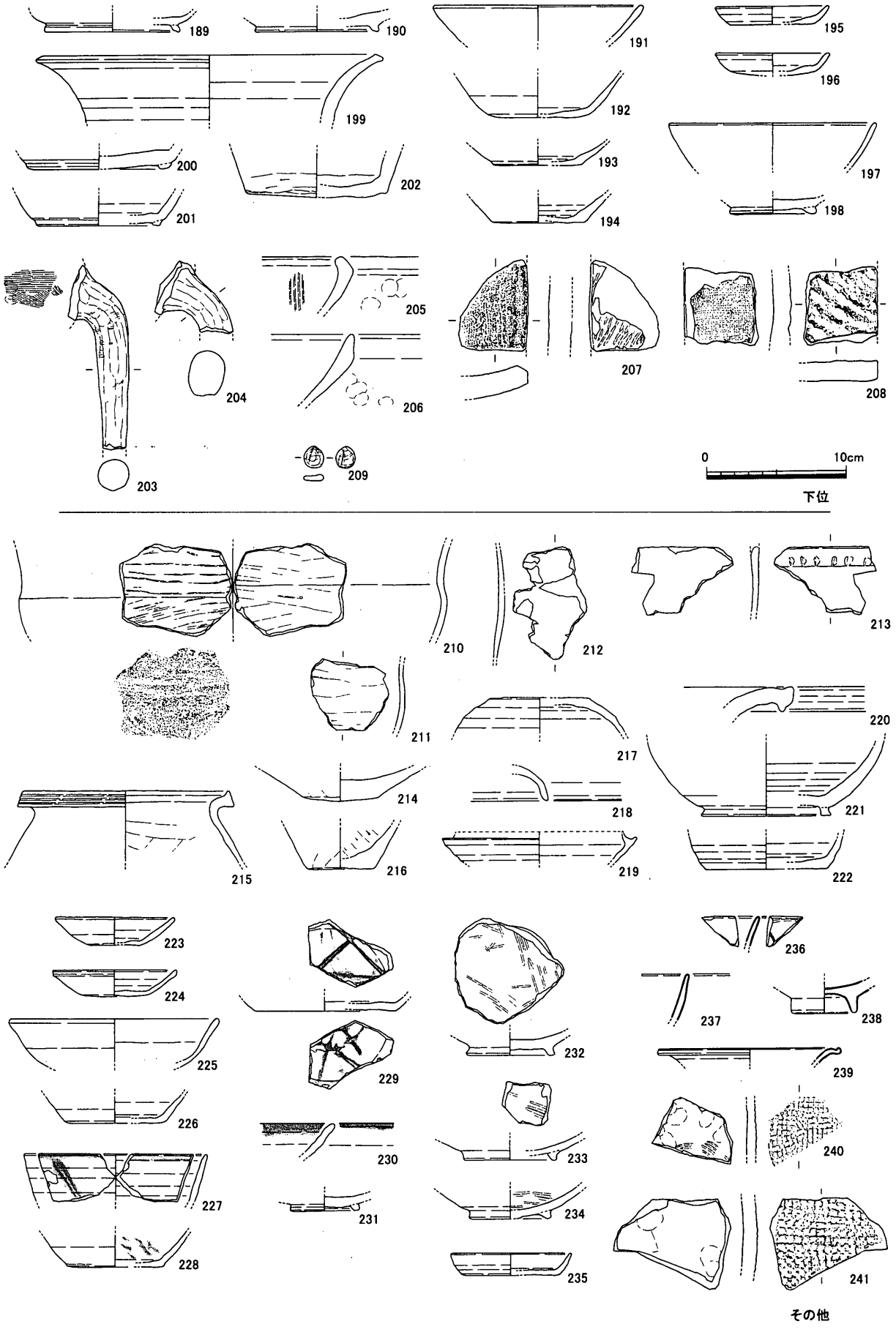
第27図　A8, B9区壁面土層図



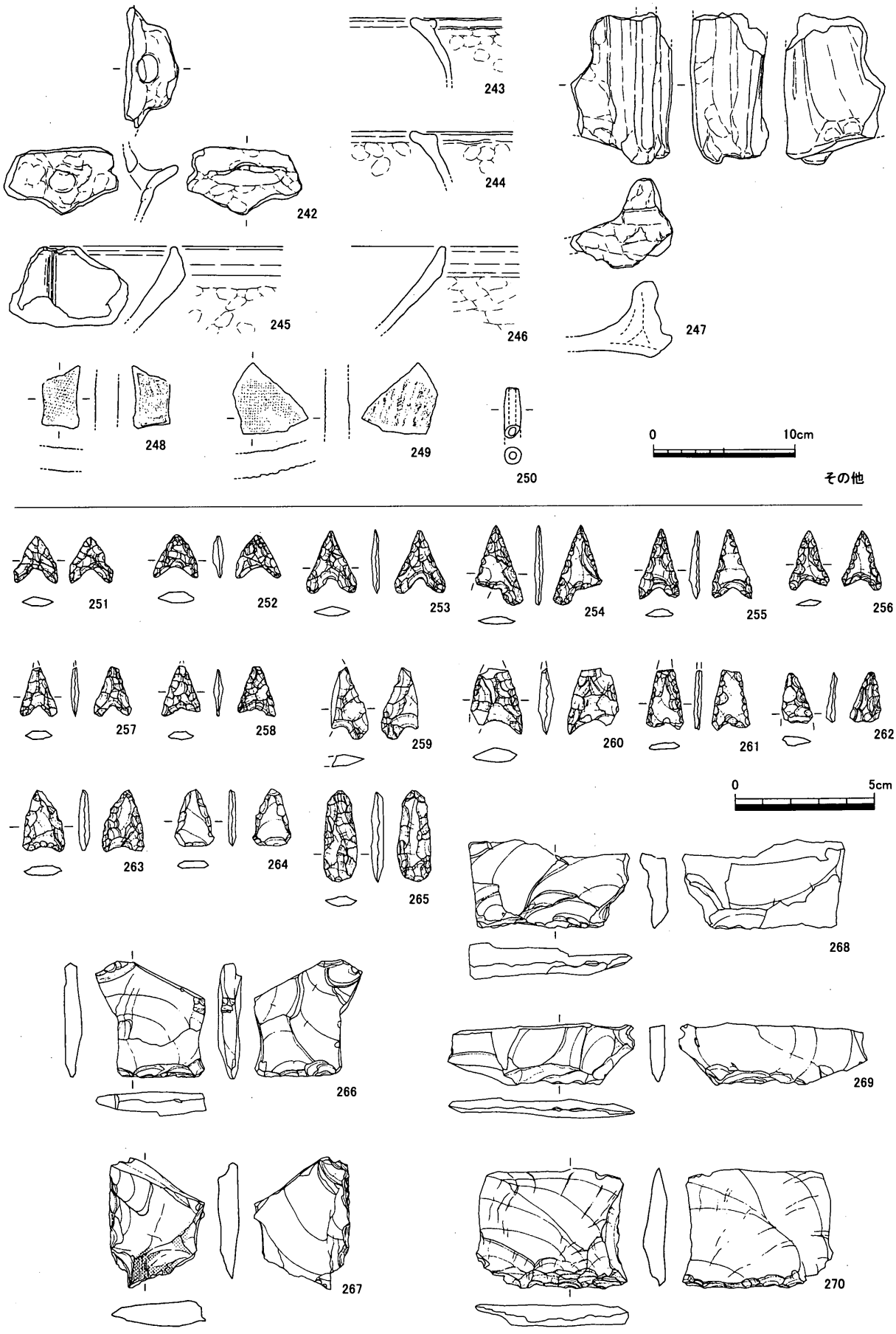
第28図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (1)



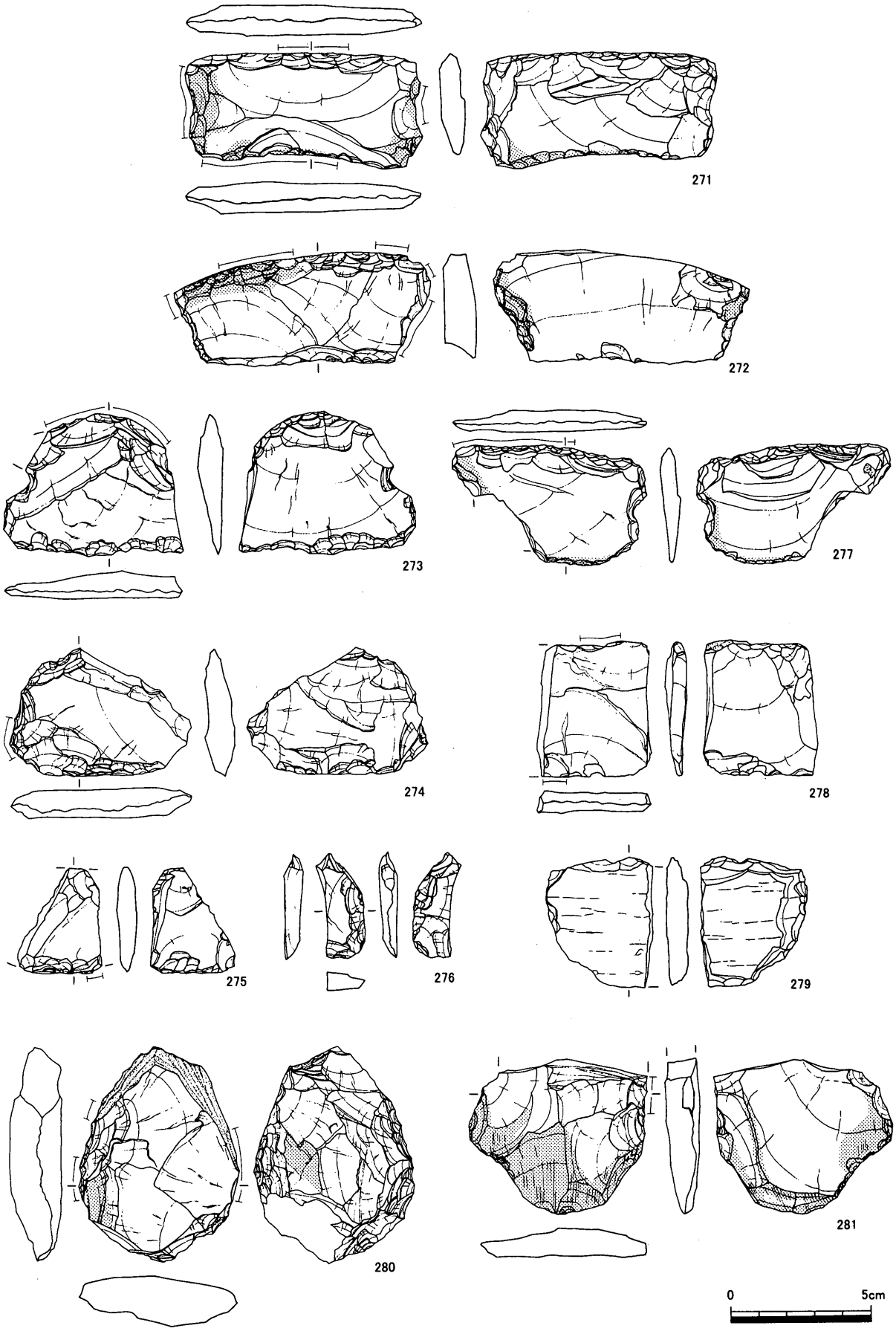
第29図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (2)



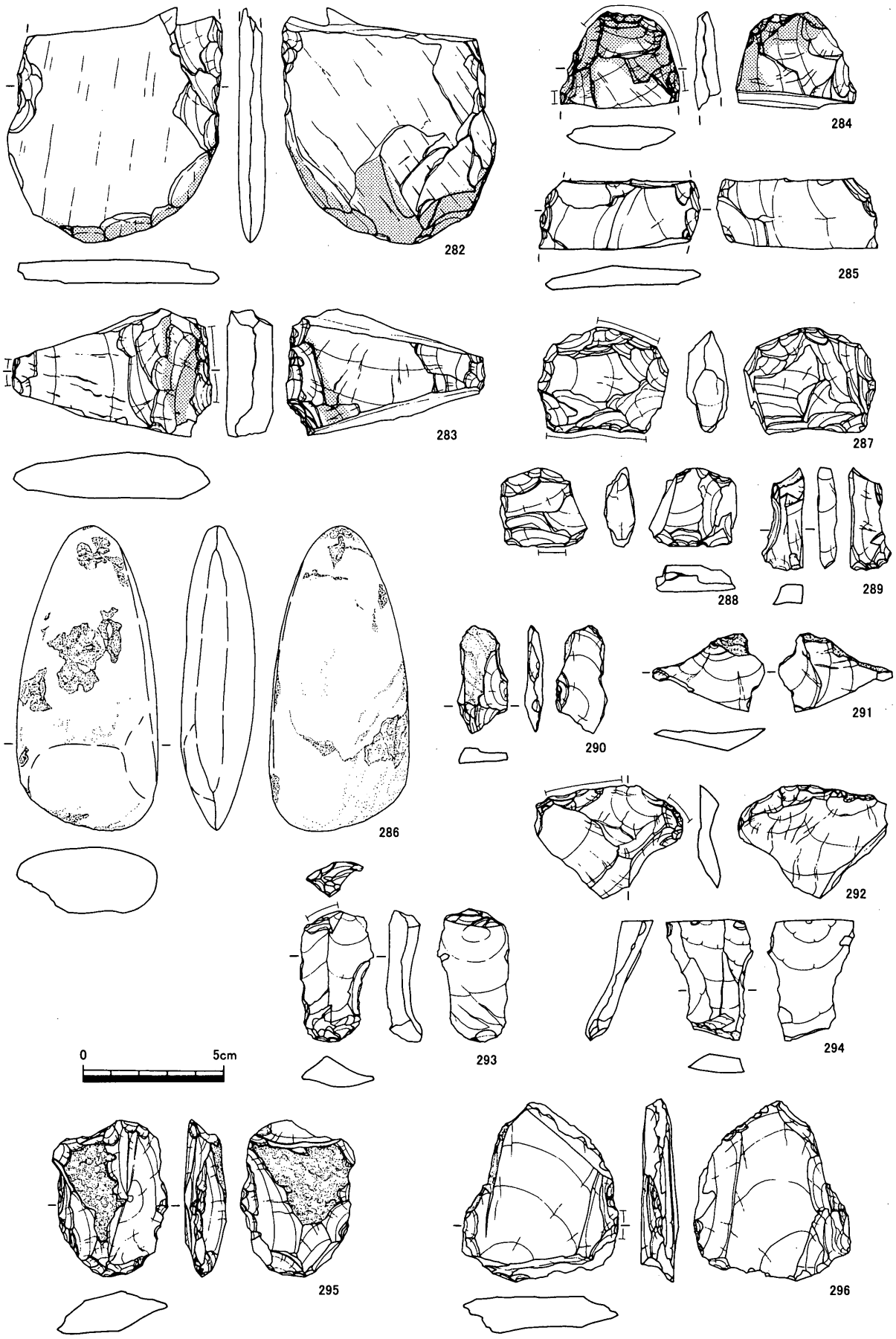
第30図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (3)



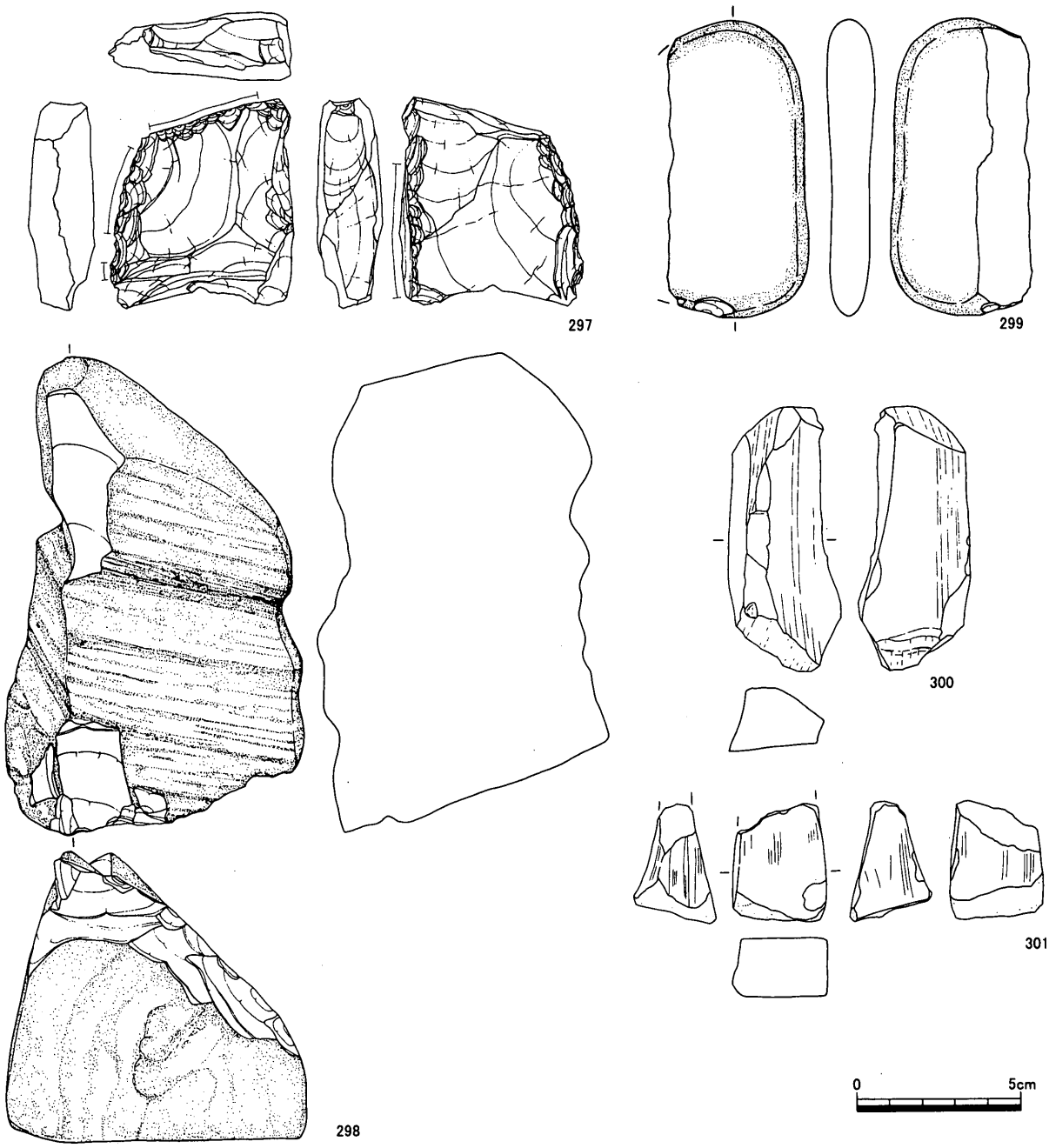
第31図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (4)



第32図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (5)



第33図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (6)



第34図 A 8, B 9・10区包含層出土遺物 (7)

恵器壺の資料である。199は大型壺の口頸部で、200・201は長頸壺の底部である。202は十瓶産の長頸壺の底部である。203～206は中世の煮沸、調理具形態の資料で、203・204は土師器土釜の脚部、205土師器の摺鉢、206は土師器の捏鉢である。207・208は瓦質の平瓦片である。

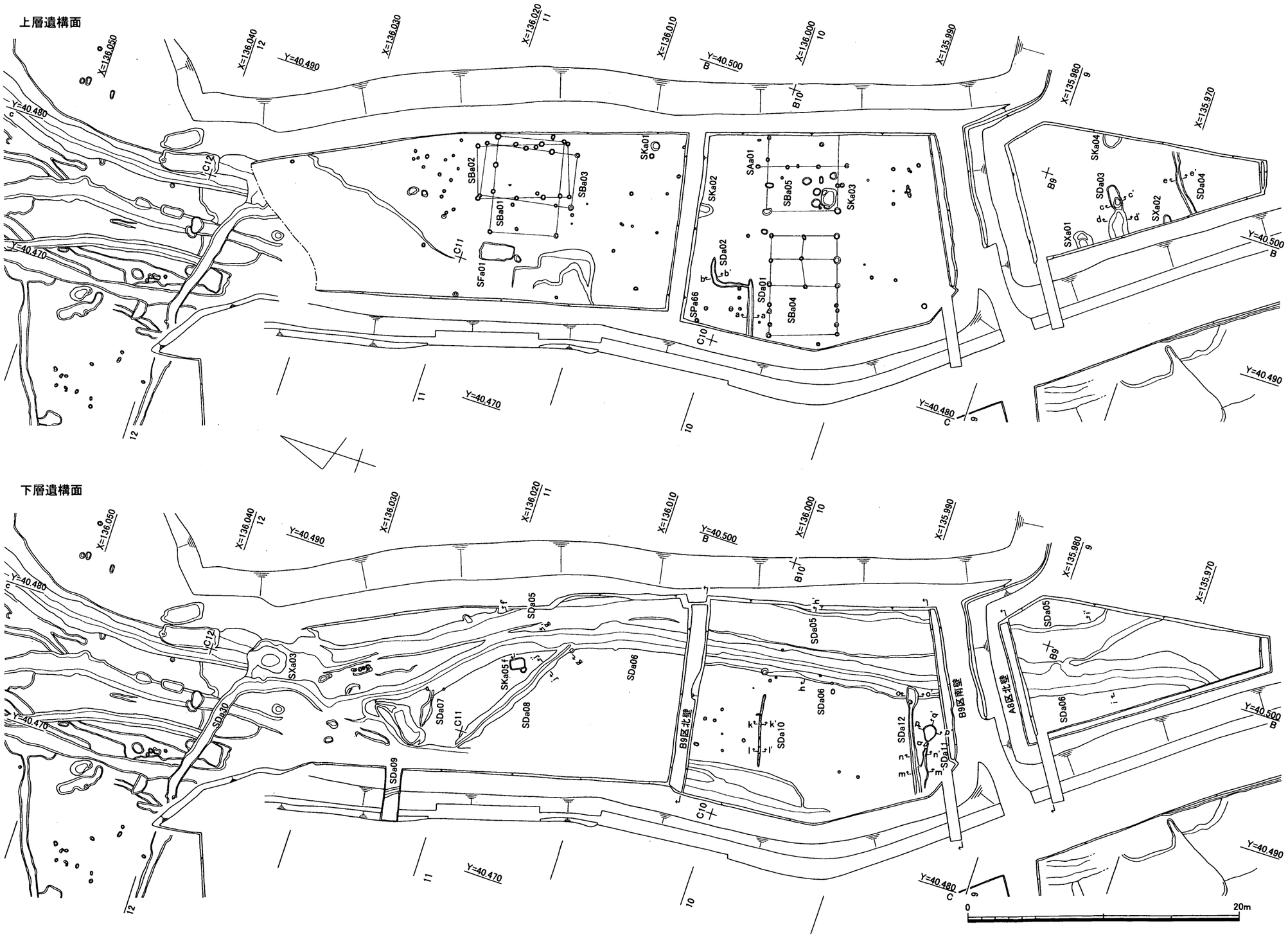
その他の包含層出土の土器（第30・31図）

210～250はその他の包含層出土の土器類である。210～213は縄文土器の深鉢片である。214～216は弥生土器である。214は弥生後期末頃の壺底部で、215は退化した凹線文を残すことから、弥生後期前半頃の甕上半部である。217～219は7世紀前半頃の須恵器杯で、217・218は杯蓋、219は杯身である。220～222は須恵器壺の資料で、221・222は、おそらく長頸壺の底部になるものと考えられる。223～226は土師器の杯、227～229は10世紀頃の須恵器杯である。230・231は西村産の須恵器の椀、232～234は黒色土器A類椀の底部である。235は瓦質の皿、236は青磁碗の口縁

部で鎬連弁を施している。237・238は18世紀前半の肥前系の京焼風陶器碗で、239は17世紀中様の肥前系陶器の溝縁皿である。240・241は十瓶山窯跡産の甕の体部である。242土師器の土鍋片、243・244は16世紀頃の土釜口縁部片、245は土師器の摺鉢、246は土師器の捏鉢である。247は土師器の竈底部片と考えられる。248は須恵質の瓦、249は瓦質の瓦、250は須恵質の管状土錘である。

包含層出土の石器類（第31～34図）

包含層出土の石器類を一括して報告する。251～265はサヌカイト製の石鏃である。266～270はサヌカイト製の削器である。267はマメツ痕が顕著にみられ、打製石斧を転用した削器と考えられる。271～278はサヌカイト製の打製石庖丁で、側縁部にマメツ痕を残すものが多い。271・272は標準的な石庖丁で、273・274等は小型の部類になる。276は石庖丁の側縁部片である。278は裁断面状の分割面を有し、楔形石器に分類するものかもしれない。279は結晶片岩を石材に用い、側縁部に荒割調整を施した状態の資料で、研磨を施す前の磨製石庖丁の未製品と考えられる。280～285はサヌカイト製の打製石斧片である。281・282は先端部で使用痕と考えられるマメツ痕が顕著である。284は基部、283・285は体部片である。286は結晶片岩製の太型蛤刃石斧で、完形の磨製石斧では希少な資料である。287・288はサヌカイト製の楔形石器、289はサヌカイト製の楔形石器の削片である。290はハリ質安山岩製の剥片である。ハリ質安山岩製の石器類は数が極めて数が少なく、希少な資料である。291・292はサヌカイト製の不定形な剥片である。293・294は安山岩製の縦長状の剥片で、背面には複数の縦長状の剥離痕を残しており、連続した剥片剥離作業が行われたことが推定できる。なお、293には打面調整打面、294は平坦打面を呈する。295～297はサヌカイト製の石核である。295・296は横長状の剥片を剥ぎ取った石核、297は縦長状の剥片を剥ぎ取った石核として分類したが、楔形石器に含められるものかもしれない。298は安山岩製の亜角礫の小口面を作業面とする石核と考えた。ただ、安山岩の石器については、293・294等の剥片までは抽出できたが、定型的な石器については出土していないため、今後の課題になる点が多い。299は結晶片岩製の扁平な磨石である。300・301は流紋岩製の砥石片である。



第35図 A8, B9・10区遺構配置図

第3節　Ａ６，Ｂ２・３・６，Ｄ７区の調査

１．概要

対象地はＡ８、Ｂ９・１０区の南西方向の段丘面上に位置する。対象地からは、綾川の一時期の支流と考えられる、弥生時代後期末～古墳時代前期、古代後半～中世頃の自然河川を数条検出した。注目できることでは、自然河川のSRa03・04から　弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の遺物が、比較的良好な状態で多量に出土している点である。また、古代に限れば須恵器の水滴等の資料も出土しており貴重な成果を得ている。自然河川の上位に堆積している包含層中からは、数時期に及ぶ多量の遺物が出土している。これらの出土遺物は、周囲の段丘面上の遺構の性格を解釈するためでの資料として、充分に活用できる資料と考えられる。注目できる遺物としては　円面硯、緑釉陶器、輸入陶磁器、瓦類等の遺物があげられる。

周囲の段丘面上からは、弥生時代後期末頃の溝状遺構、不整形遺構、８世紀の火葬墓、土坑、古代末～中世頃の溝状遺構等を検出した。８世紀中葉の火葬墓であるSTa01は、県下でも事例が少なく、重要な調査成果になった。先述した自然河川及び、包含層から出土した遺物と合わせて墓の造営主体を考慮すると、対象地周辺に在地の有力な首長層の存在が推定できる。また、その集落が展開していることは確実である。

なお、対象地には末則用水及び北村用水と呼ばれる灌漑用水路が所在している。12世紀頃のSDa15・16・30は、僅かに離れはしているが、末則用水とほぼ同位置に配されているため、末則用水の前身の溝である可能性が高く、対象地の水路網の開削時期を検討するうえで大変重要な調査成果になった。

２．遺構・遺物

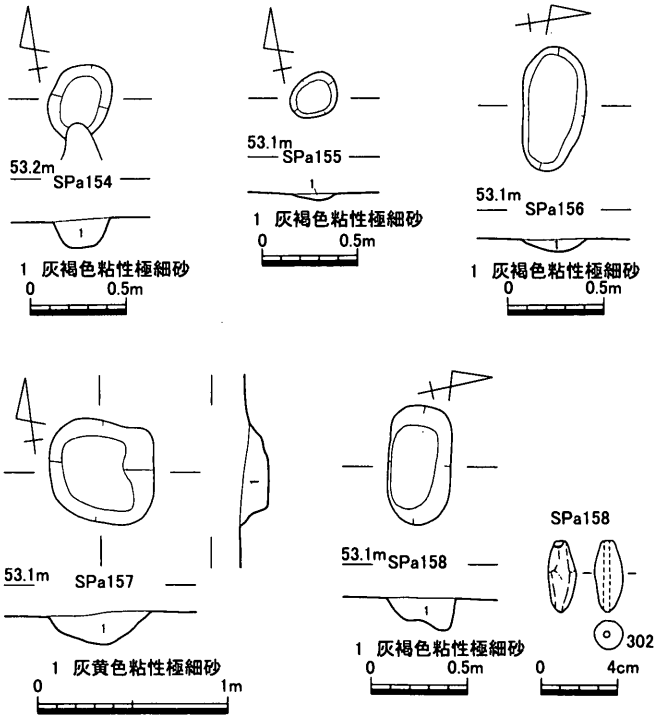
（１）柱穴

SPa154（第36図）

Ｂ２区中央の遺構面上で、SDa10に切られる形で検出した柱穴である。堀形の平面は楕円形状を呈し、断面は浅い「U」字状を呈する。長径0.4ｍ×短径0.3ｍ、深さ0.1ｍを測る。

SPa155（第36図）

Ｂ２区南半部の遺構面上で、SPa156・157に隣接し検出した柱穴である。堀形の平面は長円形状を呈し、断面は浅い皿状を呈する。長径0.3ｍ×短径0.2ｍ、深さ５㎝を測



第36図 SPa154～158平・断面図，出土遺物

る。

SPa156（第36図）

Ｂ２区南半部の遺構面上で、SPa155・157に隣接し検出した柱穴である。堀形の平面は楕円形状を呈し、断面は浅い皿状を呈する。長径0.7ｍ×短径0.4ｍ、深さ5㎝を測る。

SPa157（第36図）

Ｂ２区南半部の遺構面上で、SPa155・156に隣接し検出した柱穴である。堀形の平面は不整円形状を呈し、断面は不整形な逆台形状を呈する。長径0.6ｍ×短径0.5ｍ、深さ0.2ｍを測る。

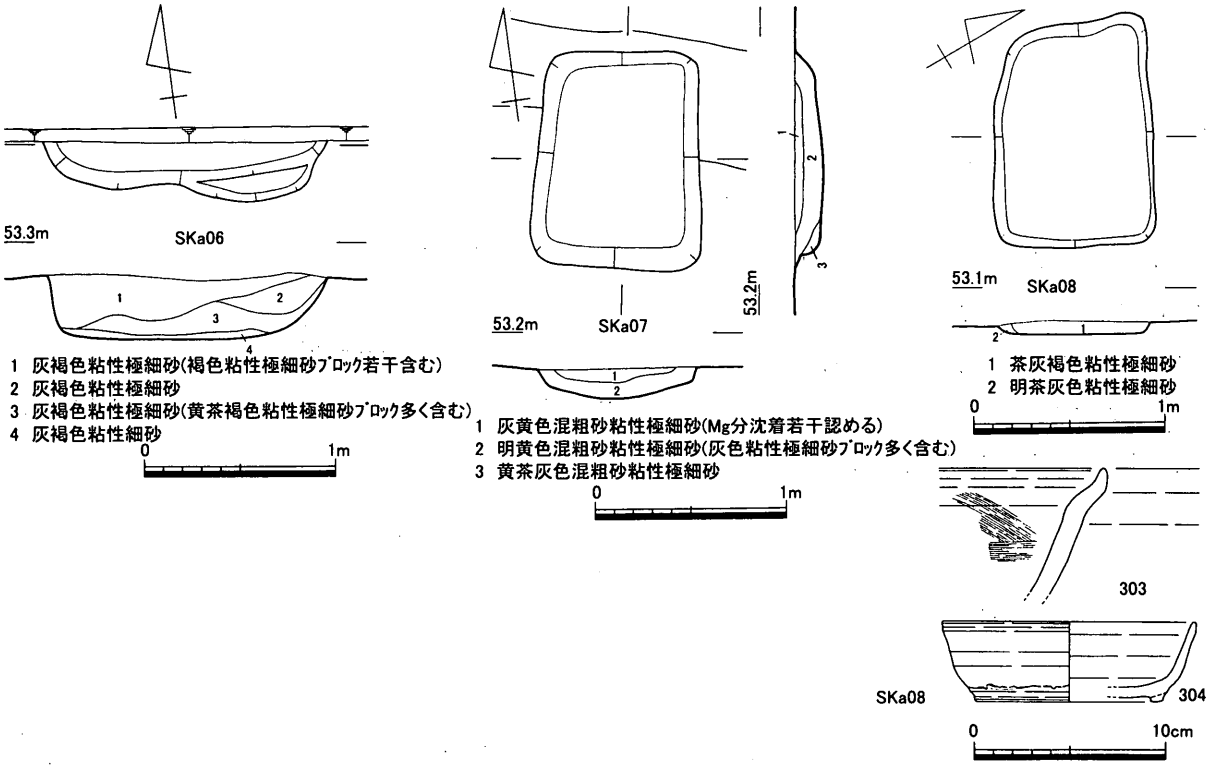
SPa158（第36図）

Ｂ２区南半部の遺構面上で検出した柱穴である。堀形の平面は楕円形状を呈し、断面は不整形な逆台形状を呈する。長径0.6ｍ×短径0.3ｍ、深さ0.2ｍを測る。302はSPa158から出土した、土師質の管状土錘である。

（２）土坑

SKa06（第37図）

Ｂ２区北端のSRa03の埋土上面で検出した土坑である。土坑の北半部は北壁より外に延びるため、約１／３程度を検出したものと考えられる。北半部が不明瞭であるため、全体の形状は定かではないが、おそらく隅丸方形状を呈するものと考えられる。なお、この土坑の南には、ほぼ同規模のSKa07が所在する。断面は逆台形状を呈し、埋土も４層に分かれる。長径1.5ｍ以上×短径0.2ｍ以上、深さ0.3ｍを測る。出土遺物としては土師器・須恵器片が少量出土しているだけで、詳細な時期については問題を残すが、隣接するSKa07と類似する時期が考えられる。



第37図 SKa06～08平・断面図，出土遺物

SKa07（第 37 図）

Ｂ２区北端の SKa06 に隣接し、SRa03 の埋土上面で検出した土坑である。また、東西方向に配された SDa19 を切り込んでいる。平面は北に主軸をとる長方形状を呈し、断面は浅い逆台形状を呈する。埋土は３層に分かれる。長径 1.2ｍ×短径 0.9ｍ、深さ 0.2ｍを測る。出土遺物としては土師器・須恵器片が少量出土しただけで、詳細な時期については問題を残すが、出土遺物中に８世紀頃の須恵器が含まれるためこの時期の可能性が高い。

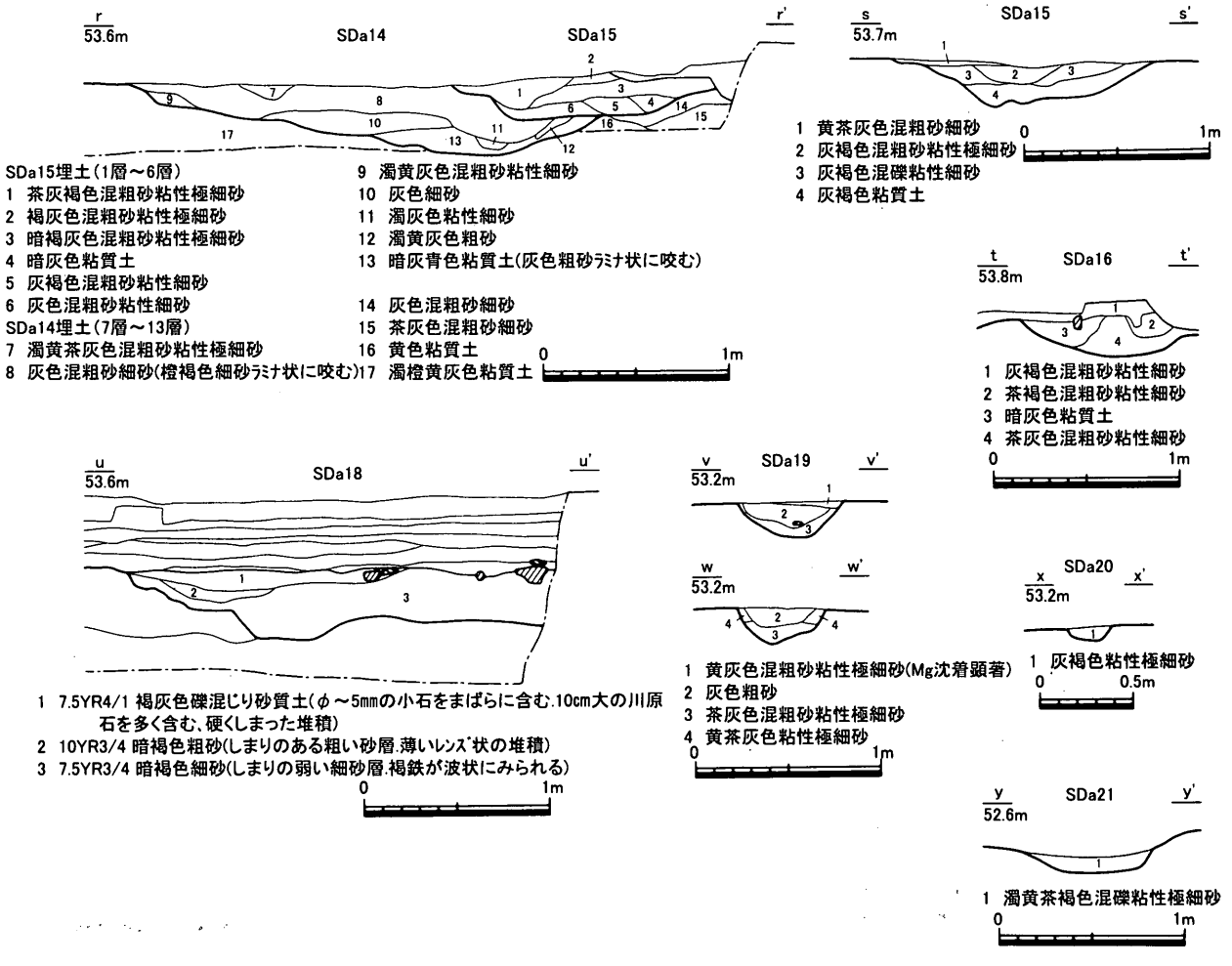
SKa08（第 37 図）

Ｂ２区中央の、SRa04 の埋土上面で検出した土坑である。平面は不整形な長方形状を呈し、断面は浅い逆台形状を呈する。埋土は２層に分かれる。長径 1.2ｍ×短径 0.9ｍ、深さ 0.1ｍを測る。303・304 は SKa08 から出土した遺物である。303 は弥生後期の鉢口縁部片、304 は８世紀中頃の須恵器高台付の杯である。出土遺物よりこの遺構は、８世紀中頃以降の時期が考えられる。

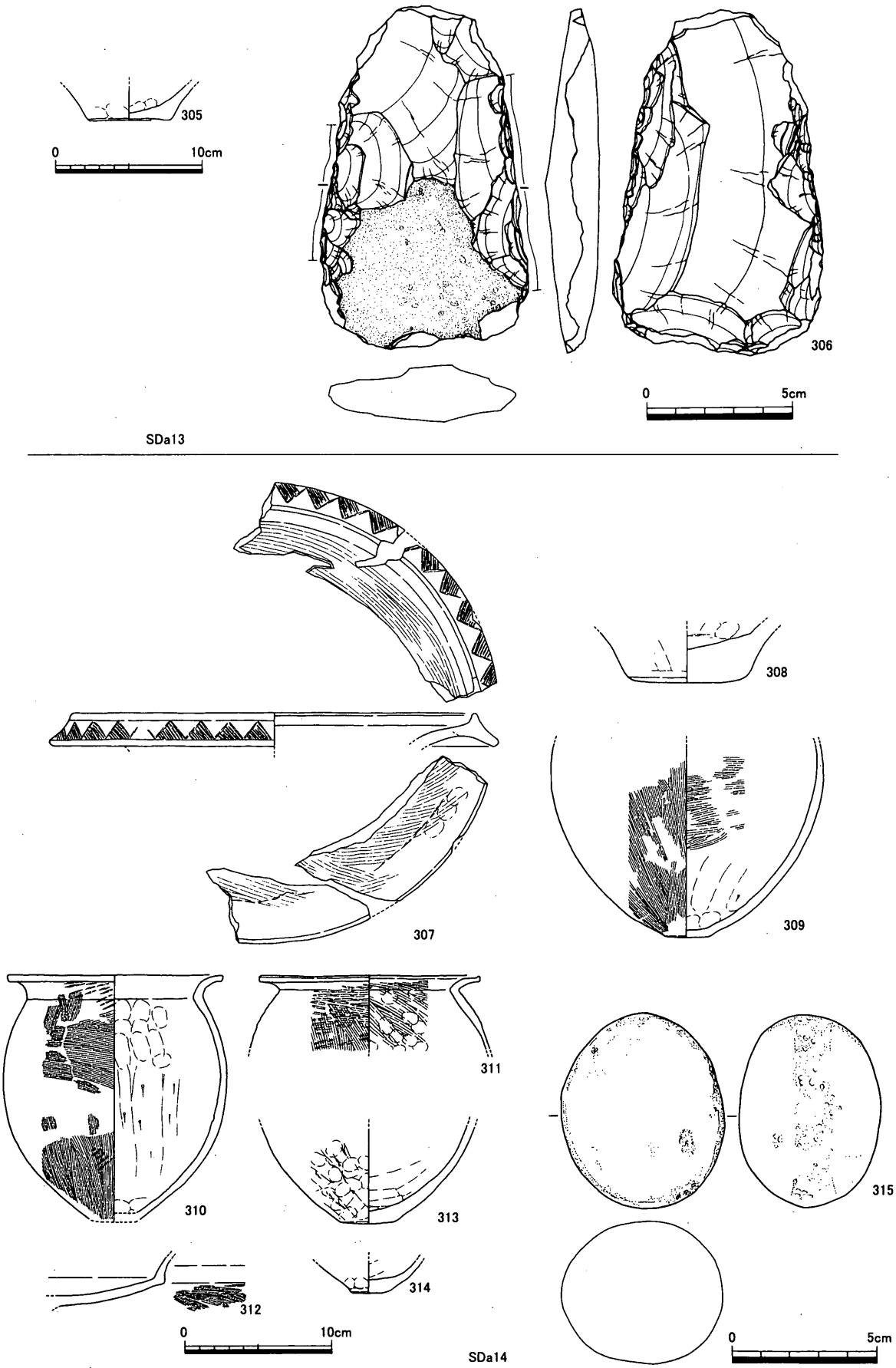
（３）溝状遺構

SDa13・14（第 38・39 図）

Ｂ６区の北端部、中央部を SRa01 に切られる形で検出した溝状遺構である。この溝は現状の地割りに沿う形で、おおむね北西方向に延びており、東端部では更に西に向く。中央を南北方向に延びる SRa01 に切り込まれている。そのため、東半部を SDa13、西半部を SDa14 とした。なお、東半部



第 38 図 SDa14 ～ 16・18 ～ 21 断面図



第39図 SDa13・14出土遺物

については、SDa15・16等の古代末～中世の溝が切り込んでおり、全体の形状を不明瞭なものにしている。断面の形状は大まかには浅い幅広な皿状を呈する。検出長約40.0ｍ、幅0.6～2.5ｍ、深さ約0.4ｍを測る。埋土は砂が主で、上層ではラミナ状に堆積している部分もある。

305・306はSDa13から出土した遺物である。305は弥生時代中～後期の甕の底部片で、306は、ほぼ完形に近いサヌカイト製の打製石斧である。刃部には素材面である自然面を多量に残している。打製石斧は破片で出土することが多く、希少な資料である。

307～315はSDa14から出土した遺物である。307は、鋸歯文を顕著に施した弥生時代後期後半の広口壺の口縁部としたが、器台とみることもできる。308～311は弥生時代の甕で、309～311は弥生時代後期末頃の甕である。312は弥生時代後期後半頃の高杯の杯部片である。313・314は弥生時代後期末頃の鉢の下半部である。315はボール状の砂岩製の磨石である。出土遺物よりSDa13・14は、弥生時代後期末頃の時期が考えられる。

SDa15（第40～43図）

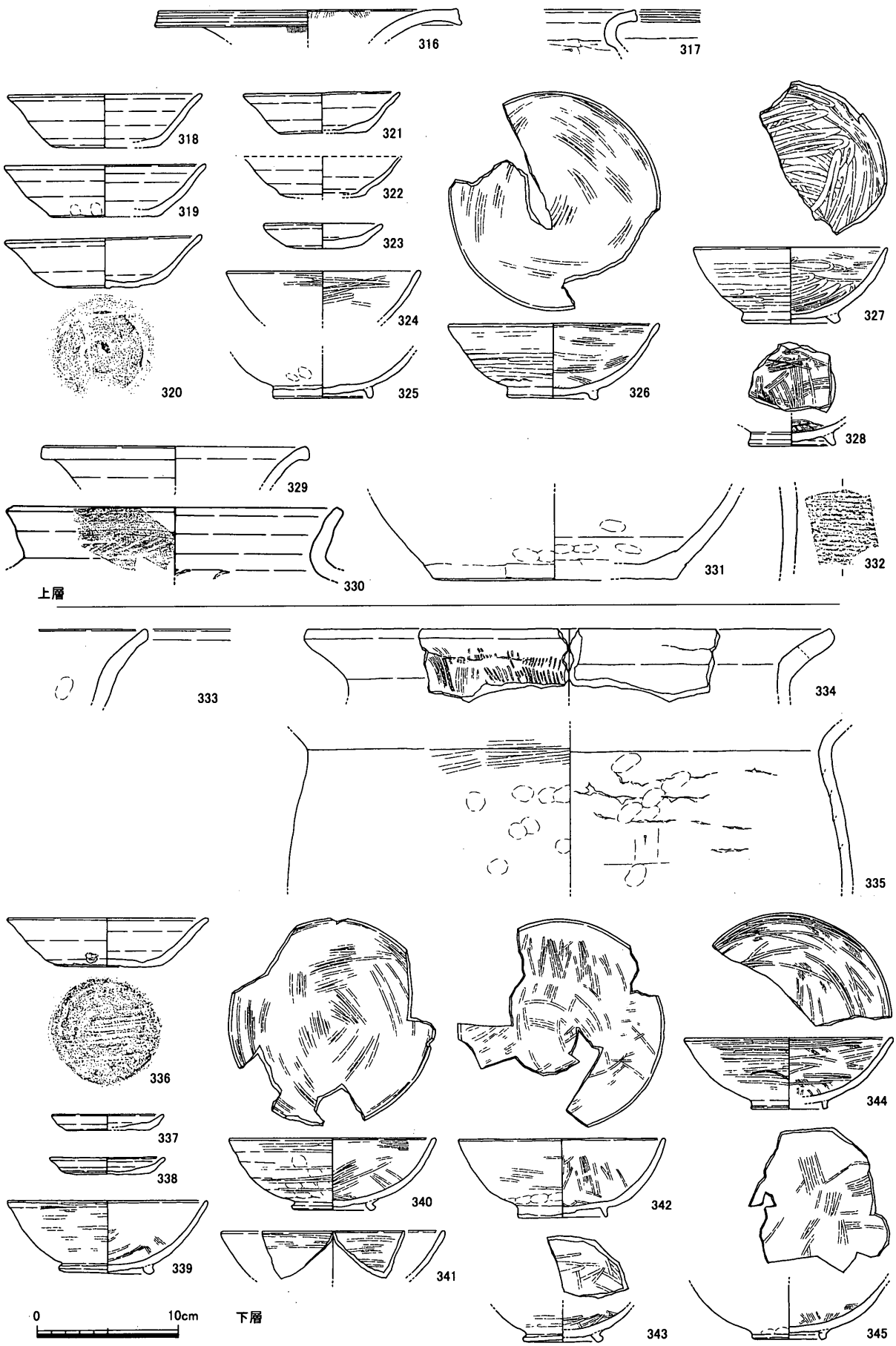
Ｂ６区の北端部よりＡ６区北端の、現在の里道及び用水路（末則用水）に沿う形で検出した溝状遺構である。この溝は検出状況及び時期的な点で、現在の用水路である末則用水の前身と考えられる溝である。このルート上はSDa14と重複し、中央部をSRa01が南北方向より切り込んでいる。SDa15はかなり削平を受けており、これらの遺構の中で全体の形状を把握するには困難な状態であった。断面の形状は幅広で浅い不整形な逆台形状を呈し、検出長約41.0ｍ、幅0.8～1.5ｍ、深さ約0.2ｍを測る。埋土は細砂が主で、下層で粘質土が堆積している。

出土遺物は上・下・最下層の３区分で取り上げた。316～332は上層出土の土器である。316・317は弥生時代後期の土器で、SDa14からの混入品であろう。316は凹線文を顕著に残す、弥生時代中期後半～後期前半の広口壺の口縁部である。317は細い凹線文を施した、弥生時代後期前半の甕の口縁部片である。318～322は12世紀前半頃の土師器の杯である。323は土師器小皿、324は黒色土器Ｂ類の椀である。黒色土器Ｂ類は今年度の整理対象区では出土点数が少なく、希少な資料である。325～328は内外面伴にヘラミガキが顕著な12世紀前半頃の黒色土器Ａ類の椀である。329・330は須恵器壺の口縁部で、混入品であろう。331は十瓶山窯跡産の須恵器捏鉢、332は瓦質の甕の体部片である。

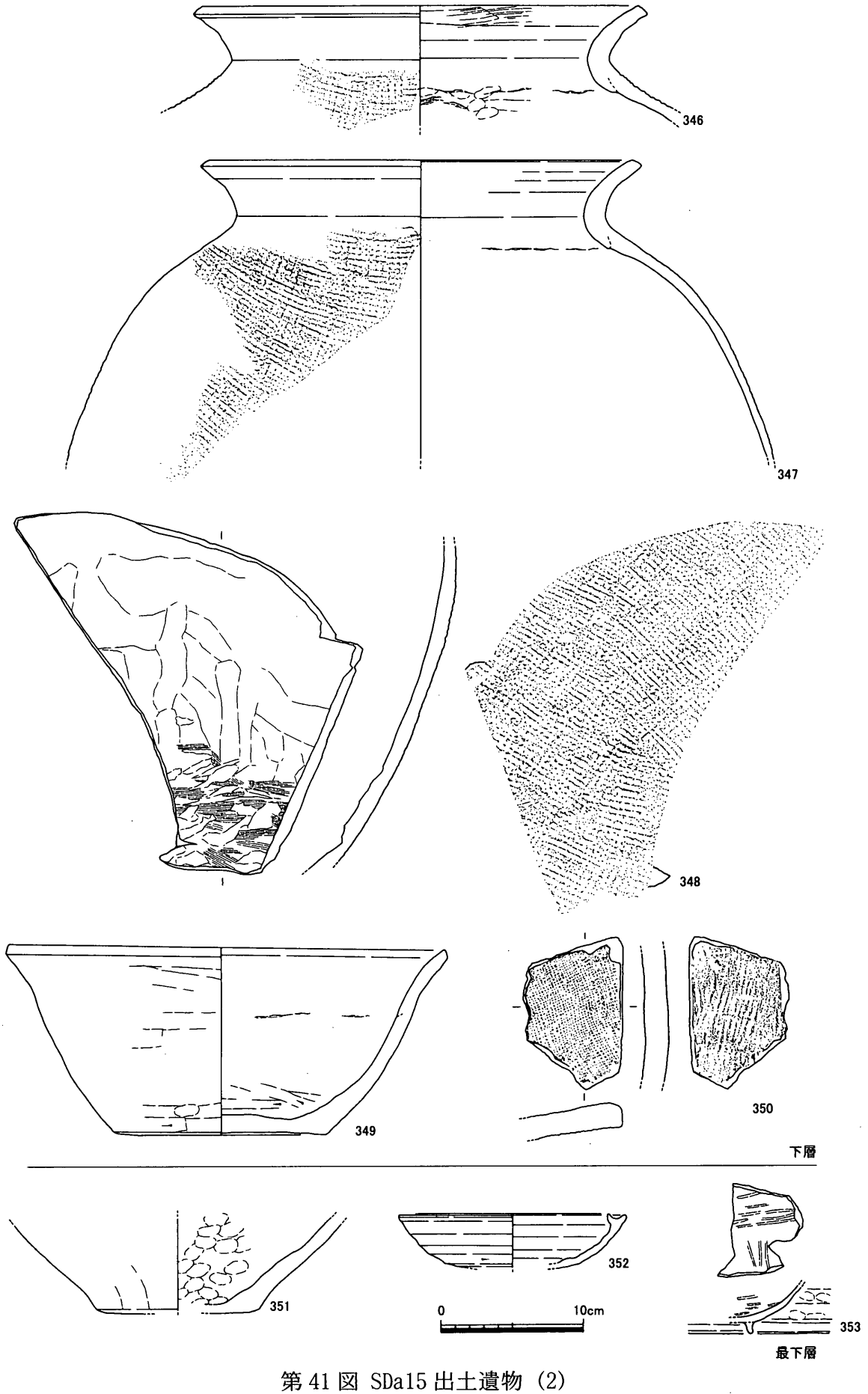
333～350は下層出土の土器である。333は弥生土器壺の口縁部、335は弥生時代前期頃の比較的大型の甕片である。336は土師器杯で、底部外面に板状圧痕を顕著に残している。337・338は土師器小皿、339は土師器椀、340～345は黒色土器Ａ類の椀である。土師器椀、黒色土器椀ともに12世紀前半頃の時期が考えられる。346～348は十瓶山窯跡産の須恵器の甕である。349は十瓶山窯跡産の瓦質の捏鉢で、350は須恵質の平瓦片である。

351～353は最下層出土の土器である。351・352は混入品で、351は胎土より弥生時代前期頃の壺底部、352は７世紀前半の須恵器杯身である。353は黒色土器Ａ類椀の底部片である。354～358は一括で取り上げたその他の土器である。354は８世紀頃の須恵器杯蓋の口縁部、355は土師器椀の底部である。356・357は黒色土器Ａ類椀で、12世紀頃の土器であろう。358は瓦質の軒平瓦片である。

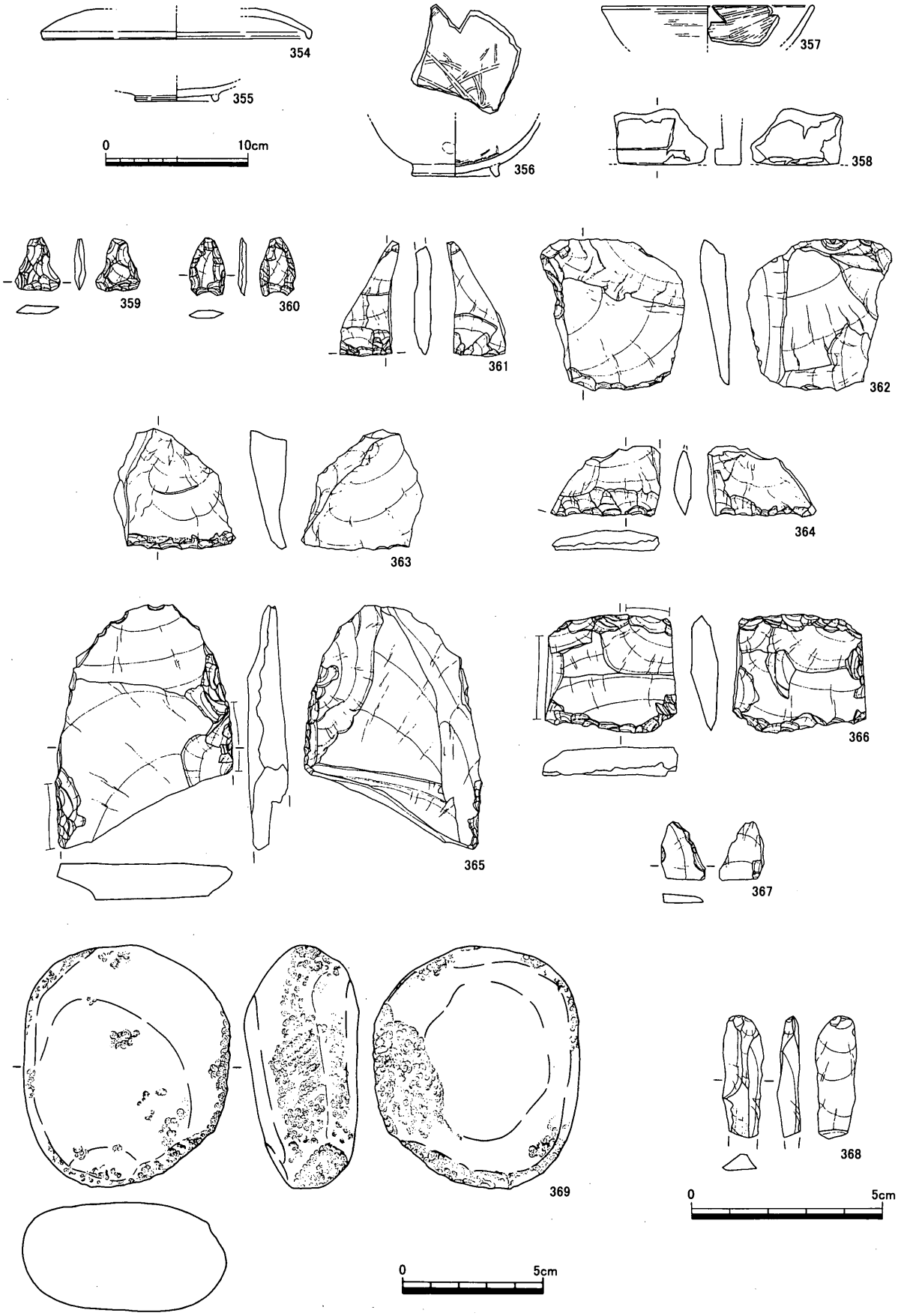
359～370はSDa15から出土した石器類である。おそらくSDa14より混入した遺物と考えられる。359・360はサヌカイト製の石鏃、361～364はサヌカイト製の削器で、361は形状より石庖丁の可



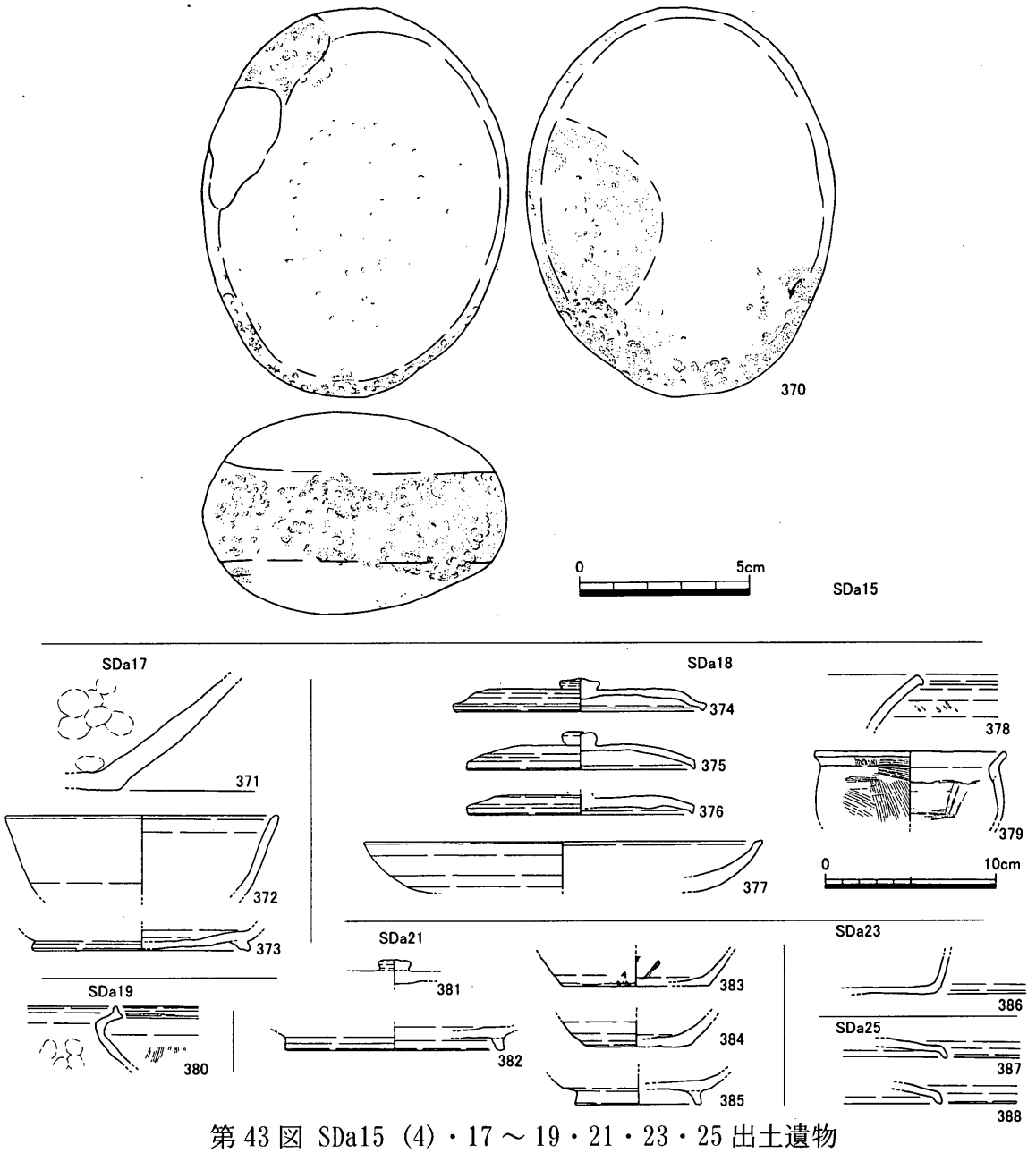
第40図 SDa15出土遺物 (1)



第41図 SDa15出土遺物 (2)



第 42 図 SDa15 出土遺物 (3)



第43図 SDa15 (4)・17～19・21・23・25出土遺物

能性がある。365はサヌカイト製の打製石斧の基部、366はサヌカイト製の楔形石器の素材である。367はサヌカイト製の調整ある剥片、368はサヌカイト製の縦長状の剥片である。369・370はボール状の砂岩製の叩き石である。

以上の出土遺物を概観する限り、明らかに混入の遺物を除けば、12世紀前半の時期を示す遺物が主であり、この時期をSDa15の埋没期と考えたい。

SDa16（第38図）

B6区の北端部で、SDa15を切り込み、現在の里道及び用水路（末則用水）に沿う形で検出した溝状遺構である。この溝もSDa15同様に、現在の用水路である末則用水の前身と考えられる溝である。溝の大部分の北岸部は、調査区の外に位置するため、不明瞭な点が多い。断面の形状は幅広で浅い「U」字状を呈し、検出長約20.0m、幅約1.0m、深さ約0.2mを測る。埋土は細砂が主である。出土遺物は土器の小片が出土しただけで図化できるものはない。そのため詳細な時期については問題を残すが、この溝がSDa15より後出するため、少なくとも12世紀後半以降であることは確

かである。

SDa17（第 43 図）

Ｂ６区の北半部、SRa02 の北岸で検出した小規模な溝である。断面の形状は幅広で浅い「U」字状を呈し、検出長約 2.0 m、幅約 0.3 m、深さ約 0.2 mを測る。371 ～ 373 は SDa17 から出土した遺物である。371 は弥生土器壺の底部片、372・373 は８世紀頃の須恵器の高台付杯の杯身で、372 は杯の上半部、373 は高台付の底部である。出土遺物より SDa17 は８世紀頃の時期が考えられる。

SDa18（第 38・43 図）

Ｂ３区北半部南端の、里道沿いで検出した溝である。東西方向に延び、南岸部は里道の下に広がる。断面の形状は幅広で不整形な逆台形状を呈し、検出長約 3.0 m、幅 1.5 ～ 2.0 m、深さ約 0.4 m を測る。埋土は数層に分かれるが、暗褐色系の細砂層が主体を占める。374 ～ 379 は SDa18 から出土した遺物である。374 ～ 376 は８世紀頃の須恵器杯蓋、377 は須恵器皿で同じく８世紀頃の土器である。378 は須恵器壺、379 は小型の土師器甕の上半部である。出土遺物より SDa18 は、８世紀頃の時期が考えられる。

SDa19（第 38・43 図）

Ｂ２区南半部北端の SRa03 の上面で検出した東西方向の溝である。中央部を SKa07 により切り込まれている。断面の形状は浅い「U」字状を呈し、検出長約 4.0 m、幅約 0.6 m、深さ約 0.2 mを測る。埋土は数層に分かれ、細砂が主体を占める。出土遺物としては、土師器の竈片、須恵器片等が少量出土している。380 は SDa19 から出土した、弥生時代後期の甕口縁部片で、混入の遺物である。口縁端部には退化した凹線文が認められる。この溝の時期については、出土遺物および SKa07 との切り合いから、８世紀前半を前後する時期の可能性がある。

SDa20（第 38 図）

Ｂ２区南半部中央で検出した南北方向の小溝で、SPa154 を切り込んでいる。断面の形状は浅い「U」字状を呈し、検出長約 0.8 m、幅約 0.2 m、深さ約 0.1 mを測る。埋土は単層で細砂である。

SDa21（第 38・43 図）

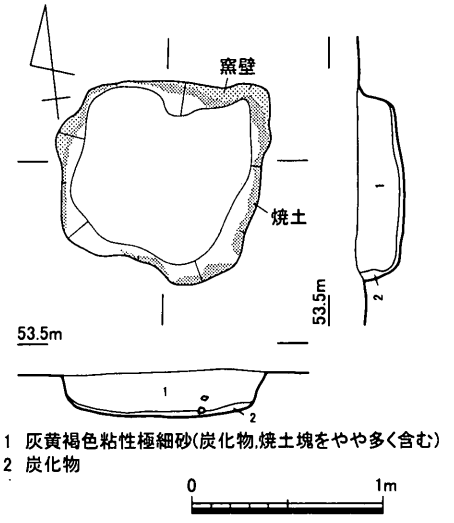
Ｂ２区南半部の南端で検出した、削平を受けた残りの悪い東西方向の溝である。断面の形状は浅い皿状を呈し、検出長約 4.0 m、幅約 0.9 m、深さ約 0.2 mを測る。埋土は単層で細砂である。出土遺物としては、土師器の竈片、土師器小皿、須恵器杯、黒色土器Ａ類椀等が少量出土している。381 ～ 385 は SDa21 から出土した遺物である。381・382 は８世紀頃の須恵器杯である。383・384 は 10 世紀頃の須恵器杯の底部である。385 は黒色土器Ｂ類椀の底部である。黒色土器Ｂ類はこの遺跡では出土点数が少なく、希少な資料である。出土遺物より SDa21 は、12 世紀前半以降の時期が考えられる。

SDa23（第 43 図）

Ｄ７区北半部の SRa02 の河川堆積層上面で検出した小溝である。北東方向に延び、北端部で東に向きを変える。北端部と南端部は SDa22・25 に各々切られており、全体の形状は不明瞭である。断面の形状は浅い「U」字状を呈し、検出長約 4.0 m、幅約 0.4 m、深さ約 0.2 mを測る。出土遺物としては土師器、須恵器の細片が少量出土した。386 は SDa23 から出土した７世紀頃の須恵器杯である。出土遺物から SDa23 の詳細な時期を決めるには問題を残すが、検出状況より隣接する SDa22・25 等と類似する時期が考えられる。

SDa22・25（第43図）

Ｄ７区北半部のSRa02の河川堆積層上面で検出した、東西方向より南北方向へ屈曲する溝である。東西方向の溝がSDa25、南北方向の溝がSDa22である。両溝とも直線状に延び、SDa23を切り込んでいる。また、SDa22はSXa06と重複しているが、その切り合い関係は不明瞭である。断面の形状は浅い「U」状を呈し、検出長約17.0ｍ、幅約0.5ｍ、深さ約0.2ｍを測る。386はSDa23から出土した７世紀頃の須恵器杯である。387・388はSDa25から出土した８世紀頃の須恵器杯蓋の口縁部片である。いずれも混入の遺物と考えられる。出土遺物からSDa22・25の詳細な時期を決めるには問題を残すが、検出状況より12世紀以降の時期が考えられる。



第44図 SFa02平・断面図

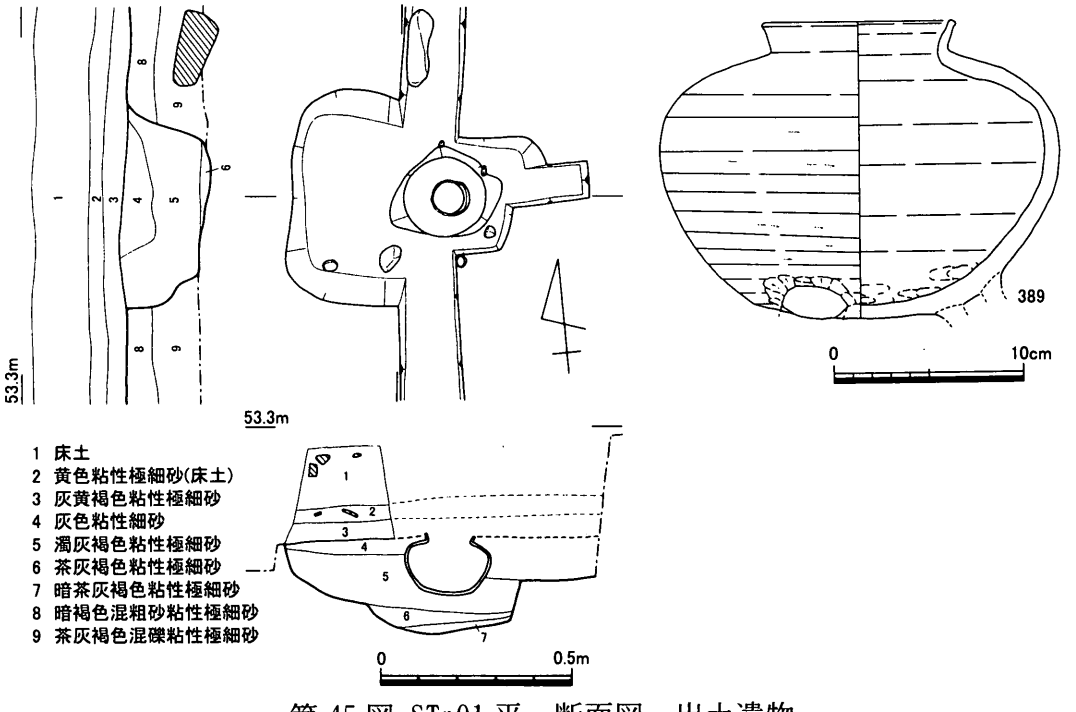
（4）焼成土坑，墓

SFa02（第44図）

Ｄ７区北半部のSRa02の河川堆積層上面で検出した焼成土坑である。不整形な方形を呈し、壁面には被熱により赤変している箇所と窯壁を一部残している。断面は削平を受けたため幅広で浅い逆台形状を呈する。埋土からは炭化物、焼土塊等が多量に出土した。長径1.1ｍ×短径0.9ｍ、深さ0.3ｍを測る。出土遺物としては土師器の細片が数点出土しただけで、詳細な時期については問題を残すが、おそらく、12世紀以降の時期が考えられる。

STa01（第45図）

Ｂ２区南半部の東壁際で検出した火葬墓である。土坑内には蔵骨器と考えられる須恵器の脚付短頸壺を検出した。一部下げ過ぎた部分があるため、全体の形状は定かではないが、おそらく隅丸方



第45図 STa01平・断面図，出土遺物

形状を呈するものと考えられる。断面は不整形な逆台形状を呈し、長径 0.75 m×短径 0.55 m、深さ 0.25 mを測る。埋土は４層に分かれ、ほぼ水平に堆積している。須恵器脚付短頸壺は、最深部より約 10cm 上位で検出した。検出時には蓋は認められなかったが、壺内部より須恵器皿の底部片が出土し、これが蓋の役割をした可能性がある。壺内部の埋土は５層に分けられ、埋土を洗浄したが骨は出土しなかった。また、壺内部の埋土の大部分は、蓋が破損した時点で壺内部に流入したものと考えられる。壺内部の底部付近では、本来壺内部に堆積していたものと考えられる、暗灰色粘質土の堆積が５㎜ほど認められ、この堆積土中にわずかに炭・焼土の粒が混入していた。

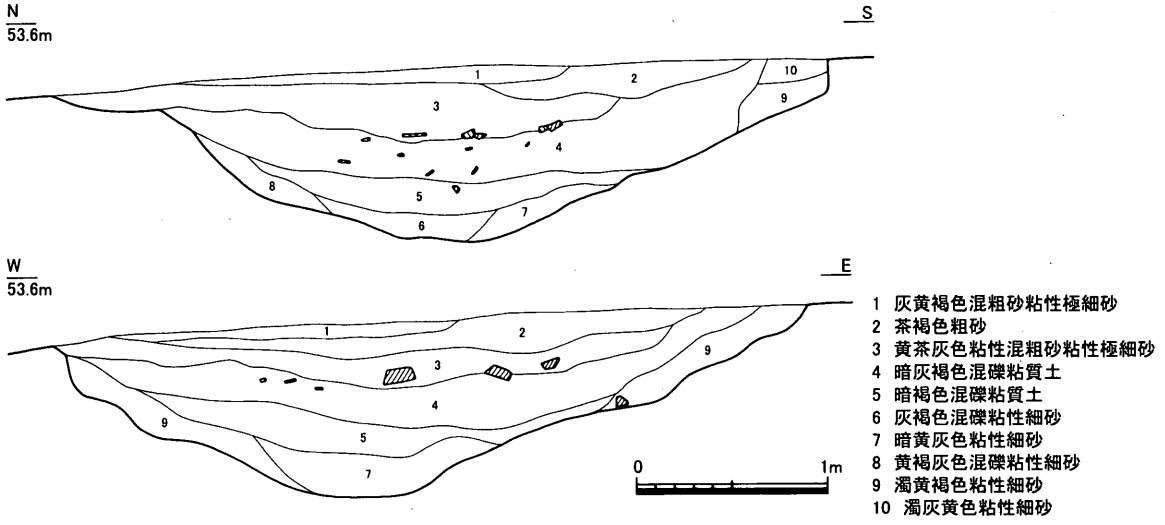
出土遺物としては、掘方中より土師器、須恵器の小片、壺内部からは土師器、須恵器の細片が出土した。389 は蔵骨器と考えられる須恵器の脚付短頸壺である。体部は球体化し、外面下半部には回転ヘラケズリを顕著に残す。底部には３ヶ所の脚部痕が認められ、おそらく獣脚状の脚部が付くものと考えられる。周辺から脚部の出土はなく、埋葬する前に破損したものか、埋葬にあたって打ち欠いたものと考えられる。この土器は、平城Ⅱ期 SD485 出土土器、陶邑編年のⅣ型式の第２段階前後に並行するものと捉えられ、８世紀中葉の時期が考えられる。

（５）不整形遺構

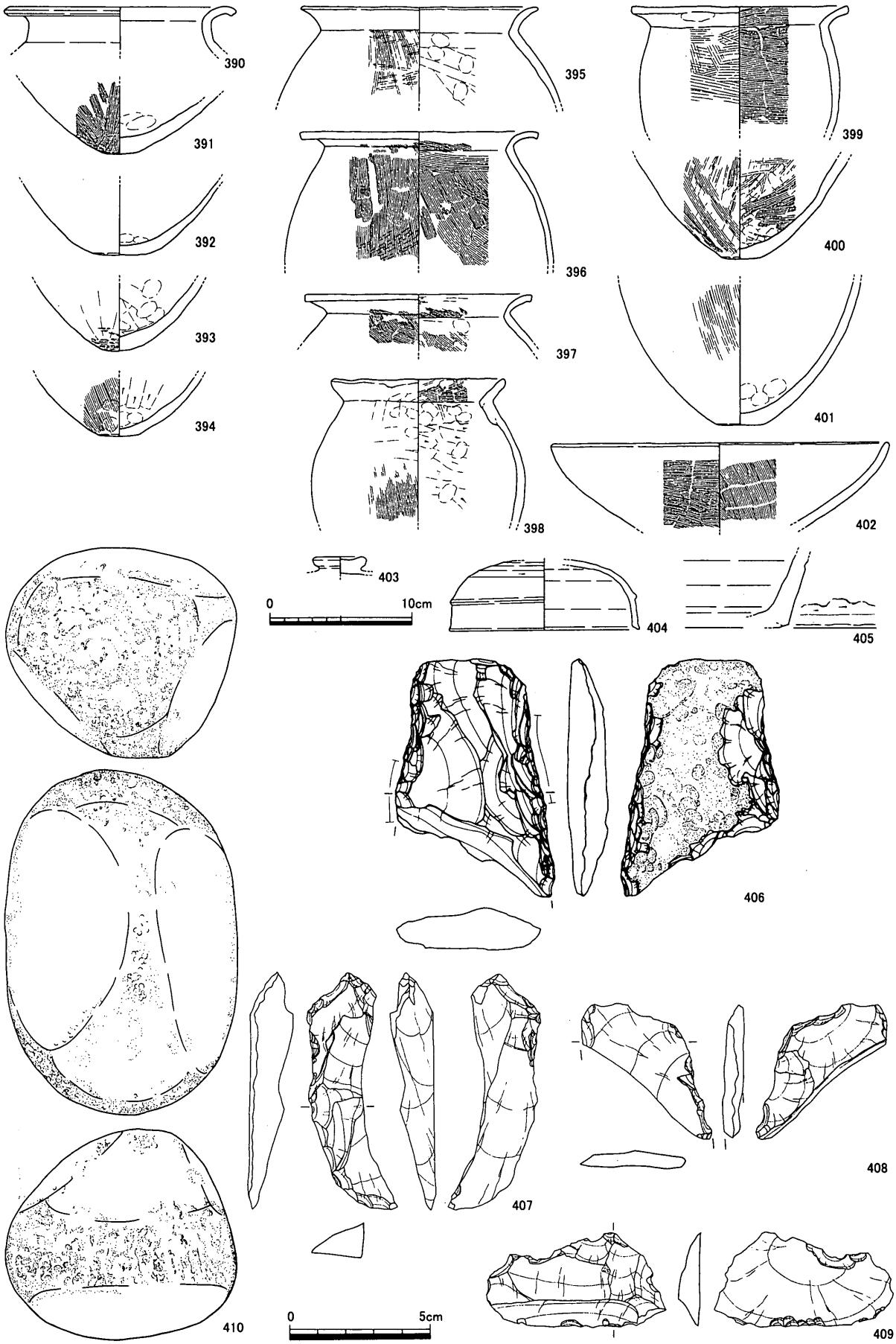
SXa04（第 46・47 図）

Ｂ６区北半部で検出した、旧流路の一部と考えられる不整形な遺構である。SRa02 の北岸部を東西方向から抉りこんでおり、最深部は半楕円形状の溜り状を呈する。Ａ８区の北に所在する開折谷方向より、SRa02 に流下した一時期の流れが、SRa02 の北岸部を抉った後の旧流路の痕跡と考えられる。断面は幅広で不整形な半円状を呈し、埋土は 10 層に分かれる。検出長 8.0 m以上、幅 3.0 ～ 4.0 m、深さ約 0.9 mを測る。

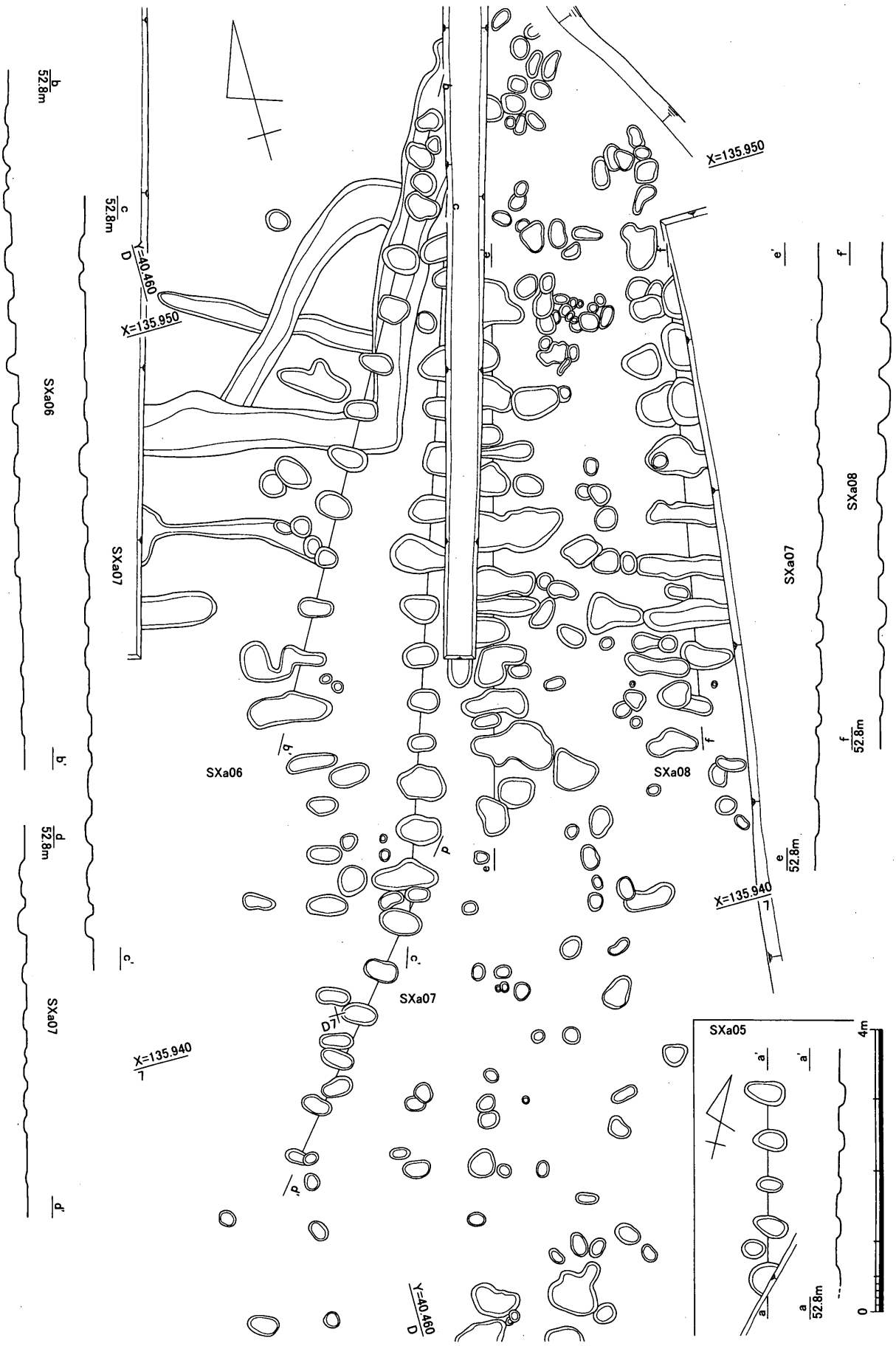
390 ～ 402 は中～下層で出土した弥生土器である。390 は後期の壺の口縁部、391 ～ 394 は後期末頃の壺底部である。395～401 は壺同様に弥生時代後期末頃の、甕の上半部と甕の底部である。体部は球体化の傾向が認められるが、底部は僅かに平底を残している。402 は鉢の上半部である。403 は８世紀頃の須恵器の高台付杯の蓋片である。404・405 は上層出土の須恵器で、404 は６世紀前半頃の TK47 号窯に並行する須恵器杯蓋で、今年度の整理対象区から出土する須恵器では、最も古い資料



第 46 図 SXa04 断面図



第 47 図 SXa04 出土遺物



第 48 図 SXa05 ～ 08 平・断面図

に属する。405は十瓶山窯跡産の壺底部片である。

406～409はSXa04から出土した石器類である。406はサヌカイト製の打製石斧である。片面を主に器面調整を施しており、対面には素材の礫面をかなり残している。407は比較的大型のスポール状の、サヌカイト製の楔形石器の削片である。408はサヌカイト製の二次加工ある剥片としたが、打製石斧の可能性がある。409は刃部の一部に調整を施した削器である。

SXa04の埋没時期は、中～下層の出土遺物から弥生時代後期末頃から埋没が開始するものと考えられるが、最終的に埋没するのは古代以降と考えられる。

SXa05～08（第48図）

Ｄ７区北半部のSRa02の河川堆積層上面（第55図―北壁土層８層相当）で検出した。不整形で楕円形～長楕円形状を呈する落ち込み状の遺構を数百基検出した。これらの落ち込みの中で、楕円形～長楕円形状の落ち込みが並列し、直線気味に連続して延びるグループが認められ、これを大まかに分ければ、SXa05～08までの４グループに分かれる。その配置はグループにより差があるが、東西方向に延びるSRa02を南北に横断するかのように、SRa02の南岸より河川中央に延びる。途中、現在の用水路（北村用水）が通るため、SRa02の北岸部分での広がりは掴めていないが、北岸の斜面部に所在するSXa05等の配置をみる限り、北岸上面まで続く可能性が考えられる。埋土は灰色系の砂質土である。以上の特徴よりこれらの遺構は、いわゆる波板状遺構と呼ばれる遺構の範疇に含まれる可能性がある。なお、周辺にはグループに含みきれない多数の落ち込みがある。そのため、遺構の性格についてはさらに検討を要する。これらの遺構からは遺物が出土していないため、詳細な時期については問題を残すが、検出状況及び埋土等より12～13世紀頃の遺構であろう。

SXa05は、SRa02の中央より北岸よりで検出された。６基の落ち込みで構成され、他のグループに比べ地点を異にして主軸も南北方位に近い向きを取る。長さ0.4～0.6ｍ、幅0.2～0.4ｍ、深さ約0.1ｍを測る。

SXa06は、SXa07・08同様SRa02の中央より南岸よりで検出された14基の落ち込みで構成される。この遺構はSDa22と重複しているが、その前後関係は定かでない。長さ0.3～1.2ｍ、幅0.2～0.4ｍ、深さ約0.1ｍを測る。

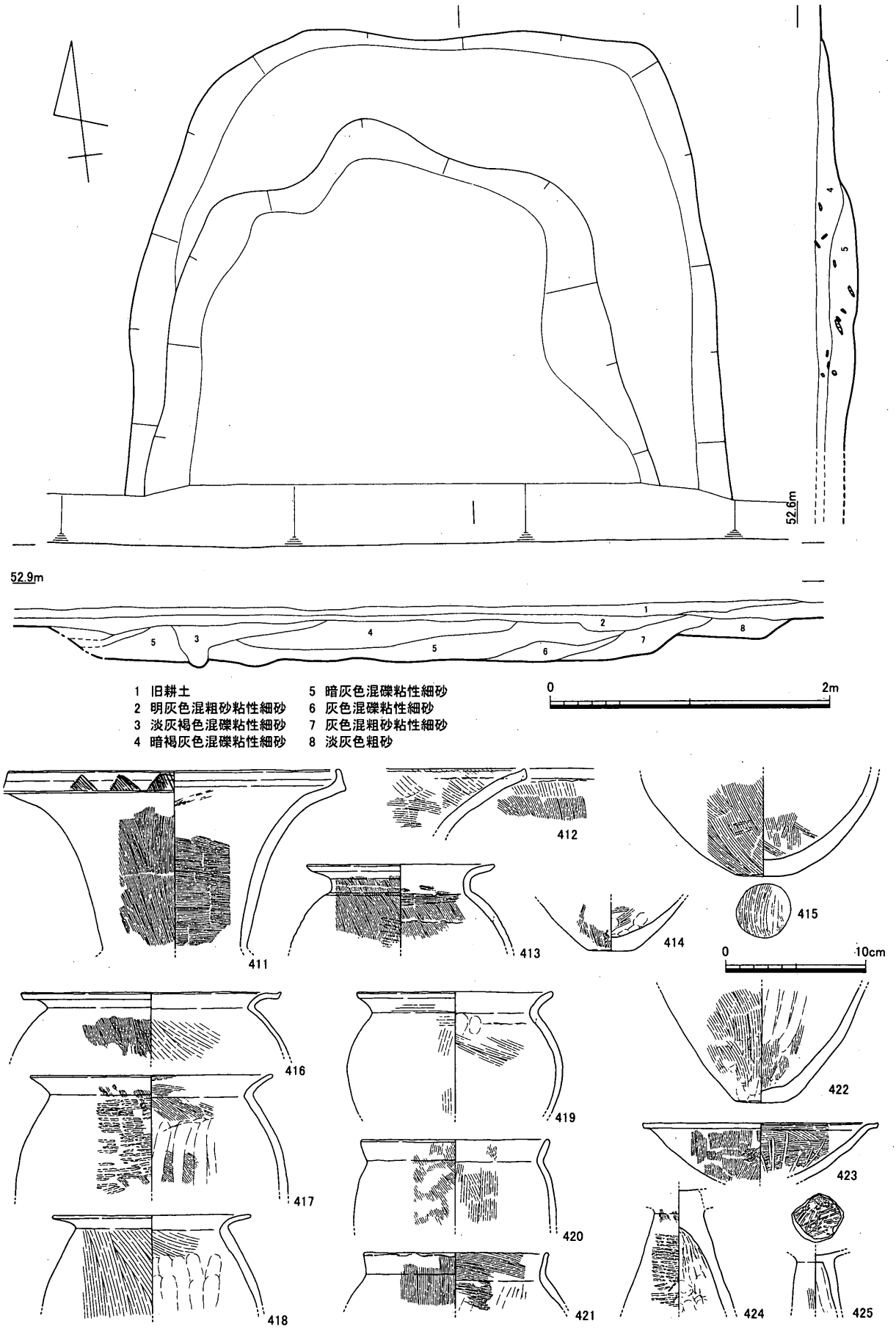
SXa07は、SXa06・08同様SRa02の中央より南岸よりで検出された35基の落ち込みで構成される。主軸方向の違いにより、３つの小グループに分かれる。おおむね平行し北東方向へ向く２グループと、南半部で主軸を曲げ東北東へ向くグループとである。長さ0.4～1.2ｍ以上、幅0.2～0.6ｍ、深さ約0.1ｍを測る。

SXa08は、SRa02の南岸よりの最も東で検出したグループで、９基の落ち込みで構成される。長さ0.4～1.2ｍ以上、幅0.2～0.6ｍ、深さ約0.1ｍを測る。

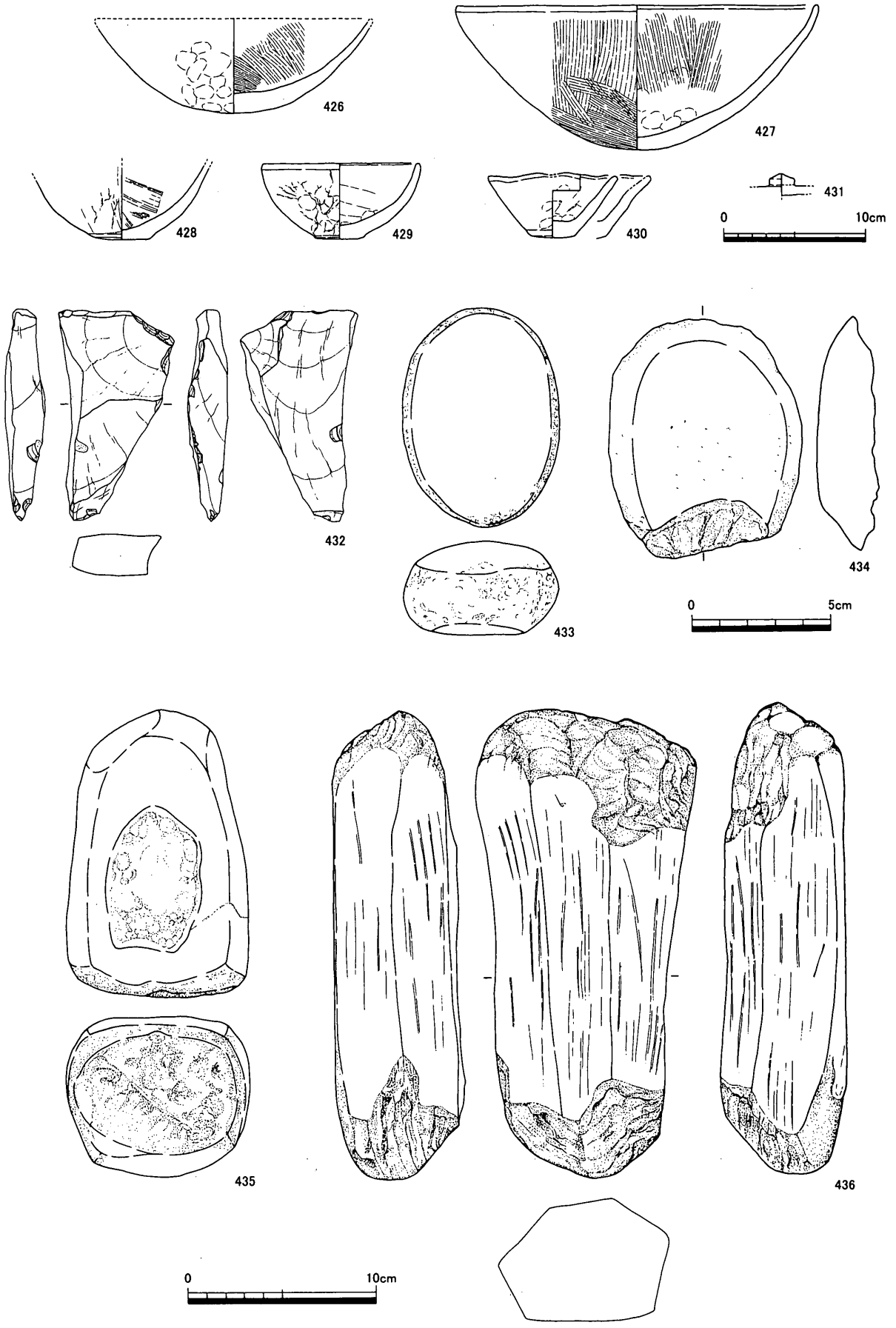
SXa09（第49・50図）

Ｄ７区南端部で検出した、落ち込み状の遺構である。この遺構の南半部は南壁より外へ延びるため、約半分を検出したものと考えられる。全体の形状は定かではないが、検出状態では隅丸台形状を呈している。断面は幅広で不整形な皿状を呈し、砂礫層を地山として掘り込み埋土は６層に分かれる。検出長4.3ｍ、幅3.3ｍ、深さ約0.3ｍを測る。

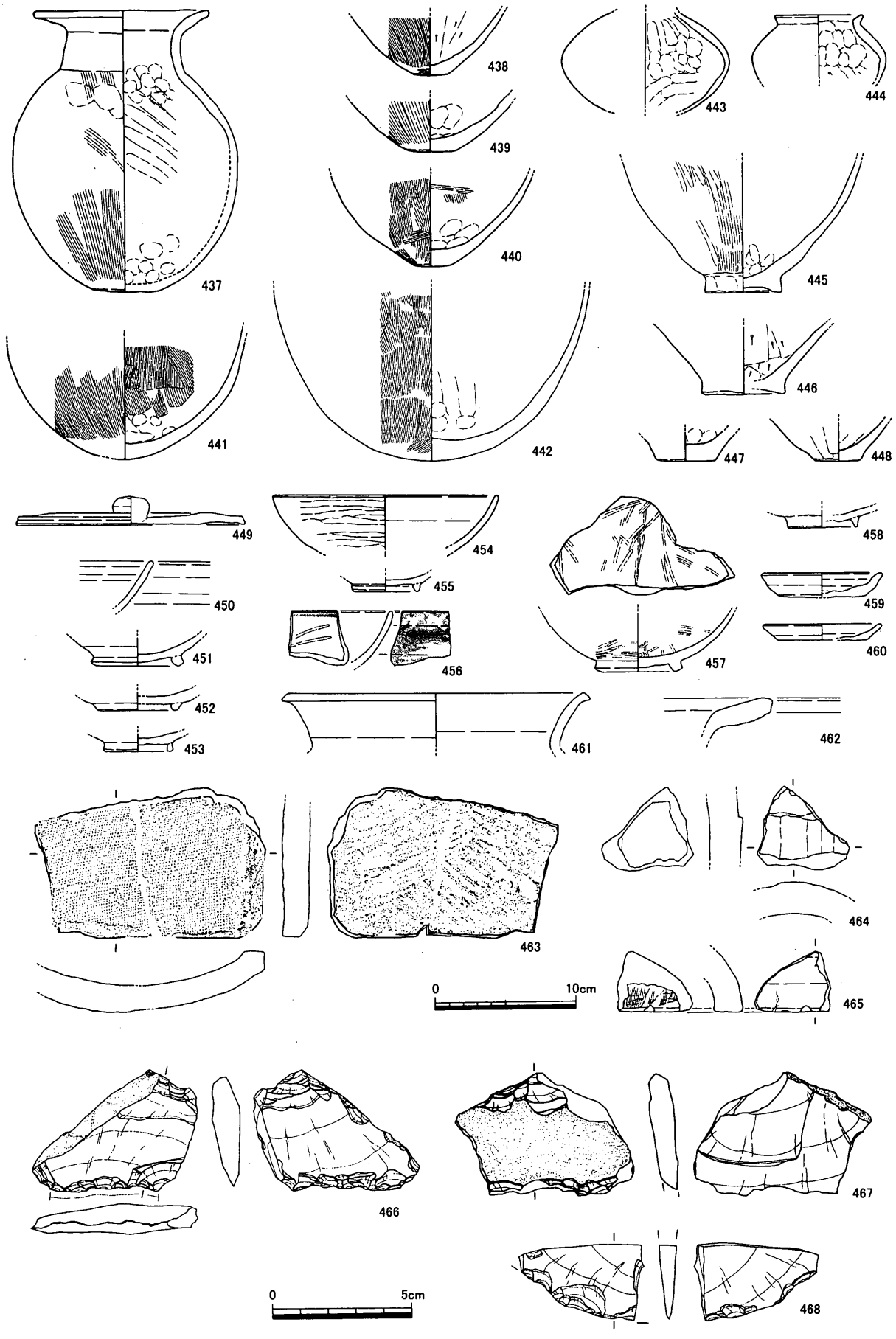
411～430はSXa09から出土した弥生時代後期後半～後期末頃の土器である。411・412は広口壺の口頸部で、411の口縁部外面には鋸歯文を顕著に残す。413は僅かに頸部があることから、短頸壺



第 49 図 SXa09 平・断面図，出土遺物 (1)



第 50 図 SXa09 出土遺物 (2)



第 51 図 SRa01 出土遺物 (1)

の上半部である。414・415は壺の底部である。体部は球体化の傾向が認められるが、底部は僅かに平底を残している。 416～422は甕の資料である。口縁部外上方に折り曲げるタイプ（416～419）と、直立気味に短く延びるタイプ（420・421）とに分けられる。423～425は高杯の杯部と脚部である。424の脚部外面には、細いタタキが顕著に認められる希少な資料である。426～430は鉢である。丸底化している大型の鉢（426･427）と、平底を呈する小型の鉢（428～430）に分かれる。430は口縁端部を一部ひねり出しているため、小型の片口鉢と考えられる。431は7～8世紀頃の須恵器の杯蓋であり混入品であろう。

432～436はSXa09から出土した石器類である。432はサヌカイト製の楔形石器で、裁断面を顕著に残す。433・434は砂岩製の叩き石、435は砂岩製の比較的大型の磨き石、436は流紋岩製のかなり大型の砥石である。ほぼ全面を砥石面とし、断面は六角形状を呈する。器面に使用痕と考えられる筋状の線刻を残している。

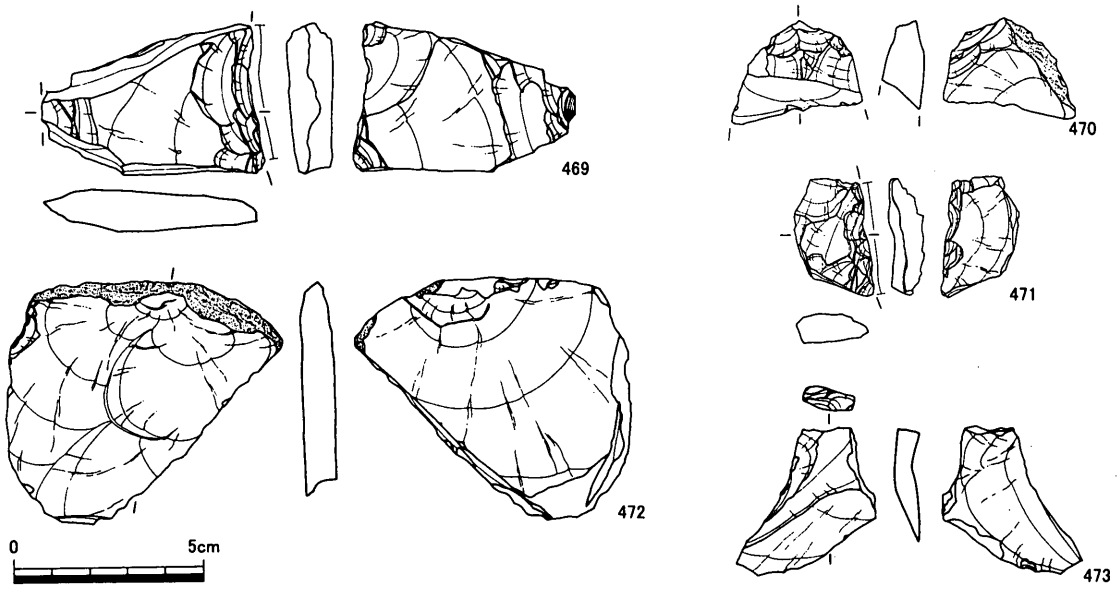
出土遺物からSXa09は、弥生時代後期後半～後期末頃の埋没時期が考えられる。

（6）自然河川

SRa01（第51・52図）

Ｂ６区北半部で検出した、北東方向に向く幅広で浅い自然河川である。Ａ８区の北に所在する開折谷方向より、SRa02に流下した一時期の流れが、SRa02の北岸部を削り込んだ、旧流路の痕跡と考えられる。断面は幅広で不整形な浅い皿状を呈し、SDa13・14・15、SXa04等の諸遺構と切り合い、これらの諸遺構を切り込んでいる。検出長18.0ｍ以上、幅7.0～12.0ｍ、深さ約0.3ｍを測る。

出土遺物を概観すれば、弥生時代後期後半～古墳時代前期、奈良、古代末～中世頃を中心とした遺物が主体を占めるが、SDa13～15からの混入した遺物が、多量に含まれているものと考えられる。437は弥生時代後期後半の広口壺である。438～440は後期末頃の壺の底部で、僅かに平底を残している。443は後期後半の長頸壺である。体部は算盤玉状に張り、胎土等から下川津Ｂ類土器に含まれる資料と考えられる。444は小型の無頸壺の上半部である。胎土等より下川津Ｂ類土器に含まれる土器である。445～447は甕の底部で、445・446は底部を平坦に拡張している。448は後期後半



第52図 SRa01出土遺物（2）

の鉢の底部片である。441・442は、底部が完全に丸底化している形状から、古式土師器の壺の底部と考えられる。449は８世紀頃の須恵器の高台付杯の蓋、450～453は土師器の椀である。454～456は須恵器の椀で西村産であろう。457は黒色土器Ａ類、458は黒色土器Ｂ類の椀である。459・460は土師器小皿で、461は須恵器壺の口縁部である。462は土師器の土鍋の口縁部片である。463～465は須恵質の瓦で、463が平瓦片、464・465は丸瓦片である。

466～473はSRa01から出土した石器類である。466～468はサヌカイト製の削器である。469はサヌカイト製の打製石斧の体部片である。470・471はサヌカイト製の二次加工ある剥片である。472・473はサヌカイト製の剥片で、473には打面調整痕を顕著に残している。

これらの出土遺物及び検出状況より、SRa01は13世紀以降の埋没時期が考えられる。

SRa02（第53～56図）

Ｂ２・３・６，Ｄ７区北半部で検出した、北に湾曲気味に北西方向に延びる、大型の自然河川である。北岸部でSRa01、SXa04と接する。この河川は綾川の一支流と考えられ、調査対象地より南東方向にある綾川の氾濫原より、南北丘陵の南裾を通り、対象地内のＢ２・３・６，Ｄ７区の北半部及び、今後整理が予定されているＥ６、Ｆ７区を経由し、最終的には段丘崖へと抜ける比較的大型の埋没自然河川である。なお、SRa02の南には、SRa03･04等、この河川と同方向へ延びる弥生時代後期後半～古墳時代前期頃の自然河川がＢ２・３区で検出している。そのため、当時の旧地形を復元するには、これら自然河川との係わりを整理する必要がある。

SRa02の検出長は65.0ｍ以上、幅12.0～27.0ｍ、深さ約1.2ｍを測る。断面の形状は、おおむね隅丸の浅い逆台形状を呈している。堆積層を概観すれば、色調は灰色～黒褐色系を呈し、土質は粘質土～細砂を呈する堆積層が数十層に分かれる。堆積状況は地点により異なるが、おおむね水平に堆積している箇所が主である。Ｄ７区の堆積層の断面においては２時期の流路に区分できる箇所もある。これらの堆積層中からは弥生時代後期後半～後期末、古代～中世頃の遺物が多量に出土している。なお、Ｂ２・３区等、調査区によっては地山面までの確認ができていない箇所があり、必ずしも全体像を把握し切れていない部分がある。また、Ｄ７区においては堆積層（第55図―北壁土層８層相当）の上面に、SDa22～28，SXa06～08等の中世の遺構が展開している。

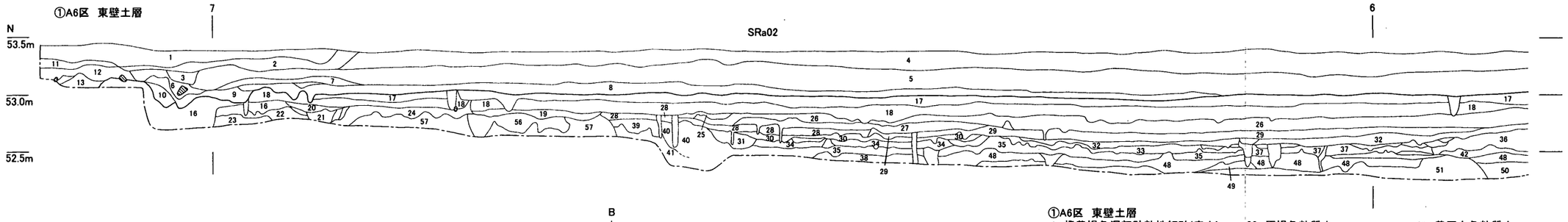
調査に際しては、堆積層中に予想された水田跡の検出に努めたが、検出までには至らなかった。そのため、Ｄ７区のSRa02の南岸にあたる地点の、西壁より土壌サンプルを抽出し、植物珪酸体及び花粉分析を専門業者に委託した。その結果、西壁５・６・11層において水田耕作の可能性の指摘を受けた。特に河川の埋没が終了し、河道内が平坦化した頃にあたる６層からのプラント・オパールの抽出量は多く、この頃、河道内が広範囲に水田化されたことは確実であるが、その時期的な点は今後の課題になる。なお、詳細な結果については、第Ⅳ章で報告しているので、参照していただきたい。

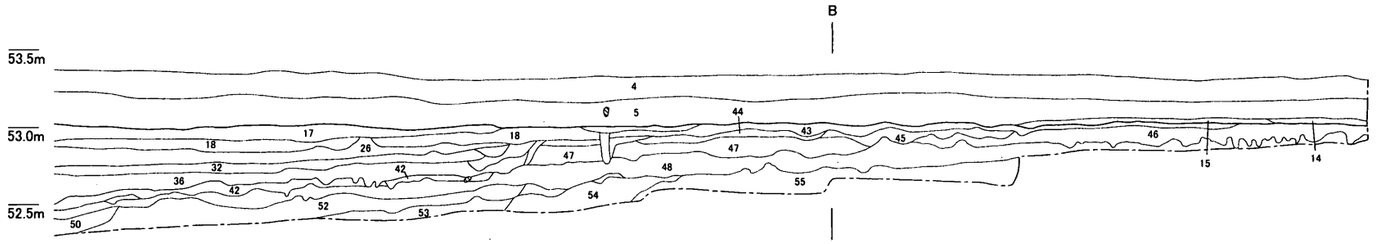
SRa02出土遺物（第57～61図）

SRa02の調査は平成13・14・16年の３ヵ年にわたり、調査区及び担当も異なり、同一視点で整理作業を実施するには混乱が生じる可能性が出てきたため、SRa02出土遺物をＡ６，Ｂ３・６，Ｄ７区等の調査区単位で報告する。

〔１〕Ａ６区 SRa02出土の遺物

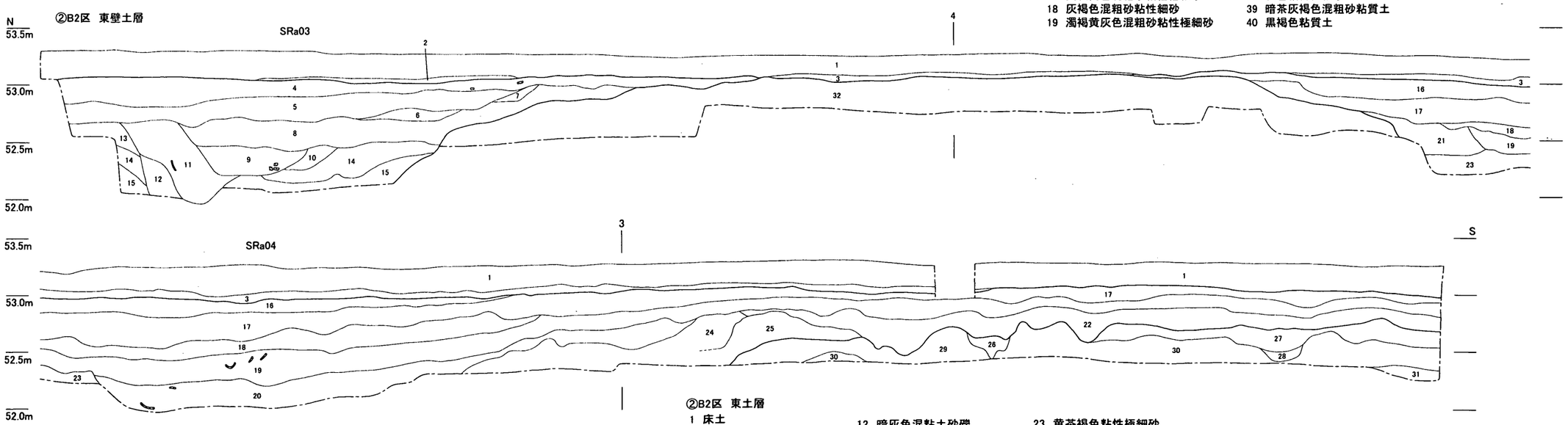
Ａ６区のSRa02出土の遺物は474～510である。東壁面の土層位を基準として整理したため、そ





①A6区 東壁土層

1 橙黄褐色混粗砂粘性細砂(床土)
2 暗褐色混粗砂粘性細砂(Mg沈着層)
3 濁灰褐色混粗砂粘性細砂
4 (層名ナシ)
5 濁茶灰色混粗砂粘性細砂
6 茶灰色混粗砂粘性細砂
7 濁黄茶褐色混粗砂粘性細砂
8 褐灰色混粗砂粘性極細砂
9 淡灰褐色混粗砂粘性細砂
10 濁黄茶灰色混粗砂粘性極細砂
11 濁茶灰色混粗砂粘性細砂
12 灰褐色混粗砂粘性細砂
13 茶灰褐色細砂
14 暗橙褐色粘性極細砂(床土)
15 橙黄色粘性極細砂(床土)
SRa02埋土(16層～57層)
16 黄茶褐色粘性極細砂(灰茶褐色細砂をラミナ状に含む)
17 黄灰褐色混粗砂粘性極細砂
18 灰褐色混粗砂粘性細砂
19 濁褐黄灰色混粗砂粘性極細砂
20 灰褐色粘質土
21 灰黄褐色粘質土
22 赤褐色粘性極細砂
23 茶灰色細砂
24 黄褐色粘性極細砂
25 茶灰褐色混粗砂粘性極細砂
26 濁黄茶灰色混粗砂粘性極細砂
27 濁黄茶褐色混粗砂粘性極細砂
28 橙色粘質土
29 黄橙色粘質土
30 黒色粘質土
31 濁茶灰色粘質土
32 暗茶灰色粘性極細砂
33 濁茶灰色粘性極細砂
34 暗灰白色粘性極細砂
35 暗灰色粘性極細砂
36 茶灰色粗砂
37 茶灰白色混粗砂細砂
38 灰色粘性極細砂
39 暗茶灰褐色混粗砂粘質土
40 黒褐色粘質土
41 黄灰白色粘質土
42 茶灰白色粘性極細砂
43 暗褐灰色混礫粘性極細砂
44 暗黄色粘性極細砂
45 濁暗茶褐色粘性極細砂
46 黒褐色粘性極細砂(橙褐色粘性極細砂の小ブロックを多含)
47 暗茶褐色粘質土
48 濁灰色粘性極細砂
49 茶灰白色粘性極細砂
50 暗褐灰白色粘性極細砂
51 茶灰白色粘性極細砂
52 濁黄茶灰色粘性極細砂
53 暗灰褐色粘性細砂
54 茶灰色粘性細砂
55 茶灰褐色混礫粘性極細砂
56 茶灰色混粗砂細砂
57 茶灰白色粘性極細砂

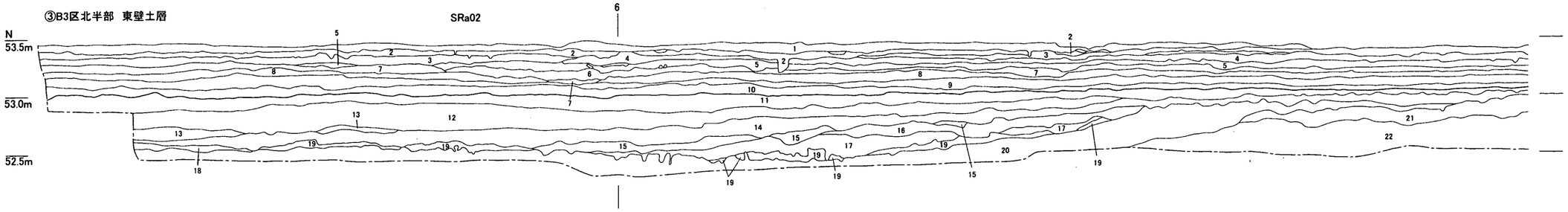


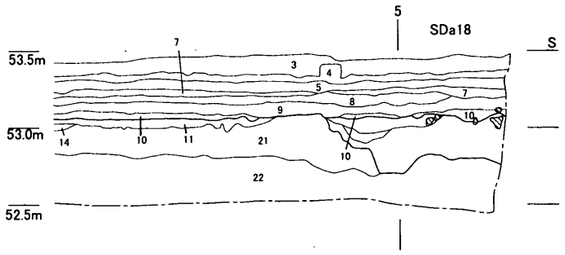
②B2区 東土層

1 床土
2 明黄灰色混粗砂粘性細砂
3 明黄灰色粘性極細砂
SRa03埋土(4層～15層)
4 3層と同様
5 濁茶灰色混粗砂粘性極細砂
6 暗褐灰色混粗砂粘性極細砂
7 茶褐灰色混粗砂粘性極細砂
8 黄茶褐色混礫粘性極細砂
9 濁茶褐灰色混粗砂粘性極細砂
10 黄茶褐色混粗砂粘性極細砂
11 暗茶褐色混礫粘性極細砂
12 暗灰色混粘土砂礫
13 濁茶褐灰色粘性細砂
14 黄茶灰色粘性細砂
15 黄灰褐色粘性細砂
SRa04埋土(16層～28層)
16 暗茶褐色混粗砂粘性極細砂
17 灰黄褐色粘性極細砂
18 濁黄茶褐色混粗砂粘性極細砂
19 暗褐色混粗砂粘性極細砂
20 黄茶褐色混粗砂粘性極細砂
21 茶褐灰色混礫粘性極細砂
22 茶灰褐色混礫粘性極細砂
23 黄茶褐色粘性極細砂
24 黄茶褐色混礫粘性極細砂
25 濁黄茶褐色混礫粘性極細砂
26 茶灰色砂礫
27 黄茶褐色混粘性細砂砂礫
28 茶灰色砂礫
29 黄灰色粘性細砂
30 灰色砂礫
31 黄茶灰色粘性細砂
32 灰褐色砂礫

0 4m
(水平1/80,垂直1/40)

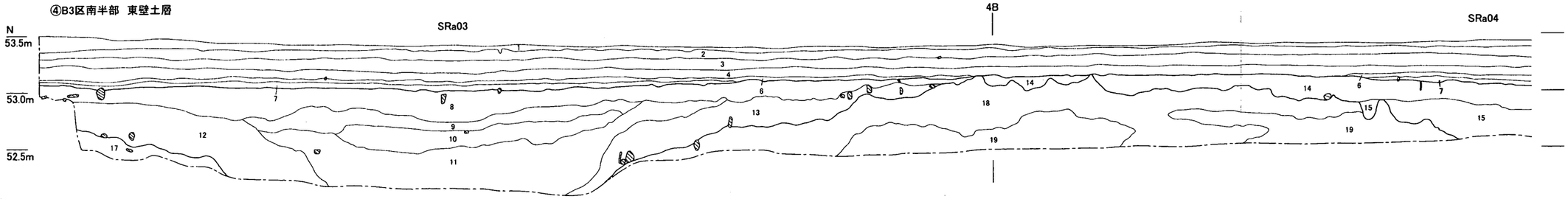
第53図 A6, B2区東壁面土層図

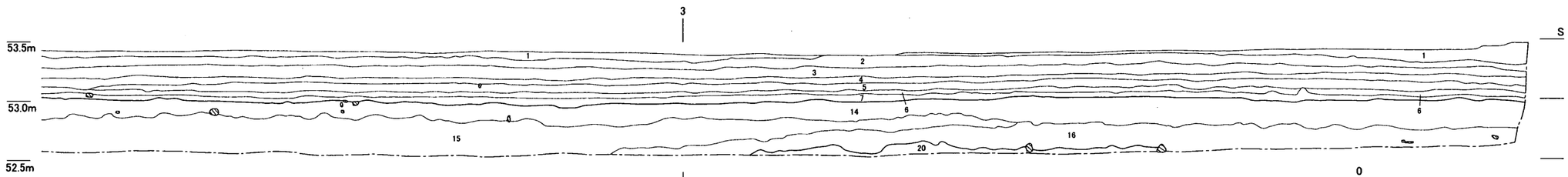




③B3区北半部　東壁土層
1 10YR3/1 黒褐色粘質土(耕作土及び客土)
2 5YR3/6 暗赤褐色砂利混土(耕作土及び客土)
3 10YR3/1 黒褐色粘質土(2層が混じる,耕作土及び客土)
4 7.5YR4/6 褐色粘質土(耕作土及び客土)
5 10YR4/6 褐色粘質土(1～2mm大の小石をまばらに含)
6 10YR4/6 褐色粘質土(0.5～1cm大の黒斑をまばらに含,色、質ともに5層に酷似)
7 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土(5mm以下の小石をまばらに含)
8 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土(黒斑を若干含,色、質は7層に酷似)
9 10YR5/6 にぶい黄褐色粘質土(1～5mm大の小石を若干含,10層より若干粘性弱)
10 10YR4/6 褐色粘質土(1～5mm大の小石を多含,0.5～1cm大の黒斑混,しまりのある堆積)

SRa02埋土(11層～22層)
11 10YR4/1 褐灰色粘質土(5mm以下の小石をまばらに含,5cm大の小礫を少量含,褐色粒や黒斑を多含,粘性弱)
12 10YR4/2 灰黄褐色粘質土(褐色粒は少,11層とほぼ同質であるが、粘性やや強)
13 7.5YR2/1 黒色粘質土(粘性強)
14 7.5YR4/4 褐色粘質土(5mm以下の小石をまばらに含,粘性やや強)
15 10YR3/4 暗褐色粘質土(,14層に近似)
16 7.5YR4/6 褐色粗砂(2～3mm大の粗砂層)
17 10YR4/1 褐灰色粗砂(2～3mm大の粗砂層)
18 10YR3/1 黒褐色粘質土(粘性強)
19 10YR4/1 褐灰色砂質シルト(しまり弱)
20 7.5YR2/2 黒褐色粘質土(1～5mm大の小石を若干含,褐鉄が縦に筋状にみられる.20・21層の上面は一定期間地表面であったと考えられる.しまりのある硬い堆積)
21 7.5YR2/2 黒褐色粘質土(20層との境界は漸位的)
22 7.5YR3/4 暗褐色細砂層(2～3cm大の小礫を含)



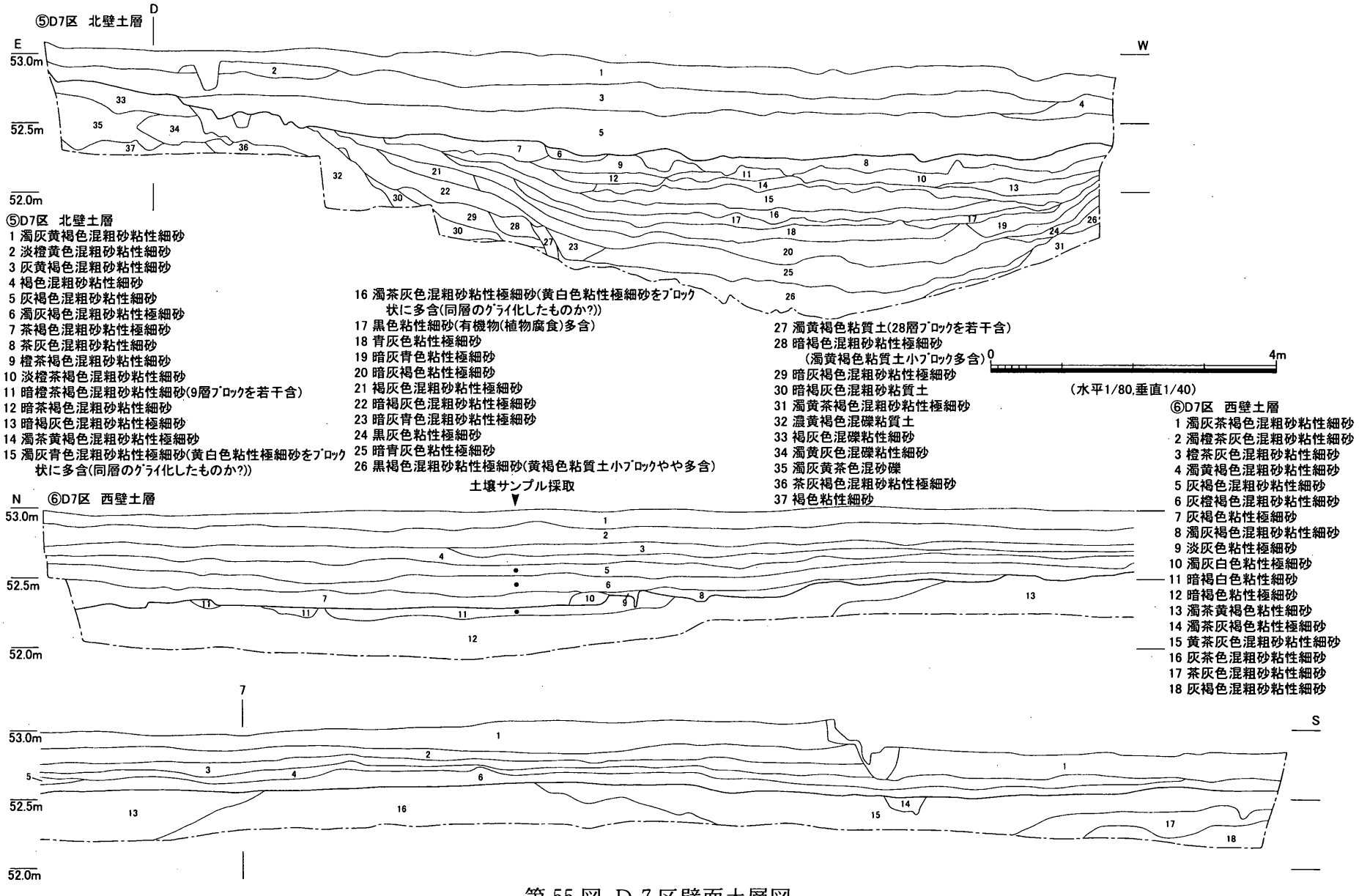


0　4m

(水平1/80,垂直1/40)

④B3区南半部　東壁土層
1 耕土
2 10YR5/6 黄褐色粗砂混粘土(Fe含,1～3cmの小礫及び1～2cmの1層ﾌﾞﾛｯｸ含,床土層)
3 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土(Fe・Mn含,1～2cmの小礫含,旧耕作土)
4 10YR5/6 黄褐色砂混粘土(Fe・Mn含,1～2cmの小礫含,旧耕作土)
5 10YR7/4 にぶい黄橙色砂混じり粘土(Fe・Mn含,0.5～3cmの小礫少量混,旧耕作土)
6 10YR5/8 黄褐色粘土(Mn含,Fe沈着層か,旧耕作土)
7 10YR6/2 灰黄褐色シルト質粘土(Fe・Mn含)
SRa03埋土(8層～13層)
8 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土(Mn顕著,上面Fe.5～20cmの小礫含,ややシルト質,上面に粗砂礫の薄層が部分的に覆う)
9 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質粘土(Mn含,均質,8層より漸移的に層変化)
10 2.5Y3/2 黒褐色シルト質粘土(Fe・Mn含,1～7cmの小礫少量混,炭化物粒含)
11 10YR4/2 灰黄褐色シルト(Fe含,炭片,焼土塊多量に含.3～10cmの小円礫含)
12 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト(Mn・Fe含,2～8cmの小礫含,10cm大の灰色粘土ﾌﾞﾛｯｸ含)
13 10YR3/2 黒褐色小礫混砂質土(Mn含,2～10cmの円～亜円礫やや多含)
SRa04埋土(14層～16層)
14 8層と同様
15 10YR3/3 暗褐色砂混じり粘土(Fe・Mn含,2～7cmの亜円礫少量含)
16 7.5YR3/1 黒褐色シルト(Fe・Mn含,炭化物粒含,3～7cmの小礫少量混)
17 10YR5/3 にぶい黄褐色小礫混シルト(Mn・Fe含,5～12cmの小円礫やや多含,12層に極似)
18 2.5Y4/2 暗灰黄色砂礫(2～15cmの円～亜円礫を大量に含)
19 10YR6/6 明黄褐色中～粗砂礫(2～10cmの円礫多含)
20 10YR4/1 褐灰色砂礫(2～10cmの小礫多含)

第54図　B3区東壁面土層図



第55図 D7区壁面土層図

1 淡茶灰色粘性極細砂
2 暗褐色粘性極細砂
3 淡茶褐色粘性極細砂
4 濁黄茶白色粘性極細砂
5 灰茶白色粘性極細砂
6 灰褐色混細砂粘性極細砂
7 暗灰褐色混礫粘質土
8 黒灰色粘性極細砂
9 暗黄褐色粘性極細砂
10 濁灰黄色粘性極細砂
11 明黄灰色粘性極細砂
(褐灰色粘質土ﾌﾞﾛｯｸ多含)
12 褐灰色混粗砂粘性細砂
13 濁灰黄褐色混粗砂粘性細砂
14 濁灰黄色粘性極細砂
15 明黄灰色粘性極細砂
16 暗灰色混礫粘質土
17 淡褐灰色粘性極細砂
18 濁黄灰色粘性極細砂
19 濁灰色混粗砂粘性細砂
20 濁灰黄褐色混粗砂粘性細砂
21 濁灰黄色粘性極細砂
22 茶灰色混粗砂粘性細砂
23 黒褐色混礫粘質土
24 暗茶褐色混粗砂粘質土
25 茶褐色混粗砂粘質土
26 灰黄色粘性極細砂
27 茶灰色砂礫
28 濁黄褐色粘性極細砂
29 濁黄白色粘性極細砂
30 灰黄色粘性極細砂
31 暗茶褐色混粗砂粘性細砂
32 黄灰褐色混粗砂細砂
33 淡茶灰色混粗砂粘性細砂
34 淡灰褐色混細砂粘質土
35 褐灰色混細砂粘質土
36 濁褐灰色混礫粘性極細砂
37 濁灰褐色混礫粘性極細砂
38 褐灰色混粗砂粘性細砂
39 濁褐灰色混粗砂粘性細砂
40 褐茶灰色混粗砂粘性細砂
41 濁褐灰色混粗砂粘性極細砂
42 茶灰色粘性細砂
43 濁褐灰色混細砂粘性極細砂
44 褐灰色混礫粘性極細砂
(46層ﾌﾞﾛｯｸ若干含む)
45 褐灰色混礫粘性極細砂
46 淡褐灰色混礫粘性極細砂
47 ほぼ48層と同系色(礫が少ない)
48 灰茶褐色混粗砂粘性細砂
49 ほぼ45層と同系色で砂礫が目立つ
50 茶灰色混粗砂細砂
51 褐色混礫粘性極細砂
52 褐色混礫粘性極細砂
53 茶褐色混粗砂粘性細砂
54 茶褐灰色混粗砂粘性細砂
55 赤褐色混粗砂細砂
56 灰褐色混礫細砂
57 濁灰黄茶色混粗砂粘性細砂

1 橙茶褐色混粗砂粘質土
2 橙黄褐色混粗砂粘性細砂
3 茶灰色粘性極細砂
4 灰褐色粘性極細砂(炭化物をﾗﾐﾅ状に含む)
5 茶灰色粘性極細砂
6 暗茶灰色粘性極細砂
7 茶灰色粘性極細砂
8 明灰褐色粘性極細砂
9 暗灰色粘性極細砂
10 暗茶褐色粘質土
11 暗茶褐色粘質土(黄灰色粘性細砂ﾌﾞﾛｯｸ若干含む)
12 暗灰黄色粘性細砂
13 灰色粘性細砂
14 黒色粘性細砂
15 茶灰色粘性細砂
16 黄灰色粘性細砂
17 暗灰色混礫粘性細砂
18 暗灰色細砂
19 濁橙茶灰色混粗砂細砂
20 橙茶灰色粘性細砂
21 濁黄灰色粘性細砂
22 茶褐色混粗砂粘性細砂
23 濁茶灰色細砂
24 茶灰色混粗砂粘性細砂
25 茶灰白色細砂
26 灰色粘性細砂
27 灰色細砂(14層との境に礫多含)
28 濁茶灰色細砂
29 灰色細砂
30 濁灰黄色混礫細砂
31 濁灰黄褐色混粗砂粘性極細砂
32 暗茶色混粗砂粘性極細砂
33 淡茶灰色混粗砂細砂
34 濁黄茶灰色混粗砂細砂
35 灰色粘性極細砂

第 56 図 SRa02 土層断面図

の土層位単位で報告する。なお、土層の番号は上層より順に付している点を断っておく。

474 ～ 484 は 17・18 層前後から出土した土器である。474 ～ 479 は８世紀前半頃の須恵器の高台付杯の資料である。474 ～ 477 は杯蓋で、478・479 は杯身である。480 は須恵器杯で、火襷が顕著に残る。481 は７世紀後半頃の須恵器の高杯片である。482 は小型の須恵器壺の底部である。483 は土師質の甕の取手部である。484 は土師質の円盤状土製品で、おそらく弥生土器を再利用したものと考えられる。

485 ～ 489 は 32・36 層前後から出土した弥生時代後期の土器である。485 ～ 487 は壺の資料である。485 は後期後半の広口壺の口頸部である。486 は壺の底部である。僅かに平底を残す点より、後期末頃の時期が考えられる。489 は弥生時代後期前半頃の高杯の口縁部片である。外面には擬凹線を施し、端部を平坦に拡張している。

490 ～ 501 は 39・40 層前後から出土した弥生時代後期後半～後期末頃の土器である。490 ～ 494 は壺の資料である。492 は細頸壺の頸部で、胎土等から下川津Ｂ類の土器と考えられる。495 ～ 499 は甕の資料である。500 は小型の鉢の底部である。501 は比較的大型の鉢の上半部である。

502 ～ 505 はＡ６区の SRa02 の堆積層の中でも下層にあたる、19・28・32 層より下位から出土した土器である。出土遺物に 10 ～ 11 世紀前後の遺物を含むことより、これらの土層より上位で出土した、弥生～古代前半の遺物は二次堆積により混入した遺物として捉えられる。502 は弥生後期後半の高杯の杯部である。503・504 は８世紀頃の須恵器杯蓋の口縁部片である。505 は 10 ～ 11 世紀前後の須恵器杯の底部である。外面には火襷痕を顕著に残している。

506 ～ 510 は、Ａ６区の SRa02 から出土した石器類である。506 はサヌカイト製の石鏃未製品である。507・508 はサヌカイト製の削器片である。509・510 は砂岩製の叩き石である。

〔２〕Ｂ３区 SRa02 出土の遺物

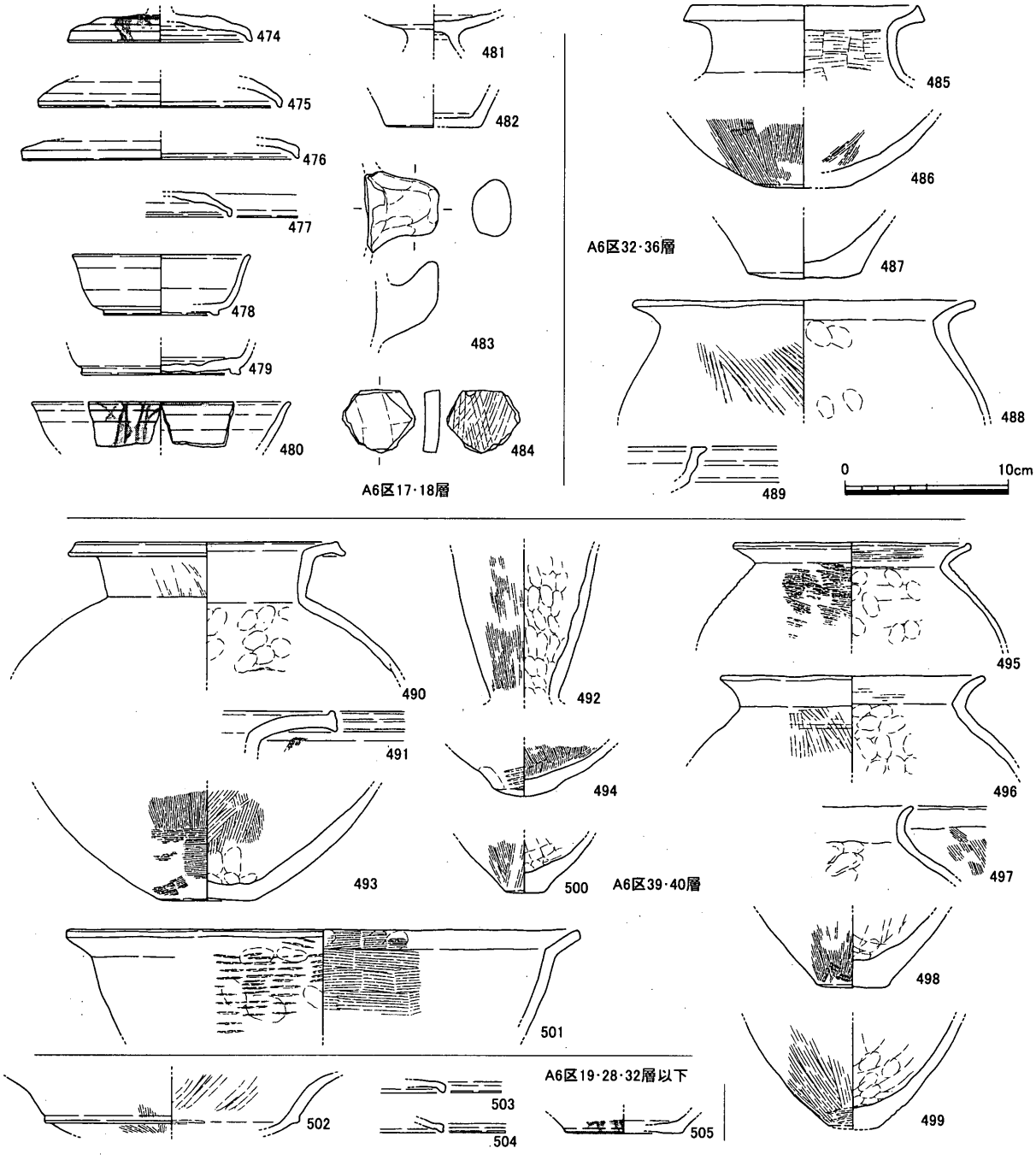
Ｂ３区の SRa02 出土の遺物は 511 ～ 533 である。511 は７世紀初頭頃の須恵器杯蓋である。512 ～ 519 は８世紀前半頃の須恵器の高台付杯の蓋と杯身である。520 は須恵器杯の底部、521 は黒色土器Ａ類の椀の底部である。522 は土師器小皿、523・524 は８世紀後半頃の須恵器皿の口縁部である。525 は外面に線刻文字を描いている須恵器片である。小片のため仔細な点は不明であるが、皿ないし蓋等の可能性がある。外面にヘラ状の工具により「■萩丸」と記しており、文字資料として貴重な資料である。527・528 は須恵器壺の資料である。529・530 は須恵器甕の資料である。531 は土師質の竈片である。532 はサヌカイト製の石鏃未製品、533 はサヌカイト製の削器である。

〔３〕Ｂ６区 SRa02 出土の遺物

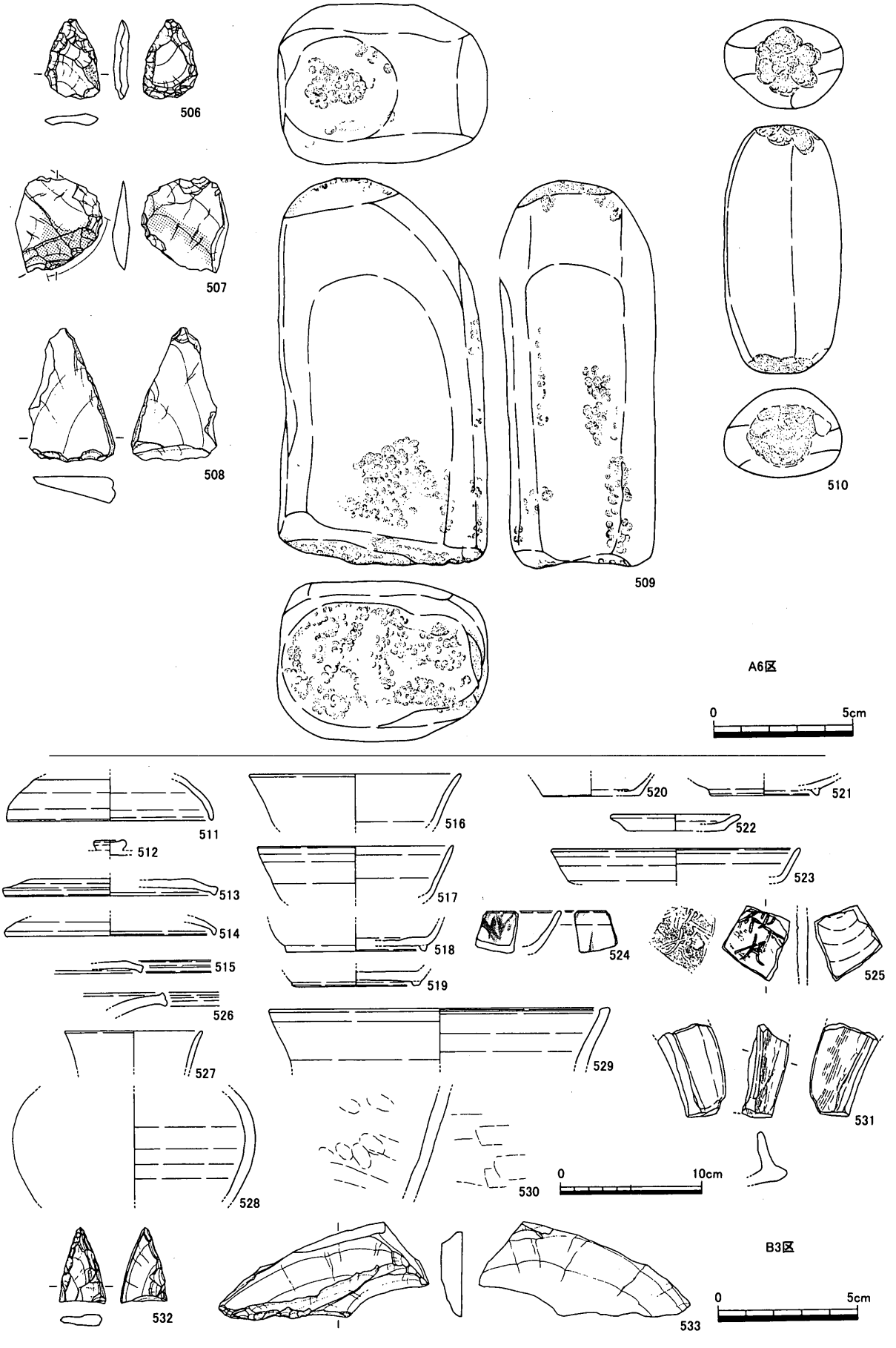
Ｂ６区の SRa02 出土の遺物は 534 ～ 605 である。534 ～ 584 は弥生時代後期末～古墳時代初頭頃の土器である。534 ～ 544 は弥生時代後期末頃の壺の資料である。534・535 は二重口縁を呈する壺で、口縁部には櫛描波状文を顕著に残す。537 ～ 539 は広口壺の口頸部である。541 は底部を欠く細頸壺で、胎土等から下川津Ｂ類に含まれる土器と考えられる。542 ～ 544 は底部ないし、下半部片である。545 は底部を欠く広口壺で、体部は球体化しており、古式土師器に含まれる資料と考えられる。546 ～ 563 は甕の資料である。口縁部を「く」の字状に外反させ、端部のつくりは雑である。体部外面に残るタタキは総じて細い。全体を図化できる資料が少ないため、後期末の土器と古式土師器の区別が困難な資料が多く、これらの土器の中には、さらに古式土師器が含まれている可能性がある。547 は底部を欠くが、丸底を呈するものと考えられ、古式土師器に含まれるものと考えられる。

556は甕の上半部である。胎土等から下川津Ｂ類に含まれる土器と考えられる。564・565は「ハ」の字状に開く高杯の脚部である。566～580は鉢の資料である。大きさにバラツキがあり、底部のつくりも平底・丸底等に分かれる。579・580は口縁部を「く」の字状に外反させた比較的大型の鉢の口縁部である。581～584は甑の資料である。584は底部をかなり突出させている。ここまで突出させている事例は少なく注目できる資料である。

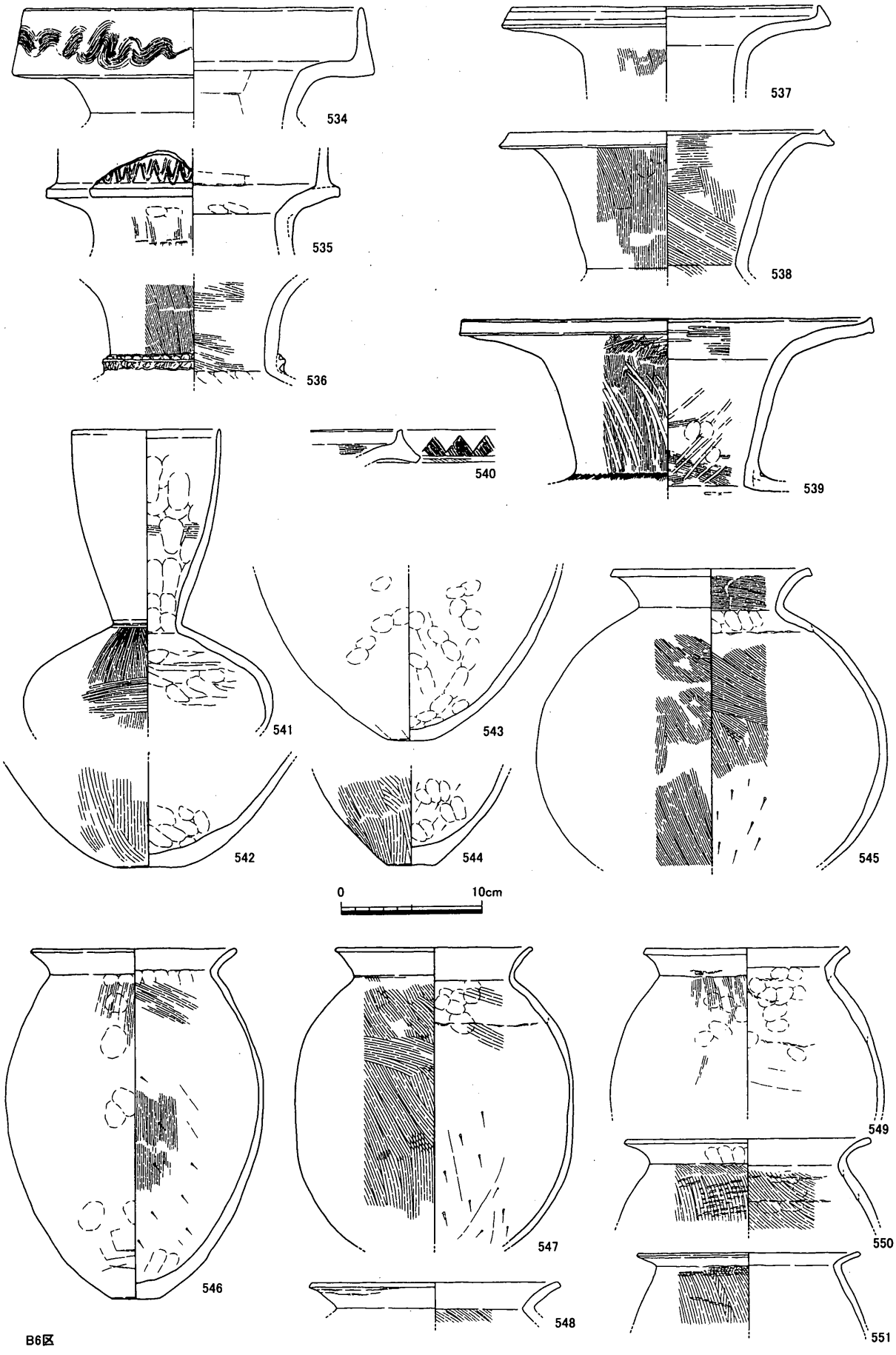
585～587・589は須恵器杯の資料である。585・586は８世紀頃の高台付の杯蓋・杯身片である。589は10～11世紀の須恵器杯の底部である。590は土師器の椀、591は黒色土器Ａ類の椀の底部である。592は８世紀中頃の須恵器の皿である。593は土師器の小皿、594は17世紀前半の肥前系陶器



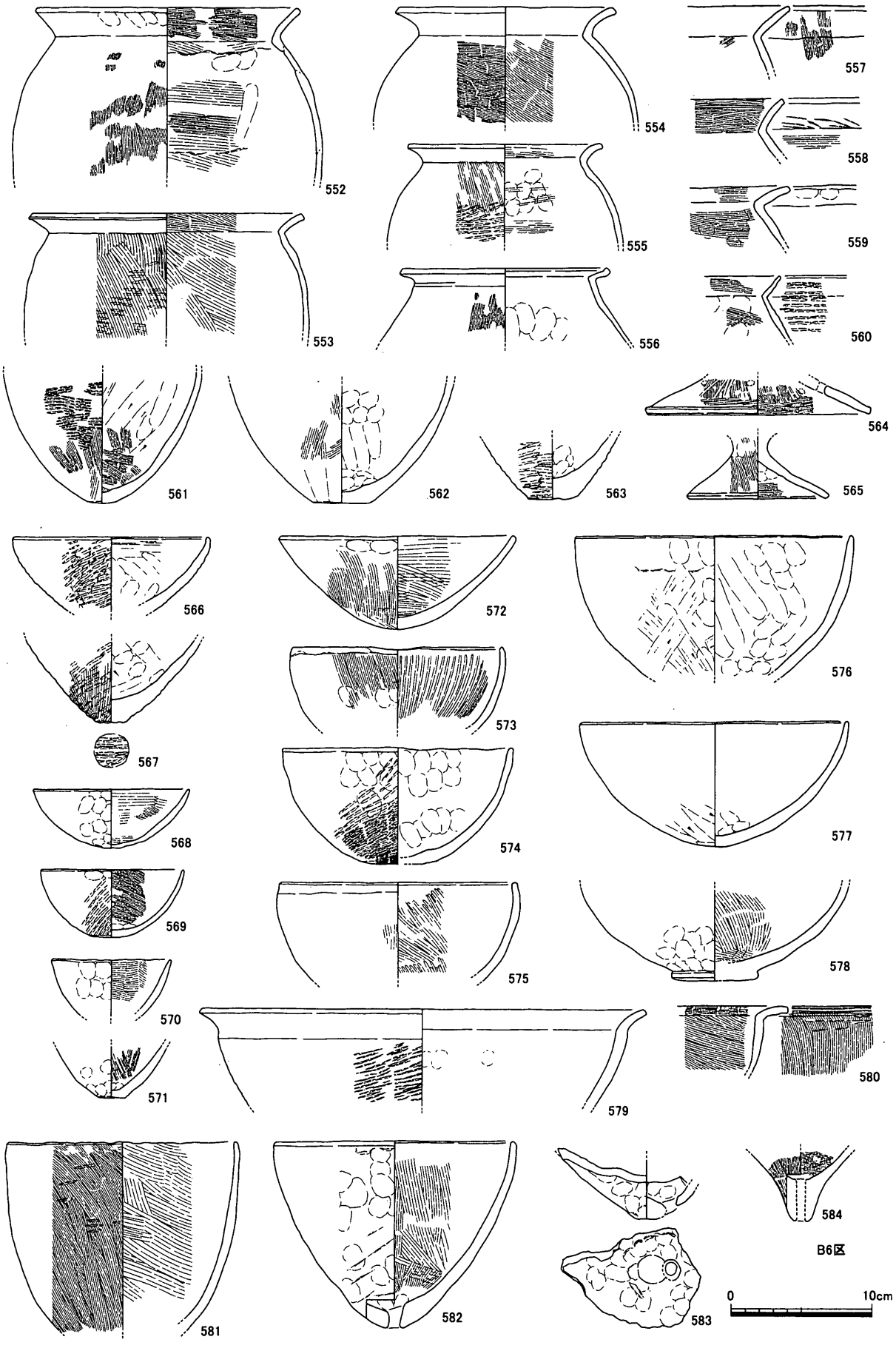
第57図 SRa02出土遺物（1）



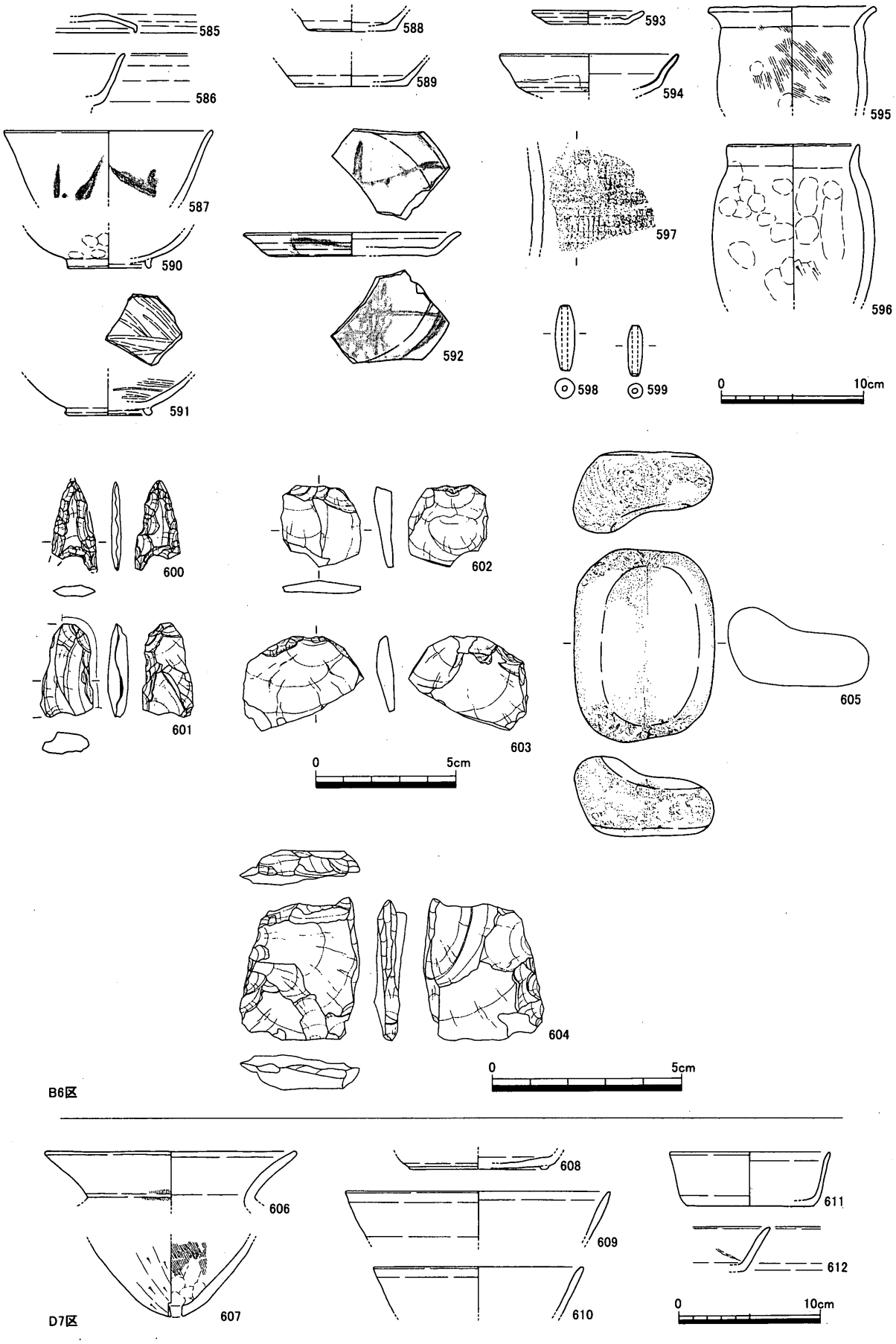
第 58 図 SRa02 出土遺物 (2)



第 59 図 SRa02 出土遺物 (3)



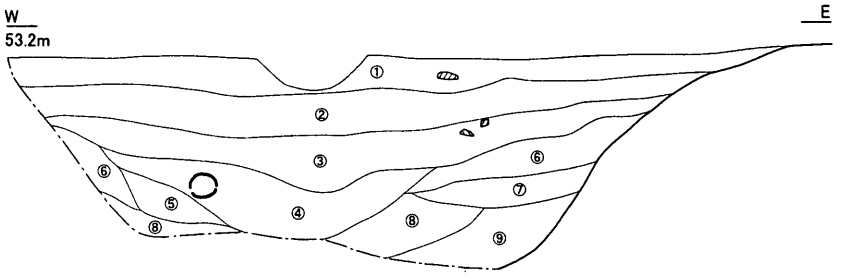
第 60 図 SRa02 出土遺物 (4)



第61図 SRa02出土遺物 (5)

の皿である。595・596・598・599は土師質の蛸壺と、管状土錘である。

600～605はＢ６区のSRa02出土の石器類である。600・601はサヌカイト製の石鏃であるが、601は調整の状態より未製品と考えられる。602・603はサヌカイト製の剥片である。604はサヌカイト製の楔形石器である。この資料の作業面と考えられる面には、複数の樋状剥離痕が見られる。また、打面調整と考えられる剥離痕もみられる点より、旧石器時代の「細石刃核」とみる捉え方もできる。同様な資料としてSDa06の109の資料がある。



① 黄茶灰褐色混礫粘性極細砂(第53図B2区東壁第4層に相当)
② 茶灰褐色混礫粘性極細砂(第53図B2区東壁第5層に相当)
③ 黄茶灰色混礫粘性極細砂(第53図B2区東壁第8・9層に相当)
④ 茶灰褐色混粗砂粘性極細砂(土器(完形)包含層,第53図B2区東壁第11層に相当)
⑤ 黄茶褐色混粗砂粘性細砂
⑥ 茶褐色粘性極細砂
⑦ 黄茶灰色粘性極細砂
⑧ 灰茶褐色混礫細砂
⑨ 黄褐色粘性細砂

0　1m

第62図 SRa03土層断面図

〔４〕Ｄ７区 SRa02出土の遺物

Ｄ７区のSRa02出土の遺物は606～612である。606は古墳時代前期の土師器の甕口縁部である。607は弥生時代後期末頃の甑の底部である。608～612は８世紀中頃以降の須恵器杯の資料である。608は高台付杯身の底部で、609は高台付杯身の上半部である。

Ａ６，Ｂ２・３・６，Ｄ７区出土遺物を概観し、SRa02の埋没時期を検討すれば、Ａ６区の19・28・32層より下位から出土した土器中に10～11世紀前後の遺物を含むことから、この時期以降にSRa02の埋没が開始され、Ｄ７区のSDa22～28，SXa06～08等の12世紀以降の遺構群が、堆積層の上面に広がる頃には完全に埋没しているものと考えられる。

SRa03（第53・54・62図）

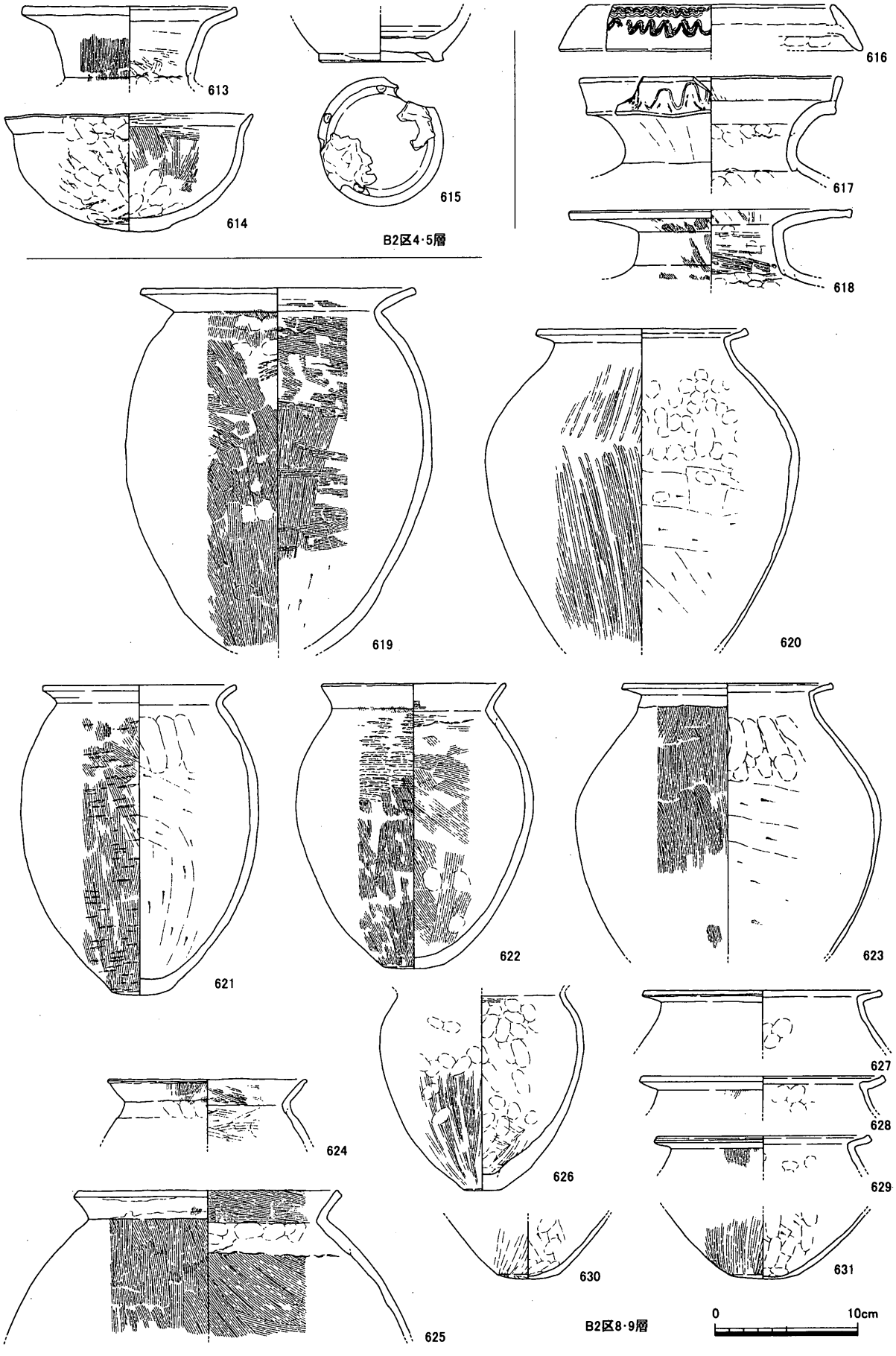
Ｂ２・３区北端部で検出した、SRa02・04に並行するように北西方向に延びる、小規模な自然河川である。この河川の堆積層上面には、SKa06・07、SDa19等の遺構が展開している。検出長は10.0ｍ以上、幅約6.0ｍ以上、深さ約1.0ｍを測る。断面は幅広で隅丸の逆台形状を呈し、埋土はＢ３区においては６層に区分できる。堆積層中からは弥生時代後期末頃を中心とした、比較的一括性の高い遺物が多量に出土した。特にＢ２区の北岸部の下層（11層）では、一括投棄がなされたものと考えられ、数個体分が集中して出土している。なお、先にも同様のことを述べたが、SRa03の周辺には、SRa02・04等、この河と同方向へ延びる埋没自然河川を検出している。当時の地形を復元するには、これらの埋没河川との係わりを整理する必要がある。

SRa03出土遺物（第63～69図）

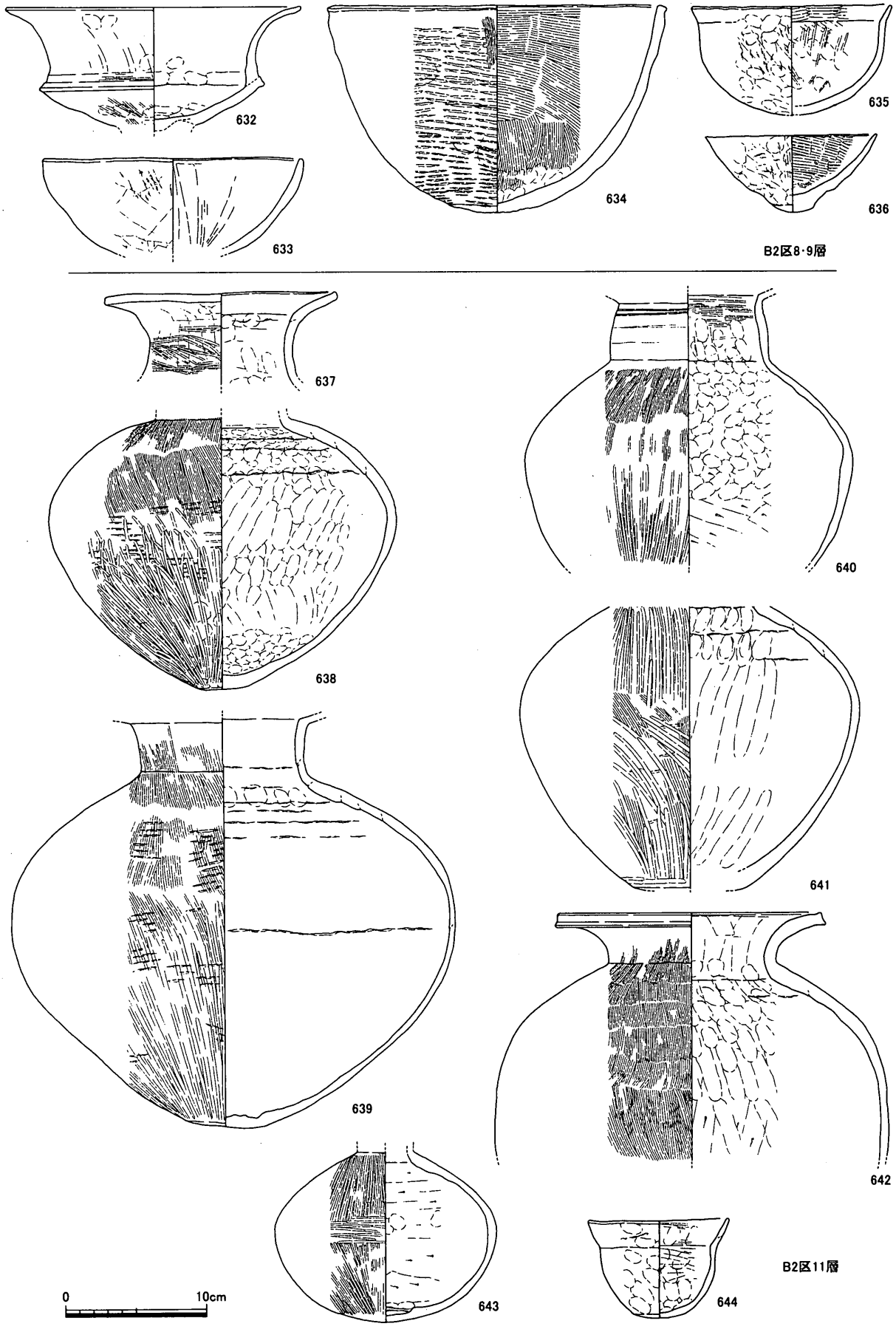
SRa03出土遺物をＢ２・３区の調査区単位で報告する。なお、各調査区の東壁面の土層位を基準として整理したため、その土層位単位で報告することにする。また、土層の番号は上層より順に付している点を断っておく。

〔１〕Ｂ２区 SRa03出土の遺物

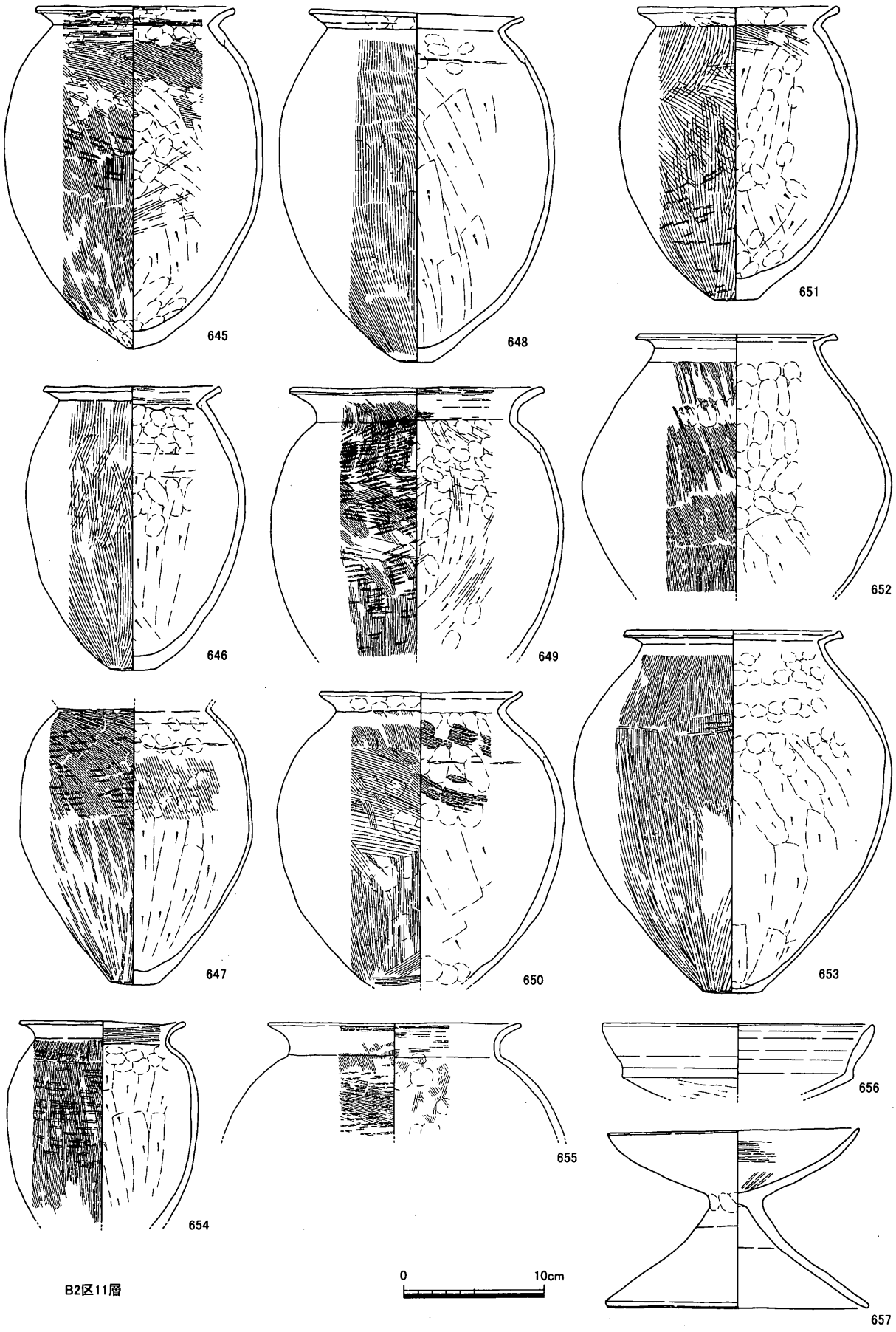
Ｂ２区のSRa03出土の遺物は613～670である。613～615は最終埋没層にあたる４・５層より出土した土器である。613は弥生時代後期後半の広口壺の口頸部である。614は弥生時代後期末頃の鉢、615は須恵器長頸壺の底部である。



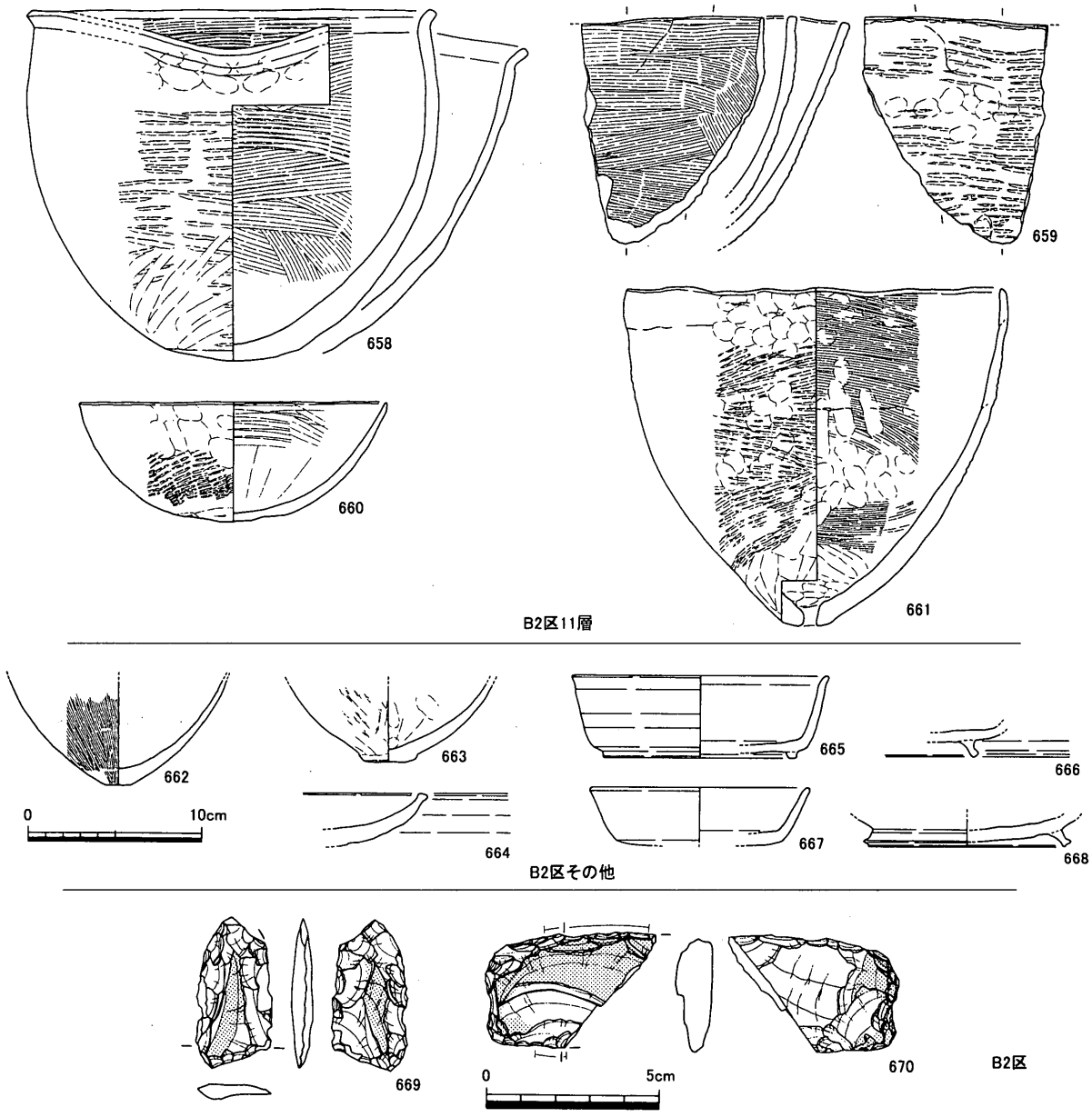
第63図 SRa03出土遺物（1）



第 64 図 SRa03 出土遺物 (2)



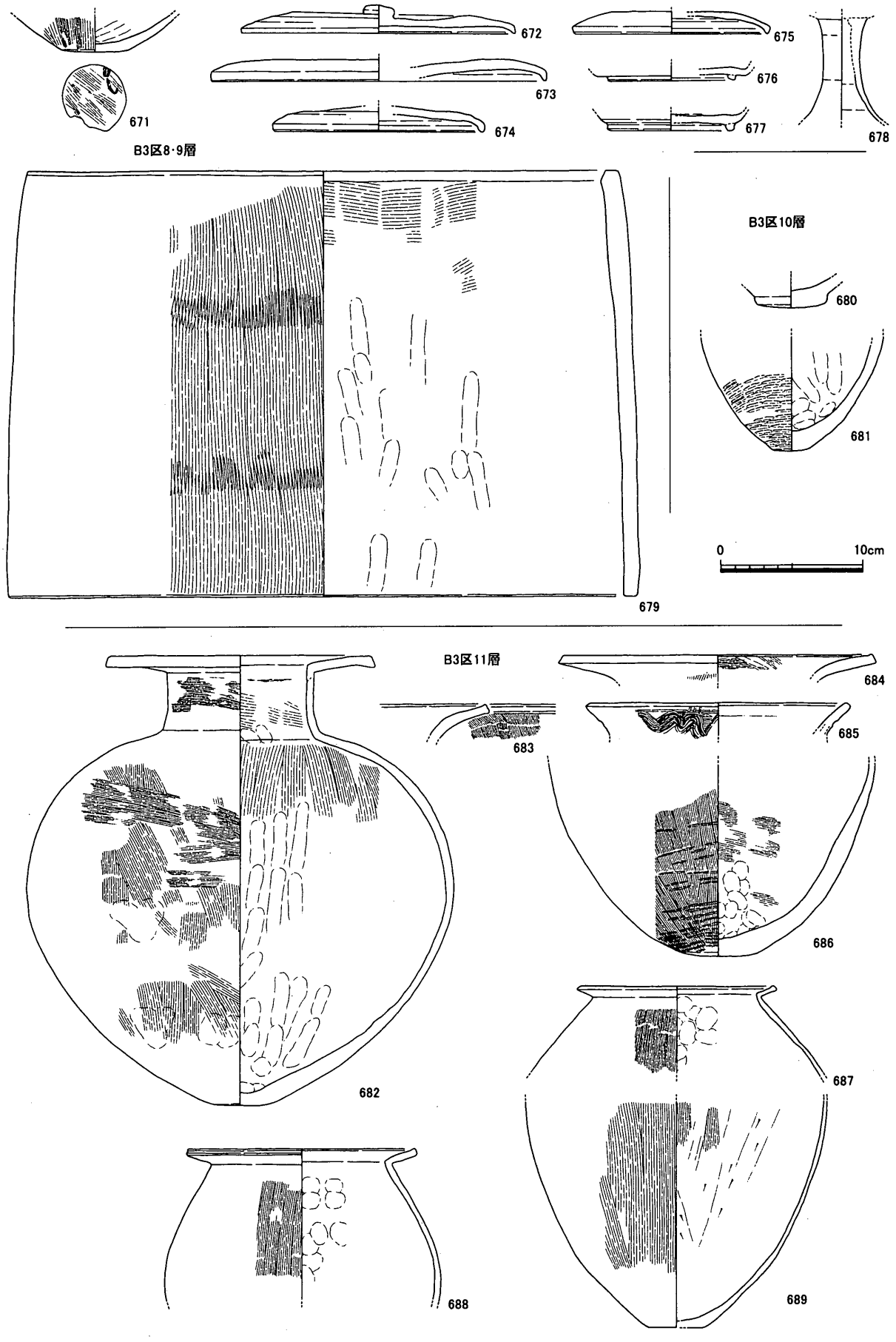
第65図 SRa03出土遺物 (3)



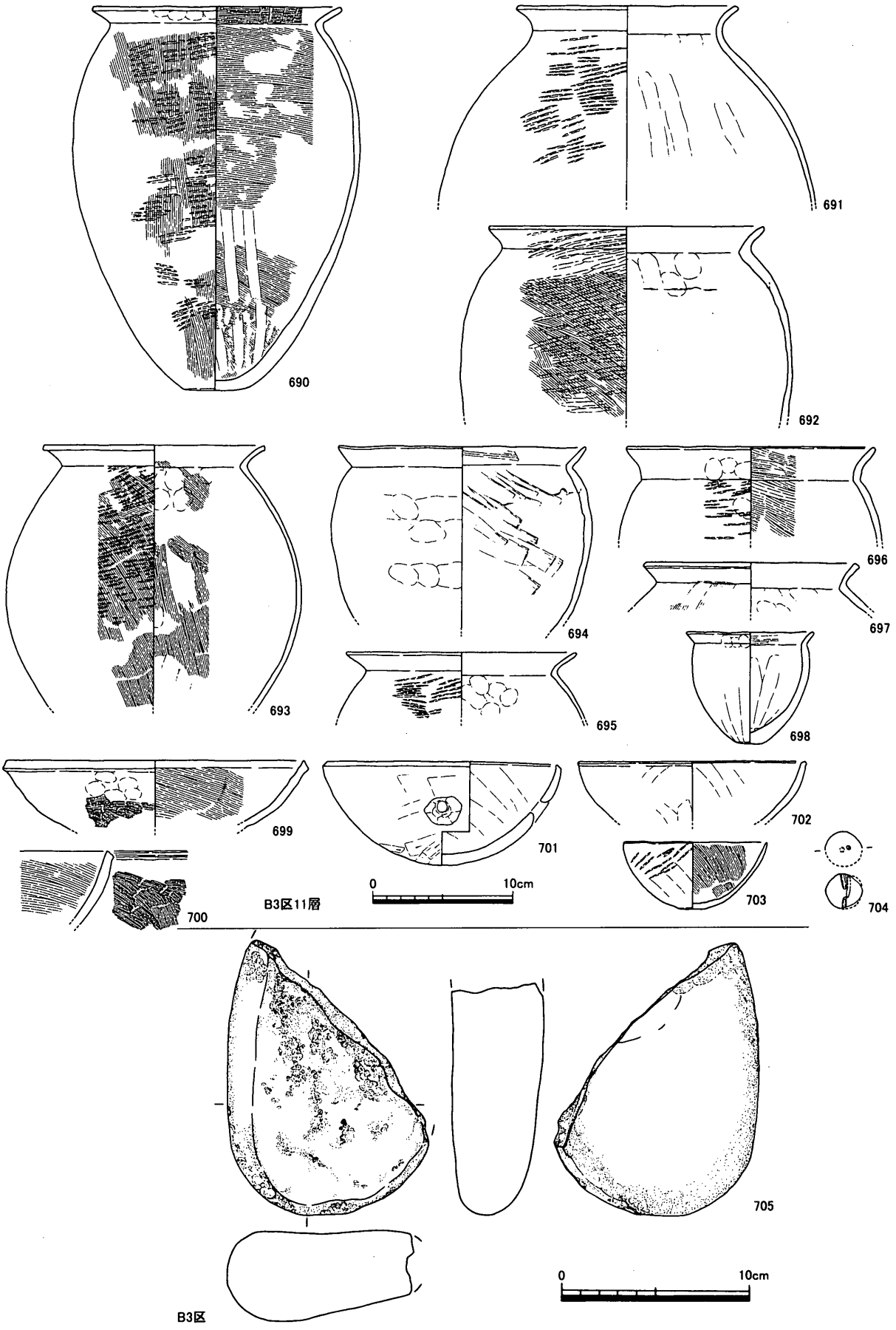
第66図 SRa03出土遺物 (4)

616～636は下層の8・9層より出土した弥生時代後期末頃の土器である。616～618は壺の口頸部で616・617の端部には櫛描の波状文を施している。619～631は甕の資料である。総じて口縁を「く」の字状に外反させ、体部は丸みをもちながらも長胴で、底部は丸底気味ながらも平底を呈する。外面調整は細いタタキを施し、その上面をハケで覆うものが主である。これらの土器の中で特徴的なのが、620・623・627～631等の下川津B類の甕が含まれている点である。632は高杯の杯部である。口縁部はかなり外湾気味に外上方へ延びていて、かなり特徴的である。633～636は鉢の資料である。鉢は丸底化するものが主である。

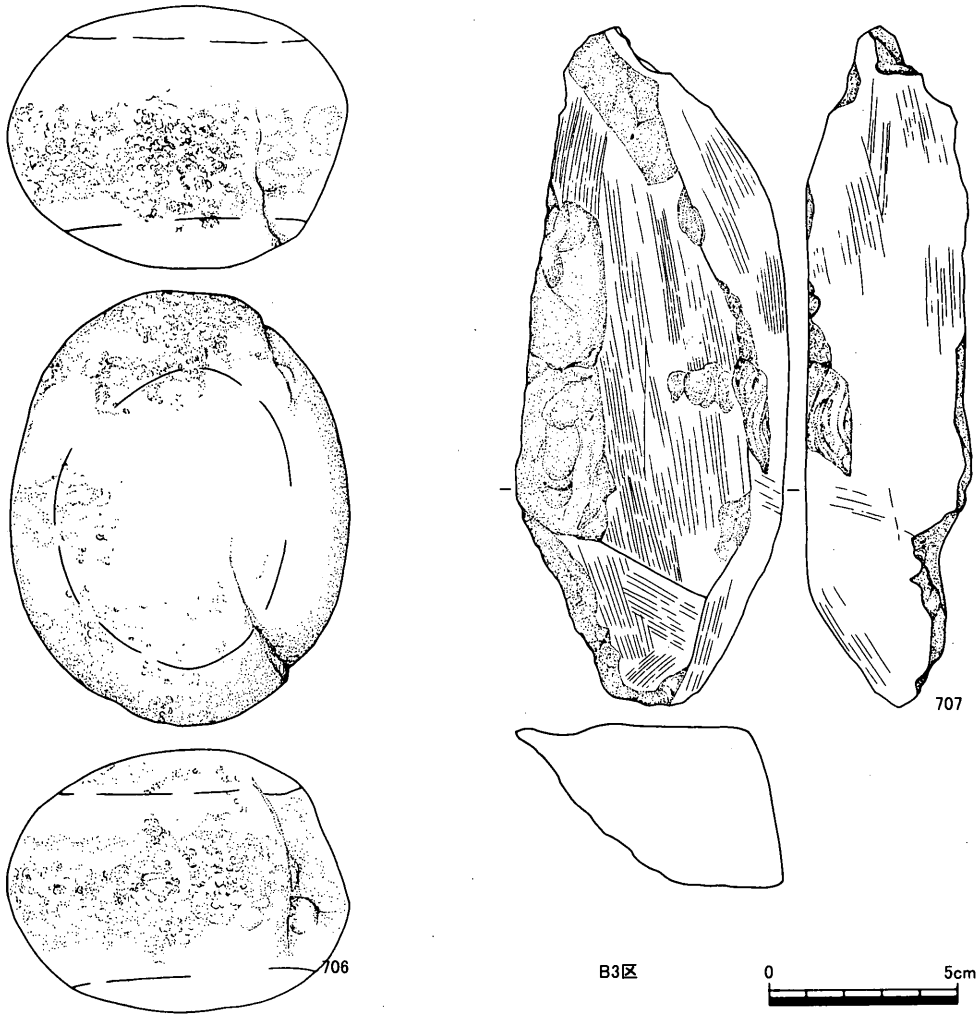
637～661は北岸部下層の11層より一括で出土した、弥生時代後期末頃の資料である。層位的な点でB3区の11層に相当するものと考えられる。637～643は壺の資料である。体部は球体化気味であるが中央が張る。底部は丸底気味ながらも平底を呈する。外面調整はタタキ後上半部をハケ、下半部にヘラミガキを施すものが主である。643は細頸壺の体部で、下川津B類の土器にあたる。644は粗製の小型丸底壺である。645～655は甕の資料である。口縁部を屈曲気味に「く」字状に外



第67図 SRa03 出土遺物 (5)



第 68 図 SRa03 出土遺物 (6)



第69図 SRa03出土遺物（7）

反させもの（645・646・648・650・651）と、丸みをもちながら外反させるもの（649・654・655）とに分れる。体部は丸みをもちながらも長胴で、底部は丸底気味ながらも平底を呈する。外面調整は細いタタキを施し、その上面をハケで覆うものが主である。内面は下半部にヘラケズリを残し、上半部はそれをハケ、ナデ等で消しているものが主である。総じて作りは荒いものが主である。これらの中で特徴的なのが、652・653等の下川津B類の甕である。653は口縁部より底部まで図化できた稀な資料である。656・657は高杯で、656は下川津B類の高杯の杯部である。658～660は鉢の資料である。外面がタタキで内面にハケを施している。底部は丸底である。658・659は片口鉢にあたる。661は甑である。口縁部より底部まで図化できた稀な資料である。

662～668は出土層位不明の土器である。662～664は弥生時代後期末頃の壺、鉢、高杯片である。665・667は8世紀頃の須恵器杯、666は形状より8世紀中頃の土師器高台杯の皿と考えられる。668は長頸壺の底部である。669・670はB2区のSRa03から出土した石器類である。669はサヌカイト製の石鏃、670はサヌカイト製の打製石庖丁片である。

〔2〕B3区 SRa03出土の遺物

B3区のSRa03出土の遺物は671～707である。671～679は最終埋没層にあたる8・9層から出土した土器である。671は弥生時代後期後半頃の壺の底部、672～675は8世紀頃の須恵器の高台付杯の蓋である。676・677は同時期の須恵器の高台付杯の身の底部である。678は6世紀後半頃の

須恵器高杯の脚部である。679は土師質の大型の円筒状の土製品である。一応、竈に分類したが、再検討の余地がある。

680・681は10層から出土した弥生時代後期末頃の壺と甕の底部片である。

682～704は最下層にあたる11層から出土した弥生時代後期末頃の資料である。層位的な点でＢ２区の８・９・11層等に相当するものと考えられる。682～686は壺の資料である。682は、口縁部より底部まで図化できた稀な広口壺で、口縁部は水平気味に頸部より屈曲し、頸部は直立気味で体部は球体化し、底部は僅かに平底を残している。外面はハケ、内面の下半部はナデ、上半部はハケを施している。685は二重口縁の端部で、櫛描波状文を施している。687～698は甕の資料である。総じて形態、調整等Ｂ２区11層出土の甕の特徴に類似している。687～689は下川津Ｂ類の甕である。下川津Ｂ類の土器はＢ２区の土器にも含まれていて、この時期には一定程度の割合で含まれているようである。691は形態上あまり類例の少ない資料である。口縁部は丸みをもって外反し、体部は長胴気味である。698は小型の甕である。699～703は鉢である。705～707はＢ３区のSRa03から出土した、石皿、磨石、砥石等の石器類である。

SRa03の下層（Ｂ２－８・９・11層、Ｂ３区－11層）出土の遺物は、一括投棄と考えられる資料を含み、これらの資料を概観する限り、下川津Ｖ式前後の土器が主体を占めている。そのため、SRa03は弥生時代後期末頃に埋没が開始され、上層より出土した遺物より、８世紀頃には完全に埋没しているものと考えられる。

SRa04（第53・54図）

Ｂ２・３区中央で検出した、SRa02・03に並行するように北西方向に延びる、小規模な自然河川である。この河川の堆積層上面には、SKa08等の遺構が展開している。検出長は11.0ｍ、幅約8.0ｍ、深さ約1.0ｍを測る。断面は幅広で隅丸の逆台形状を呈し、埋土はＢ２区においては13層に細分できる。堆積層からは弥生時代後期末～古墳時代前期初頭、古代の遺物が多量に出土した。注目できる点では、南半部の地山と考えられる砂礫層と、河川堆積層との境界付近より比較的豊富に遺物が出土している点である。なお、先にも同様のことを述べたが、SRa03の周辺にはSRa02・03等、この河川と同方向へ延びる埋没自然河川を検出している。当時の地形を復元するには、これらの埋没河川との係わりを整理する必要がある。

SRa04出土遺物（第70～81図）

SRa04出土遺物をＢ２・３区の調査区単位で報告する。各調査区の東壁面の土層位を基準として整理したため、その土層位単位で報告する。なお、土層の番号は上層より順に付している点を断っておく。

〔１〕Ｂ２区 SRa04出土の遺物

Ｂ２区のSRa04出土の遺物は708～865である。

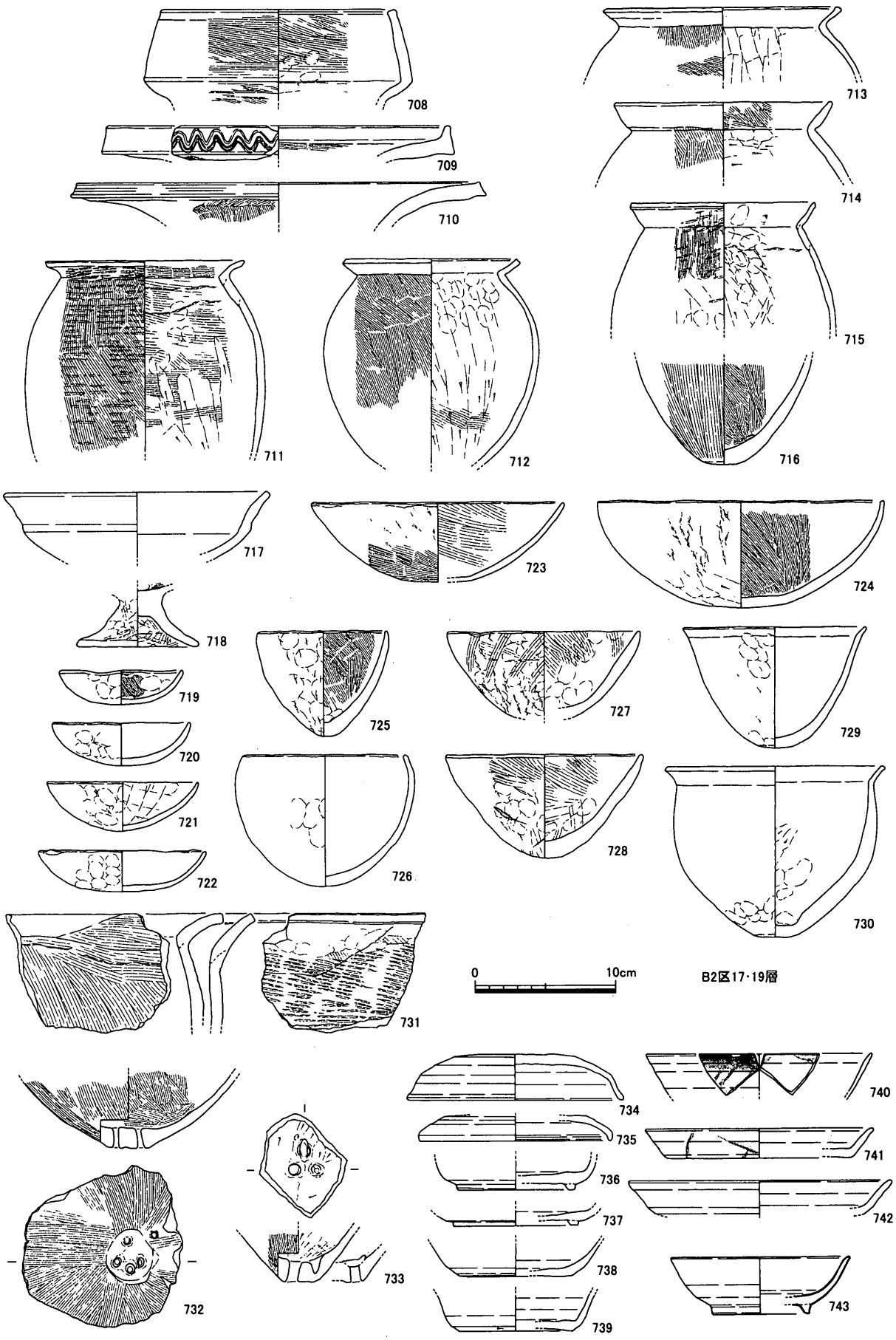
708～746は、SRa04の上層にあたる17・19層前後から出土した土器である。708～733は弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の土器である。708～710は壺の資料である。708は口縁部が内傾する二重口縁の壺である。709・710は広口壺の口縁部で、709の端部外面には櫛描波状文を施している。711～716は甕の資料である。712～715は体部の球体化がかなり進んでいて、古式土師器に含まれる可能性が高い。717・718は高杯の杯部と脚部である。719～730は鉢の資料である。大きさは数種に分かれ、形態的には浅鉢状の鉢、深鉢状の鉢、口縁部を僅かに外反させる鉢等に分かれ

る。731は大型の片口鉢の口縁部である。732･733は甑の底部の資料である。732の底部には５穴の穿孔を施している。733には３穴の穿孔の内２穴が貫通し、その中の１穴には細い粘土紐で穴をふさぐように渡している。734は６世紀末頃の須恵器杯蓋である。735～737は８世紀頃の須恵器高台付の杯である。738～740は須恵器杯である。741・742は８世紀中頃の須恵器皿である。743は硬質の緑釉陶器の椀である。744は須恵器壺の底部で、745は須恵器甕の口頸部である。746は高台を欠く小型の須恵器平瓶で、機能的には水滴と考えられる。同種の遺物が出土することは、周辺地域に識字層の存在が考えられる。

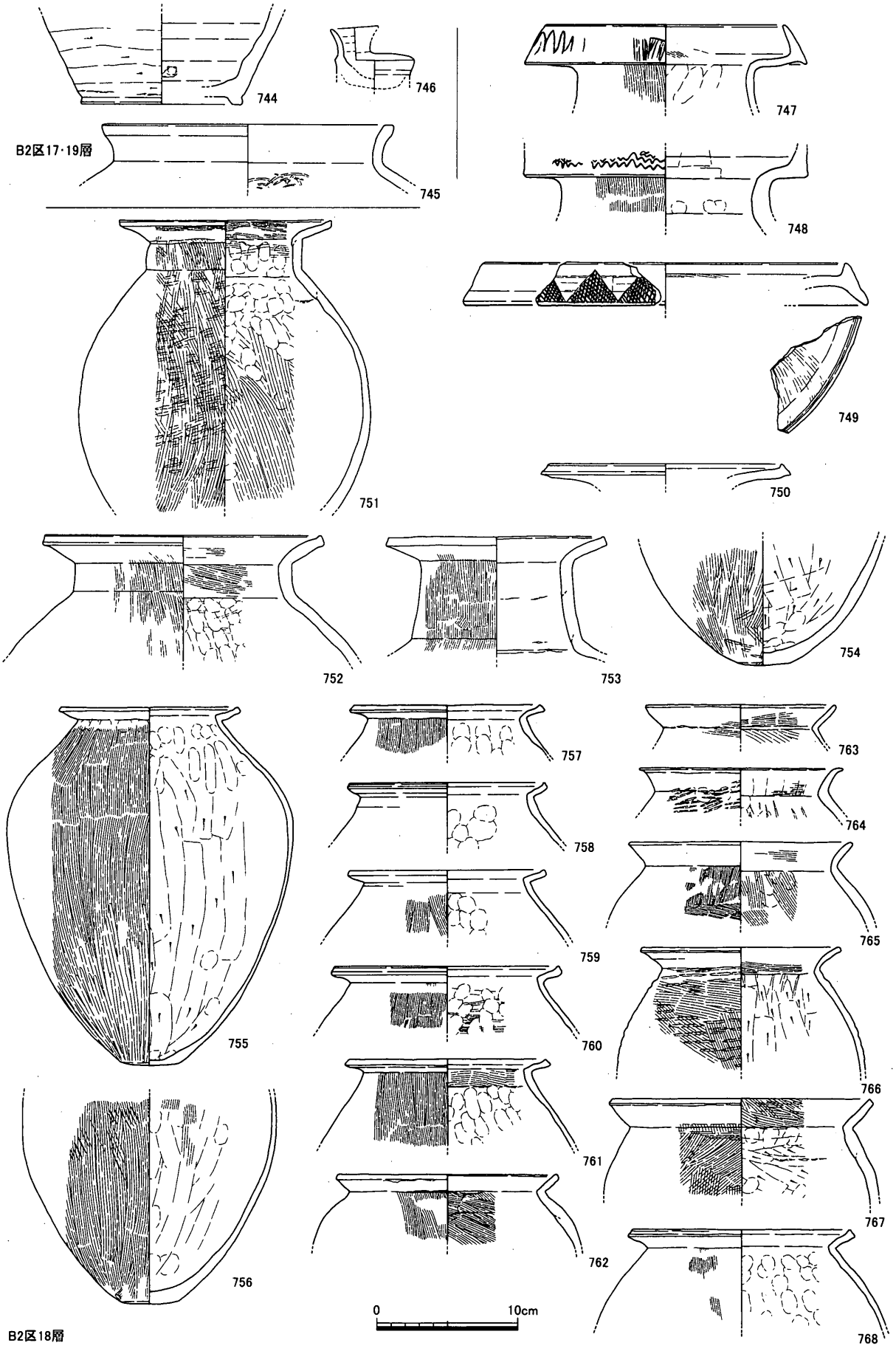
747･749～781は、SRa04の18層から出土した、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃を主にした土器である。747・749～754は壺の資料である。二重口縁壺、広口壺、短頸壺等に分かれる。総じて残りが悪く、全体の形状が解るものは少ない。755～757・759～772は甕の資料である。755・757・759～761・768は下川津Ｂ類の土器である。形状・調整等はほぼ一様な土器群であるが、768は、他の土器にくらべ体部に丸みをもち、球体化の傾向が伺え、他より後出ものと考えられる。772は土師器の小型の甕である。口縁部は「ハ」の字状に外反し、体部は完全に球体化し、外面調整はハケ、内面調整は下半部にヘラケズリ、上半部にはオサエ・ハケを施している。773～780は鉢の資料である。777は台付鉢で内外面ともヘラミガキが顕著で、口縁部と体部の境界に明瞭な稜を施している。779・780は大型の片口鉢である。注口部に格子タタキ状の調整が認められる。781は８世紀頃の須恵器杯の口縁部である。端部を丸くおさめ、端部内面に沈線を施している。

782～810は、SRa04の下層にあたる19・20層から出土した、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の土器である。782～790は壺の資料である。782・783は二重口縁の壺の口頸部である。外面にはヘラ状工具により波状文を施している。785は口頸部を欠く壺の体部である。体部は球体化しているが、底部には僅かに平底を残す。786～789は大型の壺で比較的残りが良い。786・787は、口頸部は「ハ」の字状に短く外反し体部は球体化し、底部も丸底を呈する。調整はハケを主に用い、頸部外面にはヘラミガキで整えている。内面調整はハケ及びナデにより整えている。788・789は、口頸部は「ハ」の字状に大きく外反し体部は球体化しているが、最大径を体部中央に残す。底部は丸底気味であるが僅かに平底を呈する。外面調整はハケを施した後ヘラミガキで整えている。内面調整は口頸部ではハケ及びヘラミガキ、体部はオサエ及びハケにより整えている。791～796は甕の資料である。口縁部を屈曲気味に「く」字状に外反させ、体部は丸みをもちながらも長胴で、底部は丸底気味ながらも平底を呈するもの791･792と、尖底気味なもの793とに分かれる。外面調整は細いタタキを施し、その上面をハケで覆うものが主である。内面は下半部にヘラケズリを残し、上半部はそれをハケ、ナデ等で消しているものが主である。796は体部球体化の特徴が顕著に表れている。797～802は高杯の資料である。803～806は浅鉢状の小型の鉢である。807は、803～806等と比べ、比較的精製された鉢である。808～810は大型の鉢である。

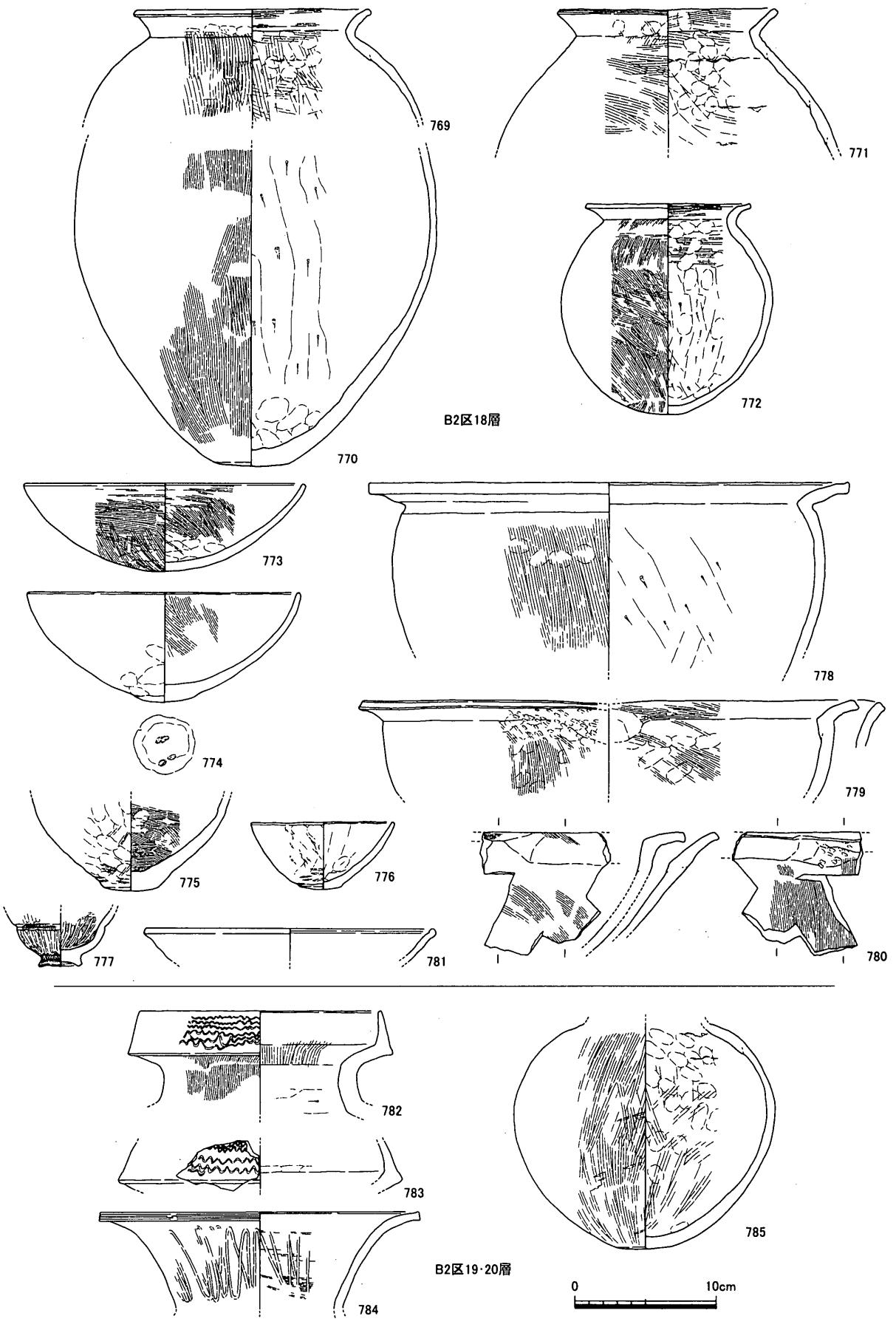
811～835は、SRa04の北岸部の肩口に堆積している21・23層から出土した、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の土器である。811・812は二重口縁の壺で、ヘラ描波状文を顕著に施している。814は直口壺の上半部で比較的稀な器形である。815～826は甕の資料である。815・816・818・826は下川津Ｂ類の土器である。形状・調整等は、ほぼ一様な土器群であるが、818は他の土器に比べ、体部に丸みをもち球体化の傾向が伺え、他より後出するものと考えられる。824は口縁部が直口気味に立ち上がる甕である。827～830は高杯の杯部である。833・834は甑の資料である。834の底



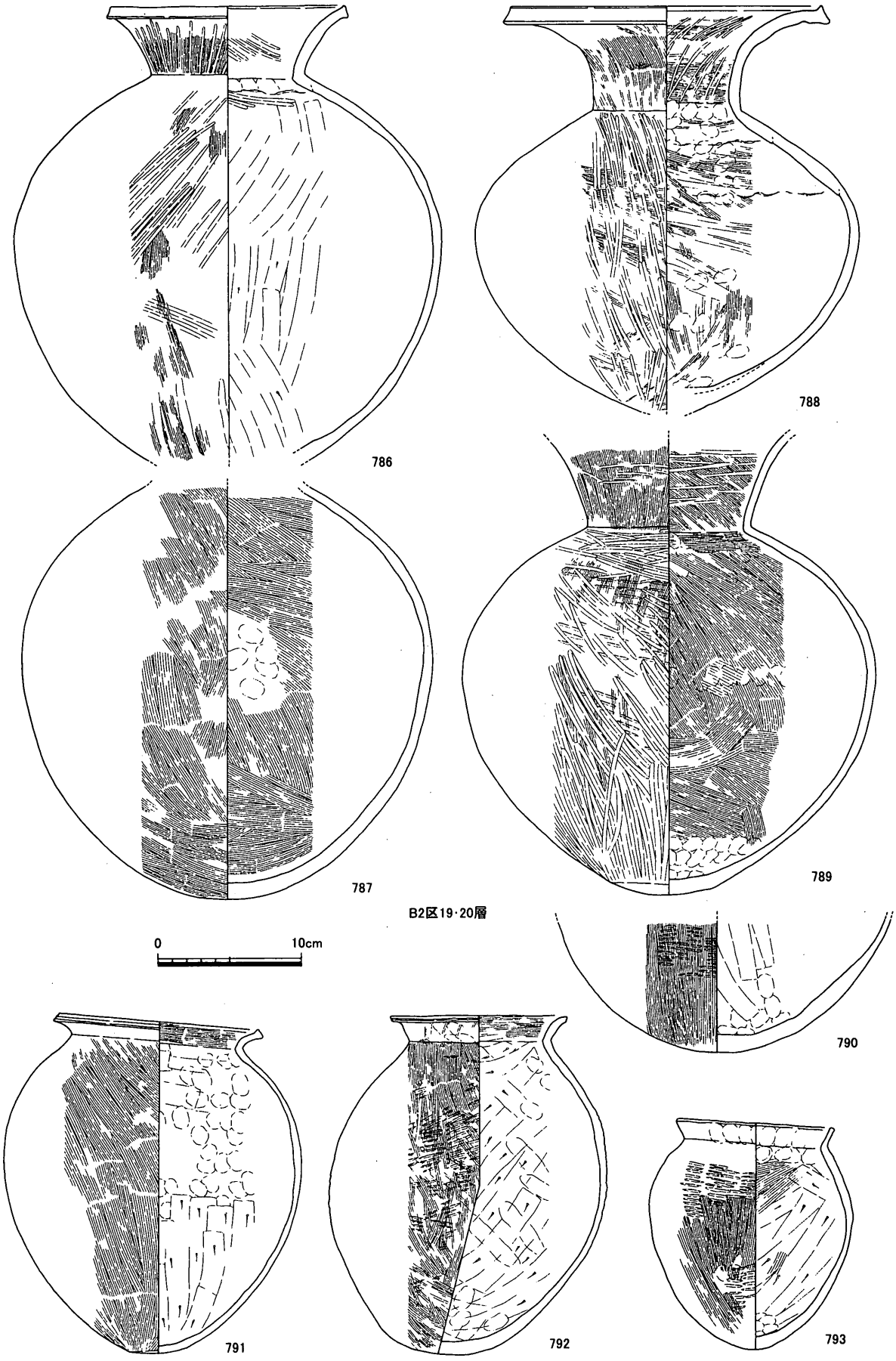
第70図 SRa04 出土遺物 (1)



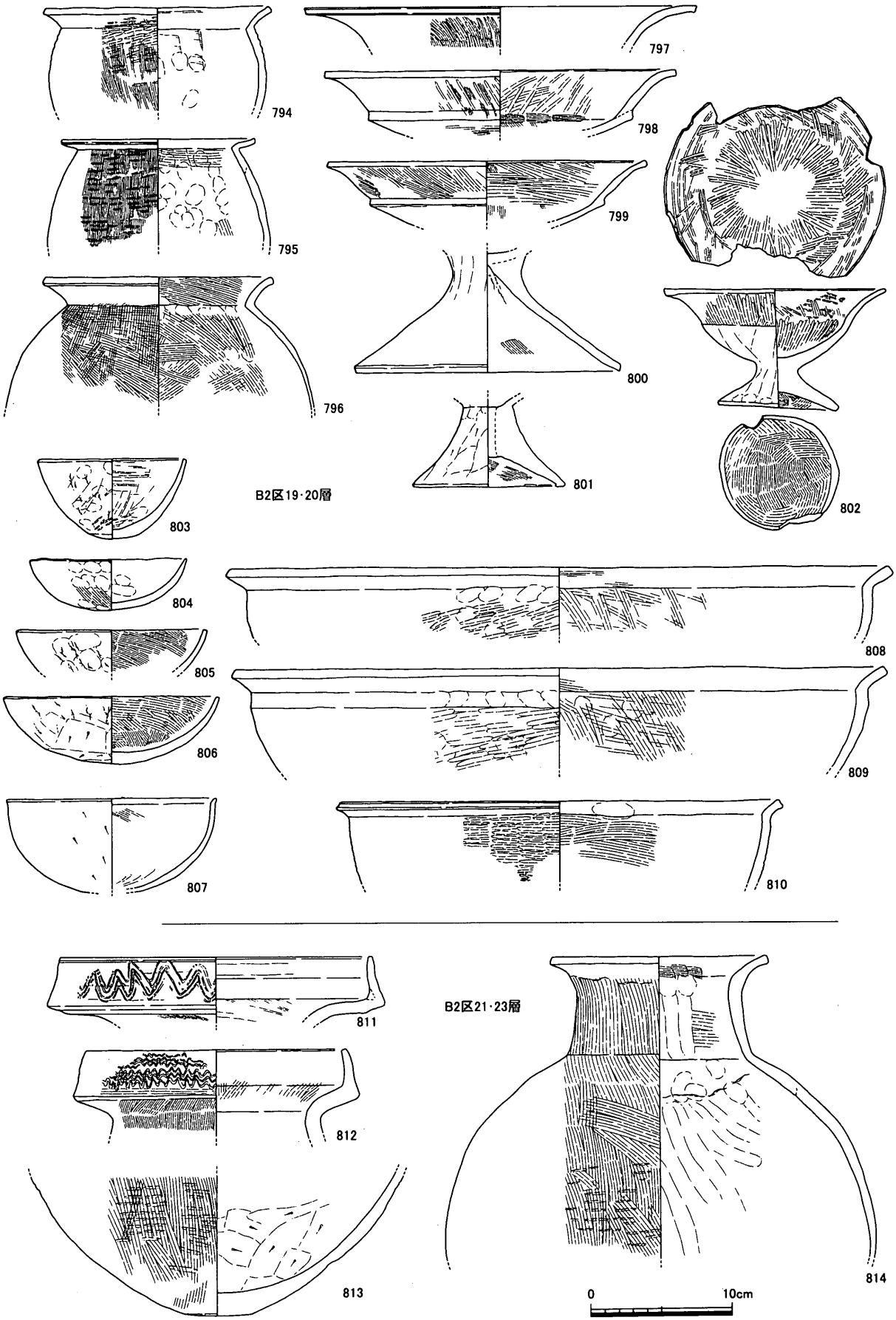
第71図 SRa04出土遺物 (2)



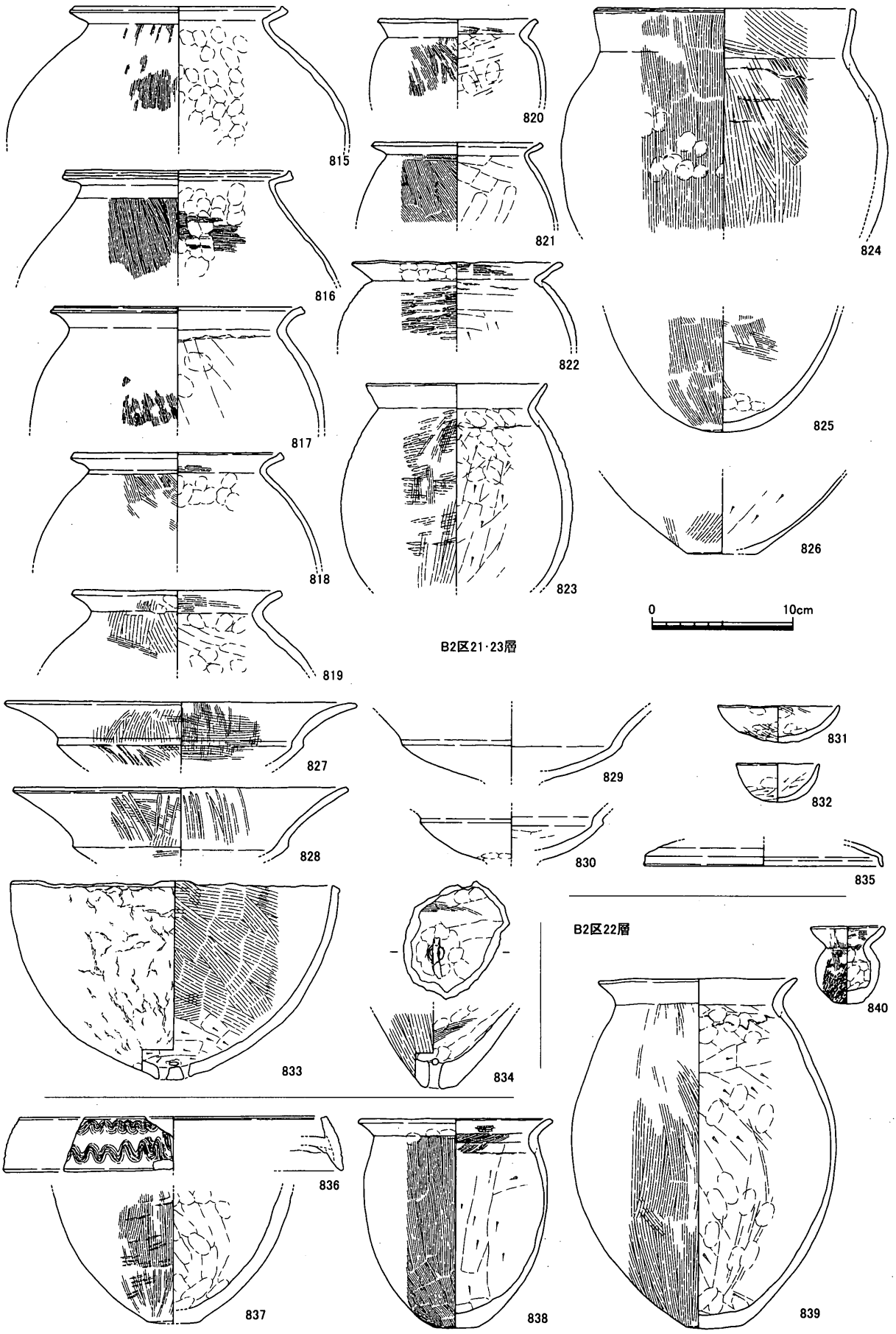
第72図 SRa04 出土遺物 (3)



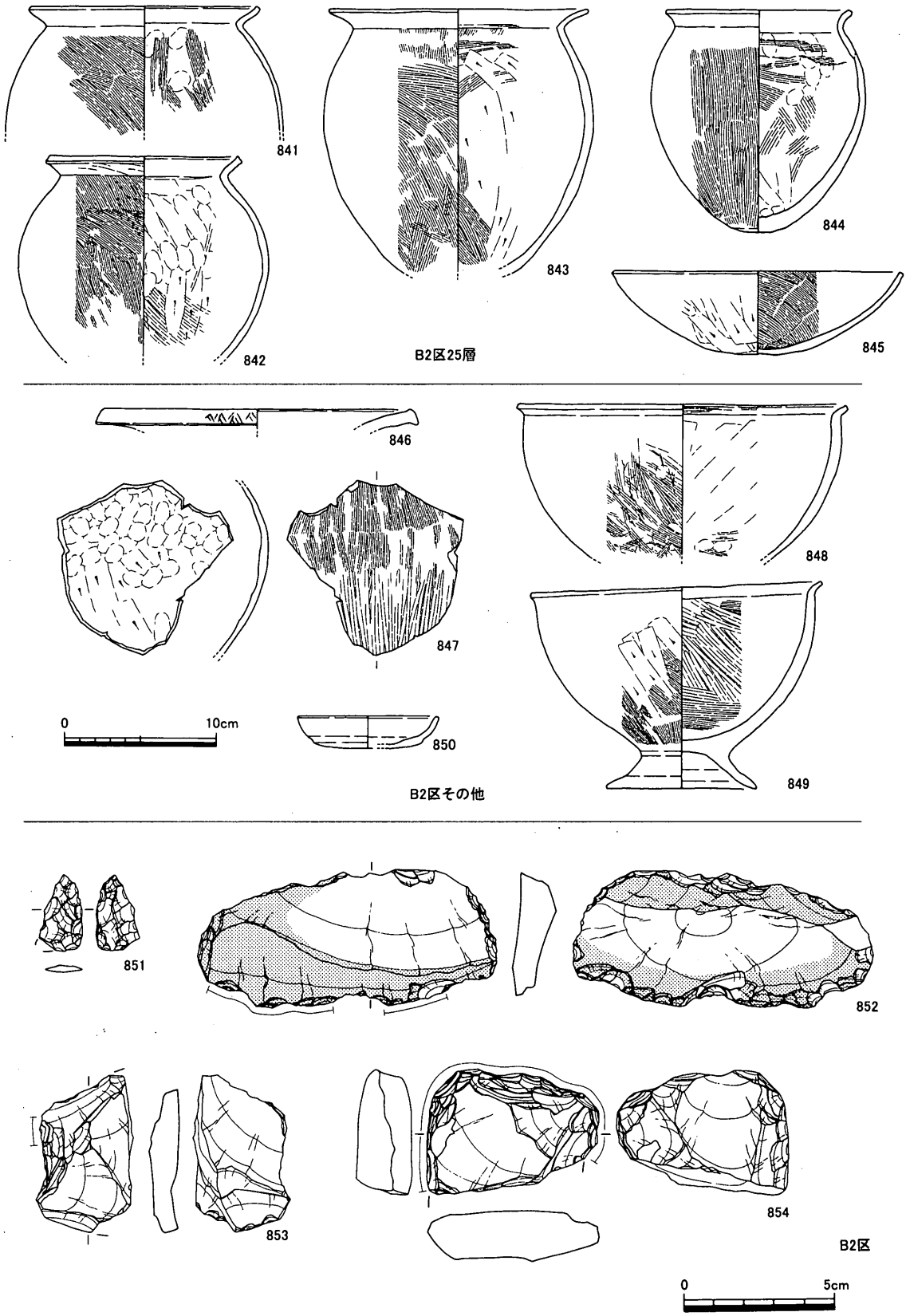
第73図 SRa04出土遺物（4）



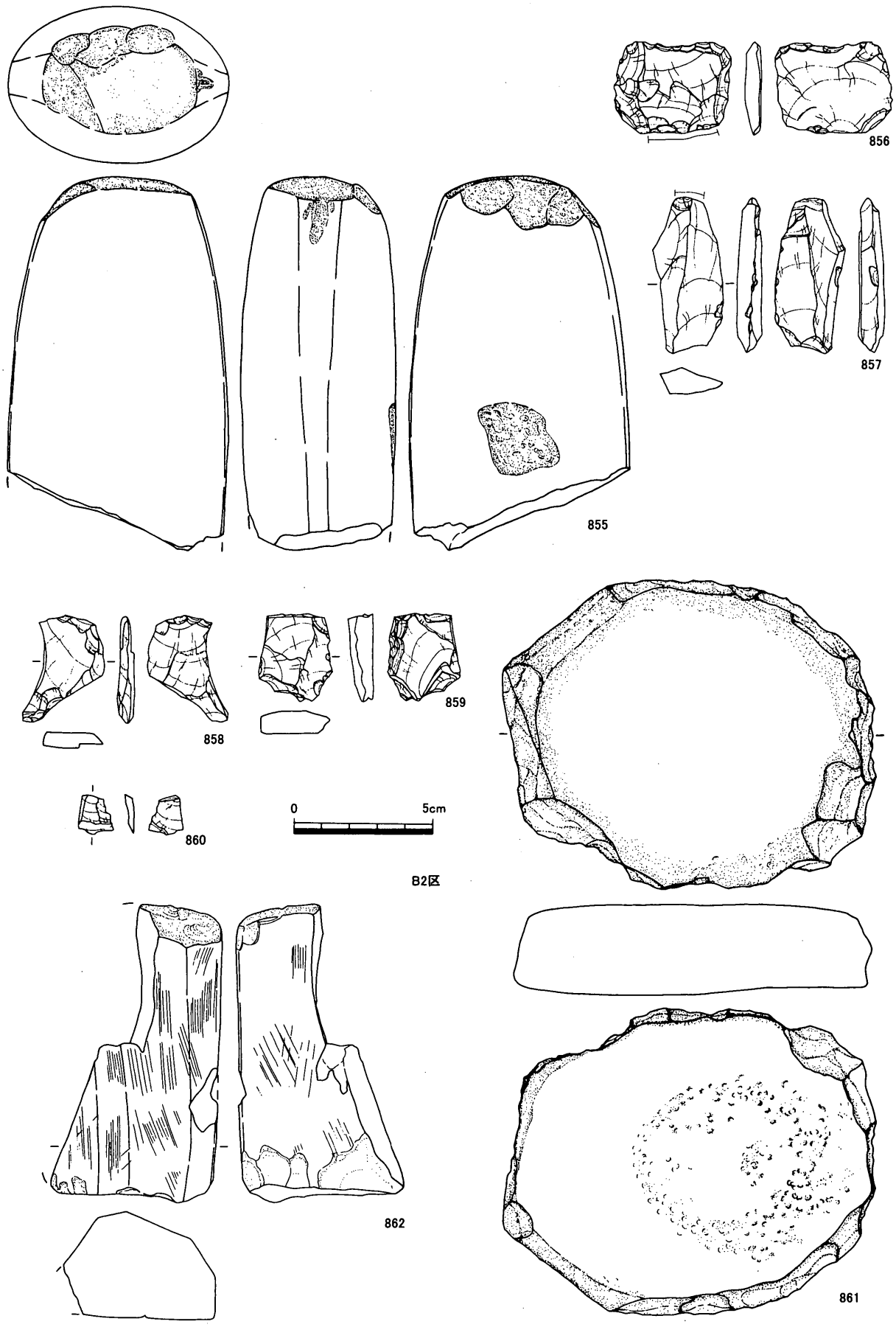
第74図 SRa04出土遺物 (5)



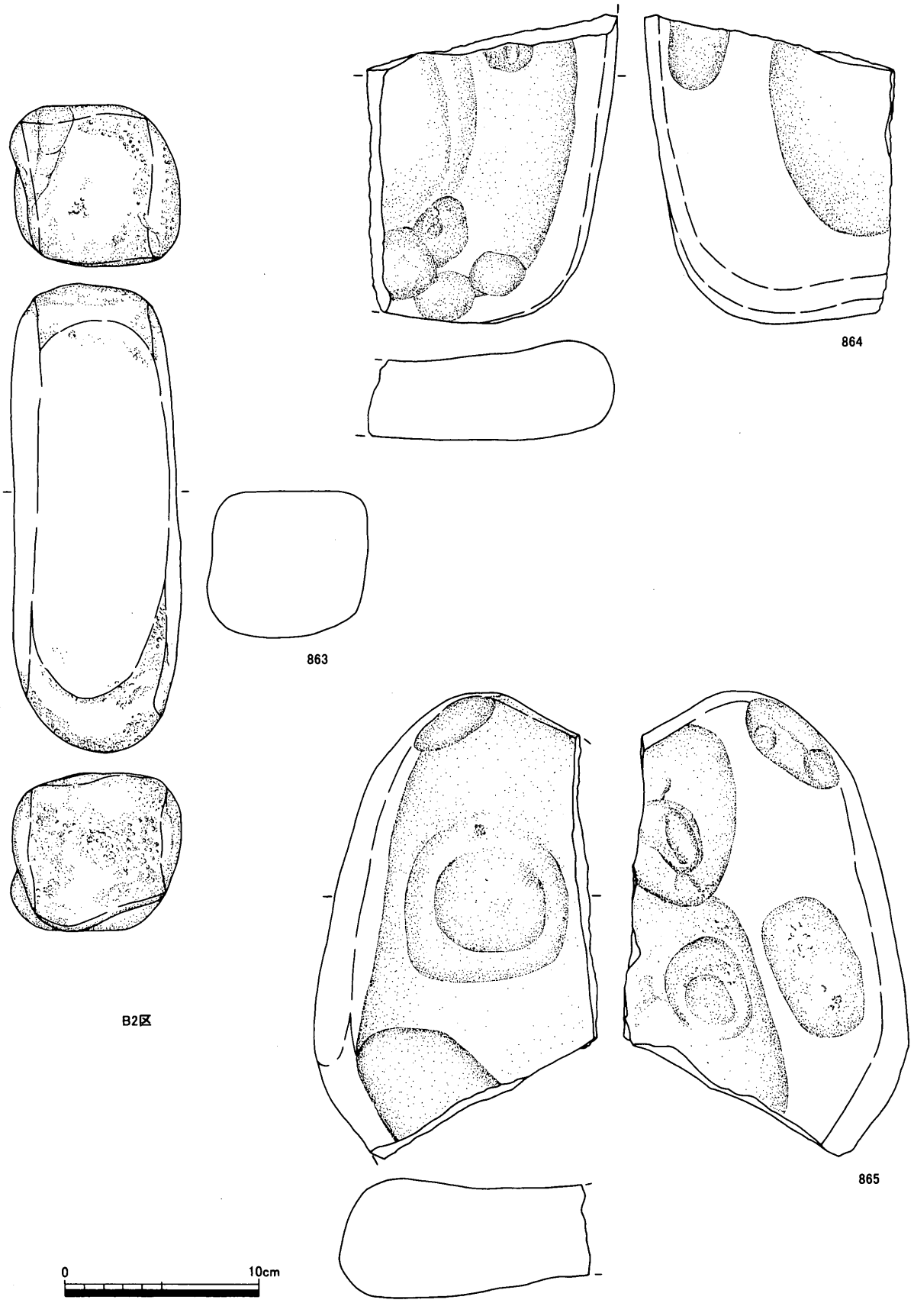
第75図 SRa04出土遺物 (6)



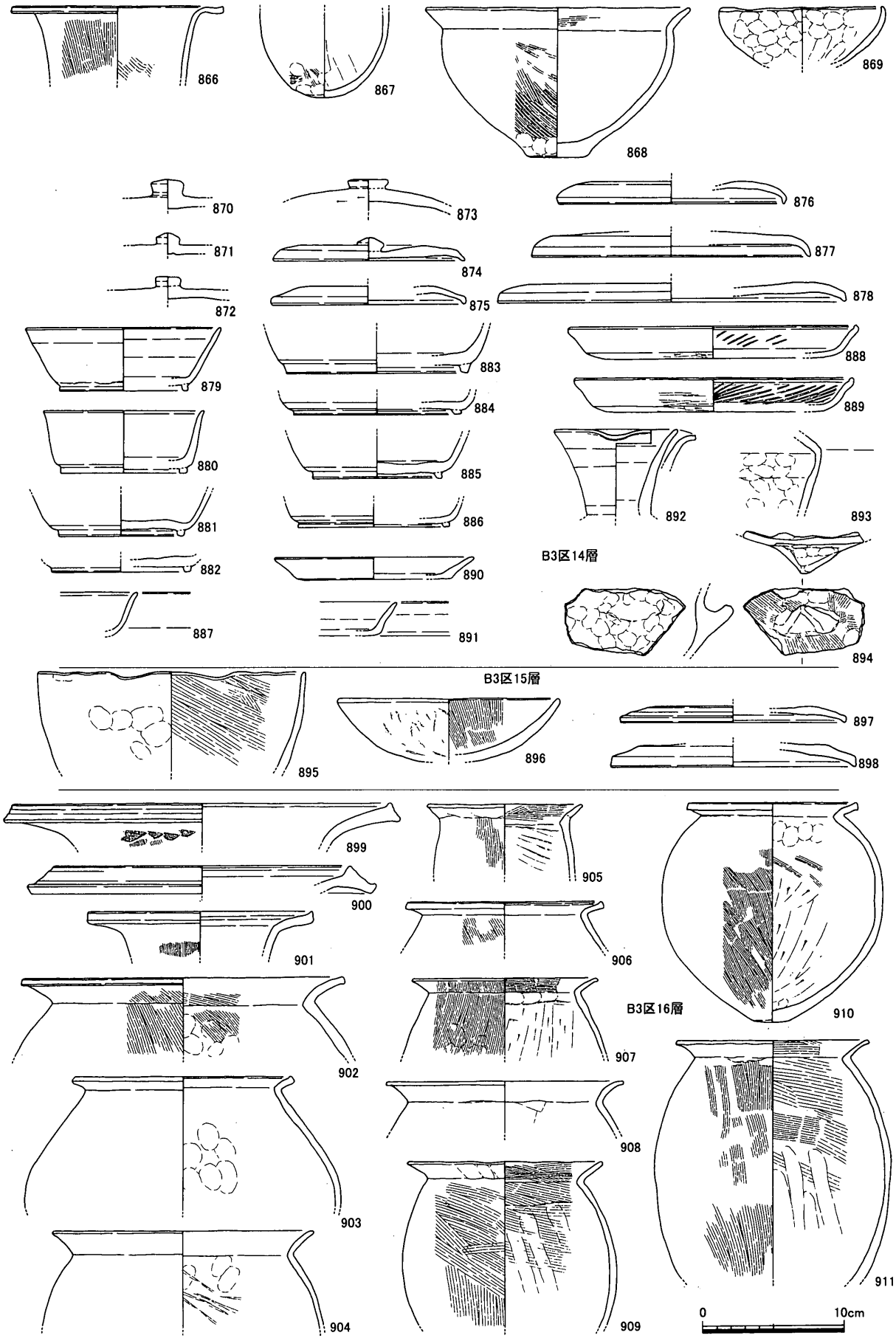
第 76 図 SRa04 出土遺物 (7)



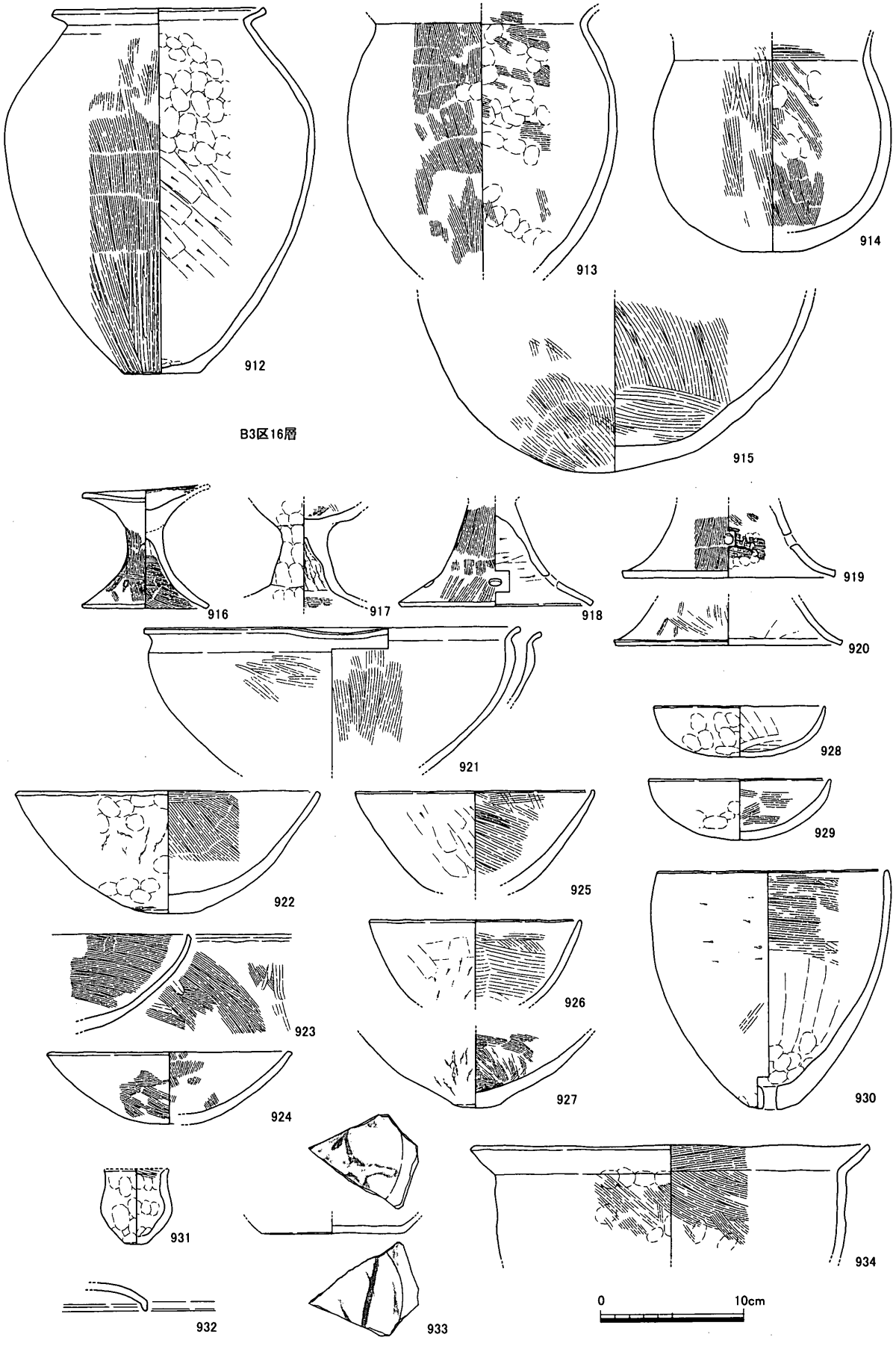
第 77 図 SRa04 出土遺物 (8)



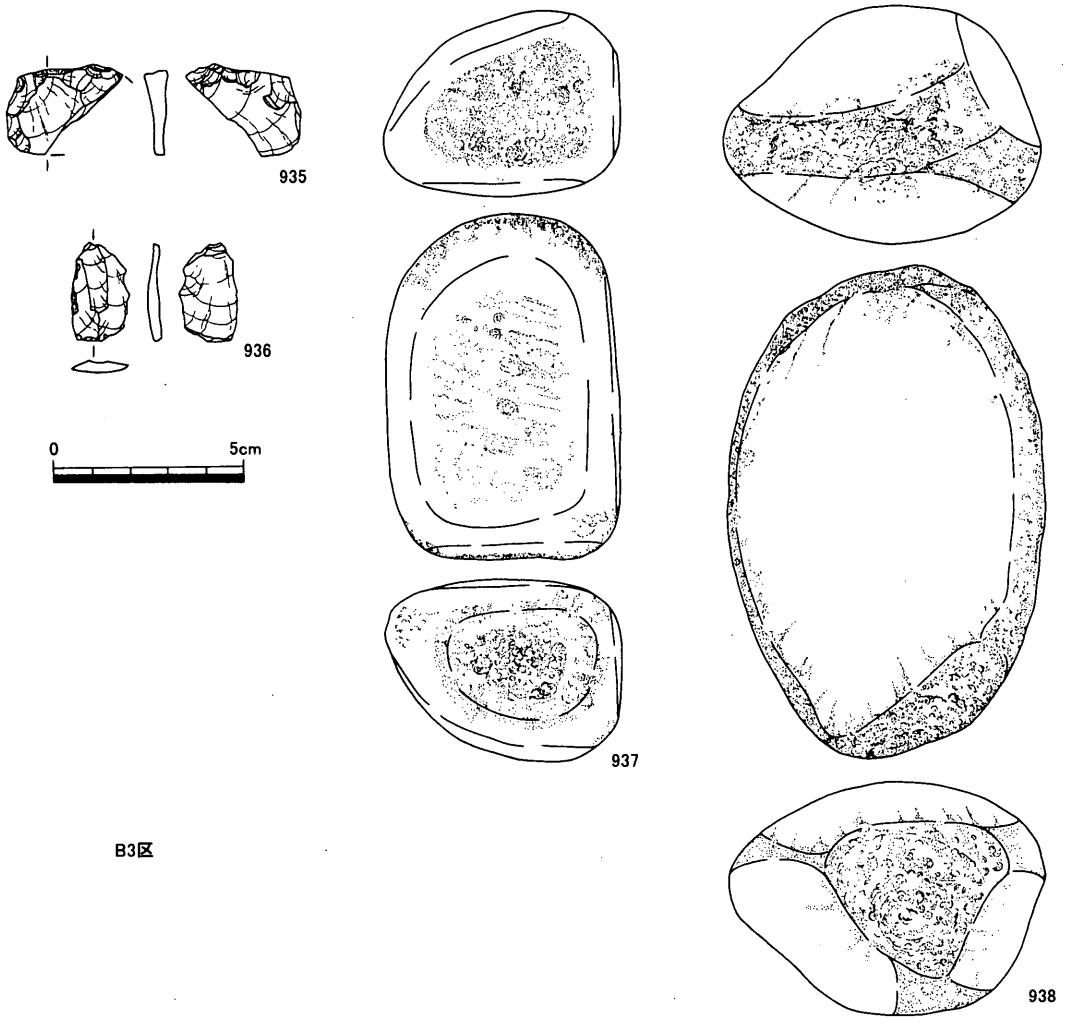
第 78 図 SRa04 出土遺物（9）



第 79 図 SRa04 出土遺物（10）



第 80 図 SRa04 出土遺物（11）



第 81 図 SRa04 出土遺物 (12)

部に残る穿孔は、粘土紐により一部ふさがれている。同様の事例は、先に紹介した733にも認められる。835は8世紀頃の須恵器の高台付杯の蓋で、おそらく混入品であろう。

836～840は、SRa04南岸の砂礫層の上面に堆積している22層から出土した、弥生時代後期末頃の土器である。836・840は壺で、840はミニチュア壺の資料である。838・839は甕の資料である。口縁部を「く」字状に外反させ、体部は丸みをもちながらも長胴で、底部は平底を呈する。外面調整は細いタタキの後ハケで覆うものが主である。

841～845は、SRa04南岸部の肩口に堆積している25層から出土した、弥生後期末頃の土器である。841～844は甕の資料である。口縁部を「く」字状に外反させ、体部は球体化が進み、底部は残りが悪いが僅かに平底を呈する。外面調整はハケで覆うものが主である。845は鉢である。浅い皿状を呈し、外面ヘラケズリ、内面ハケにより仕上げている。

846～850は一括で取り上げたその他の土器である。848・849は弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の台付の鉢である。内外面伴に調整が比較的緻密である。

851～865はＢ２区のSRa04出土の石器類である。852はサヌカイト製の削器である。器面、刃部にマメツ痕が顕著である。853はサヌカイト製の石庖丁未製品の破片である。854はサヌカイト製の打製石斧の基部である。855は刃部を欠く黒雲母斑岩製の太型蛤刃石斧である。856はサヌカイト製の楔形石器の未製品で、857・858は楔形石器である。862は流紋岩製の砥石である。７角形の多面体で、そのうち６面は砥石面である。器面には使用痕と考えられる細い線刻が認められる。863は砂岩製の砥石である。上下両端部は磨り減っており、磨石としての機能も考えられる。

〔２〕Ｂ３区 SRa04出土の遺物

Ｂ３区のSRa04出土の遺物は866～938である。

866～894は、SRa04の最終埋没層にあたる14層から出土した土器である。866～894は弥生時代後期末～古墳時代前期初頭頃の土器である。870～894は８世紀前半頃の土器である。870～878は須恵器の高台付の杯蓋で、879～886は須恵器の高台付の杯身である。888・889は土師器の皿である。口縁端部を丸くおさめ、内・外面には僅かに暗文が認められる。890・891は須恵器皿の資料である。892・893は須恵器の長頸壺で、892は片口状の注ぎ口をもつ口縁部、893は体部片である。894は土師器の甕の取手部である。

895～898は、SRa04の下層に当る15層から出土した土器である。895・896は弥生時代後期末頃の鉢である。897・898は８世紀頃の須恵器の杯蓋で、おそらく混入品であろう。

899～934はSRa04の南岸に堆積している16層から出土した土器である。899～901は弥生時代後期末頃の広口壺の口縁部である。902～915は甕の資料である。総じて弥生時代後期末頃の特徴を示すものが主である。903は形態上下川津Ｂ類の甕に類似しているが、胎土が異なる。912は下川津Ｂ類に分類される甕である。口縁部より底部まで図化できるものでは稀な資料である。914・915は土師器の甕である。916～920は高杯の資料である。921～929は弥生時代後期末頃の鉢の資料である。形態の上で数種類に分けられる。921は片口鉢である。930は砲弾状の形態をした甑である。931はミニチュアの甕である。932･933は須恵器杯の資料である。932は８世紀頃の高台付の杯蓋の口縁部、933は10世紀前後の杯底部である。934は土師器の土鍋にしたが、甕に分類する見方もできる。

935～938はＢ３区のSRa04出土の石器類である。935・936はサヌカイト製の二次加工ある剥片

と、剥片である。937 は砂岩製の磨石、938 は砂岩製の叩石である。

SRa04 の下層（Ｂ２－19・20 層以下、Ｂ３区－15 層以下）出土の遺物を概観する限り、下川津Ⅴ～Ⅵ式前後の土器が主体を占める。そのため、SRa04 は弥生時代後期末～古墳前期初頭頃に埋没が開始され、上層より出土した遺物より、８世紀頃には完全に埋没しているものと考えられる。

（7）包含層出土の遺物

Ａ６，Ｂ２・３・６，Ｄ７区の遺構面の上位の堆積層中より出土した遺物を、包含層出土の遺物として報告する。包含層中からは弥生土器・石器、古代～中近世にかけての遺物が多量に出土した。その包含層出土遺物を各調査区単位で報告する。なお、この出土遺物中には、機械掘削、遺構検出、壁面清掃時等の出土層位を特定できない遺物も含まれている点を断っておく。

Ａ６区包含層出土遺物（第 82 ～ 84 図）

出土層位については、調査区の東壁面の土層位を基準として整理したため、その土層位単位で報告する。また、土層の番号は上層より順に付している点を断っておく。

939 ～ 942 は４層出土の遺物である。940 は 19 世紀前半の京・信楽系陶器の灯明皿、941 は 18 世紀前半の肥前系陶器陶胎染付碗、942 は土釜の脚部である。

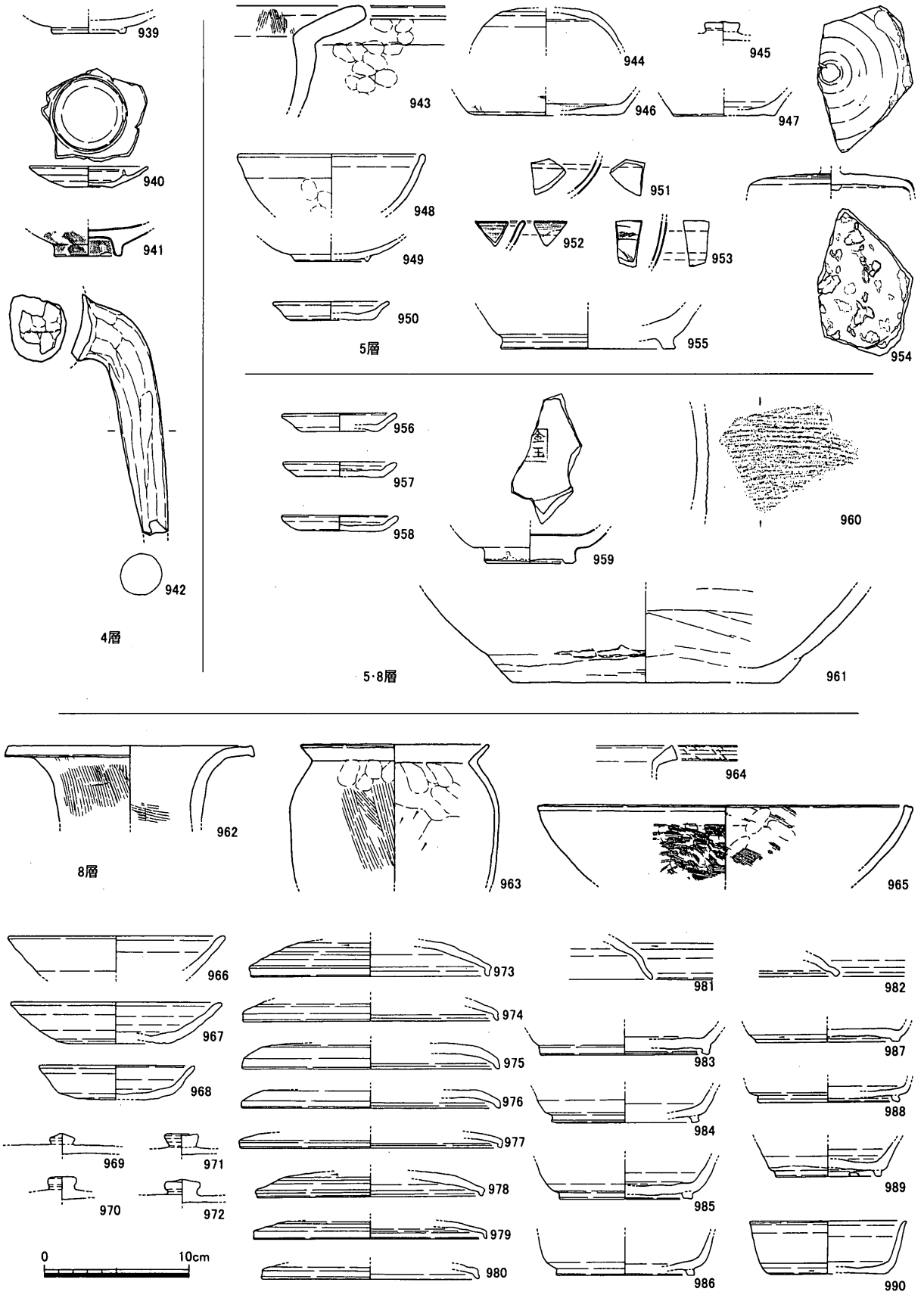
943 ～ 955 は５層出土の遺物である。944・945 は７～８世紀の須恵器杯の蓋、946・947 は 10 世紀前後の須恵器杯の底部である。948・949 は土師器の椀、950 は土師器の小皿である。951・952 は硬質の緑釉陶器の椀で、953 は中国製の白磁碗である。954 は形状より８世紀頃の須恵器の短頸壺の蓋と考えられる。955 は須恵器の長頸壺の底部である。

956 ～ 961 は５・８層出土の遺物である。956 ～ 958 は土師器の小皿である。959 は龍泉窯系の青磁碗で見込みの部分に「金玉・・」の記述がある。他の事例より「金玉満堂」の記述であろう。961 は須恵器の捏鉢で、十瓶山窯跡産である。

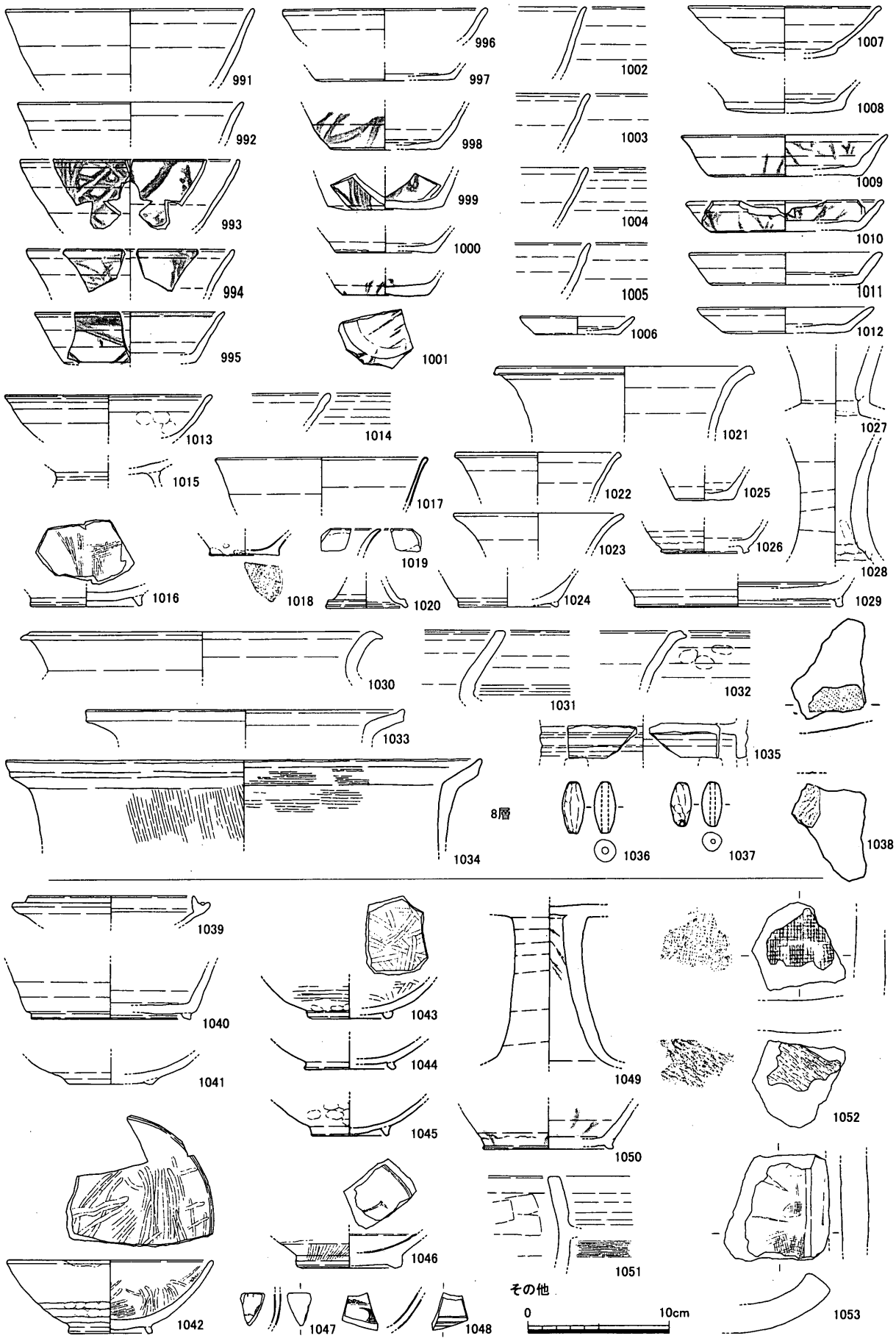
962 ～ 1038 は８層出土の遺物である。962 ～ 965 は弥生時代後期後半の土器である。966 ～ 968 は土師器の杯である。969 ～ 1005・1007・1008 は須恵器杯である。969 ～ 990 は８世紀頃の杯で、991 ～ 1005・1007 は 10 ～ 11 世紀頃の資料である。1009 ～ 1012 は８世紀頃の須恵器皿の資料である。1013・1015 は土師器椀で、1014 は西村産の須恵器椀の口縁部である。1017・1019 は硬質の緑釉陶器椀である。1018 は軟質の緑釉陶器椀で、底部には糸切痕を残している。1021 ～ 1029 は須恵器壺の資料で、1024・1026 ～ 1029 は長頸壺に属する。1030 ～ 1032 は須恵器甕の資料である。1035 は須恵質の円面硯の小片である。Ｂ２区の SRa04 からは須恵器の水滴が出土しており、これらの資料を踏まえれば、周辺域に識字層の存在を推定できる貴重な資料である。1036・1037 は土師質の管状土錘である。

1039 ～ 1048 は層位不明のその他の土器である。1042 ～ 1044 は 12 世紀頃の黒色土器Ａ類の椀、1045 は和泉型の瓦器椀の底部である。今年度整理対象区からは瓦器の出土は少なく、希少な資料である。1046 は中国産の白磁碗で、横田・森田編年のⅣ類に当る。1047 は中国産の青磁碗、1048 は中国産の白磁碗で、横田・森田編年のⅤ類に当る。

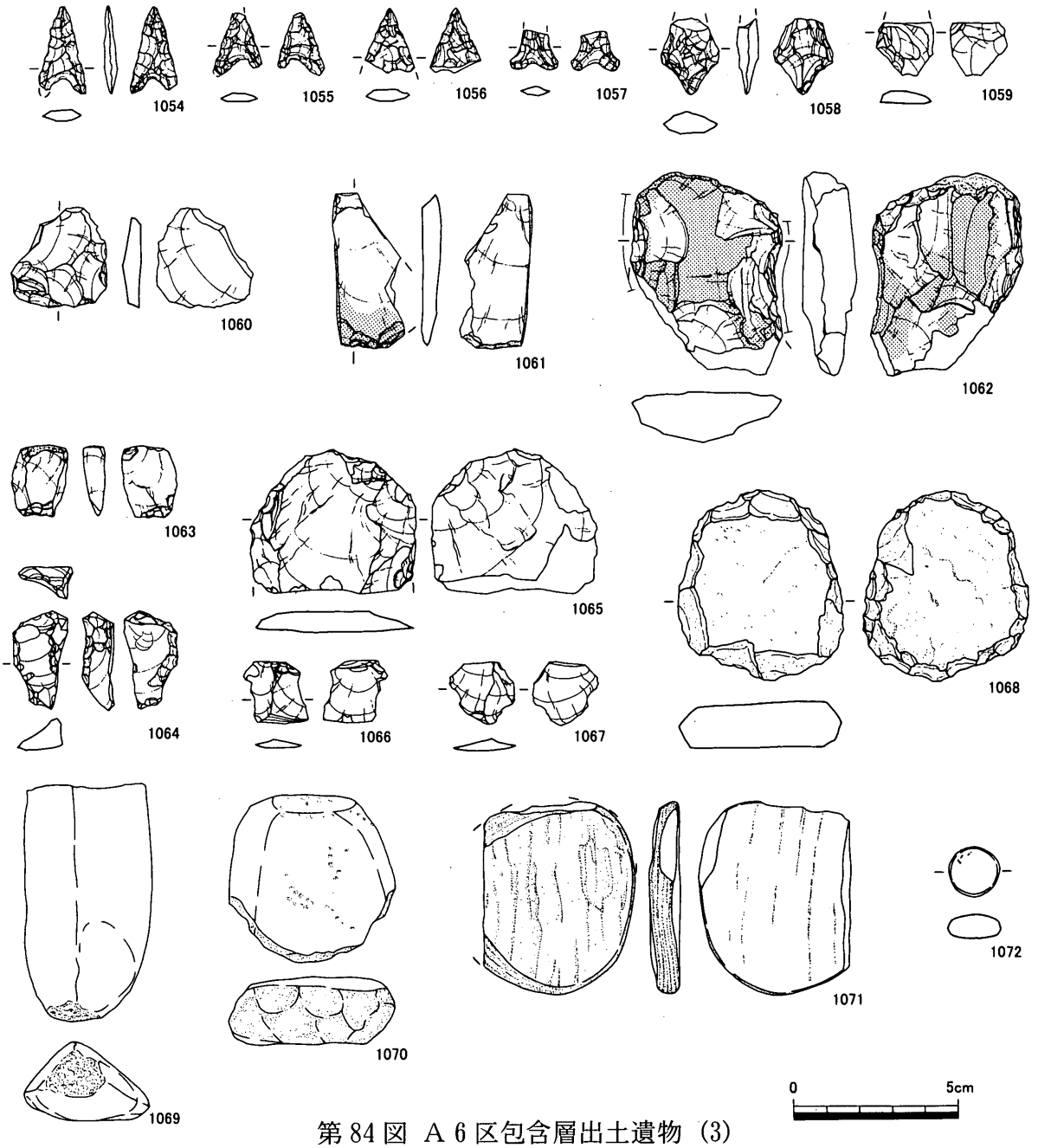
1054 ～ 1072 はＡ６区包含層出土の石器類である。1054 ～ 1058 はサヌカイト製の石鏃である。1059・1060 はサヌカイト製の石鏃未製品である。1060 は大きさの点と、調整の度合いにより未製品とした。1061 は外湾状の短い刃部をもつ、サヌカイト製の掻器である。器面にマメツ痕を残す。



第82図 A 6 区包含層出土遺物 (1)



第83図 A 6 区包含層出土遺物 (2)



第 84 図　A 6 区包含層出土遺物（3）

1062 はサヌカイト製の打製石斧の基部である。器面及び側縁部にはマメツ痕を顕著に残している。1063 はサヌカイト製の楔形石器である。1064・1065 は調整ある剥片で、1064 はチャート製の縦長状の剥片を素材としている。1069・1070 は砂岩製の叩石である。1071 は結晶片岩を素材に用いて、円盤状の外周にマメツ痕を有する磨石である。

B 2 区包含層出土遺物（第 85 図）

1073 ～ 1076 は弥生時代後期末頃の土器である。1073 は、口縁部を僅かに外反させた、直口壺の口頸部である。1074・1075 は甕の資料である。1076 は小型の鉢、1077 は甑である。1078 は 7 世紀前半頃の須恵器杯身である。1079 ～ 1087 は 8 世紀頃の須恵器高台付の杯の資料で、1079 ～ 1082 は杯蓋で、1083 ～ 1087 は杯身の資料である。1088 ～ 1090 は 10 ～ 11 世紀頃の須恵器の杯である。1092 は須恵器の短頸壺の口頸部である。1093・1094 は土師質の竈片である。1094 は炊き口付近の破片で、鍔状の炊き口部分特徴が比較的分りやすい。1095 は器種不明の須恵質の土製品である。断面は直方

体状を呈し、器面には火襷が認められる。1096・1097はＢ２区包含層から出土した、サヌカイト製の石鏃である。

Ｂ３区包含層出土遺物（第86・87図）

調査区の東壁面の土層位を基準として整理したため、その土層位単位で報告する。また、土層の番号は上層より順に付している点を断っておく。なお、Ｂ３区は中央の里道を境に、層位名称及び取り上げの単位等を異にしている。そのため出土遺物をＢ３区北包含層とＢ３区南包含層に区分して報告する。

Ｂ３区北包含層から出土した遺物は1098～1130である。1098～1105はＢ３区北包含層の５・６層出土の遺物である。1098～1100は土師器の椀、1101は土師器の脚付の皿である。1102は須恵器壺の底部である。1103は瓦質の摺鉢片、1105は瓦質で、体部上端に細い突帯を貼り付けている。形状より茶釜の小片と考えられる。

1106～1110はＢ３区北包含層の７・８層出土の遺物である。1106・1107は須恵器杯の上半部、1109は黒色土器Ａ類の椀の底部である。

1111～1125はＢ３区北包含層の９・10層出土の遺物である。1111は８世紀頃の須恵器の高台付の杯蓋の口縁部である。1112･1113は須恵器の高台付の杯身である。1114･1115は土師器の杯、1116は須恵器の杯、1117は黒色土器Ｂ類椀の上半部である。1118は須恵器の椀、1119は土師器皿である。1121～1123は須恵器壺の資料である。1121は８世紀頃の須恵器短頸壺の上半部、1122は長頸壺である。

1128～1130はＢ３区北包含層出土の石器類である。1128はサヌカイト製の石鏃、1129はサヌカイト製の石錐、1130サヌカイト製の剥片である。

Ｂ３区南包含層から出土した遺物は1131～1149である。1131～1134は８世紀頃の須恵器高台付の杯の資料である。1135は黒色土器Ａ類の椀の底部片である。1136は硬質の緑釉陶器椀の小片である。1138は８世紀頃の土師器の皿で、1139・1140は８世紀頃の須恵器の皿である。1141は須恵器の長頸壺の底部である。

1145～1149はＢ３区南包含層出土の石器類である。1145はサヌカイト製の石錐、1146は結晶片岩製の柱状片刃石斧である。1147はサヌカイト製の二次加工ある剥片、1149はサヌカイト製の石核である。表面には、複数の剥離痕が複雑に切り合っている。打面調整は作業面側より施し、作業面には、比較的大型の横長状の剥片を剥ぎ取った剥離痕が認められる。

Ｂ６区包含層出土遺物（第88図）

Ｂ６区包含層から出土した遺物は1150～1166である。1150は弥生時代後期末頃の鉢である。1151は土師器の杯、1153～1155は８世紀頃の須恵器の高台付杯の資料である。1156・1157は須恵器の杯、1158・1159は黒色土器Ａ類の椀である。1160は昭和前半頃の施釉陶器の蓋である。1161は須恵器の甕、1163は土師器の摺鉢片である。

1164～1166はＢ６区包含層から出土した石器類である。1164はサヌカイト製の削器、1165は二次加工ある剥片である。1166はサヌカイト製の楔形石器で、器面は風化が著しい。

Ｄ７区包含層出土遺物（第88図）

Ｄ７区包含層から出土した遺物は1167～1244である。1167～1173は弥生時代後期後半頃の土器である。1169～1173は甕の資料である。1173は下川津Ｂ類に含まれる甕である。しっかりした平

底を呈し、比較的古相の特徴を示している。口縁部より底部まで図化できるものでは稀な資料である。1174～1209は須恵器杯の資料である。1174は６～７世紀の須恵器杯の蓋である。1175～1189は８世紀頃の須恵器の高台付杯の蓋、1190～1201は８世紀頃の須恵器の高台付杯の身の資料である。1202～1209は10～11世紀頃の須恵器杯である。1210・1211は土師器の杯である。1212～1217・1230・1231は椀の資料である。1212～1214は土師器の椀、1215・1216は須恵器の椀で、1217は黒色土器Ａ類の椀である。1230は内面に僅かに釉を残す、軟質の緑釉陶器の椀である。1218～1224は８世紀頃の須恵器皿の資料である。1226・1227は６世紀末頃の須恵器高杯の脚部である。1228・1229・1234～1237は須恵器の壺の資料である。1228・1229は須恵器の小型壺の底部である。1237はしっかりした高台部と器壁の厚い底部の状況より、長頸壺の底部に分類したが、杯の可能性がある。1238・1239は須恵器の鉢である。1238は形状より８世紀頃の鉄鉢と考えられる。鉄鉢の資料は少なく貴重な資料である。1241は土師質の竈の炊口部である。

1242～1244はＤ７区包含層から出土した石器類である。1242はサヌカイト製の打製石庖丁である。1243はサヌカイト製の調整ある剥片、1244はサヌカイト製の剥片である。背面には先行する剥離痕、打面は調整打面を呈している

（参考文献）

平安学園考古学クラブ　1966『陶邑古窯址群Ⅰ』真陽社

大阪府教育委員会　1976『陶邑Ⅰ　大阪府文化財報告書　第28輯』

奈良国立文化財研究所　1976『平城宮発掘調査報告Ⅶ 奈良国立文化財研究所学報第二十六冊』真陽社

奈良国立文化財研究所　1976『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ』真陽社

奈良国立文化財研究所　1978『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ』真陽社

横田賢次郎・森田　勉　1978「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集４』

大久保徹也　1990「下川津遺跡における弥生時代後期から古墳時代前半の土器について」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団

大久保徹也　1993「讃岐地方における古墳時代初頭の土器について―下川津Ⅵ式以降の様相―」『（財）香川県埋蔵文化財調査センター　研究紀要Ⅰ』（財）香川県埋蔵文化財調査センター

片桐孝浩　1992「川津元結木遺跡」『中小河川大束川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター

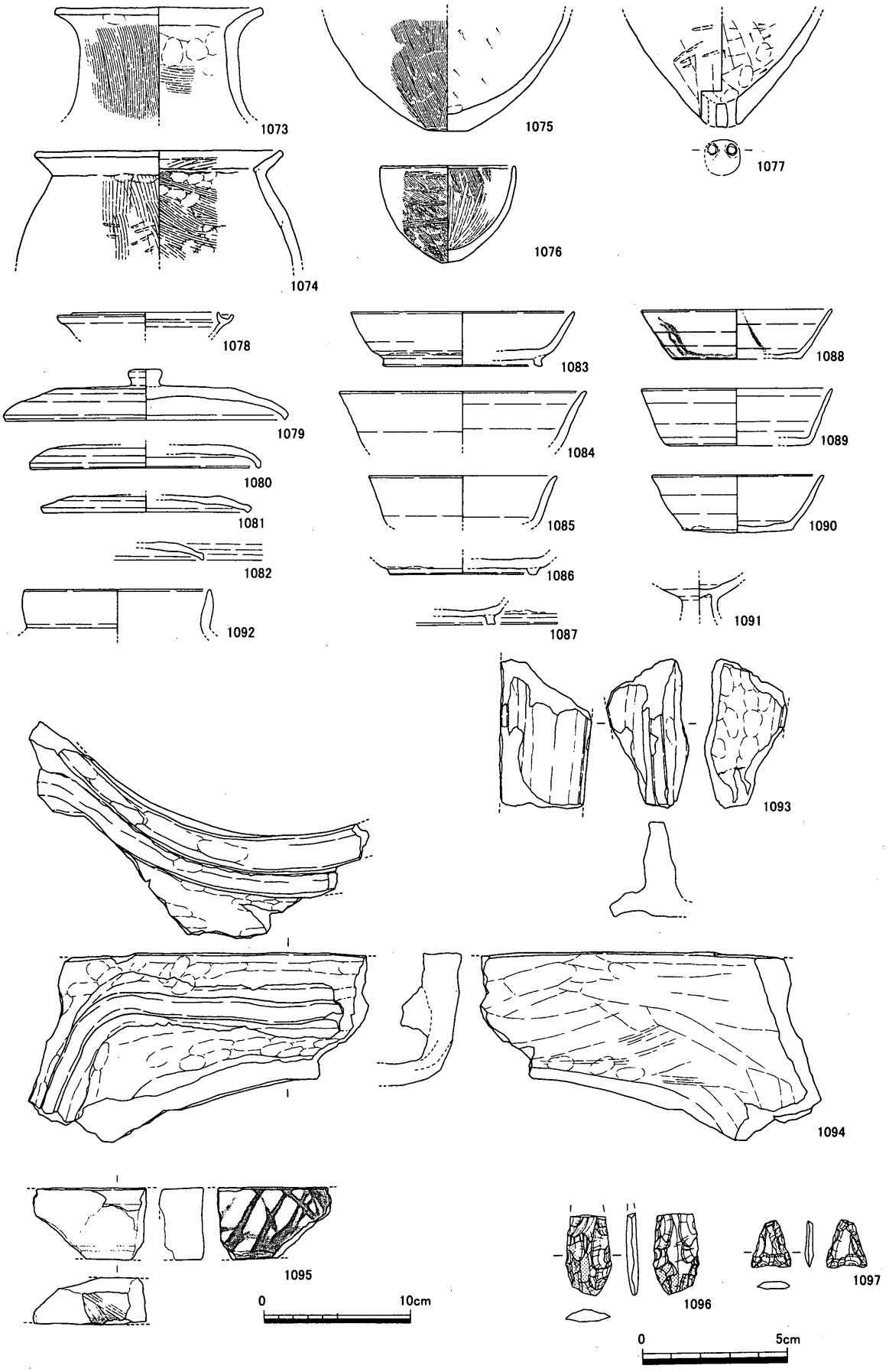
中世土器研究会　1995『概説　中世の土器・陶磁器』真陽社

佐藤竜馬他　2000『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第４冊　空港跡地遺跡Ⅳ』香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・香川県土地開発公社

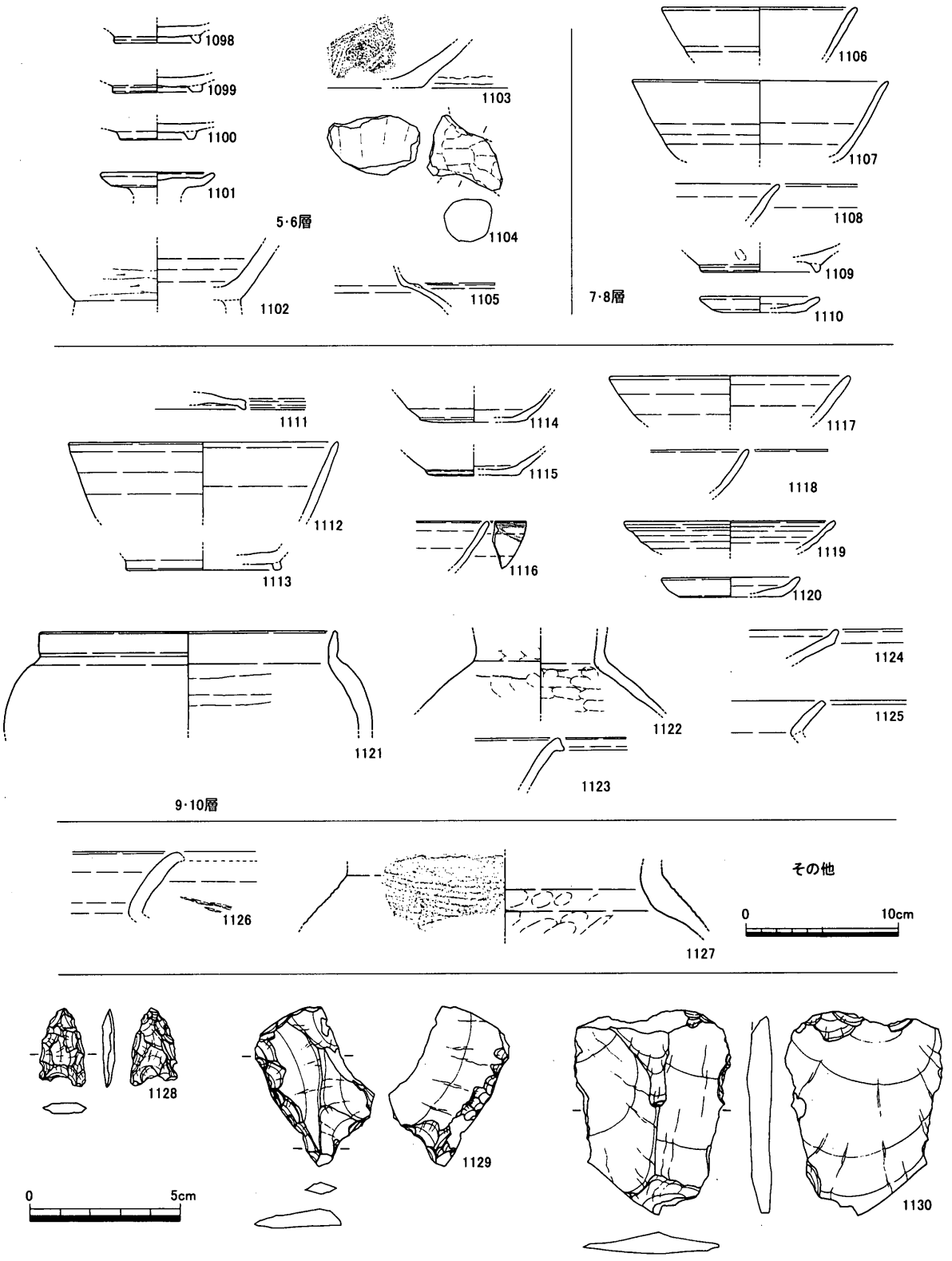
香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター　2002『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』

香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター　2003『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』

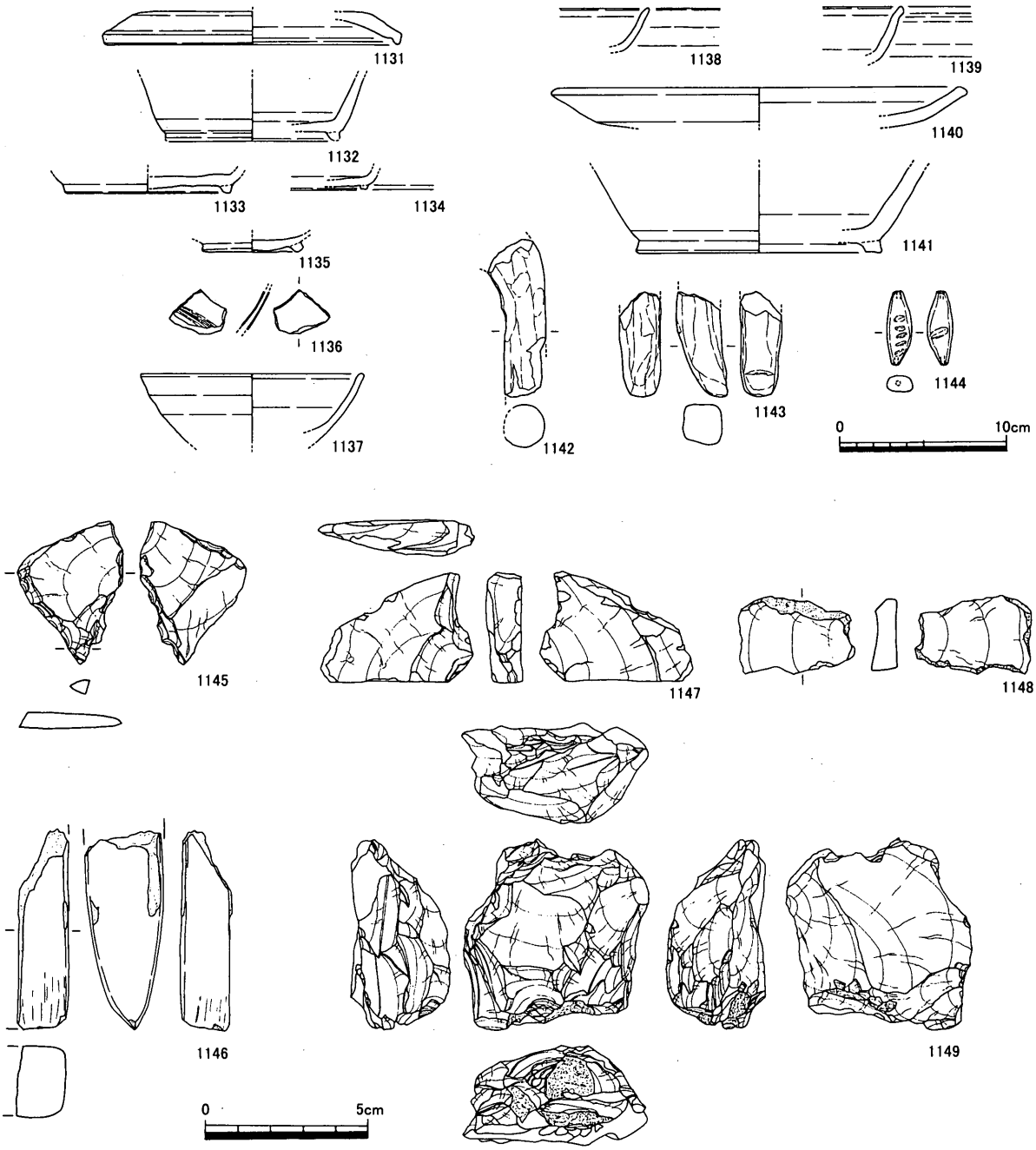
香川県埋蔵文化財センター　2004「西末則遺跡」『香川県埋蔵文化財センター年報　平成15年度』



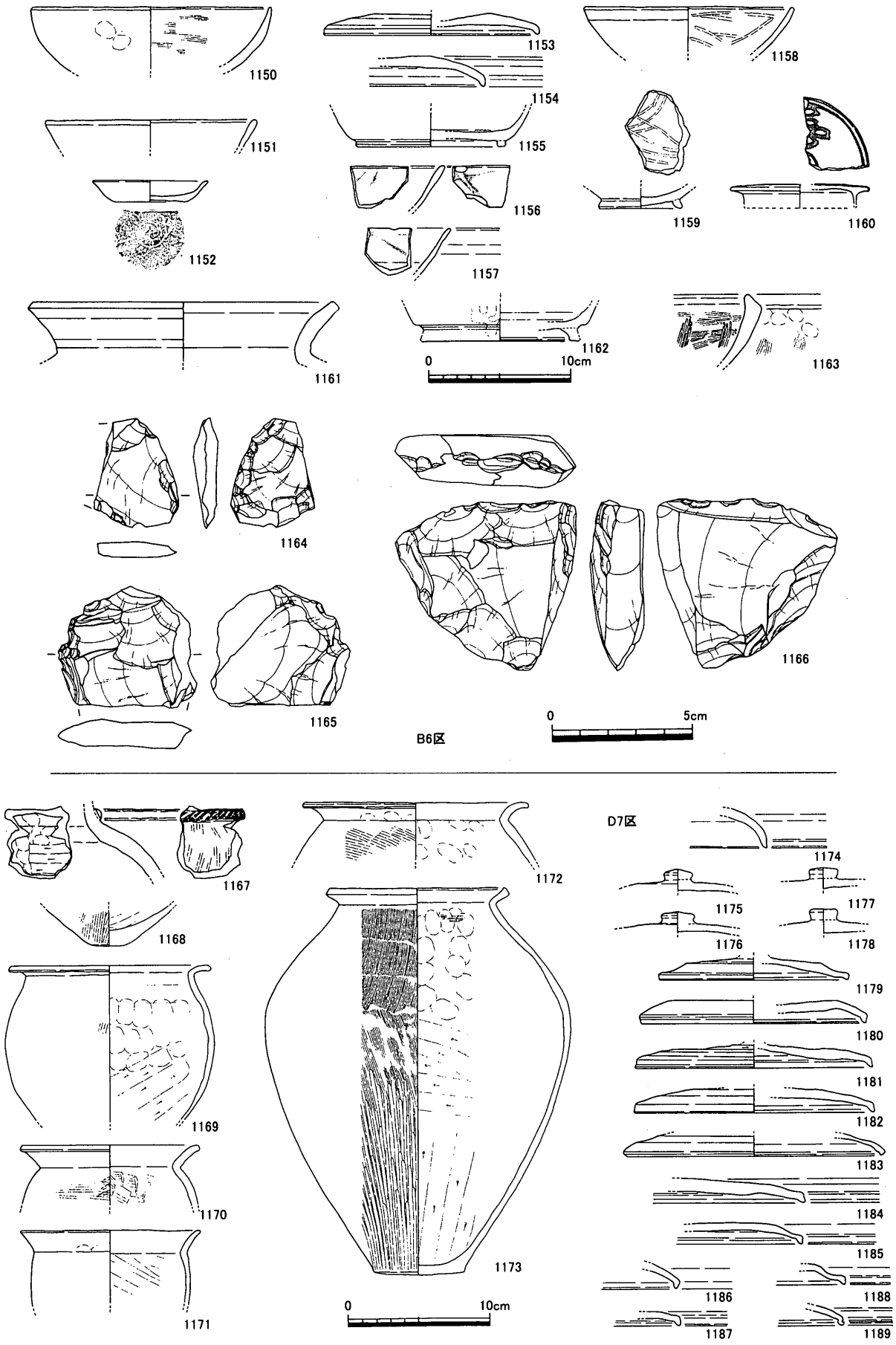
第85図 B 2 区包含層出土遺物



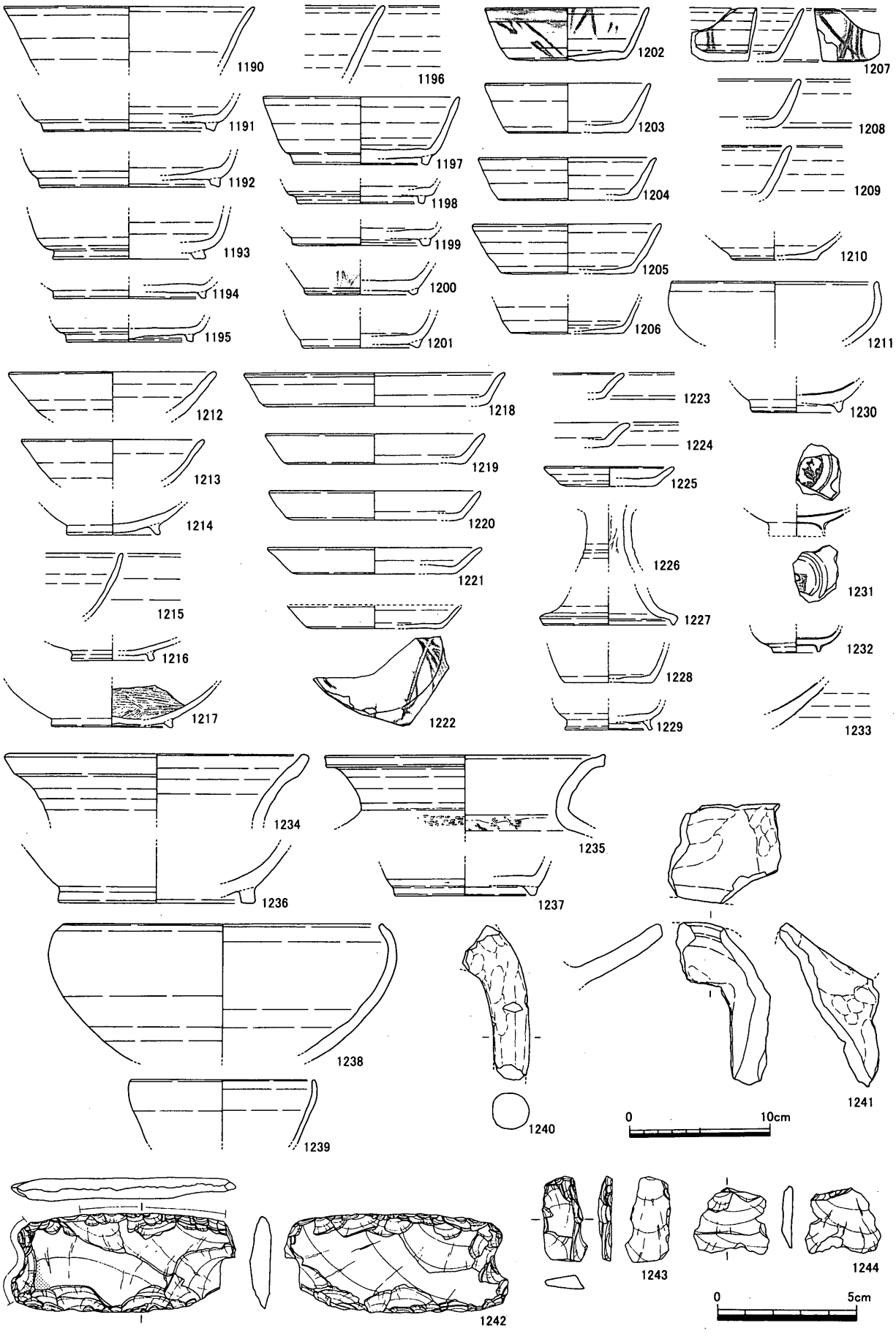
第86図 B 3区北包含層出土遺物



第87図 B 3区南包含層出土遺物



第88図 B 6 区，D 7 区 (1) 包含層出土遺物



第89図 D7区包含層出土遺物 (2)

第Ⅳ章　自然科学分析結果

第１節　西末則遺跡の植物珪酸体

鈴木　茂（パレオ・ラボ）

イネ科植物は別名珪酸植物とも言われ、根より大量の珪酸分を吸収することが知られている。こうして吸収された珪酸分が葉や茎の細胞内に沈積され植物珪酸体（機動細胞珪酸体や単細胞珪酸体等）が形成される。この植物珪酸体のうち機動細胞珪酸体については藤原（1976）や藤原・佐々木（1978）等、イネを中心としたイネ科植物の形態分類の研究が進められている。また土壌中より検出されるイネの機動細胞珪酸体個数から稲作の有無についての検討も行われており（藤原　1984)、近年この植物珪酸体分析を用いて稲作の検討が各地・各遺跡で行われている。

こうしたことから西末則遺跡においても採取された土壌試料について植物珪酸体分析を行い、稲作の有無について機動細胞珪酸体から検討した。

１．試料と分析方法

分析用試料は微高地部のＥ 14 調査区の西壁より採取された２試料とＤ７調査区の旧河道部（SRa02）より採取された３試料の計５試料である。各試料について簡単に記すが、便宜的に試料番号１～５（旧河道部: １～ ３，微高地部: ４ 、５）を付した。なお、分析試料中の（試料番号 ４,５）については、次年度以降の整理対象区の試料であることをつけ加えておく。

旧河道部の試料１（西壁５層）は褐灰色の砂質シルト、試料２（西壁６層）は灰色の砂質シルト～粘土、試料３（西壁 11 層）は暗灰色の粘土である。時代について、試料１（西壁５層）が中世前半、試料２（西壁６層）が平安時代、試料３（西壁 11 層）が奈良時代？と考えられている。

微高地部（Ｅ 14 区）の試料４（Ⅱ③層）は灰褐色の砂レキ混じりシルト、試料５（Ⅱ④層）は小レキを含む褐灰色の砂質シルトである。

植物珪酸体分析はこれら５試料について以下のような手順にしたがって行った。

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定)。別に試料約１ｇ（秤量）をトールビーカーにとり、約 0.02 ｇのガラスビーズ（直径約 40 μｍ）を加える。これに 30% の過酸化水素水を約 20 ～ 30cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波ホモジナイザーによる試料の分散後、沈降法により 10 μｍ以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作成し、検鏡した。同定および計数はガラスビーズが 300 個に達するまで行った。

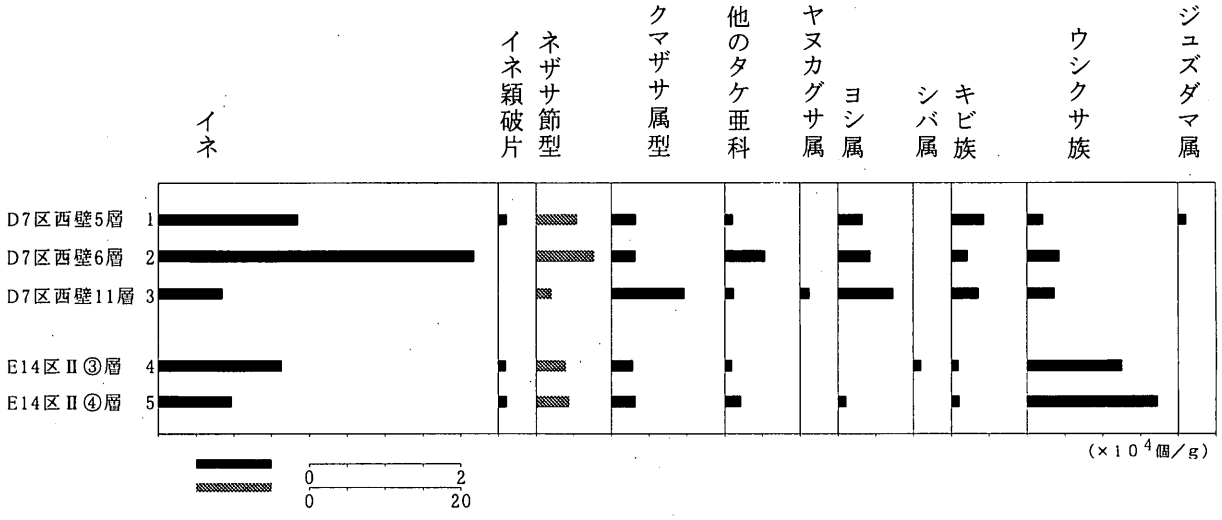
２．分析結果

同定・計数された各植物の機動細胞珪酸体個数とガラスビーズ個数の比率から試料１ｇ当りの各機動細胞珪酸体個数を求め（第４表)、それらの分布を第 90 図に示した。以下に示す各分類群の機動細胞珪酸体個数は試料１ｇ当りの検出個数である。

検境の結果、全試料よりイネの機動細胞珪酸体が検出された。個数的にはほぼ全試料が 10,000 個

第４表　試料１ｇ当たりの機動細胞珪酸体個数

試料番号	イネ (個/g)	イネ穎破片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	クマザサ属型 (個/g)	他のタケ亜科 (個/g)	サヤヌカグサ属 (個/g)	ヨシ属 (個/g)	シバ属 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	ジュズダマ属 (個/g)	不明 (個/g)
1	18,500	1,100	54,400	3,300	1,100	0	3,300	0	4,400	2,200	1,100	9,800
2	41,800	0	77,100	3,200	5,400	0	4,300	0	2,100	4,300	0	6,400
3	8,500	0	20,600	9,700	1,200	1,200	7,300	0	3,600	3,600	0	9,700
4	16,400	1,000	39,500	2,900	1,000	0	0	1,000	1,000	12,500	0	47,200
5	9,700	1,100	43,200	3,200	2,200	0	1,100	0	1,100	17,300	0	30,300



第 90 図　機動細胞珪酸体分布図

以上で、Ｄ７区の試料２では 40,000 個を越え、Ｅ 14 区の試料４でも約 16,000 個を示している。またイネの穎（籾殻部分）に形成される珪酸体の破片がわずかながら多くの試料より検出されている。

最も多く得られているのはネザサ節型で約20,000個～約80,000個を示している。ウシクサ族についてＤ７区では 3,000 個前後、Ｅ 14 区では 10,000 個を越えている。反対にヨシ属はＤ７区で多く 4,000 個前後、Ｅ 14 区では試料５で 1,000 個程である。キビ族も同様の産出傾向を示している。クマザサ属型は試料３の約 10,000 個の他は 3,000 個前後を示している。その他サヤヌカグサ属やシバ属，ジュズダマ属が若干検出されている。

３．稲作について

上記したように、イネの機動細胞珪酸体が全試料より検出されている。検出個数の目安として、イネの機動細胞珪酸体が試料１ｇ当り 5,000 個以上検出された地点から推定された水田址の分布範囲と、実際の発掘調査とよく対応する結果が得られている（藤原　1984）。こうしたことから、稲作の検証としてこの 5,000 個を目安に、機動細胞珪酸体の産出状態や遺構の状況をふまえて判断されている。西末則遺跡の旧河道部試料ではこの 5,000 個をはるかに越える個数が示されており、検出個数のみからは稲作が行われていた可能性は高いと判断されよう。同試料を用いて行われた花粉分析結果をみると、イネ科花粉の占める割合はそれほど高くはないが、サジオモダカやオモダカといった水田雑草を含む分類群のサジオモダカ属，オモダカ属がわずかではあるが検出されている。またナデシコ科，キカシグサ属，ミズワラビ属等も同様と考えられ、こうした水田雑草類と思われる分類群の検出を考え合わせると旧河道部において水田稲作が行われていた可能性はかなり高いと推察されよう。

一方微高地部でも多量のイネの機動細胞珪酸体が検出されており、検出個数のみからは稲作が行われていた可能性は高いと判断される。同じく花粉分析結果をみると、分布図として示せないほど得られた花粉化石数は少ないことから、かなり乾いた環境での埋積が推測される。乾いた環境の下に落下した花粉は紫外線や土壌微生物等によって容易に分解されてしまい、化石としては残りにくいのである。また先に記した水田雑草類を含む分類群も検出されていない。こうしたことから少なくとも微高地部における水田稲作の可能性は低いと判断され、稲作が行われていたとすると畑作（陸稲栽培）が考えられよう。また他の畑作物の肥料等として稲藁が使われた結果、イネの機動細胞珪酸体が多量に検出されたことも考えられよう。

以上のようにＤ７区の旧河道部については水田稲作の可能性が考えられ、河道部が埋積される過程において一部で水田稲作が行われたことが推察されよう。一方Ｅ14区の微高地部における稲作についてそれを積極的に支持する結果は得られず、Ｅ14区における稲作については言及できないと考える。

４．遺跡周辺のイネ科植物

最も多く検出されているネザサ節型について、このネザサ節型のササ類（ケネザサ，ゴキダケ等）は稲作が予想される耕作地周辺や周辺丘陵部に成立していた森林の林縁部等の日の当たる開けたところに生育していたと推測され、ウシクサ族（ススキ，チガヤ等）とともに草地を形成していたとみられる。

キビ族についてはその形態からアワ，ヒエ，キビといった栽培種によるものか、エノコログサ，スズメノヒエ，タイヌビエ等の雑草類によるものかについて現時点においては分類が難しく不明であるが、稲作にともなう雑草類ではないかと思われる。

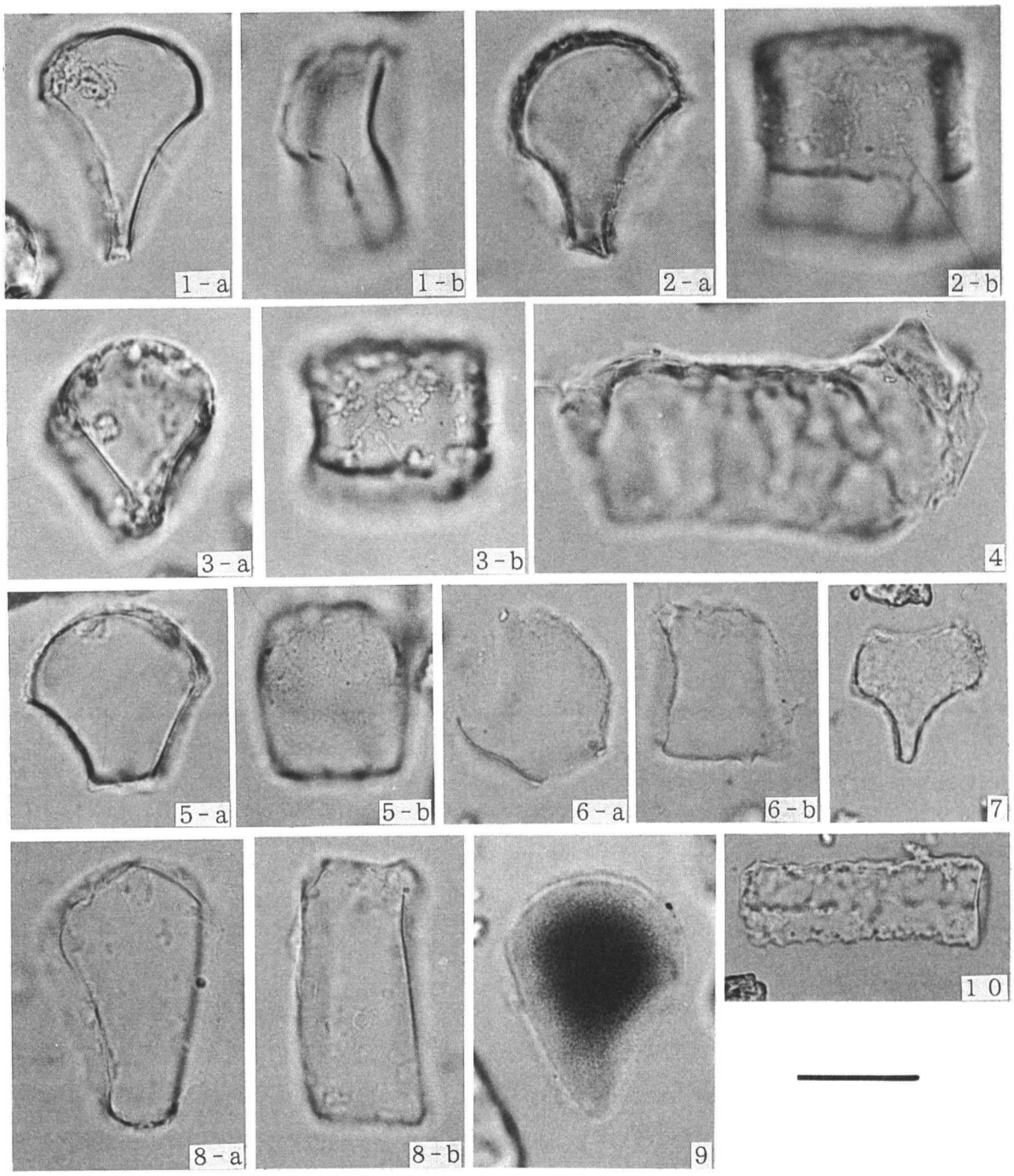
その他ではヨシを代表とするヨシ属やサヤヌカグサ属（アシカキ等），ジュズダマ属（ジュズダマ属）が稲作地周辺の水路等に生育していたであろう。また稲作地周辺の畦道等の比較的乾いたところにシバ属（ノシバ等）の生育が予想される。

（　引用文献　）

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（１）－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，ｐ.15-29.

藤原宏志（1984）プラント・オパール分析法とその応用－先史時代の水田址探査－．考古学ジャーナル，227，ｐ.2-7.

藤原宏志・佐々木彰（1978）プラント・オパール分析法の基礎的研究（２）－イネ（Oryza）属植物における機動細胞珪酸体の形状－．考古学と自然科学，11，ｐ.9-20.



第91図　西末則遺跡のプラント・オパール（scale bar:30 μm）

1～3：イネ（a：断面、b：側面）

1：D7区西壁5層　2：D7区西壁6層　3：E14区Ⅱ④層

4：イネ穎部破片　E14区Ⅱ③層

5：ネザサ節型（a：断面、b：側面）D7区西壁5層

6：クマザサ属型（a：断面、b：側面）D7区西壁11層

7：シバ属（断面）E14区Ⅱ③層

8：ウシクサ族（a：断面、b：側面）E14区Ⅱ③層

9：ヨシ属（断面）D7区西壁5層

10：キビ族（断面）D7区西壁5層

第２節　西末則遺跡の花粉化石

鈴木　茂（パレオ・ラボ）

西末則遺跡における水田稲作の可能性を想定するにあたっての一資料を得る目的で採取された土壌試料について花粉分析を行った。以下にその結果を示し、西末則遺跡の水田稲作の有無について検討した。

１．試料と分析方法

試料はＤ７区の旧河道部（SRa02）より採取された３試料（試料番号１～３）とＥ 14 区の微高地部より採取された２点（試料番号 ４,５）の計５試料である。各試料の土相については植物珪酸体分析を参照していただきたいが、旧河道部（SR0a2）の３試料（西壁５層，西壁６層，西壁 11 層）はおおむね砂質のシルト～粘土、微高地部の２試料（Ⅱ③層，Ⅱ④層）は砂レキ混じりのシルトである。これら５試料について以下に示した手順にしたがって花粉分析を行った。なお、分析試料中のＥ 14 区の微高地部より採取された２点（試料番号 ４,５）については、次年度以降の整理対象区の試料であることをつけ加えておく。

試料（湿重約３～５ｇ）を遠沈管にとり、10％の水酸化カリウム溶液を加え 20 分間湯煎する。水洗後、0.5mm 目の篩にて植物遺体等を取り除き、傾斜法を用いて粗粒砂分を除去する。次に 46% のフッ化水素酸溶液を加え 20 分間放置する。水洗後、比重分離（比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理（無水酢酸９：１濃硫酸の割合の混酸を加え３分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを加え保存用とする。検鏡はこの残渣より適宜プレパラートを作成して行い、その際サフラニンにて染色を施した。

２．分析結果

検出された花粉・胞子の分類群数は樹木花粉 25、草本花粉 21、形態分類を含むシダ植物胞子４の総計 50 である。これら花粉・シダ植物胞子の一覧を第５表に、またこれらの分布を第 92 図に示した。なお、分布図における樹木花粉は樹木花粉総数を基数に、草本花粉・シダ植物胞子は全花粉・胞子総数を基数として百分率で示してある。表および図においてハイフンで結んだ分類群はそれら分類群間の区別が困難なものを示し、クワ科・マメ科の花粉は樹木起源と草本起源のものとがあるがそれぞれに分けることが困難なため便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

検鏡の結果、Ｅ 14 区の２試料は樹木花粉の産出数が非常に少なく分布図として示すことができなかった。

Ｄ７区旧河道部（SRa02）：コナラ属コナラ亜属が最優占しており、上部に向かい増加して 50％を越えている。次いで 10 ～ 20％を示してコナラ属アカガシ亜属が多く、コウヤマキ属は 10％前後得られている。またシイノキ属－マテバシイ属（以後シイ類と略す）は試料３で 20％近くを示している。草本類はイネ科が最も多く、出現率は 20％前後を示している。他はいずれも低率で、イネ科に次いで多いカヤツリグサ科やヨモギ属でも５％前後である。また下部２試料で水生植物のガマ属，サジオモダカ属，オモダカ属（いずれも抽水植物），ミズワラビ属（水生シダ植物）が観察され、上

部２試料でソバ属が検出されている。

Ｅ 14 区微高地部：樹木花粉では少ない中コナラ亜属やアカガシ亜属が目立って検出されており、

第５表　産出花粉化石一覧表

和名	学名	D7区 西壁5層 D7区 西壁8層	D7区 西壁11層		E14区 Ⅱ③層	E14区 Ⅱ④層
		1	2	3	4	5
樹木						
マキ属	*Podocarpus*	-	-	1	-	-
モミ属	*Abies*	-	2	2	-	-
ツガ属	*Tsuga*	2	9	4	1	1
マツ属複維管束亜属	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	1	3	4	2	-
マツ属（不明）	*Pinus* (Unknown)	-	2	4	3	-
コウヤマキ属	*Sciadopitys*	24	14	27	1	4
スギ	*Cryptomeria japonica* D. Don	3	4	1	-	-
イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科	T.- C.	2	2	4	-	-
ヤマモモ属	*Myrica*	3	1	3	-	2
クルミ属	*Juglans*	-	-	1	-	-
クマシデ属－アサダ属	*Carpinus - Ostrya*	-	7	8	1	2
カバノキ属	*Betula*	1	-	1	-	-
ハンノキ属	*Alnus*	-	-	1	-	-
ブナ	*Fagus crenata* Blume	-	1	1	1	-
コナラ属コナラ亜属	*Quercus* subgen. *Lepidobalanus*	109	115	87	7	17
コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis*	31	44	47	5	17
シイノキ属－マテバシイ属	*Castanopsis - Pasania*	13	7	44	1	2
ニレ属－ケヤキ属	*Ulmus - Zelkova*	1	1	-	-	-
エノキ属－ムクノキ属	*Celtis-Aphananthe*	1	2	-	-	-
ヤドリギ属	*Viscum*	-	-	1	-	-
モチノキ属	*Ilex*	-	-	2	-	-
カエデ属	*Acer*	2	-	1	-	-
ツバキ属	*Camellia*	-	-	1	-	-
ウコギ科	Araliaceae	-	-	1	-	-
ハイノキ属	*Symplocos*	-	-	1	-	-
草本						
ガマ属	*Typha*	-	-	5	-	-
サジオモダカ属	*Alisma*	-	-	2	-	-
オモダカ属	*Sagittaria*	-	3	1	-	-
イネ科	Gramineae	69	93	56	19	13
カヤツリグサ科	Cyperaceae	10	32	16	2	1
クワ科	Moraceae	1	-	1	-	-
サナエタデ節－ウナギツカミ節	*Polygonum* sect. Persicaria-Echinocaulon	-	-	3	-	-
イタドリ節	*Polygonum* sect. Reynoutria	-	1	5	-	-
ソバ属	*Fagopyrum*	1	1	-	-	-
アカザ科－ヒユ科	Chenopodiaceae - Amaranthaceae	2	1	1	-	-
ナデシコ科	Caryophyllaceae	2	2	3	1	-
カラマツソウ属	*Thalictrum*	1	-	-	-	-
他のキンポウゲ科	other Ranunculaceae	1	2	1	-	-
アブラナ科	Cruciferae	4	1	-	1	-
マメ科	Leguminosae	1	-	-	-	-
キカシグサ属	*Rotala*	-	1	-	-	-
セリ科	Umbelliferae	-	2	1	-	-
オオバコ属	*Plantago*	-	1	-	-	-
ヨモギ属	*Artemisia*	20	13	18	4	7
他のキク亜科	other Tubuliflorae	5	5	4	5	1
タンポポ亜科	Liguliflorae	-	-	4	4	5
シダ植物						
ヒカゲノカズラ属	*Lycopodium*	1	-	2	-	-
ミズワラビ属	*Ceratopteris*	-	1	-	-	-
単条型胞子	Monolete spore	41	6	45	20	12
三条型胞子	Trilete spore	8	3	15	3	2
樹木花粉	Arboreal pollen	193	214	247	22	45
草本花粉	Nonarboreal pollen	117	158	121	36	27
シダ植物胞子	Spores	50	10	62	23	14
花粉・胞子総数	Total Pollen & Spores	360	382	430	81	86
不明花粉	Unknown pollen	21	18	38	6	16

Ｔ．－Ｃ．はTaxaceae-Cephalotaxaceae-Cupresaceaeを示す

他に２試料から得られているのはマツ属複維管束亜属（アカマツやクロマツ等のいわゆるニヨウマツ類），コウヤマキ属，クマシデ属－アサダ属，シイ類である。草本類はイネ科が最も多く、ヨモギ属やタンポポ亜科等のキク科が目立って検出されている。

３．水田稲作について

Ｄ７区旧河道部（SRa02）：イネ科花粉は20％前後とそれほど高い出現率ではないが、下部２試料からは水田雑草を含む分類群であるサジオモダカ属（サジオモダカ）やオモダカ属（オモダカ，ウリカワ等）が検出されている。またナデシコ科やキカシグサ属等も水田雑草を含む分類群と考えられる。これに植物珪酸体分析の結果を合わせＤ７区の旧河道部においては水田稲作が行われていた可能性はあると考えられよう。

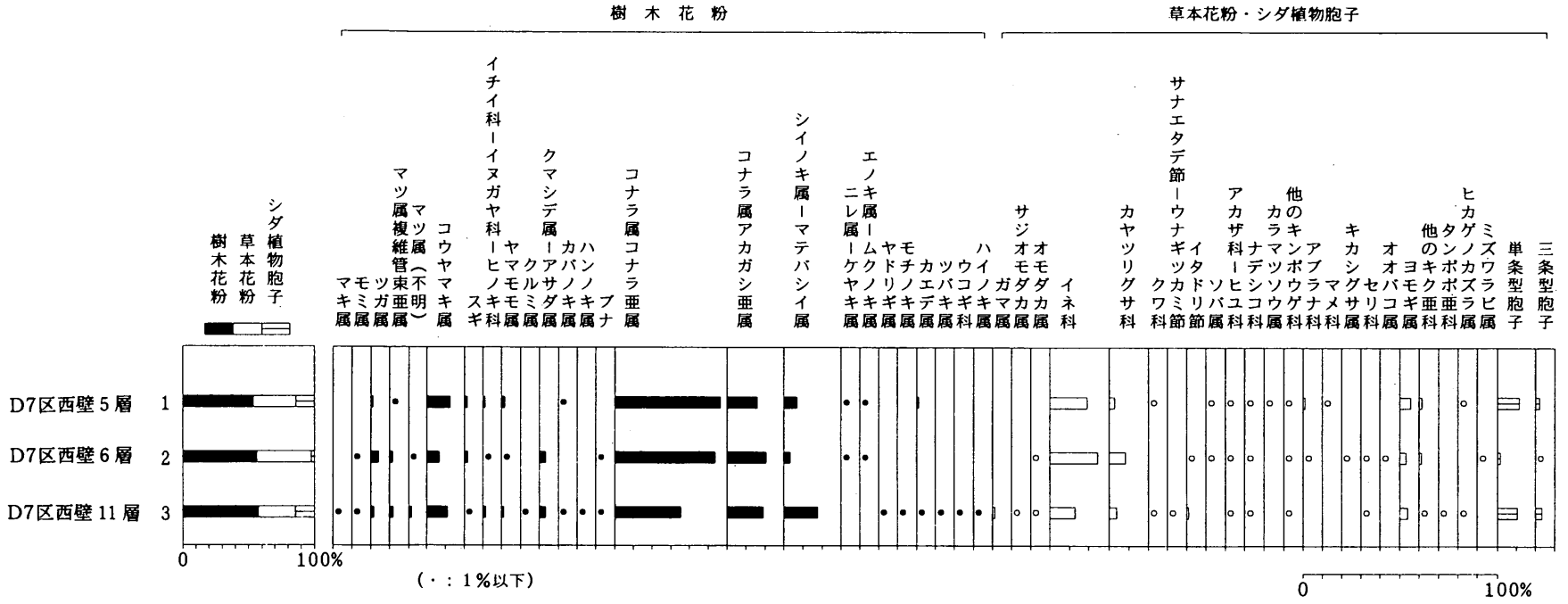
Ｅ14区微高地部：イネ科花粉の検出数は少なく、上記のような水田雑草類も検出されていない。植物珪酸体分析においてはイネの機動細胞珪酸体が多く認められているもののこうしたことから本地区における水田稲作については言及できないと考える。

４．遺跡周辺の古植生

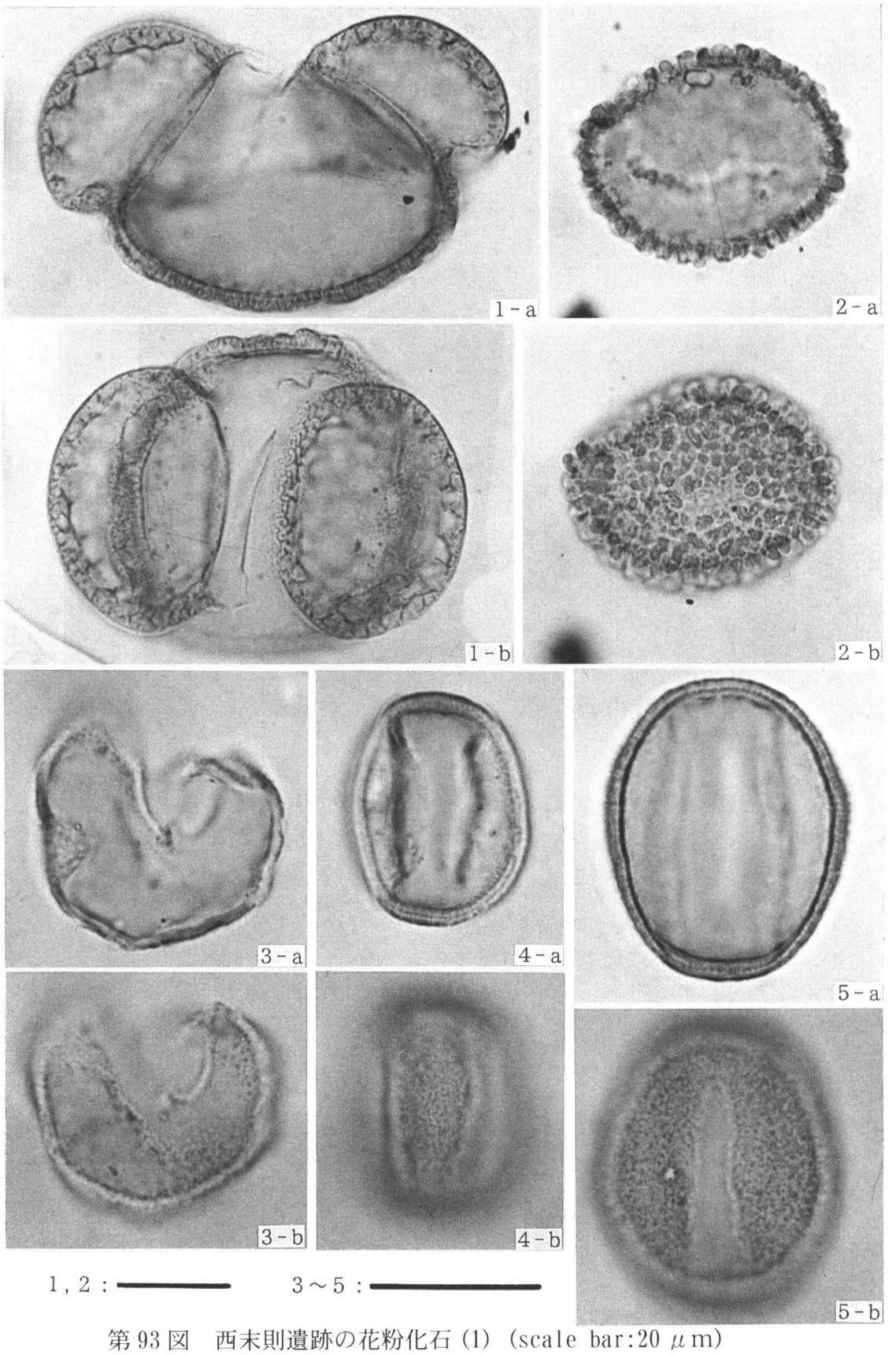
Ｄ７区旧河道部の花粉分析結果をもとに遺跡周辺の古植生について示す。

西壁11層堆積期（奈良時代？）の遺跡周辺丘陵部ではアカガシ亜属やシイ類を主体とした照葉樹林が広く成立していた。またコナラ亜属を中心にクマシデ属－アサダ属等の落葉広葉樹林も広く林分を広げていた。さらにコウヤマキ属やツガ属，ニヨウマツ類等の温帯性針葉樹林も一部に成立しており、これら林縁部にはネザサ節型のササ類やウシクサ族の群集（ケネザサースススキ群集）がみられた（植物珪酸体分析参照）。一方低地部では埋積された旧河道部の一部地域において水田稲作が行われていた可能性が考えられ、抽水植物のサジオモダカ属やオモダカ属が水田雑草として生育していたとみられる。

西壁６層堆積期（平安時代）～西壁５層堆積期（中世前半）の遺跡周辺丘陵部ではコナラ亜属を中心とした落葉広葉樹林が拡大し、照葉樹林は縮小傾向がみられる。そのうちシイ類の減少が目立ち、これは水田稲作の発展に起因していると考えられる。すなわち堅い材質のシイ類が農工具に利用されたことが考えられよう。一方低地部では引き続き水田稲作が営まれていたと考えられ、この時期にはソバの栽培も付近において行われるようになったとみられる。



第92図　西末則遺跡の花粉化石分布図



第93図　西末則遺跡の花粉化石 (1)（scale bar:20 μm）

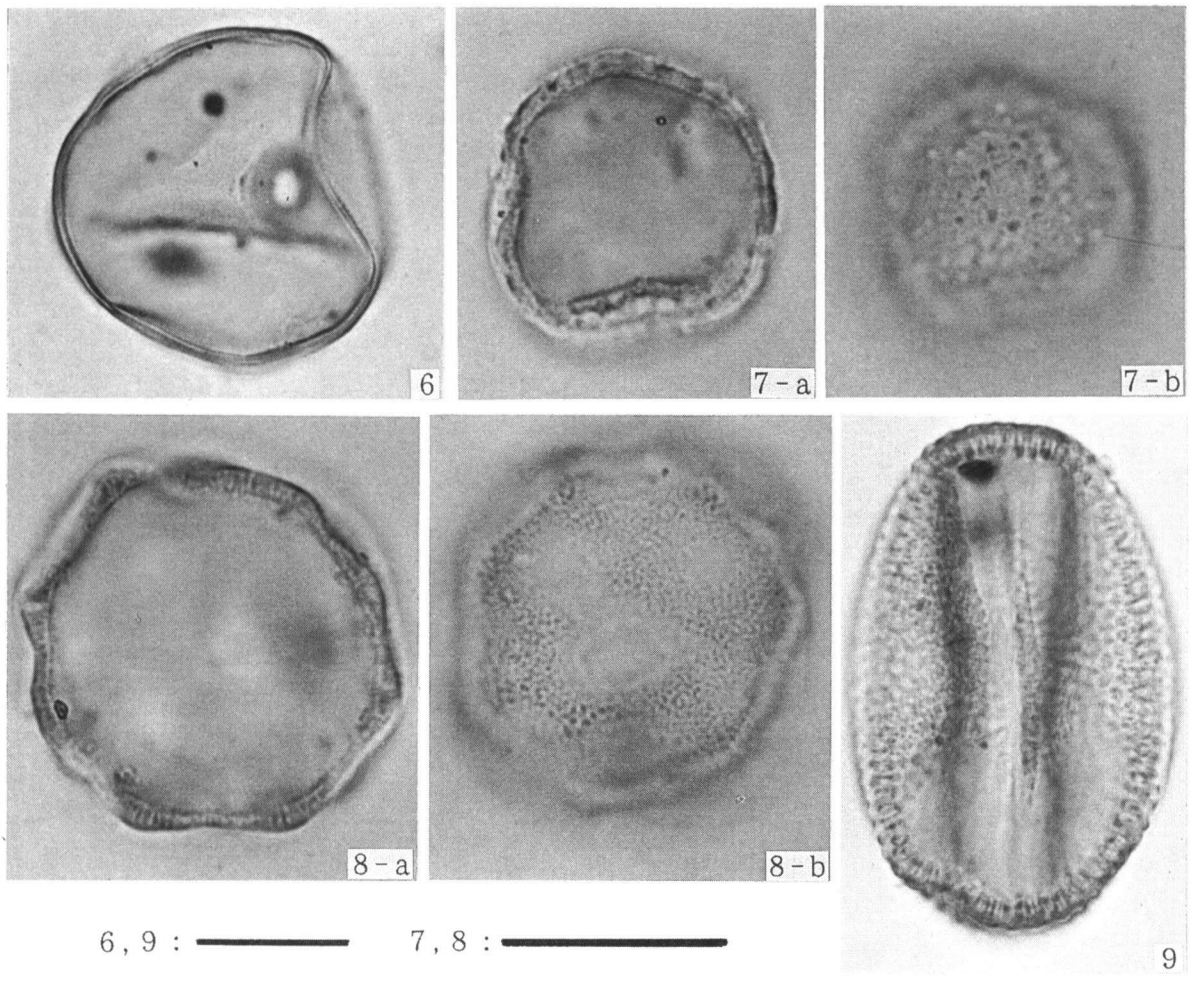
1：マツ属単維管束亜属　PLC.SS 3435　D７区西壁11層

2：コウヤマキ属　PLC.SS 3430　D７区西壁６層

3：スギ　PLC.SS 3429　D７区西壁６層

4：コナラ属アカガシ亜属　PLC.SS 3433　D７区西壁６層

5：コナラ属コナラ亜属　PLC.SS 3428　D７区西壁６層



第94図　西末則遺跡の花粉化石 (2)（scale bar:20 μm）

6：イネ科　PLC.SS 3432　D７区西壁６層

7：アモダカ属　PLC.SS 3431　D７区西壁６層

8：サジオモダカ属　PLC.SS 3436　D７区西壁11層

9：ソバ属　PLC.SS 3427　D７区西壁６層

第Ⅴ章　まとめ

前章までの事実報告をもとに、本年度の整理対象地区と平成13・14年度に実施した綾上町側のA～D地区の調査成果を含め、その歴史的変遷をⅠ期～Ⅳ期に区分し簡単にまとめる。

Ⅰ期：弥生時代後期末～古墳時代前期

集落に直接係わる遺構については確認できていないが、溝等の遺構及び自然河川、包含層中から当該期の遺物が多量に出土しており、この時期の集落が隣接地に推定できるものと考えられる。時期が異なるが、調査区の東辺に隣接する南北丘陵（末則丘陵）上には、中期末～後期前半の遺構を検出している。そのため、この時期の集落は、対象地の東辺に所在する末則丘陵の開折谷から、現在民家が密集している南斜面部周辺に広がる可能性が高い。

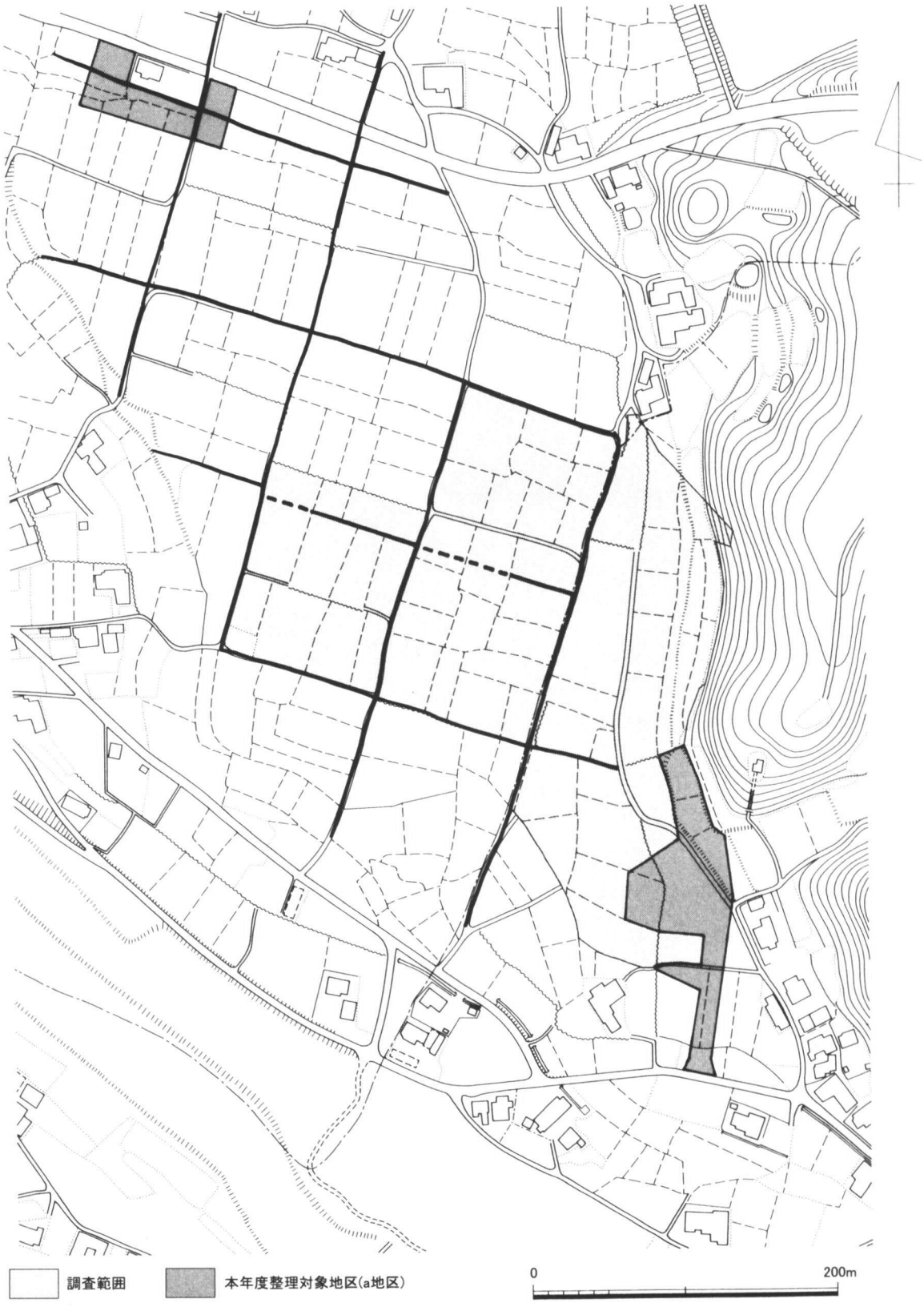
SDa05・06は、丘陵裾部を巡るように配された弥生時代後期末～古墳前期初頭の溝で、規模的な点で灌漑用の幹線水路と考えられる。取水箇所については、末則丘陵東斜面部の綾川氾濫原付近の可能性があるが、今後の課題になる点が多い。なお、SDa07・08等のSDa06より分岐する溝は、幹線水路より段丘面上面に導水するための灌漑水路と考えられる。この時期の水田域については、具体的なデーターは見当たらず、今後の課題になるが、自然河川中の小規模な水田域か、対象地の北西に広がる綾川氾濫原付近が候補としてあげられる。

SRa03・04はこの時期より埋没を開始したものと考えられるが、出土遺物の点でSRa03が若干先行するようである。これらの河川も、８世紀頃にはおおむね埋没を完了する。なお、SRa02についてはこの時期の堆積層を検出していないが、出土遺物と周囲の地理的状況等から考えて、この時期に河道部が存在していた可能性は高い。

出土遺物を概観すれば、下川津Ⅴ～Ⅵ式の土器が主体を占めることが指摘できる。注目できる点では下川津Ｂ類土器が一定程度の割合で含まれている点である。また、SRa03の下層より出土した下川津Ⅴ式前後の一括遺物は、この地域周辺の基準になる資料と考えられる。石器類では打製石庖丁、打製石斧の多さが注目できる。なお、出土石器類中には弥生時代以前のものと考えられる石器類も含まれており、今後の課題になる点も多い。

Ⅱ期：古代

今年度の報告対象地区からは、７～８世紀頃の集落に係わる遺構は確認できていないが、溝等の遺構及び自然河川、包含層から８世紀前後の多量の遺物が出土しており、隣接地にこの時期の集落が推定できる。末則丘陵の西斜面部に当る、Ｃ地区のＢ16～18区からは７世紀中葉～８世紀の集落を検出しているが、Ⅰ期同様に、末則丘陵に所在する開折谷から、現在民家が密集している南斜面部周辺も候補としてあげられる。なお、注目できる点では末則丘陵西斜面部のＣ地区～Ｄ地区から、Ⅰ期のSDa05・06以降の、灌漑水路の可能性をもつ８世紀頃の溝を検出している点である。詳細な点は次報告になるが、８世紀頃より段丘面上面の開発が本格化したことを示す重要な資料といえる。



第 95 図　西末則遺跡周辺条里型地割復元図

弥生時代後期末頃より埋没を開始したSRa03・04は、８世紀頃にはおおむね埋没を完了する。平坦化したＢ２・３区の河川上面及び周辺には、STa01，SKa06・07・08，SDa18・19等の諸遺構が広がる。

STa01は出土した須恵器の蔵骨器より、８世紀中葉頃の火葬墓と考えられる遺構である。この遺構の造営者を考えた場合、在地の首長階層が推定できる。地理的な点で末則丘陵上の末則古墳群か、吉田古墳群を築造した首長層の可能性が高いものと考えられる。また、その造営者を推定する補強資料として、自然河川及び包含層出土遺物中の水滴、円面硯等の遺物があげられる。少なくとも周辺域に識字層の存在が指摘できる資料であり、STa01の造営者の具体像を推定するうえで貴重な資料といえる。

これらの状況より８世紀の西末則遺跡は、古墳時代前期以降、荒廃していた当該地の段丘面上の開発を本格的に開始した時期に当るものと考えられる。その開発主体は末則丘陵上の末則古墳群や、吉田古墳群等を築造した在地の首長層である可能性が高い。

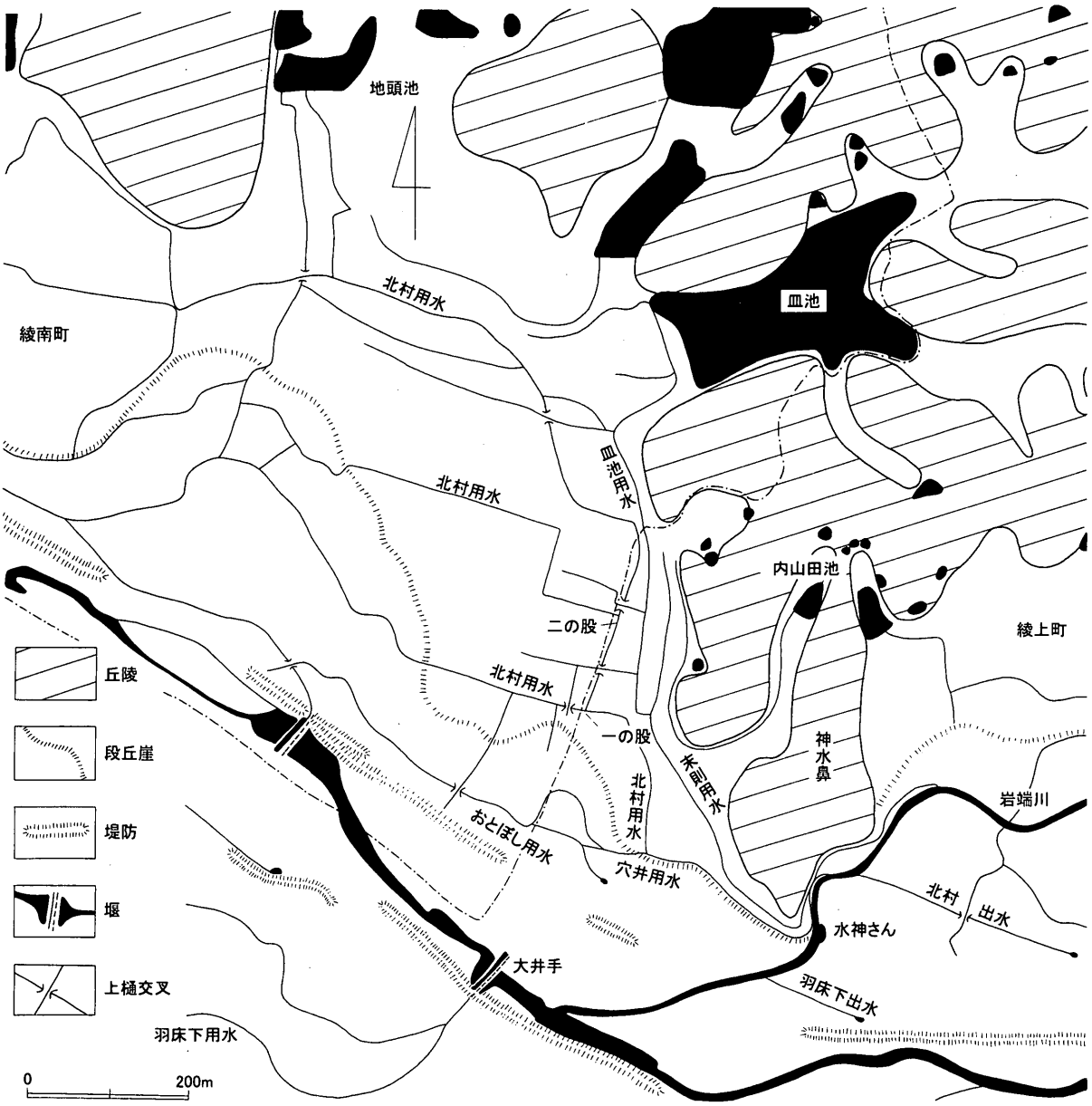
９～11世紀の遺構は今年度の整理対象地区からは検出していない。この時期の集落は、Ｅ地区のＧ８・10区を中心とした地域で確認している。集落が隣接するためか、SRa02等の自然河川及び包含層では、この時期の遺物が比較的多量に出土している。Ｇ８・10区集落の建物主軸は、周辺の条里型地割の方位に類似しており、少なくともこの時期までには、この地域において条理型地割を基準とした、段丘面上の開発が開始されていたものと考えられるが、その上限期については今後の課題となる。なお、注目できる遺物として、Ｇ８・10区集落の溝から帯金具が１点出土している。

Ⅲ期：古代末～中世前半

12～13世紀頃になると、SRa02は埋没を完了し河道内も水田化される。対象地周辺の段丘面上の耕地化もかなり進んでいるものと考えられる。今年度の報告対象地区からは、この時期の集落に係わる遺構は少ない。なお、集落の中心はＥ地区のＧ８区周辺及び綾南町側のＪ地区周辺に広がる。

注目できることでは、段丘面上にSDa15・16・30等の溝が開削される点である。これらの溝は末則丘陵西斜面部において８世紀頃に開削された灌漑水路を、さらに改修・修正を加えたものである。大きな修正点ではＢ10区の北端において、西方に鍵形に折れ曲がり北に向きを変えている点である。若干離れてはいるがそのルートは、現在の末則用水に沿うように配されており、これらの溝は末則用水の前身の溝と考えられる。末則用水は綾川の旧流路と考えられる岩端川より導水し、末則丘陵の南端部を経由し丘陵の西裾部を地形に沿いながら北上し、Ｂ10区の北端付近で東西に分岐する。西に振る溝が幅も広く深度も深く本線に当る。末則用水の開削の背景には古代末頃に起きた可能性が高い、完新世段丘の形成による綾川の河床面の低下により、灌漑用水の確保が困難になり、既存の水路網の修正を余儀なくされたことによるものと指摘されている。これらの点は９～11世紀頃のＧ８・10区の集落が段丘崖により切られていることからも伺えるが、段丘崖の形成が短期間で形成されたものではなく、段階的に長期に及ぶものと考えられるため、今後の調査成果をもとにさらに検討を加える必要がある。

末則用水と並び当該地の主要な灌漑水路である北村用水は、末則用水より後出するものと考えられている。現在の北村用水の水路網はかなり広範囲に及んでおり、水路網の整備には段階を経て、かなり長期にわたることが予想されるが、少なくとも幹線部分については、中世後半頃には現在の



（柏徹哉・川原和生　2002「V．周辺の水利調査」『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』）

第96図　周辺の水利図

配置に近いものが形成されていた可能性が高い（註1）。

Ⅳ期：中世後半～近世

14～15世紀頃の集落についてのデーターは少なく、今後の整理作業に期待するところが多い。

今年度の報告対象地区からは、16世紀頃に当る遺構は確認できていないが、この時期の集落は、D地区よりE地区にかけて東西45m、南北120mの広い範囲内に7箇所に分かれて展開している。集落の詳細な変遷は次報告の課題になるが、注目できる点ではD地区のF 12区において、区画溝を伴う屋敷地を検出したことである。屋敷地は3時期以上の変遷が考えられ、敷地面積（730㎡）、建物規模、出土遺物等から、有力農民クラスの階層が推定できる屋敷地である。おそらく、16世紀以

降の土地開発に直接当ったのもこの階層と考えられる。

18 世紀以降になると、Ａ８、Ｂ９・10 区の丘陵斜面部において、SBa01 ～ 05, SAa01 等からなる小集落が展開する。この時期の集落は対象地内に数地点に分かれて展開しているが、いずれも小規模な集落である。中心となる集落は現在民家が密集している、対象地の東辺に所在する末則丘陵の南斜面部及び、北端の菊楽地区等に展開しているものと考えられる。18 世紀以降対象地内は、さらに農地化が進み、現在の景観に至るものと考えられる。

（　註　）

註１：水利調査をもとにした末則用水と北村用水については、柏　徹哉氏による研究がある。

柏氏は下記の文献で、末則用水の開削の背景には古代末頃に起きた可能性が高い、完新世段丘の形成による川の河床面の低下により、既存の水路網の修正を余儀なくされたことによるものと指摘している。

柏　徹哉　2002「Ⅳ. 周辺の水利調査」『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』香川県教育委員会・(財) 香川県埋蔵文化財調査センター

柏　徹哉　2004「西末則遺跡周辺の水利開発とＳＤ 04」『香川県埋蔵文化財センター年報　平成 15 年度』香川県埋蔵文化財センター

（参考文献）

香川県教育委員会　1976「末則古墳調査概報」『香川県埋蔵文化財調査報告　昭和 51 年度』

綾上町誌編纂委員会　1978『綾上町誌』綾上町教育委員会

香川県史　1988「第１巻　通史編　原始・古代」『香川県史』四国新聞社

大久保徹也　1990「下川津遺跡における弥生時代後期から古墳時代前半の土器について」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』香川県教育委員会・(財) 香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団

大久保徹也　1993「讃岐地方における古墳時代初頭の土器について―下川津Ⅵ式以降の様相―」『(財) 香川県埋蔵文化財調査センター　研究紀要Ⅰ』(財) 香川県埋蔵文化財調査センター

佐藤竜馬　1993「讃岐における古代の火葬墓」『(財) 香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅰ』(財) 香川県埋蔵文化財調査センター

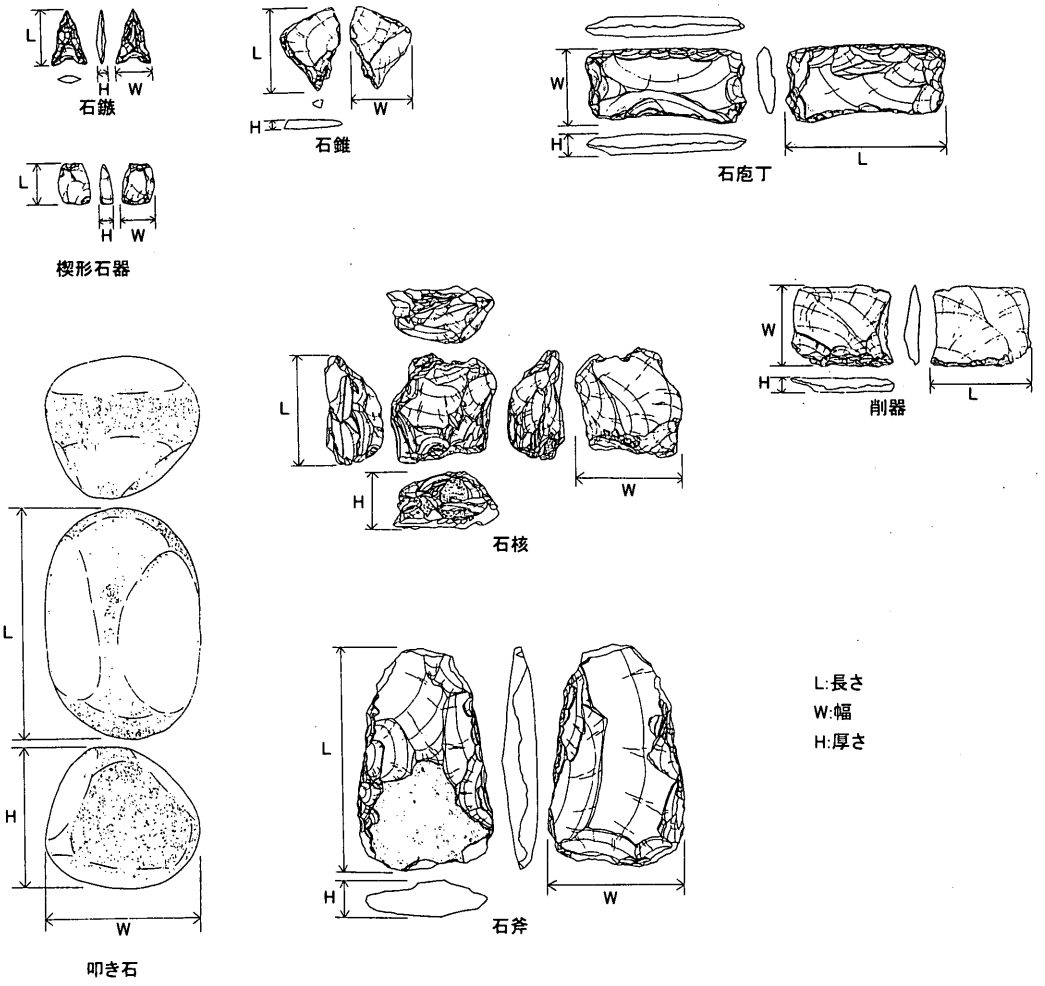
綾南町誌編纂委員会　1998『綾南町誌』綾南町

香川県教育委員会・(財) 香川県埋蔵文化財調査センター　2002『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』

香川県教育委員会・(財) 香川県埋蔵文化財調査センター　2003『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告　西末則遺跡』

香川県埋蔵文化財センター　2004「西末則遺跡」『香川県埋蔵文化財センター年報　平成 15 年度』

観　察　表



第 97 図　石器計測基準図

第6表　西末則遺跡出土土器観察表

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	法量(cm) 器高	法量(cm) 底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	色調 内面(胎土)	調整 外面	調整 内面	備考
1	SBa02(SPa32)	B10区		土師器　杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	回転ナデ,ナデ	回転ナデ	
2	SBa05(SPa97)	B9区		土師器　焙烙	35.6	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR7/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	外面煤付着
3	SPa66	B9区		土師器　脚付甕	-	-	-	脚部	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	ナデ	ナデ	
4	SKa02	B9区		肥前系磁器　銅緑釉皿	11.9	3.6	4.6	7/8	-	釉)5G6/1 緑灰	胎)2.5Y8/2 灰白	回転ナデ後施釉,回転ヘラケズリ	回転ナデ後施釉	削出高台,見込蛇ノ目釉ハギ,底部未釉
5	SKa02	B9区		肥前系磁器　銅緑釉皿	12.4	4.0	4.3	7/8	-	釉)5G6/1 緑灰	胎)10YR8/1 灰白	回転ナデ後施釉,回転ヘラケズリ	回転ナデ後施釉	削出高台,見込蛇ノ目釉ハギ,底部未釉
6	SKa02	B9区		肥前系磁器　銅緑釉皿	11.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微	釉)5G6/1 緑灰	胎)5Y8/2 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	見込蛇ノ目釉ハギ,底部未釉
7	SKa02	B9区		土師器　大甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)微	10YR8/6 黄橙	7.5YR7/6 橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ	ヨコナデ,オサエ後ハケメ	
8	SKa02	B9区		土師器　焙烙	33.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	7.5YR1.7/1 黒	2.5Y3/1 黒褐	ヨコナデ,オサエ	ヨコナデ,ハケメ	外面煤付着
9	SKa03	B9区		土師器　大甕	-	-	35.2	底部5/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)多	5YR6/6 橙	5YR7/4 にぶい橙	オサエ後ナデ,マメツ	ハケメ,マメツ,ナデ	
10	SDa02	B9区		肥前系陶器　刷毛目碗	10.6	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微	釉)2.5Y8/2 灰白	胎)10YR8/4 浅黄橙	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	
11	SDa03	A8区		土師器　杯	10.2	2.9	6.0	口縁部7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)少	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
12	SDa03	A8区		土師器　杯	10.6	2.7	5.6	口縁部4/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少	7.5YR8/6 浅黄橙	7.5YR8/6 浅黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	底部板状圧痕アリ
13	SDa05	B9区	上層	弥生土器　壺	21.5	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	5YR7/6 橙	7.5YR7/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	ハクリ	
14	SDa05	B9区	上層	弥生土器　壺	15.3	-	-	口縁部4/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/6 明黄褐	ナデ,ハケメ	ナデ,ハケメ,オサエ後ハケメ	
15	SDa05	B10区	上層	弥生土器　壺	-	-	6.1	底部8/8	石英・長石(中)多	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR5/1 褐灰	ナデ	ナデ	
16	SDa05	B9区	上層	弥生土器　壺	-	-	8.2	底部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少,角閃石(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5Y4/1 灰	マメツ,ヘラミガキ,ナデ	マメツ,オサエ	
17	SDa05	B10区	上層	弥生土器　甕	-	-	3.1	底部8/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/4 にぶい黄橙	タタキ後ハケメ	指ナデ	
18	SDa05	B10区	上層	弥生土器　高杯	-	-	13.0	脚部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	オサエ,ナデ	(脚)シボリメ,オサエ,ハクリ	穿孔アリ
19	SDa05	B10区	上層	弥生土器　鉢	-	-	4.0	底部7/8	石英・長石(中)少	10YR6/2 灰黄褐	10YR7/2 にぶい黄橙	マメツ	ナデ	
20	SDa05	B10区	上層	弥生土器　鉢	-	-	2.8	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ハケメ,マメツ	マメツ	
21	SDa05	B9区	上層	須恵器　杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y4/1 灰	5Y5/1 灰	ヘラケズリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
22	SDa05	B10区	上層	土師器　小皿	6.8	1.1	4.8	5/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR8/2 灰白	7.5YR8/2 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
23	SDa05	B10区	上層	土師器　土釜	26.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ナデ,オサエ	ナデ,ハケメ後ナデ	
24	SDa05	B9区	中層	弥生土器　壺	-	-	6.7	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ハケメ後ナデ	オサエ後ヘラケズリ	
25	SDa05	A8区	中層	弥生土器　甕	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)多,雲母(小)少	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR4/6 赤褐	凹線,ヨコナデ,ハケメ	ハクリ,オサエ	
26	SDa05	B9区	中層	弥生土器　甕	12.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微,雲母(小)多,角閃石(小)少	7.5YR3/1 黒褐	7.5YR3/1 黒褐	ナデ,ハケメ	ナデ,ヘラケズリ	
27	SDa05	B9区	中層	弥生土器　甕	-	-	4.7	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)多,雲母(小)	5YR6/4 にぶい橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ハケメ,ナデ	ナデ	
28	SDa05	A8区	中層	弥生土器　高杯	-	-	-	脚部5/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	マメツ	(脚)ナデ	穿孔アリ
29	SDa05	B10区	中層	弥生土器　鉢	30.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)多	7.5YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	マメツ	マメツ,ヘラミガキ	
30	SDa05	B9区	中層	須恵器　杯身	-	-	10.6	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
31	SDa05	B9区	中層	須恵器　杯身	-	-	9.1	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N5/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
32	SDa05	B9区	中層	黒色土器A類　椀	-	-	6.9	底部2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)多	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/2 灰白	ナデ	ナデ	貼付高台
33	SDa05	B9区	下層	弥生土器　壺	26.5	-	6.6	4/8	石英・長石(大),雲母(小)少	5YR6/4 にぶい橙	7.5YR4/1 褐灰	ヨコナデ,ハケメ,ナデ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ,ハケメ後ナデ	
34	SDa05	B9区	下層	弥生土器　壺	22.0	-	-	口縁部6/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	凹線後斜格子文,マメツ,ヘラミガキ	ヘラミガキ,マメツ	
35	SDa05	B9区	下層	弥生土器　壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(大)多	7.5YR7/8 黄橙	7.5YR8/4 浅黄橙	凹線後文様,ナデ,ハケメ後ヘラミガキ	波状文,刻み目,ナデ	
36	SDa05	B9区	下層	弥生土器　壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR8/2 灰白	沈線,貼付浮文,ナデ	マメツ	
37	SDa05	A8区	下層	弥生土器　壺	-	-	2.3	底部5/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR7/3 にぶい黄橙	ハケメ,ナデ	板ナデ後ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
38	SDa05	B9区	下層	弥生土器 甕	14.6	-	-	口縁部2/8	石英・長石(大)	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,指ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
39	SDa05	A8区	下層	土師器 甕	14.4	22.7	-	7/8	石英・長石(大),雲母(小),角閃石(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
40	SDa05	A8区	下層	弥生土器 甕	14.7	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾊｹ後ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,指ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
41	SDa05	A8区	下層	弥生土器 甕	-	-	-	体部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ｵｻｴ	
42	SDa05	B9区	下層	弥生土器 甕	-	-	4.8	底部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/2 灰褐	7.5YR6/1 褐灰	ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
43	SDa05	A8区	下層	弥生土器 甕	-	-	3.2	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR3/1 黒褐	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ｵｻｴ	内面煤付着
44	SDa05	B9区	下層	弥生土器 鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR4/1 褐灰	板ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
45	SDa05	A8区	下層	弥生土器 甑	-	-	1.1	底部8/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少	5Y6/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ	5Y7/1 灰白	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	板ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	穿孔1穴
46	SDa05	B9区		弥生土器 壺	16.4	-	-	口縁部2/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/1 褐灰	凹線,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
47	SDa05	B9区		弥生土器 壺	-	-	7.8	底部2/8	石英・長石(中)少,赤色粒(中)少	5YR6/6 橙	5Y4/1 灰	ﾏﾒﾂ	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	
48	SDa05	B9区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部3/8	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
49	SDa05	B10区		土師器 杯	9.6	-	5.7	2/8	石英・長石(小)	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
50	SDa05	B10区		須恵器 壺	-	-	12.3	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	2.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾍﾗｷﾘ	ﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ	十瓶産
51	SDa05	B10区		土師器 土鍋	41.6	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多,雲母(小)	10YR3/3 暗褐	2.5Y7/3 浅黄	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
52	SDa05	B10区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(中),雲母(小)	2.5Y8/2 灰白	-	指ﾅﾃﾞ	-	
80	SDa06	A8区	下層	縄文土器 深鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多	10YR4/3 にぶい黄褐	10YR3/1 黒褐	ﾊｸﾘ	ﾊｸﾘ	
81	SDa06	A8区	下層	縄文土器 深鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)極多	10YR4/3 にぶい黄褐	10YR3/1 黒褐	ﾊｸﾘ	ﾊｸﾘ	
82	SDa06	A8区	下層	縄文土器 深鉢	-	-	-	小片	石英・長石(小)多,黒色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/3 にぶい褐	2.5Y7/3 浅黄	条痕文	条痕文	
83	SDa06	A8区	下層	縄文土器 深鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)	2.5Y6/3 にぶい黄	2.5Y4/1 黄灰	ﾊｸﾘ	ﾊｸﾘ	
84	SDa06	B9区		弥生土器 壺	13.4	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	内面赤色顔料付着
85	SDa06	A8区		弥生土器 壺	15.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),角閃石(中)微	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	
86	SDa06	B10区	上層	弥生土器 壺	18.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)微	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/2 灰白	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ	
87	SDa06	A8区	下層	弥生土器 壺	19.9	-	6.4	7/8	石英・長石(中),赤色粒(大),雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾊｹﾒ	板ﾅﾃﾞ,指ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	穿孔1穴
88	SDa06	A8区	下層	弥生土器 壺	-	-	4.0	底部2/8	石英・長石(中)	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
89	SDa06	A8区	中層	弥生土器 壺	-	-	7.0	底部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)少	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/3 にぶい褐	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
90	SDa06	A8区	下層	弥生土器 甕	-	-	-	3/8	石英・長石(中),赤色粒(大)少,雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
91	SDa06	A8区	下層	弥生土器 甕	13.9	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中),雲母(小)少	2.5Y6/3 にぶい黄	2.5Y6/3 にぶい黄	ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	
92	SDa06	A8区	下層	弥生土器 甕	-	-	7.9	底部2/8	石英・長石(大)多	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	板ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾅﾃﾞ	
93	SDa06	A8区	下層	弥生土器 高杯	23.5	-	-	口縁部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小),雲母(小)多	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
94	SDa06	B10区	上層	弥生土器 片口鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)微	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
95	SDa06	B10区	上層	須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
96	SDa06	B9区	上層	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
97	SDa06	B10区	上層	須恵器 椀	-	-	5.8	底部8/8	石英・長石(小)	N5/ 灰	N7/ 灰白	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台,西村産
98	SDa06	B10区	上層	青磁 碗	15.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微	釉)5Y6/4 ｵﾘｰﾌﾞ黄	胎)5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ後施釉,櫛描文	回転ﾅﾃﾞ後施釉	
99	SDa06	B10区	上層	土師器 小皿	7.7	1.3	6.0	4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	5YR6/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	底部板状圧痕ｱﾘ
100	SDa06	B10区	上層	土師器 小皿	8.3	1.4	7.6	底部4/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
101	SDa06	B9区	上層	土師器 土鍋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
112	SDa11・12	B9区		須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)少,黒色粒(小)少	N8/ 灰白	N8/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
113	SFa01	B10区		土師器 皿	14.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	2.5Y7/3 浅黄	7.5YR8/4 浅黄橙	回転ナデ	回転ナデ	
114	SXa03	B10区		土師器 杯	12.6	3.4	7.0	口縁部6/8	石英・長石(小)	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/2 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ,ナデ	煤付着,灯明皿に使用か?
115	SXa03	B10区		須恵器 椀	14.8	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)少,黒色粒(小)微	N8/ 灰白	N8/ 灰白	回転ナデ	ハケメ	西村産
116	SXa03	B10区		須恵器 椀	-	-	-	小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,オサエ	ナデ	西村産
117	SXa03	B10区		土師器 土鍋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)微	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR7/3 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ	ナデ	
118	上位包含層	A8区		弥生土器 壺	19.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	貼付浮文,マメツ	マメツ	
119	上位包含層	A8区		須恵器 杯蓋	-	-	-	2/8	石英・長石(中)	N5/ 灰	N6/ 灰	ヘラキリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
120	上位包含層	A8区		須恵器 杯身	-	-	8.8	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N8/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
121	上位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	12.5	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小),雲母(小)微	7.5Y5/1 灰	7.5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
122	上位包含層	A8区		須恵器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	10GY2/1 緑黒	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
123	上位包含層	B10区		須恵器 壺	6.6	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
124	上位包含層	A8区		須恵器 壺	-	-	8.6	底部2/8	石英・長石(小)少	N7/ 灰白	7.5Y5/2 灰オリーブ	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台,内面自然釉
125	上位包含層	B10区		須恵器 甕	20.1	-	-	口縁部8/8	石英・長石(大),黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,格子目タタキ	回転ナデ,青海波文	
126	上位包含層	B10区		土師器 杯	13.0	-	8.1	2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)多,雲母(小)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	
127	上位包含層	B10区		土師器 杯	9.2	2.7	5.3	2/8	石英・長石(小)少	5YR7/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
128	上位包含層	A8区		土師器 杯	-	-	6.0	底部1/8	石英・長石(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	5YR5/6 明赤褐	マメツ	マメツ	
129	上位包含層	B10区		須恵器 杯	-	-	6.0	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	7.5Y6/1 灰	7.5Y6/1 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
130	上位包含層	A8区		須恵器 杯	12.8	3.6	6.8	底部6/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ
131	上位包含層	B10区		須恵器 椀	16.3	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
132	上位包含層	A8区		須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
133	上位包含層	A8区		須恵器 椀	-	-	5.6	底部5/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y8/1 灰白	2.5Y8/2 灰白	ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ	ナデ	貼付高台
134	上位包含層	A8区		須恵器 椀	-	-	5.5	底部8/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小),雲母(小)多	5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	ナデ	ナデ	貼付高台
135	上位包含層	A8区		土師器 椀	-	-	4.2	底部7/8	石英・長石(小)少,雲母(小)微	7.5YR4/3 褐	2.5Y7/1 灰白	マメツ	マメツ	貼付高台
136	上位包含層	A8区		黒色土器A類 椀	-	-	4.4	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y8/1 灰白	2.5Y3/1 黒褐	マメツ	マメツ	貼付高台
137	上位包含層	A8区		瓦器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	5Y5/1 灰	5Y4/1 灰	ヨコナデ,オサエ	マメツ	和泉型
138	上位包含層	B9区		白磁 鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	釉)2.5Y8/3 淡黄	胎)2.5Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	中国産,横田・森田Ⅳ類
139	上位包含層	B10区		瀬戸美濃系青磁 折縁皿	-	-	5.4	底部2/8	石英・長石(小)微	釉)5Y6/4 オリーブ黄	胎)5Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	削出高台
140	上位包含層	A8区		同安窯系青磁 碗	-	-	-	小片	黒色粒(小)微	釉)7.5Y5/2 灰オリーブ	胎)5Y8/2 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後櫛描文後施釉	
141	上位包含層	B10区		同安窯系青磁 碗	-	-	-	小片	石英・長石(小)少	釉)10Y7/2 灰白	胎)10Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	
142	上位包含層	B9区		肥前系磁器 小杯	6.8	2.7	2.8	底部4/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	釉)2.5GY8/1 灰白,染付)5B4/1 暗青灰	胎)7.5Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	
143	上位包含層	A8区		肥前系陶器 陶胎染付碗	9.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	釉)N7/ 灰白,染付)5B4/1 暗青灰	胎)10YR4/1 褐灰	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	
144	上位包含層	B10区		土師器 把手付甕	24.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微,黒色粒(小)	7.5YR6/3 にぶい褐	7.5YR3/2 黒褐	ハクリ,オサエ	ハケメ,マメツ	
145	上位包含層	B9区		土師器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	7.5YR3/1 黒褐	7.5YR7/4 にぶい橙	ヨコナデ	ハケメ	
146	上位包含層	A8区		須恵器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(小)少	5Y8/1 灰白	7.5Y3/1 オリーブ黒	格子目タタキ	オサエ,ナデ	十瓶産
147	上位包含層	B10区		土師器 土鍋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微	2.5YR6/6 橙	5YR7/6 橙	ハケメ後ナデ	板ナデ後ナデ	
148	上位包含層	B10区		土師器 土鍋	27.1	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)	10YR4/2 灰黄褐	10YR7/4 にぶい黄橙	ハケメ	ハクリ,ハケメ	
149	上位包含層	B10区		土師器 土鍋	40.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	板ナデ後ナデ	
150	上位包含層	B9区		土師器 土鍋	-	-	-	把手部	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	ナデ	ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
151	上位包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR8/6 浅黄橙	ナデ,オサエ	ナデ,板ナデ	
152	上位包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)微	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	ナデ	ナデ,板ナデ後オサエ	外面煤付着
153	上位包含層	B10区		土師器 土釜	28.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微,雲母(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	オサエ後ナデ,板ナデ後指ナデ	板ナデ後オサエ	
154	上位包含層	B10区		土師器 土釜	23.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)微	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR7/4 にぶい黄橙	オサエ後ナデ,オサエ	ハケメ後ナデ	
155	上位包含層	B10区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(中)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR7/6 橙	格子目タタキ,ナデ	ハケメ	
156	上位包含層	B10区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	2.5YR5/4 にぶい赤褐	指ナデ	-	
157	上位包含層	B10区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小)多,黒色粒(小),雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	-	指ナデ	-	
158	上位包含層	A8区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(中)	2.5Y7/4 浅黄	-	指ナデ	-	
159	上位包含層	B10区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小)多,赤色粒(小)微,雲母(小)微	10YR6/3 にぶい黄橙	-	指ナデ	-	
160	上位包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小)多	7.5YR7/6 橙	-	板ナデ後ナデ	-	
161	上位包含層	B10区		土師器 甑	22.6	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)極多,赤色粒(小)少	5YR7/6 橙	10YR5/3 にぶい黄褐	マメツ,ハケメ後ナデ	板ナデ後ナデ	
162	上位包含層	B10区		須恵器 捏鉢	-	-	-	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N5/ 灰	5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラケズリ	回転ナデ	
163	上位包含層	B10区		須恵質 土瓶	-	-	-	注口部	石英・長石(小)少,黒色粒(小)多	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	ヘラケズリ	-	
164	北西斜面部包含層	B10区		須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
165	北西斜面部包含層	B10区		土師器 杯	13.3	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
166	北西斜面部包含層	B10区		土師器 杯	12.4	-	7.3	2/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	底部板状圧痕アリ
167	北西斜面部包含層	B10区		黒色土器A類 椀	14.4	-	-	口縁部4/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	5Y3/2 オリーブ黒	回転ナデ後ヘラミガキ	回転ナデ後ヘラミガキ	
168	北西斜面部包含層	B10区		黒色土器A類 椀	-	-	5.0	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	2.5Y8/1 灰白	N2/ 黒	回転ナデ	回転ナデ後ヘラミガキ	貼付高台
169	北西斜面部包含層	B10区		瓦器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少	N4/ 灰	N4/ 灰	ヘラミガキ,オサエ後ヘラミガキ	回転ナデ後ヘラミガキ	
170	北西斜面部包含層	B10区		瓦器 椀	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	N4/ 灰	N4/ 灰	ナデ,オサエ	ヘラミガキ	
171	北西斜面部包含層	B10区		瓦器 椀	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N4/ 灰	N4/ 灰	ヨコナデ,オサエ	回転ナデ後ヘラミガキ	
172	北西斜面部包含層	B10区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(小)極多,赤色粒(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR7/3 にぶい橙	指ナデ,板ナデ	指ナデ	
173	北西斜面部包含層	B10区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(中)極多,赤色粒(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR4/2 灰褐	板ナデ	板ナデ	
174	下位包含層	B9区		弥生土器 壺	16.9	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)	10YR6/6 明黄褐	2.5Y8/3 淡黄	マメツ	マメツ	
175	下位包含層	B9区		弥生土器 壺	-	-	-	小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微	7.5YR8/6 浅黄橙	N3/ 暗灰	刺突文	ナデ	弥生土器壺の突帯部片
176	下位包含層	B9区		弥生土器 壺	-	-	9.0	底部3/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR3/1 黒褐	マメツ	ナデ	
177	下位包含層	B9区		弥生土器 壺	-	-	9.8	底部2/8	石英・長石(大),雲母(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	マメツ	ナデ	
178	下位包含層	B9区		弥生土器 甕	14.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR5/2 灰黄褐	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,マメツ,オサエ	
179	下位包含層	B9区		弥生土器 甕	-	-	7.8	底部5/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	10YR5/2 灰黄褐	10YR5/2 灰黄褐	ナデ後オサエ	ナデ,オサエ	
180	下位包含層	B9区		弥生土器 高杯	-	-	-	接合部5/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ヘラミガキ,ナデ	ナデ(脚)ナデ	
181	下位包含層	B9区		弥生土器 高杯	-	-	-	脚部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)多	5YR6/6 橙	2.5YR6/6 橙	マメツ	マメツ(脚)シボリメ	
182	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	14.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
183	下位包含層	B9区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部7/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	7.5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
184	下位包含層	B9区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
185	下位包含層	B9区		須恵器 杯蓋	18.7	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
186	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	N6/ 灰	10YR7/2 にぶい黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
187	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	11.0	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N4/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
188	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	11.0	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
189	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	9.8	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	5Y4/1 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
190	下位包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	10YR7/2 にぶい黄橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	貼付高台,マメツ著しい
191	下位包含層	B9区		土師器 杯	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	7.5YR8/4 浅黄橙	10YR8/2 灰白	ナデ	ナデ	
192	下位包含層	B9区		土師器 杯	-	-	7.2	3/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小),雲母(小)微	5YR6/6 橙	7.5YR7/4 にぶい橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
193	下位包含層	B9区		土師器 杯	-	-	6.4	底部2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少,雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
194	下位包含層	B9区		須恵器 杯	-	-	6.6	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	2.5Y7/3 浅黄	回転ナデ,マメツ	回転ナデ	
195	下位包含層	B9区		土師器 小皿	8.2	1.3	6.0	口縁部1/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)	7.5YR8/6 浅黄橙	7.5YR7/6 橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
196	下位包含層	B9区		土師器 小皿	8.1	-	6.1	2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
197	下位包含層	B9区		黒色土器A類 椀	14.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y4/1 黄灰	マメツ	マメツ	
198	下位包含層	B9区		黒色土器A類 椀	-	-	6.2	底部3/8	石英・長石(小)	10YR8/4 浅黄橙	10YR3/1 黒褐	ナデ,オサエ後ナデ	マメツ	貼付高台
199	下位包含層	B9区		須恵器 壺	24.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
200	下位包含層	B9区		須恵器 壺	-	-	9.2	底部2/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	7.5Y7/1 灰白	10Y7/1 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
201	下位包含層	B9区		須恵器 壺	-	-	8.6	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ,オサエ	貼付高台
202	下位包含層	B9区		須恵器 壺	-	-	10.0	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N4/ 灰	ヘラケズリ後ナデ,ヘラキリ	ナデ	十瓶産
203	下位包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR8/3 浅黄橙	板ナデ後指ナデ	ハケメ	
204	下位包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR6/2 灰黄褐	板ナデ後指ナデ	ナデ	
205	下位包含層	B9区		土師器 摺鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/3 淡黄	ナデ,オサエ	ナデ,オロシメ	
206	下位包含層	B9区		土師器 捏鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少	2.5Y5/3 黄褐	5Y5/1 灰	ナデ,オサエ	ナデ	
209	下位包含層	B10区		ガラス玉	1.5	1.4	0.4	8/8	-	6PB4/12 さえた青紫	-	-	-	
210	包含層	A8区		縄文土器 深鉢	-	-	-	体部小片	石英・長石(大)	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR3/1 黒褐	条痕文	条痕文	
211	包含層	A8区		縄文土器 深鉢	-	-	-	小片	石英・長石(小)多,赤色粒(小)微	5YR6/6 橙	2.5Y4/1 黄灰	ハクリ	条痕文	
212	包含層	B9区		縄文土器 深鉢	-	-	-	小片	石英・長石(中)多,雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ハクリ	ハクリ	
213	包含層	B9区		縄文土器 深鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)極多,赤色粒(小)少	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	マメツ	マメツ	
214	包含層	B9区		弥生土器 壺	-	-	5.6	底部4/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR7/6 橙	マメツ	ナデ	
215	包含層	A8区		弥生土器 甕	14.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,雲母(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/3 にぶい褐	凹線,マメツ	ヨコナデ,ナデ,板ナデ	
216	包含層	B9区		弥生土器 甕	-	-	4.8	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)	5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ナデ,板ナデ,ナデ	ヘラケズリ	
217	包含層	A8区		須恵器 杯蓋	-	-	-	1/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	ヘラキリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
218	包含層	B9区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)微	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
219	包含層	B9区		須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	7.5Y6/1 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
220	包含層	B9区		須恵器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	5Y5/1 灰	2.5Y6/2 灰黄	回転ナデ	回転ナデ	
221	包含層	A8区		須恵器 壺	-	-	9.4	底部小片	石英・長石(中),黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
222	包含層	A8区		須恵器 壺	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
223	包含層	B10区		土師器 杯	8.5	2.0	4.0	2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
224	包含層	B10区		土師器 杯	9.0	1.9	4.6	2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	5YR7/6 橙	5YR7/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
225	包含層	B9区		土師器 杯	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	ナデ	ナデ	
226	包含層	A8区		土師器 杯	-	-	7.4	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR6/2 灰黄褐	7.5YR8/4 浅黄橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
227	包含層	A8区		須恵器 杯	13.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
228	包含層	A8区		須恵器 杯	-	-	6.9	底部1/8	石英・長石(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
229	包含層	A8区		須恵器 杯	-	-	10.1	底部2/8	石英・長石(中)	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ
230	包含層	A8区		須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	黒色粒(小)少,雲母(小)	2.5Y8/2 灰白	5Y8/2 灰白	ナデ	ナデ	
231	包含層	A8区		須恵器 椀	-	-	4.9	底部8/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少,雲母(小)多	7.5Y7/1 灰白	5Y8/1 灰白	ナデ	ナデ	貼付高台
232	包含層	B10区		黒色土器A類 椀	-	-	6.4	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少,黒色粒(小)少	10YR8/1 灰白	N3/ 暗灰	ヨコナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ後ヘラミガキ	貼付高台
233	包含層	A8区		黒色土器A類 椀	-	-	6.6	底部1/8	黒色粒(小),雲母(小)多	10YR7/6 明黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ヨコナデ	マメツ,ヘラミガキ	貼付高台
234	包含層	A8区		黒色土器A類 椀	-	-	5.8	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少,雲母(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	2.5Y4/1 黄灰	マメツ,ナデ	マメツ,ヘラミガキ	貼付高台
235	包含層	B9区		瓦質土器 皿	8.6	1.6	7.2	1/8	雲母(小)少	N4/ 灰	2.5Y4/1 黄灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
236	包含層	A8区		青磁 碗	-	-	-	口縁部小片	-	釉)10Y6/2 オリーブ灰	胎)10Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉,鎬連弁	回転ナデ後施釉	
237	包含層	B9区		肥前系陶器 碗	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微	釉)10YR8/4 浅黄橙	胎)10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	京焼風
238	包含層	B9区		肥前系陶器 碗	-	-	4.6	底部1/8	-	釉)10YR8/6 黄橙	胎)2.5Y8/4 淡黄	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	削出高台,京焼風
239	包含層	B9区		肥前系陶器 溝縁皿	12.9	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	釉)2.5Y7/4 浅黄	胎)2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	
240	包含層	A8区		瓦質土器 甕	-	-	-	小片	黒色粒(小)少	5Y5/1 灰	2.5Y8/2 灰白	格子目タタキ	背海波文後ナデ	十瓶産
241	包含層	B9区		須恵器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)多	N7/ 灰白	N7/ 灰白	格子目タタキ	ナデ	十瓶産
242	包含層	B9区		土師器 土鍋	-	-	-	把手部	石英・長石(中),赤色粒(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	マメツ,ナデ	ナデ	
243	包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)多,赤色粒(小)多	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	ヨコナデ,ナデ	ヨコナデ	
244	包含層	B9区		土師器 土釜	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(中)微	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	ナデ	ナデ	
245	包含層	B10区		土師器 摺鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小),雲母(小)	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y4/1 黄灰	ヨコナデ,オサエ後ナデ	ヨコナデ後オロシメ	内面いぶし焼
246	包含層	B10区		土師器 捏鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)多,雲母(小)微	5Y4/1 灰	5Y5/1 灰	板ナデ後ナデ	マメツ	内・外面いぶし焼
247	包含層	B10区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(小)極多,赤色粒(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	指ナデ	ヘラケズリ後ナデ,板ナデ後ナデ	
250	包含層	B10区		須恵質 管状土錘	3.6	1.2	0.3	8/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y8/1 灰白	-	ナデ	-	
302	SPa158	B2区		土師質 管状土錘	3.8	1.5	0.6	8/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	2.5Y8/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	ナデ	-	
303	SKa08	B2区		弥生土器 鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/6 明赤褐	ヨコナデ	ヨコナデ,ハケメ	
304	SKa08	B2区		須恵器 杯身	13.4	4.2	10.0	2/8	石英・長石(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
305	SDa13	B6区		弥生土器 甕	-	-	5.6	底部3/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/6 明褐	ナデ,オサエ,ナデ	オサエ	
307	SDa14	B6区		弥生土器 壺	27.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ナデ,櫛描文,ハケメ後オサエ,ハケメ	ナデ,ハケメ	
308	SDa14	B6区		弥生土器 甕	-	-	8.1	底部5/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	マメツ,板ナデ,ナデ	ナデ	
309	SDa14	B6区		弥生土器 甕	-	-	3.0	底部4/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ハケメ,ナデ	ハケメ,指ナデ	
310	SDa14	B6区		弥生土器 甕	12.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR4/2 灰褐	5YR5/6 明赤褐	タタキ後ハケメ	オサエ,ヘラケズリ	
311	SDa14	B6区		弥生土器 甕	15.0	-	-	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR8/4 浅黄橙	タタキ後ナデ,タタキ後ハケメ	ハケメ,ハケメ後オサエ	
312	SDa14	B6区		弥生土器 高杯	-	-	-	杯部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ	
313	SDa14	B6区		弥生土器 鉢	-	-	3.7	底部6/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少	7.5YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	板ナデ後オサエ,板ナデ	板ナデ後ナデ	
314	SDa14	B6区		弥生土器 鉢	-	-	2.6	底部8/8	石英・長石(小)少,雲母(小)少	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ナデ,オサエ,ナデ	ナデ	
316	SDa15	A6区	上層	弥生土器 壺	22.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/4 にぶい褐	凹線,ハケメ,ヨコナデ	ヨコナデ,ハケメ	
317	SDa15	A6区	上層	弥生土器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR4/2 灰黄褐	凹線,ヨコナデ	ヨコナデ,ヘラケズリ	
318	SDa15	A6区	上層	土師器 杯	13.8	3.7	8.0	口縁部1/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
319	SDa15	A6区	上層	土師器 杯	14.3	3.6	7.6	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ,オサエ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
320	SDa15	B6区	上層	土師器 杯	13.8	3.7	7.0	6/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,黒色粒(小)	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/3 淡黄	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
321	SDa15	B6区	上層	土師器 杯	11.2	2.8	6.4	底部4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,黒色粒(小)微	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
322	SDa15	B6区	上層	土師器 杯	-	-	6.1	底部1/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
323	SDa15	A6区	上層	土師器 小皿	8.5	1.8	5.4	8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR8/1 灰白	10YR8/1 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
324	SDa15	A6区	上層	黒色土器B類 椀	13.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	N3/ 暗灰	N2/ 黒	ヘラミガキ,ヨコナデ	ヘラミガキ	
325	SDa15	A6区	上層	黒色土器A類 椀	-	-	6.8	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	10YR3/1 黒褐	オサエ,マメツ	ハクリ	貼付高台
326	SDa15	A6区	上層	黒色土器A類 椀	14.9	5.4	6.1	7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y3/1 黒褐	ヘラミガキ,ヨコナデ	ヘラミガキ	貼付高台
327	SDa15	A6区	上層	黒色土器A類 椀	13.7	5.3	6.2	口縁部1/8	石英・長石(小)少	2.5Y7/1 灰白	2.5Y2/1 黒	ヨコナデ,ヘラミガキ,ナデ	ヘラミガキ	貼付高台
328	SDa15	A6区	上層	黒色土器A類 椀	-	-	5.8	底部2/8	石英・長石(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR2/1 黒	ヨコナデ,ナデ	ヘラミガキ	貼付高台
329	SDa15	B6区	上層	須恵器 壺	18.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
330	SDa15	B6区	上層	須恵器 壺	23.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)少,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ後タタキ	回転ナデ,青海波文	
331	SDa15	B6区	上層	須恵器 捏鉢	-	-	17.5	底部1/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y8/1 灰白	回転ナデ,板ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ後指ナデ	十瓶産
332	SDa15	A6区	上層	瓦質土器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(小)	N3/ 暗灰	N6/ 灰	タタキ	ハクリ	
333	SDa15	B6区	下層	弥生土器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,雲母(小)少	10YR4/3 にぶい黄褐	7.5YR5/3 にぶい褐	ナデ	マメツ	
334	SDa15	B6区	下層	弥生土器 甕	37.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ後ハケメ,ハケメ	ヨコナデ	
335	SDa15	B6区	下層	弥生土器 甕	-	-	-	頸部1/8	石英・長石(大)極多,赤色粒(小)少	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/3 にぶい褐	ハケメ,ナデ・オサエ	マメツ,板ナデ後指ナデ	
336	SDa15	B6区	下層	土師器 杯	14.0	3.5	7.6	7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,黒色粒(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	底部板状圧痕アリ
337	SDa15	B6区	下層	土師器 小皿	8.0	1.2	6.0	1/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少,雲母(小)微	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
338	SDa15	B6区	下層	土師器 小皿	8.2	1.2	6.1	2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	2.5Y8/2 灰白	10YR8/2 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
339	SDa15	B6区	下層	土師器 椀	14.0	5.3	6.1	7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小),黒色粒(小)少	10YR8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	ヘラミガキ,ヨコナデ	ヘラミガキ	貼付高台
340	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	14.6	5.3	5.3	7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	2.5Y3/1 黒褐	オサエ後ヘラミガキ,ナデ	ヘラミガキ	貼付高台
341	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	16.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	2.5Y3/1 黒褐	2.5Y3/1 黒褐	ナデ,ヘラミガキ	ナデ,ヘラミガキ	
342	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	14.8	5.7	6.4	6/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	10YR8/2 灰白	N3/ 暗灰	ヘラミガキ,オサエ,回転ヘラケズリ,回転ヘラキリ	ヘラミガキ	貼付高台
343	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	-	-	5.6	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR3/1 黒褐	マメツ,ヘラミガキ	マメツ,ヘラミガキ	貼付高台
344	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	14.8	5.1	5.4	3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR6/1 褐灰	5Y3/1 オリーブ黒	ヘラミガキ,ナデ	ハケメ後ヘラミガキ	貼付高台
345	SDa15	B6区	下層	黒色土器A類 椀	-	-	4.8	底部4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y3/1 黒褐	マメツ,オサエ,ナデ,ヘラキリ後ヘラケズリ	ヘラミガキ	貼付高台
346	SDa15	B6区	下層	須恵器 甕	30.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ナデ,格子目タタキ	板ナデ,回転ナデ,板ナデ・ナデ	十瓶産
347	SDa15	B6区	下層	須恵器 甕	30.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N4/ 灰	回転ナデ,格子目タタキ	回転ナデ	十瓶産
348	SDa15	B6区	下層	須恵器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)	N4/ 灰	N5/ 灰	格子目タタキ	指ナデ,ハケメ	十瓶産
349	SDa15	B6区	下層	瓦質土器 捏鉢	30.8	13.4	15.2	2/8	石英・長石(中),赤色粒(中)	N4/ 灰	N4/ 灰	マメツ,ヨコナデ,ヘラケズリ	ヨコナデ,ヘラケズリ	十瓶産
351	SDa15	B6区	最下層	弥生土器 壺	-	-	11.5	底部2/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	ハクリ,板ナデ,ナデ	ハクリ,オサエ	
352	SDa15	B6区	最下層	須恵器 杯身	13.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	10Y6/1 灰	回転ナデ,ヘラケズリ	回転ナデ	
353	SDa15	B6区	最下層	黒色土器A類 椀	-	-	-	底部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	10YR3/1 黒褐	マメツ,オサエ	ヘラミガキ	貼付高台
354	SDa15	B6区		須恵器 杯蓋	18.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
355	SDa15	B6区		土師器 椀	-	-	5.6	底部6/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/1 黄灰	回転ナデ,ナデ,ヘラキリ	ナデ	貼付高台
356	SDa15	B6区		黒色土器A類 椀	-	-	6.2	底部3/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y6/2 灰黄	マメツ	ヘラミガキ	貼付高台
357	SDa15	B6区		黒色土器A類 椀	14.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	10YR7/2 にぶい黄橙	2.5Y4/1 黄灰	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
371	SDa17	B6区		弥生土器 壺	-	-	-	底部小片	石英・長石(中)多,黒色粒(中)少	2.5Y7/4 浅黄	2.5Y8/2 灰白	マメツ	オサエ・マメツ	
372	SDa17	B6区		須恵器 杯身	15.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
373	SDa17	B6区		須恵器 杯身	-	-	12.6	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
374	SDa18	B3区北		須恵器 杯蓋	14.6	1.9	-	3/8	石英・長石(中),黒色粒(小)	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ	回転ナデ	
375	SDa18	B3区北		須恵器 杯蓋	13.5	2.2	-	口縁部7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ナデ,回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
376	SDa18	B3区北		須恵器 杯蓋	13.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N5/ 灰	回転ヘラケズリ後回転ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
377	SDa18	B3区北		須恵器 皿	23.5	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	ナデ	ナデ	
378	SDa18	B3区北		須恵器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	5Y4/1 灰	5Y5/1 灰	回転ナデ	回転ナデ	
379	SDa18	B3区北		土師器 甕	11.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微,雲母(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ	ナデ,板ナデ	
380	SDa19	B2区		弥生土器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小)微	5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ,凹線	マメツ,オサエ	
381	SDa21	B2区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部6/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N4/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,ヘラケズリ後ナデ	回転ナデ	
382	SDa21	B2区		土師器 杯身	-	-	12.7	底部小片	石英・長石(小)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
383	SDa21	B2区		須恵器 杯	-	-	8.6	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	火ダスキ
384	SDa21	B2区		須恵器 杯	-	-	6.2	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ後ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
385	SDa21	B2区		黒色土器B類 椀	-	-	7.4	底部4/8	石英・長石(小)少,雲母(小)微	2.5Y3/1 黒褐	2.5Y3/1 黒褐	マメツ,ヘラキリ後ナデ	マメツ	貼付高台
386	SDa23	D7区		須恵器 杯	-	-	-	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N4/ 灰・N7/ 灰白	N4/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
387	SDa25	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	5Y5/1 灰	回転ナデ	回転ナデ	自然釉がかかる
388	SDa25	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	5Y5/1 灰	回転ナデ	回転ナデ	
389	STa01	B2区		須恵器 壺	9.7	-	11.4	7/8	石英・長石(中),黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ,オサエ	脚部3方欠損
390	SXa04	B6区	中層	弥生土器 壺	16.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(大)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ	ヨコナデ	
391	SXa04	B6区	中層	弥生土器 壺	-	-	2.0	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,雲母(小)	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/6 黄褐	ハケメ	オサエ	
392	SXa04	B6区	中層	弥生土器 壺	-	-	3.8	底部8/8	石英・長石(中)極多,赤色粒(小)少,黒色粒(中)少	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	マメツ	マメツ,オサエ	
393	SXa04	B6区	中層	弥生土器 壺	-	-	2.0	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	2.5Y4/2 暗灰黄	2.5Y6/3 にぶい黄	マメツ,タタキ後板ナデ,タタキ	板ナデ後ナデ	
394	SXa04	B6区	中層	弥生土器 壺	-	-	2.9	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	ハケメ,ハケメ後オサエ,ハケメ	ヘラケズリ,オサエ	
395	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	16.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	マメツ,タタキ後ハケメ	マメツ,板ナデ後ナデ	
396	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	17.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	2.5Y7/4 浅黄	ヨコナデ,ハケメ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ・オサエ	
397	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	16.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ハケメ,オサエ後ハケメ	
398	SXa04	B6区	最下層	弥生土器 甕	12.1	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	指ナデ,ハケメ後指ナデ,ハケメ	オサエ後ハケメ,板ナデ後ナデ,ヘラケズリ後ナデ	
399	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	15.4	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ	ハケメ	
400	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	-	-	2.7	底部8/8	石英・長石(中),雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ハケメ,ナデ	オサエ後ハケメ	
401	SXa04	B6区	中層	弥生土器 甕	-	-	3.4	底部2/8	石英・長石(大)多,雲母(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ハケメ,マメツ	ナデ,オサエ	
402	SXa04	B6区	中層	弥生土器 鉢	23.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
403	SXa04	B6区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ後ナデ	
404	SXa04	B6区	上層	須恵器 杯蓋	13.4	-	-	口縁部5/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ナデ,ヘラケズリ	回転ナデ	
405	SXa04	B6区	上層	須恵器 壺	-	-	-	底部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラケズリ,ヘラキリ	回転ナデ	十瓶産
411	SXa09	D7区		弥生土器 壺	23.8	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/1 褐灰	櫛描文,ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
412	SXa09	D7区		弥生土器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	ナデ,ハケメ,ナデ	ハケメ	
413	SXa09	D7区		弥生土器 壺	13.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)微	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ナデ,タタキ後ハケメ	ナデ,ハケメ	
414	SXa09	D7区		弥生土器 壺	-	-	3.4	底部7/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小),角閃石(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR2/1 黒	ハケメ	ハケメ,オサエ	
415	SXa09	D7区		弥生土器 壺	-	-	4.0	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ハケメ	ナデ,ハケメ	
416	SXa09	D7区		弥生土器 甕	18.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大),赤色粒(小)微,雲母(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
417	SXa09	D7区		弥生土器 甕	17.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	
418	SXa09	D7区		弥生土器 甕	14.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	
419	SXa09	D7区		弥生土器 甕	13.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ・ﾏﾒﾂ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	
420	SXa09	D7区		弥生土器 甕	13.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	5YR6/6 橙	2.5Y3/1 黒褐	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
421	SXa09	D7区		弥生土器 甕	13.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	
422	SXa09	D7区		弥生土器 甕	-	-	3.7	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/4 にぶい黄褐	ﾊｹﾒ後ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ後ｵｻｴ	
423	SXa09	D7区		弥生土器 高杯	17.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)多,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ・ｵｻｴ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
424	SXa09	D7区		弥生土器 高杯	-	-	-	脚部小片	石英・長石(中),赤色粒(大)少,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR4/1 褐灰	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ	(脚)ｵｻｴ	
425	SXa09	D7区		弥生土器 高杯	-	-	-	接合部8/8	石英・長石(小)少,雲母(小)	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ (脚)指ﾅﾃﾞ	
426	SXa09	D7区		弥生土器 鉢	-	-	-	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)多,角閃石(小)微	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	
427	SXa09	D7区		弥生土器 鉢	25.9	10.1	-	7/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)	5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ｵｻｴ	
428	SXa09	D7区		弥生土器 鉢	-	-	4.2	底部8/8	石英・長石(中)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR2/1 黒	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
429	SXa09	D7区		弥生土器 鉢	11.0	5.3	3.6	底部8/8	石英・長石(中)少,雲母(小)多	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
430	SXa09	D7区		弥生土器 片口鉢	9.2	4.6	3.2	底部6/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少,雲母(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	指ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
431	SXa09	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部7/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	生焼状態
437	SRa01	B6区		弥生土器 壺	12.6	19.4	4.6	7/8	石英・長石(大)極多,赤色粒(小),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ,指ﾅﾃﾞ	
438	SRa01	B6区		弥生土器 壺	-	-	2.4	底部8/8	石英・長石(小)	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ,ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
439	SRa01	B6区		弥生土器 壺	-	-	3.6	底部8/8	石英・長石(中),雲母(小)微	10YR3/1 黒褐	10YR3/2 黒褐	ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
440	SRa01	B6区		弥生土器 壺	-	-	2.6	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	2.5Y6/1 黄灰	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
441	SRa01	B6区		土師器 壺	-	-	-	底部8/8	石英・長石(中)多	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR4/2 灰黄褐	ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ後ｵｻｴ・ﾅﾃﾞ	
442	SRa01	B6区		土師器 壺	-	-	4.7	底部4/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
443	SRa01	B6区		弥生土器 壺	-	-	-	体部8/8	石英・長石(小),赤色粒(中),雲母(小)多,角閃石(中)多	7.5YR6/6 橙	10YR5/1 褐灰	ﾏﾒﾂ	ｵｻｴ,指ﾅﾃﾞ	下川津B類
444	SRa01	B6区		弥生土器 ﾐﾆﾁｭｱ壺	6.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
445	SRa01	B6区		弥生土器 甕	-	-	5.4	底部5/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
446	SRa01	B6区		弥生土器 甕	-	-	5.6	底部3/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR4/2 灰黄褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
447	SRa01	B6区		弥生土器 甕	-	-	4.2	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小),雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ	ｵｻｴ	
448	SRa01	B6区		弥生土器 鉢	-	-	3.2	底部7/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
449	SRa01	B6区		須恵器 杯蓋	16.2	-	-	口縁部4/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
450	SRa01	B6区		土師器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	5Y8/1 灰白	5Y3/1 ｵﾘｰﾌﾞ黒	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	内外面煤付着
451	SRa01	B6区		土師器 椀	-	-	5.7	底部8/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)	10YR8/2 灰白	10YR8/3 浅黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	貼付高台
452	SRa01	B6区		土師器 椀	-	-	5.7	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/2 灰白	ﾅﾃﾞ	ﾏﾒﾂ	貼付高台
453	SRa01	B6区		土師器 椀	-	-	5.0	底部3/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少	10YR8/4 浅黄橙	10YR7/6 明黄褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	貼付高台
454	SRa01	B6区		須恵器 椀	16.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	5Y8/1 灰白	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	回転ﾅﾃﾞ	
455	SRa01	B6区		須恵器 椀	-	-	4.4	底部3/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
456	SRa01	B6区		須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	火ﾀﾞｽｷ
457	SRa01	B6区		黒色土器A類 椀	-	-	6.3	底部8/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	10YR7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	貼付高台
458	SRa01	B6区		黒色土器B類 椀	-	-	4.7	底部3/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	ﾅﾃﾞ	ﾏﾒﾂ	貼付高台
459	SRa01	B6区		土師器 小皿	8.5	1.7	6.4	3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
460	SRa01	B6区		土師器 小皿	8.2	1.2	6.4	口縁部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	ﾖｺﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
461	SRa01	B6区		須恵器 壺	21.4	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
462	SRa01	B6区		土師器 土鍋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
474	SRa02	A6区	17	須恵器 杯蓋	11.3	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)多,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
475	SRa02	A6区	17	須恵器 杯蓋	14.8	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	5Y6/1 灰	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
476	SRa02	A6区	17	須恵器 杯蓋	17.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
477	SRa02	A6区	17	須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	10Y4/1 灰	7.5Y7/1 灰白	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
478	SRa02	A6区	17	須恵器 杯身	11.0	3.5	7.2	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
479	SRa02	A6区	17	須恵器 杯身	－	－	9.6	底部2/8	石英・長石(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	貼付高台
480	SRa02	A6区	17	須恵器 杯	15.9	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	7.5Y7/1 灰白	7.5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
481	SRa02	A6区	17	須恵器 高杯	－	－	－	接合部8/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ(脚)回転ﾅﾃﾞ	
482	SRa02	A6区	17	須恵器 壺	－	－	6.0	底部3/8	石英・長石(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
483	SRa02	A6区	18	土師器 甕	－	－	－	把手部	石英・長石(中)極多,赤色粒(小)微	5YR6/6 橙	7.5YR3/1 黒褐	指ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	把手付甕
484	SRa02	A6区	17	土師質 円盤状土製品	3.8	4.5	0.9	8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR5/3 にぶい褐	ﾊｹﾒ	板ﾅﾃﾞ	
485	SRa02	A6区	32	弥生土器 壺	14.0	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中),雲母(小)微	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ	
486	SRa02	A6区	36	弥生土器 壺	－	－	6.0	底部2/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)多	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR7/6 明黄褐	ﾊｹﾒ	ﾊｸﾘ,ﾊｹﾒ	
487	SRa02	A6区	36	弥生土器 壺	－	－	7.0	底部4/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)多	7.5YR7/6 橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	
488	SRa02	A6区	32	弥生土器 甕	21.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｸﾘ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	
489	SRa02	A6区	36	弥生土器 高杯	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小),角閃石(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
490	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 壺	16.0	－	－	口縁部4/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)少	2.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ	
491	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 壺	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(中)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	凹線,ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ	
492	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 壺	－	－	－	頸部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ,ﾖｺﾅﾃﾞ	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	下川津B類
493	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 壺	－	－	6.2	底部1/8	石英・長石(中),赤色粒(大)	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR6/2 灰黄褐	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
494	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 壺	－	－	4.0	底部8/8	石英・長石(大),雲母(小)	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾀﾀｷ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
495	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 甕	14.4	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ・板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
496	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 甕	15.9	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小)多,赤色粒(中)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	2.5Y6/3 にぶい黄	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
497	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 甕	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小),角閃石(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR2/1 黒	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
498	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 甕	－	－	4.5	底部8/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	5YR6/4 にぶい橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
499	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 甕	－	－	3.1	底部8/8	石英・長石(中)	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	板ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	
500	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 鉢	－	－	2.4	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)	5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ	指ﾅﾃﾞ	
501	SRa02	A6区	39・40	弥生土器 鉢	31.6	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾀﾀｷ	ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	
502	SRa02	A6区	[illegible]	弥生土器 高杯	－	－	－	杯部小片	石英・長石(大),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/3 にぶい褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾏﾒﾂ	
503	SRa02	A6区	[illegible]	須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
504	SRa02	A6区	[illegible]	須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少	N3/ 暗灰	10Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
505	SRa02	A6区	[illegible]	須恵器 杯	－	－	7.4	底部1/8	石英・長石(小)	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
511	SRa02	B3区北	16	須恵器 杯蓋	14.6	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	7.5Y5/1 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
512	SRa02	B3区北	11・12	須恵器 杯蓋	－	－	－	つまみ部8/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
513	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯蓋	15.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N5/ 灰	7.5Y6/1 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
514	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯蓋	15.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
515	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
516	SRa02	B3区北	11・12	須恵器 杯身	15.2	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
517	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯身	13.8	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),黒色粒(小)	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
518	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯身	－	－	10.0	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
519	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯身	－	－	9.0	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	N5/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後回転ナデ	回転ナデ	貼付高台
520	SRa02	B3区北	12	須恵器 杯	－	－	6.8	底部2/8	石英・長石(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	
521	SRa02	B3区北	12	黒色土器A類 椀	－	－	7.6	底部小片	石英・長石(小)少	5YR6/6 橙	5Y4/1 灰	マメツ,ナデ	ナデ	貼付高台
522	SRa02	B3区北	11	土師器 小皿	9.0	1.2	7.0	口縁部小片	石英・長石(中)	10YR8/2 灰白	10YR8/1 灰白	ナデ	ナデ	
523	SRa02	B3区北	12	須恵器 皿	17.6	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
524	SRa02	B3区北	11・12	須恵器 皿	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
525	SRa02	B3区北	12	須恵器 皿?	－	－	－	底部小片	石英・長石(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ	ナデ	底部線刻アリ
526	SRa02	B3区北	20	弥生土器 壺	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	凹線,ヨコナデ	ヨコナデ	
527	SRa02	B3区北	12	須恵器 壺	9.8	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
528	SRa02	B3区北	11・12	須恵器 壺	－	－	－	体部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	一部自然釉がかかる
529	SRa02	B3区北	12	須恵器 甕	24.2	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
530	SRa02	B3区北	12	須恵器 甕	－	－	－	小片	石英・長石(小)	2.5Y8/3 淡黄	10YR7/2 にぶい黄橙	板ナデ後ナデ	オサエ後ナデ	
531	SRa02	B3区北	11・12	土師質 竈	－	－	－	小片	石英・長石(中)多	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ナデ,ハケメ	ナデ	
534	SRa02	B6区		弥生土器 壺	24.0	－	－	口縁部4/8	石英・長石(大)多	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	櫛描波状文,ヨコナデ	ナデ,板ナデ	
535	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小),雲母(小)微	5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	波状文,マメツ,ハケメ	板ナデ,マメツ	
536	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	－	頸部5/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)多	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ハケメ,貼付突帯後キザミ目	ハケメ,オサエ	
537	SRa02	B6区		弥生土器 壺	22.0	－	－	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(中)多,雲母(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	退化した凹線,ナデ,ハケメ	ナデ	
538	SRa02	B6区		弥生土器 壺	22.3	－	－	頸部6/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ハケメ	
539	SRa02	B6区		弥生土器 壺	29.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ,ハケメ後ヘラミガキ,ハケメ後キザミ目	ヘラミガキ,マメツ,ハケメ後ヘラミガキ	
540	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	櫛描文,ナデ,ハケメ	ナデ,ハケメ	
541	SRa02	B6区		弥生土器 壺	10.4	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小),雲母(小)多	10YR6/6 明黄褐	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ	ヨコナデ,オサエ,ハケメ,指ナデ	下川津B類
542	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	5.0	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少,角閃石(小)	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR5/2 灰黄褐	ハケメ,ナデ	ナデ,オサエ	
543	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	3.3	底部8/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	5YR6/8 橙	マメツ,板ナデ,ナデ	マメツ,オサエ,指ナデ	
544	SRa02	B6区		弥生土器 壺	－	－	3.4	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ハケメ,ナデ	ヘラケズリ後ナデ	
545	SRa02	B6区		土師器 壺	14.0	－	－	口縁部6/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ,ハケメ,ヘラケズリ	
546	SRa02	B6区		弥生土器 甕	14.4	24.8	3.4	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中)少	2.5YR4/2 灰赤	5YR4/4 にぶい赤褐	ナデ,ハケメ,オサエ,板ナデ,ナデ	ナデ,ハケメ,ヘラケズリ後ハケメ,オサエ	
547	SRa02	B6区		土師器 甕	13.9	－	－	体部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ,ハケメ,ナデ,ヘラケズリ	
548	SRa02	B6区		弥生土器 甕	17.6	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ	ナデ,ハケメ	
549	SRa02	B6区		弥生土器 甕	14.1	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ,マメツ	マメツ,オサエ,板ナデ後ナデ	
550	SRa02	B6区		弥生土器 甕	17.1	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)多	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ,オサエ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ後オサエ	
551	SRa02	B6区		弥生土器 甕	15.8	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)微	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ヨコナデ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ナデ	
552	SRa02	B6区		弥生土器 甕	18.6	－	－	口縁部1/8	石英・長石(大),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ナデ,オサエ,ハケメ	ハケメ,ハケメ後指ナデ	
553	SRa02	B6区		弥生土器 甕	19.4	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)少,雲母(小)	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ,タタキ後ハケメ	ハケメ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
554	SRa02	B6区		弥生土器 甕	15.3	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
555	SRa02	B6区		弥生土器 甕	13.8	－	－	口縁部3/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ・ﾊｹﾒ	
556	SRa02	B6区		弥生土器 甕	14.6	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	下川津B類
557	SRa02	B6区		土師器 甕	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	
558	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR5/3 にぶい黄褐	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	
559	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
560	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR6/2 灰黄褐	ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ・ﾊｹﾒ	
561	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	2.0	底部4/8	石英・長石(中)少,雲母(小)多	10YR4/4 褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後指ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	
562	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	4.0	底部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ｵｻｴ,指ﾅﾃﾞ	
563	SRa02	B6区		弥生土器 甕	－	－	3.6	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小),角閃石(小)少	7.5YR6/6 橙	10YR5/3 にぶい黄褐	ﾀﾀｷ	ｵｻｴ	
564	SRa02	B6区		弥生土器 高杯	－	－	15.8	脚部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,雲母(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	(脚)ﾊｹﾒ	穿孔8穴?
565	SRa02	B6区		弥生土器 高杯	－	－	9.9	脚部4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ｵｻｴ,ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	(脚)ｵｻｴ,ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	
566	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	13.7	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)多	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾀﾀｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
567	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	－	－	2.3	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐	ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
568	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	11.2	4.2	－	口縁部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ	
569	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	10.2	4.9	3.0	底部8/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/4 にぶい黄褐	ｵｻｴ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
570	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	8.4	－	－	口縁部3/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	ｵｻｴ	ﾊｹﾒ	
571	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	－	－	2.0	底部5/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
572	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	16.7	6.5	－	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
573	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	15.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
574	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	16.6	8.2	3.7	口縁部3/8	石英・長石(中),雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	ｵｻｴ,ﾀﾀｷ	ｵｻｴ	
575	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	16.8	－	－	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
576	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	19.8	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ｵｻｴ	指ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
577	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	18.8	8.9	－	3/8	石英・長石(大)多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾏﾒﾂ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾏﾒﾂ	
578	SRa02	B6区		弥生土器 台付鉢	－	－	6.2	底部1/8	石英・長石(大)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
579	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	31.8	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(中)多	7.5YR6/6 橙	10YR2/1 黒	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
580	SRa02	B6区		弥生土器 鉢	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	沈線,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
581	SRa02	B6区		弥生土器 甑	16.2	－	－	2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
582	SRa02	B6区		弥生土器 甑	16.9	13.2	－	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,板ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	穿孔1穴
583	SRa02	B6区		弥生土器 甑	－	－	2.0	底部8/8	石英・長石(中)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	板ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	穿孔1穴
584	SRa02	B6区		弥生土器 甑	－	－	1.1	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	穿孔1穴
585	SRa02	B6区		須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
586	SRa02	B6区		須恵器 杯身	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
587	SRa02	B6区		須恵器 杯	14.8	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
588	SRa02	B6区		土師器 杯	－	－	6.3	底部1/8	石英・長石(小)	5Y6/1 灰	5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
589	SRa02	B6区		須恵器 杯	－	－	8.0	底部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	N5/ 灰	N8/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
590	SRa02	B6区		土師器 椀	－	－	5.8	底部2/8	石英・長石(小)	2.5YR6/6 橙	2.5Y5/2 暗灰黄	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
591	SRa02	B6区		黒色土器A類 椀	－	－	5.7	底部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y3/1 黒褐	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	貼付高台

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
592	SRa02	B6区		須恵器 皿	15.0	1.6	12.0	1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ
593	SRa02	B6区		土師器 小皿	7.9	0.9	6.0	口縁部1/8	石英・長石(小)微	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
594	SRa02	B6区		肥前系陶器 皿	12.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	7.5Y6/2 灰オリーブ	2.5Y7/3 浅黄	回転ナデ後施釉,回転ヘラケズリ	回転ナデ後施釉	
595	SRa02	B6区		土師質 蛸壺	9.2	-	-	体部3/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小),雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ナデ,オサエ	ナデ,指ナデ,ヘラケズリ	
596	SRa02	B6区		土師質 蛸壺	11.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 にぶい赤褐	ヨコナデ,ハケメ・オサエ	ヨコナデ,ハケメ後ナデ	
597	SRa02	B6区		瓦質土器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(小)	N3/ 暗灰	N3/ 暗灰	格子目タタキ	ハクリ	
598	SRa02	B6区		土師質 管状土錘	4.5	1.5	0.6	8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	-	ナデ	-	
599	SRa02	B6区		土師質 管状土錘	3.4	1.1	0.3	8/8	石英・長石(中)多	2.5Y3/2 黒褐	-	ナデ	-	
606	SRa02	D7区		土師器 甕	16.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ	
607	SRa02	D7区		弥生土器 甑	-	-	0.8	底部8/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	2.5Y6/3 にぶい黄	10YR7/4 にぶい黄橙	ヘラケズリ	ハケメ,オサエ	穿孔1穴
608	SRa02	D7区		須恵器 杯身	-	-	9.9	底部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR5/3 にぶい褐	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
609	SRa02	D7区		須恵器 杯身	18.9	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
610	SRa02	D7区		須恵器 杯	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
611	SRa02	D7区		須恵器 杯	11.2	3.8	9.0	底部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小)	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
612	SRa02	D7区		須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
613	SRa03	B2区	5	弥生土器 壺	14.8	-	-	口縁部3/8	石英・長石(小),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ	
614	SRa03	B2区	4	弥生土器 鉢	17.5	8.2	4.7	7/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少,雲母(小),角閃石(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	オサエ,タタキ後ナデ	ハケメ,マメツ	
615	SRa03	B2区	4	須恵器 壺	-	-	9.0	底部6/8	石英・長石(小)少	7.5Y3/2 オリーブ黒	5YR6/1 褐灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ,ナデ	貼付高台,高台内胎土付着
616	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 壺	17.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	波状文,オサエ	ナデ	
617	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 壺	18.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	7.5YR6/8 橙	5YR6/6 橙	波状文,ハクリ	ハケメ後ナデ,ハクリ,ナデ	
618	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 壺	20.0	-	-	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ,指ナデ	
619	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	19.2	-	-	6/8	石英・長石(中),赤色粒(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ヨコナデ,オサエ・タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,ヘラケズリ	
620	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	14.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小),角閃石(小)	7.5YR3/3 暗褐	10YR5/3 にぶい黄褐	ヨコナデ,ヘラミガキ	ヨコナデ,オサエ,ヘラケズリ	下川津B類
621	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	13.7	21.8	4.3	底部8/8	石英・長石(大)	5YR6/6 橙	10YR2/1 黒	ヨコナデ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ヘラケズリ後指ナデ,ヘラケズリ	
622	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	13.0	20.0	4.3	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ,タタキ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ後ハケメ	
623	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	14.8	-	-	口縁部6/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)少,雲母(小)極多,角閃石(小)	7.5YR4/4 褐	7.5YR5/6 明褐	ヨコナデ,ハケメ,マメツ	ヨコナデ,オサエ,ヘラケズリ	下川津B類
624	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	14.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ハケメ,マメツ	マメツ,ハケメ,ヘラケズリ後ハケメ	
625	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	18.4	-	-	口縁部2/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少	7.5YR5/6 明褐	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ハケメ,オサエ,オサエ後ハケメ	
626	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	-	-	2.6	底部8/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	オサエ後ナデ,オサエ後ハケメ	オサエ,板ナデ後ナデ	
627	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	16.8	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小),雲母(小),角閃石(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,マメツ	ヨコナデ,オサエ	下川津B類
628	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	17.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,黒色粒(小),雲母(小),角閃石(小)	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ヨコナデ,ハケメ,マメツ	ヨコナデ,ナデ	下川津B類
629	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	14.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	7.5YR4/3 褐	10YR4/2 灰黄褐	ヨコナデ,沈線,ハケメ	ヨコナデ,オサエ	下川津B類
630	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	-	-	4.4	底部8/8	石英・長石(大),黒色粒(小)少,雲母(小)少,角閃石(小)微	10YR4/1 褐灰	7.5YR5/6 明褐	ヘラミガキ	ヘラケズリ後ナデ	下川津B類
631	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 甕	-	-	5.0	底部8/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/1 褐灰	ヘラミガキ	ヘラケズリ後ナデ	下川津B類
632	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 高杯	21.0	-	-	口縁部5/8	石英・長石(中)多,黒色粒(小)少	5YR6/8 橙	2.5YR6/8 橙	ハケメ,マメツ	マメツ	
633	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 鉢	18.3	-	-	4/8	石英・長石(大)	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	ナデ,板ナデ後ナデ,ヘラケズリ	板ナデ後ナデ	
634	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 鉢	23.4	14.6	6.7	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,タタキ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,タタキ,オサエ	
635	SRa03	B2区	8・9	弥生土器 鉢	14.0	7.8	-	口縁部3/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	オサエ・ナデ	ハケメ,ハケメ後ヘラミガキ,オサエ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
636	SRa03	B2区	8･9	弥生土器 鉢	12.2	5.4	2.9	底部8/8	石英･長石(中),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	オサエ	ハケメ	
637	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	16.4	－	－	口縁部2/8	石英･長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	板ナデ後ナデ,板ナデ後ヘラミガキ	マメツ,板ナデ後ナデ	
638	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	－	－	3.6	底部8/8	石英･長石(中)多	7.5YR7/6 橙	7.5YR2/1 黒	タタキ後ハケメ,タタキ後ハケメ後ヘラミガキ･オサエ	オサエ,ヘラケズリ,オサエ	
639	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	－	－	5.9	5/8	石英･長石(大),赤色粒(中)多	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	マメツ,ハケメ,ハケメ後タタキ,タタキ･ハケメ後ヘラミガキ	マメツ,オサエ	
640	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	－	－	－	3/8	石英･長石(小),赤色粒(中)少,黒色粒(小),雲母(小)多,角閃石(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	沈線,板ナデ,ハケメ,ヘラミガキ	ハケメ,ハケメ後ナデ,オサエ,ヘラケズリ後ナデ	
641	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	－	－	8.2	4/8	石英･長石(中)少,雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	ハケメ後ヘラミガキ	オサエ,指ナデ	輪積痕が残る
642	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	18.8	－	－	口縁部8/8	石英･長石(大)多,雲母(小)少	5YR5/6 明赤褐	10YR4/2 灰黄褐	ハケメ後ナデ,ハケメ	板ナデ後ナデ,ヘラケズリ後ナデ	
643	SRa03	B2区	11	弥生土器 壺	－	－	－	体部･底部4/8	石英･長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小),角閃石(中)多	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヘラミガキ	ヘラケズリ後オサエ	下川津B類
644	SRa03	B2区	11	弥生土器 小型丸底壺	10.0	6.9	3.8	6/8	石英･長石(中)多	5YR6/8 橙	5YR5/6 明赤褐	ハクリ,オサエ	オサエ後ハケメ,ハクリ	
645	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	13.9	24.0	2.7	7/8	石英･長石(中),赤色粒(小)少	7.5YR4/3 褐	7.5YR7/4 にぶい橙	ハケメ後指ナデ,オサエ後ハケメ,タタキ後ハケメ,ハケメ,ヘラケズリ	ハケメ後ナデ,オサエ,ハケメ,ヘラケズリ後ナデ	
646	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	12.3	20.1	3.3	8/8	石英･長石(大)多,雲母(小)少,角閃石(小)少	5YR6/8 橙	5YR5/6 明赤褐	ナデ,ハケメ	ハケメ,板ナデ後オサエ,ヘラケズリ後ナデ	
647	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	－	－	3.5	底部8/8	石英･長石(大),赤色粒(中)微,雲母(小)少	7.5YR5/2 灰褐	7.5YR5/4 にぶい褐	タタキ後ハケメ,ハケメ後ナデ,ナデ	ヨコナデ,オサエ,ハケメ後オサエ,ヘラケズリ	
648	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	15.0	24.5	2.2	口縁部7/8	石英･長石(中),赤色粒(中),雲母(小)微	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/8 橙	ナデ,オサエ後ナデ,ハケメ,ナデ	ナデ,オサエ後ナデ,ヘラケズリ	
649	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	17.6	－	－	口縁部2/8	石英･長石(中),雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ,タタキ後ハケメ	ハケメ,オサエ後ハケメ,ヘラケズリ後ハケメ	
650	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	14.3	－	－	口縁部4/8	石英･長石(中),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ,オサエ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ後オサエ,ヘラケズリ	
651	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	14.1	20.6	3.1	6/8	石英･長石(中),赤色粒(中)微,雲母(小)少,角閃石(小)少	5YR6/8 橙	7.5YR6/6 橙	マメツ,ハケメ,タタキ後ハケメ,ハケメ後ナデ	マメツ,ハケメ,ヘラケズリ後ナデ	
652	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	14.0	－	－	口縁部1/8	石英･長石(大)少,赤色粒(中),雲母(小)多,角閃石(小)少	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,ハケメ,ハケメ後オサエ	ヨコナデ,オサエ,ヘラケズリ	
653	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	15.1	25.8	4.6	口縁部3/8	石英･長石(大),赤色粒(大)少,雲母(小)少,角閃石(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,タタキ後ハケメ,ハケメ後ヘラミガキ	ヨコナデ,オサエ後ナデ,ヘラケズリ	
654	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	11.6	－	－	口縁部4/8	石英･長石(大),雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ,ヘラケズリ	
655	SRa03	B2区	11	弥生土器 甕	18.2	－	－	口縁部小片	石英･長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ,タタキ後ハケメ	ハケメ,ハケメ後オサエ	
656	SRa03	B2区	11	弥生土器 高杯	19.4	－	－	口縁部1/8	石英･長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(中)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	回転ナデ,ヘラケズリ	回転ナデ,マメツ	下川津B類
657	SRa03	B2区	11	土師器 高杯	17.9	12.8	18.5	脚部5/8	石英･長石(中),赤色粒(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR7/8 黄橙	マメツ,オサエ,マメツ	ハケメ後ヘラミガキ,マメツ (脚)マメツ	
658	SRa03	B2区	11	弥生土器 片口鉢	23.2	20.1	8.0	底部8/8	石英･長石(大),赤色粒(中)少,黒色粒(中)少	5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,タタキ後掻キ取り状のナデ	ヨコナデ,ハケメ,マメツ	
659	SRa03	B2区	11	弥生土器 片口鉢	－	－	－	口縁部小片	石英･長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ナデ,タタキ後オサエ	ハケメ	
660	SRa03	B2区	11	弥生土器 鉢	18.0	6.8	5.5	口縁部7/8	石英･長石(中),赤色粒(小)少,角閃石(小)微	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/8 橙	オサエ,タタキ後ナデ,ヘラケズリ	ハケメ,板ナデ後ナデ	
661	SRa03	B2区	11	弥生土器 甑	21.7	19.5	2.8	7/8	石英･長石(中)多	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	オサエ,タタキ後オサエ,タタキ後板ナデ	オサエ後ハケメ,ハケメ後ナデ,ナデ	穿孔1穴
662	SRa03	B2区		弥生土器 壺	－	－	1.5	底部8/8	石英･長石(中)多,赤色粒(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	マメツ,ハケメ	マメツ	
663	SRa03	B2区		弥生土器 鉢	－	－	3.1	底部8/8	石英･長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	板ナデ後ナデ	板ナデ後ナデ	
664	SRa03	B2区		弥生土器 高杯	－	－	－	口縁部小片	石英･長石(小)	2.5Y7/4 浅黄	2.5Y7/4 浅黄	マメツ	マメツ	
665	SRa03	B2区		須恵器 杯身	14.9	4.8	11.2	口縁部1/8	石英･長石(小)少	N3/ 暗灰	N5/ 灰	回転ナデ,ナデ	回転ナデ	貼付高台
666	SRa03	B2区		土師器 高台付皿	－	－	－	底部小片	石英･長石(小),赤色粒(小)少,黒色粒(小)少,雲母(小)微	10YR7/6 明黄褐	10YR8/6 黄橙	マメツ	マメツ	貼付高台
667	SRa03	B2区		須恵器 杯	12.6	－	9.8	口縁部1/8	石英･長石(小)少,黒色粒(小)多	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,ナデ	回転ナデ	
668	SRa03	B2区		須恵器 壺	－	－	11.4	底部1/8	石英･長石(小)少,黒色粒(小)少	N4/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ナデ	ナデ	貼付高台
671	SRa03	B3区南	8	弥生土器 壺	－	－	4.8	底部7/8	石英･長石(中)	7.5YR2/1 黒	7.5YR6/6 橙	ハケメ	指ナデ	底部米粒痕
672	SRa03	B3区南	8	須恵器 杯蓋	19.5	2.1	－	口縁部6/8	石英･長石(小),黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	ナデ,回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
673	SRa03	B3区南	8	土師器 杯蓋	23.6	－	－	口縁部小片	石英･長石(中)少	2.5Y7/4 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	ナデ,マメツ	ナデ,マメツ	
674	SRa03	B3区南	8	須恵器 杯蓋	14.8	－	－	口縁部2/8	石英･長石(小)多,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
675	SRa03	B3区南	8	須恵器 杯蓋	13.8	－	－	口縁部1/8	石英･長石(小),黒色粒(小)少	5B1.7/1 青黒	5B6/1 青灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
676	SRa03	B3区南	8	須恵器 杯身	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	貼付高台
677	SRa03	B3区南	8	土師器 杯身	-	-	8.5	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/3 淡黄	ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	貼付高台
678	SRa03	B3区南	8	須恵器 高杯	-	-	-	脚部5/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	回転ナデ	(脚)回転ナデ	
679	SRa03	B3区南	8-9	土師質 竈	44.8	30.1	42.3	2/8	石英・長石(大)多	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ	ナデ,ハケメ,指ナデ	
680	SRa03	B3区南	10	弥生土器 壺	-	-	4.8	底部3/8	石英・長石(中)	2.5YR5/4 にぶい赤褐	5YR6/8 橙	ナデ	マメツ	
681	SRa03	B3区南	10	弥生土器 甕	-	-	2.6	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ナデ,タタキ	ナデ,指ナデ,オサエ	
682	SRa03	B3区南	11	弥生土器 壺	19.0	32.0	3.6	4/8	石英・長石(中),雲母(小)多,角閃石(小)	7.5YR7/6 橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ヨコナデ,ナデ,ハケメ,オサエ	ヨコナデ,ハケメ,指ナデ,オサエ	
683	SRa03	B3区南	11	弥生土器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR7/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ	
684	SRa03	B3区南	11	弥生土器 壺	22.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	ハケメ	
685	SRa03	B3区南	11	弥生土器 壺	18.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ハケメ後波状文	ヨコナデ	
686	SRa03	B3区南	11	弥生土器 壺	-	-	5.4	底部8/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/3 にぶい黄橙	マメツ,タタキ後ハケメ	ハケメ,オサエ	
687	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	13.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)多,角閃石(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ	下川津B類
688	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	16.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)多,角閃石(小)多	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	沈線,ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ,マメツ	下川津B類
689	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	-	-	4.0	底部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ハケメ,ナデ	ハケメ,ヘラケズリ,ヘラケズリ後ナデ	下川津B類
690	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	17.8	27.2	4.6	6/8	石英・長石(中)多	7.5YR7/6 橙	5YR7/6 橙	ナデ,オサエ,タタキ後ハケメ	ハケメ後指ナデ	
691	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	15.6	-	-	口縁部4/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	10YR6/2 灰黄褐	ヨコナデ,タタキ	ヨコナデ,ナデ,指ナデ	
692	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	19.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中),雲母(小)	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR7/4 にぶい黄橙	タタキ後ハケメ	マメツ,オサエ	
693	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	15.8	-	-	体部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,オサエ後ハケメ,ヘラケズリ後ハケメ	
694	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	17.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ	ハケメ,板ナデ	
695	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	16.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,タタキ	ヨコナデ,オサエ後ナデ	
696	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	17.9	-	-	頸部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ナデ,オサエ,タタキ	ハケメ	
697	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ後ナデ	
698	SRa03	B3区南	11	弥生土器 甕	9.1	8.0	1.9	7/8	石英・長石(大),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	オサエ,ナデ,板ナデ	ハケメ,指ナデ	
699	SRa03	B3区南	11	弥生土器 鉢	21.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(中),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
700	SRa03	B3区南	11	弥生土器 鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,雲母(小)少	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
701	SRa03	B3区南	11	弥生土器 鉢	16.6	7.4	-	7/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,板ナデ後ヨコナデ,ヘラケズリ後ナデ	ヨコナデ,板ナデ	側面に穿孔1穴
702	SRa03	B3区南	11	弥生土器 鉢	16.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ナデ	ナデ	
703	SRa03	B3区南	11	弥生土器 鉢	10.4	4.8	2.1	7/8	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	タタキ,板ナデ	ハケメ,ナデ	
704	SRa03	B3区南	11	土師質 土玉	-	-	-	3/8	石英・長石(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	-	ナデ	-	
708	SRa04	B2区	17	弥生土器 壺	16.5	-	-	口縁部3/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ハケメ	ハケメ,ハケメ後ナデ	
709	SRa04	B2区	17	弥生土器 壺	24.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(大),雲母(小)	5YR6/8 橙	7.5YR6/6 橙	波状文,板ナデ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
710	SRa04	B2区	19	弥生土器 壺	29.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR5/4 にぶい褐	凹線,ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ	
711	SRa04	B2区	19	弥生土器 甕	14.4	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR3/1 黒褐	ヨコナデ,タタキ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ後ヘラケズリ後ハケメ	
712	SRa04	B2区	19	弥生土器 甕	12.2	-	-	口縁部3/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR4/6 褐	7.5YR5/2 灰褐	ヨコナデ,ハケメ,ハクリ	ヨコナデ,板ナデ・オサエ,ヘラケズリ,ハケメ	
713	SRa04	B2区	19	弥生土器 甕	16.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,板ナデ	
714	SRa04	B2区	19	弥生土器 甕	15.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	オサエ後ナデ,ハケメ	ハケメ,板ナデ,ヘラケズリ	
715	SRa04	B2区	17	弥生土器 甕	13.1	-	-	口縁部3/8	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR4/2 灰黄褐	タタキ後ハケメ,マメツ	ハケメ後ナデ,板ナデ・ヘラケズリ後ナデ	
716	SRa04	B2区	19	弥生土器 甕	-	-	2.9	底部8/8	石英・長石(中)	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ,ナデ	ハケメ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
717	SRa04	B2区	19	弥生土器 高杯	18.7	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)多	2.5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
718	SRa04	B2区	19	弥生土器 高杯	－	－	8.5	脚部6/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ (脚)ﾊｹﾒ	
719	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	8.8	2.4	－	口縁部2/8	石英・長石(小)	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ	
720	SRa04	B2区	17	弥生土器 鉢	10.0	3.1	－	口縁部3/8	石英・長石(大),雲母(小)少	10YR6/6 明黄褐	10YR6/6 明黄褐	ｵｻｴ・板ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
721	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	10.8	3.6	－	口縁部4/8	石英・長石(小)多,雲母(小)多,角閃石(小)微	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR6/6 橙	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
722	SRa04	B2区	17	弥生土器 鉢	12.0	2.9	4.6	口縁部2/8	石英・長石(大)多	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR3/2 黒褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
723	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	18.2	5.7	5.0	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)多,角閃石(小)微	7.5YR6/6 橙	10YR5/3 にぶい黄褐	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
724	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	20.6	7.6	－	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小),角閃石(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR2/1 黒	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
725	SRa04	B2区	17	弥生土器 鉢	9.2	7.5	1.5	口縁部4/8	石英・長石(小),雲母(小)少	5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
726	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	11.5	9.5	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(大)少	7.5YR8/6 浅黄橙	5YR6/6 橙	ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ	ﾏﾒﾂ	
727	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	13.6	－	－	2/8	石英・長石(中)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
728	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	13.9	7.5	2.0	3/8	石英・長石(中),雲母(小)微	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ,工具圧痕	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
729	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	13.0	8.6	2.4	4/8	石英・長石(中)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/3 にぶい橙	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
730	SRa04	B2区	19	弥生土器 鉢	15.4	12.3	3.3	底部1/8	石英・長石(中)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	
731	SRa04	B2区	19	弥生土器 片口鉢	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)多	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR7/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ	
732	SRa04	B2区	19	弥生土器 甑	－	－	3.3	底部8/8	石英・長石(大),雲母(小),角閃石(小)微	7.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	穿孔5穴
733	SRa04	B2区	17	弥生土器 甑	－	－	2.8	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)微	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	穿孔3穴
734	SRa04	B2区	19	須恵器 杯蓋	15.2	3.2	－	口縁部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
735	SRa04	B2区	19	須恵器 杯蓋	13.8	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
736	SRa04	B2区	19	須恵器 杯身	－	－	8.3	底部2/8	石英・長石(中)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
737	SRa04	B2区	19	須恵器 杯身	－	－	9.0	底部1/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
738	SRa04	B2区	19	須恵器 杯	－	－	8.1	底部4/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
739	SRa04	B2区	19	須恵器 杯	－	－	8.2	底部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	10Y6/1 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
740	SRa04	B2区	19	須恵器 杯	16.2	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
741	SRa04	B2区	19	須恵器 皿	16.4	2.1	13.0	口縁部1/8	石英・長石(小)少	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
742	SRa04	B2区	19	須恵器 皿	18.6	－	－	口縁部小片	石英・長石(中)少,黒色粒(小)少	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
743	SRa04	B2区	17･19	緑釉陶器 椀	12.8	4.1	7.0	口縁部1/8	石英・長石(小)微	7.5Y7/3 浅黄	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	硬質,貼付高台
744	SRa04	B2区	19	須恵器 壺	－	－	11.6	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	10R5/1 赤灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾖｺﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	内面胎土付着,貼付高台
745	SRa04	B2区	17･19	須恵器 甕	21.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)	N4/ 灰	N4/ 灰	ﾏﾒﾂ,ﾀﾀｷ	ﾏﾒﾂ,脊海波文	生焼(瓦質状態)
746	SRa04	B2区	17･19	須恵器 水滴	3.4	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
747	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	17.0	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,線刻文,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	
748	SRa04	B2区	21	弥生土器 壺	－	－	－	頸部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微,雲母(小)多	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,波状文,ﾊｹﾒ	板ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ,指ｵｻｴ	812と同一個体
749	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	26.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	板ﾅﾃﾞ後斜格子文,ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
750	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	16.6	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
751	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	15.2	－	－	口縁部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	2.5Y4/1 黄灰	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	
752	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	19.7	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,黒色粒(小)少,雲母(小)少	2.5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
753	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	15.6	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小),角閃石(小)少	5YR6/6 橙	5YR7/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾅﾃﾞ	
754	SRa04	B2区	18	弥生土器 壺	－	－	3.8	底部8/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)少,雲母(小)	2.5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
755	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	12.6	25.4	4.2	底部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)極多	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ,ハケメ,ヘラミガキ	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ,ヘラケズリ	下川津B類
756	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	－	－	4.0	底部8/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中)少,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ハケメ	ハケメ,オサエ後ナデ	
757	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	13.3	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小),角閃石(小)多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ,マメツ	下川津B類
758	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	14.0	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小)少,雲母(小),角閃石(小)多	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ	下川津B類
759	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	13.8	－	－	口縁部1/8	石英・長石(大),雲母(小),角閃石(小)多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ	下川津B類
760	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	16.0	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小)多,雲母(小)多	7.5YR4/3 褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ後オサエ	下川津B類
761	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	14.1	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)少,雲母(小)多,角閃石(小)多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ,オサエ	下川津B類
762	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	15.7	－	－	口縁部1/8	石英・長石(大),雲母(小)微	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	
763	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	13.5	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾅﾃﾞ,ハケメ	
764	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	14.4	－	－	口縁部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	7.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,オサエ,タタキ	ﾅﾃﾞ,ハケメ,ﾅﾃﾞ	
765	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	15.8	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ハケメ後ﾅﾃﾞ,オサエ,ハケメ	
766	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	14.0	－	－	口縁部4/8	石英・長石(中),雲母(小)少	2.5YR5/6 明赤褐,10YR2/1 黒	2.5YR5/6 明赤褐,10YR2/1 黒	ﾖｺﾅﾃﾞ,タタキ後ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ,ヘラケズリ	
767	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	18.3	－	－	口縁部3/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ハケメ	ハケメ,オサエ,ヘラケズリ	
768	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	15.4	－	－	口縁部4/8	石英・長石(小)	7.5YR4/4 褐	7.5YR4/4 褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,オサエ,マメツ	下川津B類
769	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	16.3	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)多	7.5YR6/6 橙	10YR5/2 灰黄褐	ﾅﾃﾞ,オサエ,ハケメ	ハケメ,ハケメ後ﾅﾃﾞ,ヘラケズリ	
770	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	－	－	5.4	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少	10YR7/6 明黄褐	7.5YR7/6 橙	ハケメ,オサエ,ﾅﾃﾞ	ヘラケズリ,オサエ	
771	SRa04	B2区	18	弥生土器 甕	15.3	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	オサエ後ﾅﾃﾞ,ハケメ	ハケメ後ﾅﾃﾞ,指ﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
772	SRa04	B2区	18	土師器 甕	11.5	15.0	3.6	7/8	石英・長石(小)	5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ハケメ,ハケメ後オサエ,オサエ後ヘラケズリ	
773	SRa04	B2区	18	弥生土器 鉢	19.9	6.3	－	7/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)微	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	オサエ後ハケメ	オサエ後ハケメ	
774	SRa04	B2区	18	弥生土器 鉢	19.5	7.8	4.4	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,指ﾅﾃﾞ	ハケメ	底部にもみがら痕
775	SRa04	B2区	18	弥生土器 鉢	－	－	3.9	底部8/8	石英・長石(小)少,雲母(小)少	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/2 灰黄褐	ハケメ後ﾅﾃﾞ,タタキ後ﾅﾃﾞ	ハケメ・オサエ	
776	SRa04	B2区	18	弥生土器 鉢	10.0	4.9	3.0	7/8	石英・長石(中)極多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/8 明赤褐	マメツ,タタキ後ﾅﾃﾞ	マメツ	
777	SRa04	B2区	18	弥生土器 台付鉢	－	－	2.8	底部8/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ハケメ後ヘラミガキ	ハケメ後ヘラミガキ	
778	SRa04	B2区	18	弥生土器 鉢	34.2	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	10YR4/2 灰黄褐	10YR3/2 黒褐	ﾅﾃﾞ,オサエ後ハケメ	ﾅﾃﾞ,ヘラケズリ	
779	SRa04	B2区	18	弥生土器 片口鉢	35.1	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	格子目タタキ後ﾅﾃﾞ,オサエ後ハケメ	ハケメ,ハケメ後ﾅﾃﾞ	
780	SRa04	B2区	18	弥生土器 片口鉢	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,格子目タタキ後ﾅﾃﾞ,ハケメ	ﾅﾃﾞ,ハケメ	
781	SRa04	B2区	18	須恵器 杯	20.8	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
782	SRa04	B2区	18・19	弥生土器 壺	17.4	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小)多	5YR6/6 橙	5YR6/4 にぶい橙	波状文,ハケメ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ,ヘラケズリ	
783	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR6/8 橙	5YR6/6 橙	波状文,ハケメ,マメツ	ﾅﾃﾞ	
784	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	22.7	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中),雲母(小)少,角閃石(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	凹線,ﾖｺﾅﾃﾞ,ヘラミガキ	ハケメ後ヘラミガキ	
785	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	－	－	4.0	体部5/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/4 にぶい黄橙	マメツ,タタキ後ハケメ	オサエ	
786	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	16.5	－	－	口縁部5/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微	10YR5/2 灰黄褐	10YR4/3 にぶい黄褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ後ヘラミガキ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ヘラミガキ,オサエ,板ﾅﾃﾞ,ヘラケズリ	
787	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	－	－	2.4	底部3/8	石英・長石(中)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ハケメ	ハケメ,オサエ	
788	SRa04	B2区	19・21	弥生土器 壺	21.6	－	－	3/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR4/1 褐灰	マメツ,ハケメ,ハケメ後ヘラミガキ,タタキ後ヘラミガキ	ハケメ後ヘラミガキ,ハケメ後オサエ,ハケメ後ﾅﾃﾞ	
789	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 壺	－	－	7.0	底部8/8	石英・長石(中),雲母(小)少	5YR6/6 橙	10YR3/1 黒褐	ハケメ後ヘラミガキ,タタキ後ハケメ後ヘラミガキ,ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ後ヘラミガキ,ハケメ,オサエ	
790	SRa04	B2区	19・22	弥生土器 壺	－	－	3.6	底部8/8	石英・長石(中),赤色粒(大)少,雲母(小)	7.5YR7/6 橙	7.5YR6/6 橙	タタキ後ハケメ	板ﾅﾃﾞ,オサエ	
791	SRa04	B2区	20	弥生土器 甕	14.0	23.2	4.0	口縁部7/8	石英・長石(中),赤色粒(大)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	凹線,ﾖｺﾅﾃﾞ,ハケメ	ハケメ,板ﾅﾃﾞ,オサエ後板ﾅﾃﾞ,ヘラケズリ	
792	SRa04	B2区	19・20	弥生土器 甕	12.3	23.7	－	5/8	石英・長石(大)多,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/6 明褐	ハケメ後オサエ,タタキ後ハケメ	ハケメ,指ﾅﾃﾞ後ヘラケズリ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
793	SRa04	B2区	20	弥生土器 甕	10.8	16.0	2.0	口縁部7/8	石英・長石(中),雲母(小)少	7.5YR4/3 褐	7.5YR6/4 にぶい橙	ｵｻｴ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ｵｻｴ,ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
794	SRa04	B2区	20	弥生土器 甕	15.7	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
795	SRa04	B2区	19･22	弥生土器 甕	13.8	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	5YR6/6 橙,7.5YR1.7/1 黒	2.5YR5/6 明赤褐,7.5YR1.7/1 黒	沈線,ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	
796	SRa04	B2区	20	弥生土器 甕	16.2	－	－	口縁部8/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	
797	SRa04	B2区	20	弥生土器 高杯	28.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾅﾃﾞ	
798	SRa04	B2区	19･20	弥生土器 高杯	25.1	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾊｹﾒ	
799	SRa04	B2区	19･20	弥生土器 高杯	23.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
800	SRa04	B2区	19･22	弥生土器 高杯	－	－	18.8	脚部6/8	石英・長石(中),赤色粒(小)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	板ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾏﾒﾂ,沈線	(脚)ｼﾎﾞﾘﾒ,ﾊｹ,ﾏﾒﾂ	
801	SRa04	B2区	20	弥生土器 高杯	－	－	10.8	脚部1/8	石英・長石(中),黒色粒(小)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ (脚)ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	
802	SRa04	B2区	19･22	弥生土器 高杯	15.8	8.6	8.4	7/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少,雲母(小)微	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾍﾗﾐｶﾞｷ,板ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ (脚)ﾊｹﾒ	
803	SRa04	B2区	20	弥生土器 鉢	10.3	5.7	3.6	4/8	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	板ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ,ﾀﾀｷ後ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
804	SRa04	B2区	20	弥生土器 鉢	11.2	3.6	－	口縁部6/8	石英・長石(小)	10YR6/6 明黄褐	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	
805	SRa04	B2区	20	弥生土器 鉢	13.2	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),雲母(小)多	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR3/1 黒褐	ｵｻｴ	ﾊｹﾒ	
806	SRa04	B2区	20	弥生土器 鉢	15.0	4.8	－	口縁部7/8	石英・長石(大),雲母(小)多	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
807	SRa04	B2区	19･20	弥生土器 鉢	15.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
808	SRa04	B2区	20	弥生土器 大型鉢	47.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ後ﾅﾃﾞ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	
809	SRa04	B2区	19･22	弥生土器 大型鉢	46.4	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)少	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	
810	SRa04	B2区	19･22	弥生土器 鉢	31.2	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(中)少,雲母(小)多	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
811	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 壺	22.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	板ﾅﾃﾞ,波状文,ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
812	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 壺	18.6	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	波状文,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ	748と同一個体
813	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 壺	－	－	4.6	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	10YR5/2 灰黄褐	ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
814	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 壺	15.1	－	－	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ･ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	
815	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 甕	14.9	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中)多,赤色粒(中),雲母(小)多,角閃石(小)多	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	下川津B類
816	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 甕	16.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)少,雲母(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ･ﾅﾃﾞ	下川津B類
817	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	17.8	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ｵｻｴ後板ﾅﾃﾞ	
818	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	14.8	－	－	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	下川津B類
819	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 甕	14.7	－	－	口縁部3/8	石英・長石(小),雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	
820	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	11.2	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)多,雲母(小)少	5YR6/6 橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
821	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	12.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
822	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 甕	15.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中),赤色粒(小)多,雲母(小)微	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ｵｻｴ,ﾀﾀｷ	ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
823	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	12.9	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中)多,雲母(小)多,角閃石(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	ﾅﾃﾞ,指ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
824	SRa04	B2区	21	土師器 甕	18.4	－	－	頸部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
825	SRa04	B2区	21	弥生土器 甕	－	－	3.2	底部6/8	石英・長石(小)	2.5YR5/6 明赤褐	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
826	SRa04	B2区	21･23	弥生土器 甕	－	－	5.0	底部2/8	石英・長石(中),赤色粒(大)多,雲母(小)多,角閃石(小)多	7.5YR4/4 褐	7.5YR5/6 明褐	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	下川津B類
827	SRa04	B2区	21	弥生土器 高杯	25.0	－	－	口縁部小片	石英・長石(中),雲母(小)少	5YR6/4 にぶい橙	5YR5/6 明赤褐	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
828	SRa04	B2区	21	弥生土器 高杯	24.0	－	－	口縁部6/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,角閃石(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
829	SRa04	B2区	21	弥生土器 高杯	－	－	－	杯部1/8	石英・長石(大)多	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	
830	SRa04	B2区	21	弥生土器 高杯	－	－	－	杯部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	5YR6/8 橙	2.5YR6/8 橙	ﾊｸﾘ	ﾊｸﾘ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
831	SRa04	B2区	23	弥生土器 鉢	8.6	2.7	-	8/8	石英・長石(中),雲母(小)	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ後オサエ	ハケメ後オサエ	
832	SRa04	B2区	23	弥生土器 ミニチュア鉢	5.9	2.7	-	口縁部4/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ナデ,オサエ,ヘラケズリ	ナデ,ヘラケズリ	
833	SRa04	B2区	21・23	弥生土器 甑	23.0	14.1	-	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(中)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ナデ,オサエ	ハケメ,ヘラケズリ	穿孔4穴
834	SRa04	B2区	21・23	弥生土器 甑	-	-	2.5	底部8/8	石英・長石(大),赤色粒(小)少	10YR5/4 にぶい黄褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ,ナデ	ハケメ,オサエ,ナデ	穿孔1穴
835	SRa04	B2区	21	須恵器 杯蓋	17.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ	回転ナデ	
836	SRa04	B2区	22	弥生土器 壺	21.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少	5YR6/8 橙	5YR6/6 橙	波状文,ヨコナデ	ヨコナデ	
837	SRa04	B2区	22	弥生土器 甕	-	-	3.8	底部3/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	タタキ後ハケメ,ナデ	指ナデ	
838	SRa04	B2区	22	弥生土器 甕	13.6	14.9	3.2	底部8/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR5/6 明褐	2.5YR5/8 明赤褐	ナデ,オサエ,ハケメ,マメツ	ナデ,ハケメ,ヘラケズリ	
839	SRa04	B2区	22	弥生土器 甕	14.2	25.0	4.1	4/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	5YR6/8 橙	5YR5/6 明赤褐	マメツ,ハケメ,ナデ	マメツ,板ナデ後ヘラケズリ後ナデ	
840	SRa04	B2区	19・22	弥生土器 ミニチュア壺	5.1	5.6	2.1	6/8	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	ハケメ後ナデ,タタキ後ハケメ,タタキ	ハケメ後ナデ,指ナデ	
841	SRa04	B2区	25	土師器 甕	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)少,角閃石(小)微	7.5YR6/6 橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ後ハケメ	
842	SRa04	B2区	25	弥生土器 甕	12.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)少,角閃石(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/6 橙	ハケメ後ナデ,ハケメ	ヨコナデ,板ナデ後ナデ,ハケメ・ヘラケズリ	
843	SRa04	B2区	25	弥生土器 甕	17.2	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中),雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ハケメ,ヘラケズリ後ハケメ	
844	SRa04	B2区	25	弥生土器 甕	12.0	14.5	3.6	口縁部4/8	石英・長石(大)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ナデ後ハケメ,ハケメ後オサエ,指ナデ	
845	SRa04	B2区	25	弥生土器 鉢	18.8	5.4	2.1	口縁部3/8	石英・長石(中)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ナデ,ヘラケズリ	ハケメ	
846	SRa04	B2区		弥生土器 壺	20.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(大)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	線刻文,マメツ	マメツ	
847	SRa04	B2区		弥生土器 甕	-	-	-	小片	石英・長石(大)少,雲母(小),角閃石(小)多	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ハケメ,ハケメ後ヘラミガキ	オサエ,ヘラケズリ後ナデ	
848	SRa04	B2区		弥生土器 台付鉢	21.6	-	-	口縁部2/8	石英・長石(中)多	5YR6/8 橙	2.5YR6/8 橙	マメツ,オサエ後ハケメ	マメツ,ハケメ,板ナデ	
849	SRa04	B2区		弥生土器 台付鉢	19.3	13.7	10.0	口縁部6/8	石英・長石(大),雲母(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	ヨコナデ,ヘラケズリ後ハケメ,指ナデ,ナデ	ハケメ,ミガキ,ハケメ(脚)ナデ	
850	SRa04	B2区		土師器 小皿	9.1	2.2	7.2	2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	10YR8/6 黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
866	SRa04	B3区南	14	弥生土器 壺	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)微,雲母(小)多	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ハケメ	ヨコナデ,ナデ,ハケメ	
867	SRa04	B3区南	14	土師器 甕	-	-	2.7	底部7/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	マメツ,ハケメ,オサエ	板ナデ	
868	SRa04	B3区南	14	弥生土器 鉢	18.9	10.4	4.0	4/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	5YR5/6 明赤褐	10YR4/2 灰黄褐	ヨコナデ,ヘラミガキ,オサエ	ハケメ,マメツ	
869	SRa04	B3区南	14	弥生土器 鉢	11.4	-	-	口縁部4/8	石英・長石(大)少	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	オサエ,ナデ	オサエ,ナデ	
870	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	5Y6/1 灰	7.5YR8/6 浅黄橙	回転ナデ,ナデ	ナデ	
871	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部5/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	7.5YR7/3 にぶい橙	ナデ,回転ヘラケズリ	ナデ	
872	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	ナデ	ナデ	
873	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR7/6 橙	ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ	回転ナデ	
874	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	13.7	1.6	-	口縁部7/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	ナデ,回転ヘラケズリ	回転ナデ	
875	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	13.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
876	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	16.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
877	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	19.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
878	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯蓋	24.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
879	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	13.9	4.4	9.0	口縁部1/8	石英・長石(中),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
880	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	11.5	4.4	9.0	底部1/8	石英・長石(小)微	N4/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	貼付高台
881	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(中)多,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
882	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	9.9	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
883	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	13.0	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N5/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
884	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	12.0	底部小片	石英・長石(小)少	N4/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
885	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	9.2	底部2/8	石英・長石(小)	2.5Y8/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
886	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	10.9	底部1/8	石英・長石(小)少	10Y7/1 灰白	10Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
887	SRa04	B3区南	14	須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
888	SRa04	B3区南	14	土師器 皿	20.4	2.2	18.3	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(中)微	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾐｶﾞｷ	
889	SRa04	B3区南	14	土師器 皿	19.8	2.4	17.4	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)微	5YR7/6 橙	5YR7/6 橙	ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
890	SRa04	B3区南	14	須恵器 皿	14.0	1.6	11.0	1/8	石英・長石(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
891	SRa04	B3区南	14	須恵器 皿	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
892	SRa04	B3区南	14	須恵器 壺	8.5	-	-	口縁部8/8	石英・長石(小),黒色粒(中)	N7/ 灰白	2.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	内面自然釉がかかる
893	SRa04	B3区南	14	須恵器 壺	-	-	-	小片	石英・長石(小),赤色粒(中)微,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	外面自然釉がかかる
894	SRa04	B3区南	14	土師器 甕	-	-	-	把手部	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	7.5YR7/6 橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ｵｻｴ	
895	SRa04	B3区南	15	弥生土器 鉢	19.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)多	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ	
896	SRa04	B3区南	15	弥生土器 鉢	15.8	-	-	口縁部3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾊｹﾒ	
897	SRa04	B3区南	15	須恵器 杯蓋	16.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
898	SRa04	B3区南	15	須恵器 杯蓋	17.4	-	-	口縁部4/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
899	SRa04	B3区南	16	弥生土器 壺	27.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(中)少,雲母(小)多	10YR6/6 明黄褐	10YR6/6 明黄褐	凹線,ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
900	SRa04	B3区南	16	弥生土器 壺	21.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
901	SRa04	B3区南	16	弥生土器 壺	16.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/6 明褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
902	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	22.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)多	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	
903	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	15.4	-	-	口縁部3/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	5YR5/8 明赤褐	5YR5/8 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾏﾒﾂ	
904	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	18.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
905	SRa04	B3区南	16	弥生土器 小型甕	11.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR4/4 褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
906	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	13.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 にぶい赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
907	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	13.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,雲母(小)多	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR6/6 明黄褐	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
908	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	17.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
909	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	13.8	-	-	口縁部5/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少,雲母(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR4/3 褐	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	
910	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	12.0	15.6	2.6	3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
911	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	13.6	-	-	口縁部3/8	石英・長石(大),雲母(小)微	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	
912	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	14.8	25.6	5.4	3/8	石英・長石(中),赤色粒(中),雲母(小)	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ,ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾏﾒﾂ	下川津B類
913	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甕	-	-	-	体部3/8	石英・長石(中)多,雲母(小)多	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾊｹﾒ	ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	
914	SRa04	B3区南	16	土師器 甕	-	-	-	4/8	石英・長石(中),赤色粒(中)微,雲母(小)多	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ｵｻｴ	
915	SRa04	B3区南	16	土師器 甕	-	-	-	底部8/8	石英・長石(中),雲母(小)少	5YR6/6 橙	7.5YR7/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	輪積痕
916	SRa04	B3区南	16	弥生土器 高杯	9.0	8.7	8.8	脚部3/8	石英・長石(小),雲母(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ,(脚)ﾊｹﾒ	
917	SRa04	B3区南	16	土師器 高杯	-	-	-	接合部4/8	石英・長石(中),赤色粒(小)微,雲母(小)少	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ,(脚)ｼﾎﾞﾘﾒ,板ﾅﾃﾞ	
918	SRa04	B3区南	16	弥生土器 高杯	-	-	13.4	脚部2/8	石英・長石(小)多,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	(脚)ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	穿孔アリ
919	SRa04	B3区南	16	弥生土器 高杯	-	-	14.9	脚部1/8	石英・長石(小),雲母(小)多	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ	(脚)ｵｻｴ後ﾊｹﾒ,ﾖｺﾅﾃﾞ	
920	SRa04	B3区南	16	弥生土器 高杯	-	-	16.0	脚部1/8	石英・長石(中),雲母(小)多	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/4 にぶい黄褐	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	(脚)ﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
921	SRa04	B3区南	16	弥生土器 片口鉢	26.4	-	-	1/8	石英・長石(大)多,赤色粒(中)微,雲母(小)少	7.5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	ﾍﾗﾐｶﾞｷ,ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
922	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	21.2	8.7	5.0	口縁部6/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	5YR6/8 橙	5YR6/6 橙	ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾅﾃﾞ	
923	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ	
924	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	16.8	－	－	口縁部6/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
925	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	17.0	－	－	3/8	石英・長石(小),赤色粒(中)微,雲母(小)多	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
926	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	14.8	－	－	3/8	石英・長石(中),赤色粒(小)少,雲母(小)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	ﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
927	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	－	－	3.4	底部2/8	石英・長石(大)少,赤色粒(小)微,雲母(小)多	7.5YR5/4 にぶい褐	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
928	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	12.0	3.7	4.0	口縁部1/8	石英・長石(小),雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,指ﾅﾃﾞ	
929	SRa04	B3区南	16	弥生土器 鉢	12.7	4.4	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/8 明褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	ﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	
930	SRa04	B3区南	16	弥生土器 甑	16.2	16.9	3.6	6/8	石英・長石(中),雲母(小)	5YR6/6 橙	5YR5/8 明赤褐	ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ,板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ,指ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	穿孔1穴
931	SRa04	B3区南	16	弥生土器 ﾐﾆﾁｭｱ甕	4.4	5.3	1.6	3/8	石英・長石(中),雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/6 明褐	ﾅﾃﾞ,指ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	
932	SRa04	B3区南	16	須恵器 杯蓋	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	10YR5/1 褐灰	10YR6/1 褐灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	自然釉がかかる
933	SRa04	B3区南	16	須恵器 杯	－	－	10.0	底部1/8	石英・長石(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
934	SRa04	B3区南	16	土師器 土鍋	27.8	－	－	口縁部2/8	石英・長石(中),赤色粒(小),雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
939	包含層	A6区	4	土師器 椀	－	－	5.0	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	2.5Y8/2 灰白	5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
940	包含層	A6区	4	京・信楽系陶器 灯明皿	8.1	1.4	3.3	底部8/8	石英・長石(小)微	2.5Y7/4 浅黄	2.5Y8/3 淡黄	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ後施釉	
941	包含層	A6区	4	肥前系陶器 陶胎染付碗	－	－	4.7	底部6/8	石英・長石(小)微	釉)7.5Y7/1 灰白	胎)2.5Y5/1 黄灰	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	削出高台,高台砂目積
942	包含層	A6区	4	土師器 土釜	－	－	－	脚部	石英・長石(小)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ	ｵｻｴ	体部粘土のつなぎ目ｱﾘ
943	包含層	A6区	5	弥生土器 鉢	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)多,赤色粒(小)	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ｵｻｴ	ﾊｹﾒ,ｵｻｴ	
944	包含層	A6区	5	須恵器 杯蓋	－	－	－	2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
945	包含層	A6区	5	須恵器 杯蓋	－	－	－	つまみ部8/8	石英・長石(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
946	包含層	A6区	5	須恵器 杯身	－	－	11.0	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
947	包含層	A6区	5	須恵器 杯	－	－	7.0	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
948	包含層	A6区	5	土師器 椀	12.7	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	ﾏﾒﾂ	
949	包含層	A6区	5	土師器 椀	－	－	5.2	底部2/8	石英・長石(小)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
950	包含層	A6区	5	土師器 小皿	7.8	1.3	6.0	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(中)	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
951	包含層	A6区	5	緑釉陶器 椀	－	－	－	体部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	5Y6/1 灰	7.5Y5/3 灰ｵﾘｰﾌﾞ	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	硬質,緑釉がかかる
952	包含層	A6区	5	緑釉陶器 椀	－	－	－	口縁部小片	石英・長石(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	硬質,緑釉がかかる
953	包含層	A6区	5	白磁 碗	－	－	－	小片	石英・長石(小)微	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	白釉がかかる,内面ﾈｺ描文
954	包含層	A6区	5	須恵器 壺蓋	－	－	－	小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N5/ 灰	7.5Y6/1 灰	ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	自然釉がかかる,内面胎土付着
955	包含層	A6区	5	須恵器 壺	－	－	12.2	底部2/8	石英・長石(中),黒色粒(小)	N4/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	貼付高台
956	包含層	A6区	5・8	土師器 小皿	8.0	1.3	5.2	口縁部2/8	石英・長石(小)少	10YR8/6 黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
957	包含層	A6区	5・8	土師器 小皿	7.8	1.0	6.1	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
958	包含層	A6区	5・8	土師器 小皿	8.1	1.1	6.0	口縁部2/8	石英・長石(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR8/4 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
959	包含層	A6区	5・8	龍泉窯系青磁 碗	－	－	6.0	底部4/8	－	7.5Y8/1 灰白	7.5Y6/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ	回転ﾅﾃﾞ後施釉,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ後施釉	「金玉満堂」,削出高台
960	包含層	A6区	5・8	瓦質土器 甕	－	－	－	体部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N4/ 灰	N5/ 灰	ﾀﾀｷ	ﾊｹﾘ	
961	包含層	A6区	5・8	須恵器 捏鉢	－	－	18.6	底部1/8	石英・長石(中)多,黒色粒(小)	5Y7/1 灰白	5Y6/1 灰	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	十瓶産
962	包含層	A6区	8	弥生土器 壺	17.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ,ﾊｹﾒ	
963	包含層	A6区	8	弥生土器 甕	13.0	－	－	口縁部1/8	石英・長石(中)多,赤色粒(小)微	5YR5/6 明赤褐	2.5Y7/3 浅黄	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ,ｵｻｴ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
964	包含層	A6区	8	弥生土器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/4 にぶい橙	凹線,ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁部ﾍﾗ状工具による線状施文
965	包含層	A6区	8	弥生土器 鉢	25.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)多,雲母(小)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	凹線,ｵｻｴ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	
966	包含層	A6区	8	土師器 杯	14.9	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
967	包含層	A6区	8	土師器 杯	14.5	2.9	8.3	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
968	包含層	A6区	8	土師器 杯	10.9	2.5	5.8	底部7/8	石英・長石(中),赤色粒(小)多	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
969	包含層	A6区	8	土師器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/3 浅黄	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
970	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	ﾖｺﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
971	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	ﾖｺﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
972	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部5/8	石英・長石(小)少	5Y8/1 灰白	2.5Y8/3 淡黄	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	
973	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	16.6	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
974	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	17.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	5B5/1 青灰	5B5/1 青灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
975	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	17.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	10Y5/1 灰	10Y6/1 灰	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
976	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	17.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
977	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	18.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
978	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	15.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	10Y6/1 灰	10Y6/1 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
979	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	16.3	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
980	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
981	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
982	包含層	A6区	8	須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
983	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	11.5	底部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)微	10Y6/1 灰	10Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
984	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	9.5	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
985	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	9.1	底部3/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
986	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	9.6	底部1/8	石英・長石(小)少	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
987	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	10.0	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	2.5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	貼付高台
988	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	9.8	底部1/8	石英・長石(小)少	5Y6/1 灰	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
989	包含層	A6区	8	須恵器 杯身	-	-	7.4	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台,積上痕ｱﾘ
990	包含層	A6区	8	須恵器 杯	10.9	3.6	8.4	底部2/8	石英・長石(小)微	N4/ 灰	5PB6/1 青灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
991	包含層	A6区	8	須恵器 杯	17.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)多	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
992	包含層	A6区	8	須恵器 杯	16.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
993	包含層	A6区	8	須恵器 杯	15.6	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
994	包含層	A6区	8	須恵器 杯	15.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
995	包含層	A6区	8	須恵器 杯	13.6	-	9.5	底部1/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
996	包含層	A6区	8	須恵器 杯	14.5	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y8/2 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
997	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	10.0	底部1/8	石英・長石(小)	10Y7/1 灰白	10Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
998	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	8.0	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
999	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	8.3	底部3/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
1000	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	7.2	底部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1001	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	6.2	底部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ,底部板目状圧痕

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
1002	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1003	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微	5Y5/1 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1004	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),黒色粒(小)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1005	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1006	包含層	A6区	8	須恵器 小皿	8.0	1.3	6.0	底部3/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N8/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
1007	包含層	A6区	8	須恵器 杯	13.7	-	7.3	2/8	石英・長石(小)	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1008	包含層	A6区	8	須恵器 杯	-	-	8.2	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
1009	包含層	A6区	8	須恵器 皿	14.8	2.9	11.1	2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
1010	包含層	A6区	8	須恵器 皿	14.0	2.1	10.7	底部2/8	石英・長石(小)多	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
1011	包含層	A6区	8	須恵器 皿	13.7	2.2	11.0	口縁部1/8	石英・長石(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1012	包含層	A6区	8	須恵器 皿	12.6	1.8	9.0	口縁部1/8	石英・長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1013	包含層	A6区	8	土師器 椀	14.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)微	5YR7/6 橙	5YR6/6 橙	ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾅﾃﾞ後ｵｻｴ	
1014	包含層	A6区	8	須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/2 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	西村産
1015	包含層	A6区	8	土師器 椀	-	-	-	底部3/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微	10YR8/3 浅黄橙	7.5YR8/4 浅黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	貼付高台
1016	包含層	A6区	8	黒色土器A類 椀	-	-	7.8	底部2/8	石英・長石(中)少,赤色粒(小)少	7.5YR7/6 橙	7.5YR3/1 黒褐	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	貼付高台
1017	包含層	A6区	8	緑釉陶器 椀	15.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	10Y7/2 灰白	10Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	硬質,緑釉がかかる
1018	包含層	A6区	8	緑釉陶器 椀	-	-	5.0	底部1/8	黒色粒(小)少	10Y7/2 灰白	10YR7/4 にぶい黄橙	回転ﾅﾃﾞ後施釉,糸ｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ後施釉	軟質,緑釉がかかる
1019	包含層	A6区	8	緑釉陶器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ	硬質,緑釉がかかる
1020	包含層	A6区	8	須恵器 高杯	-	-	5.6	脚部1/8	石英・長石(中)	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	(脚)回転ﾅﾃﾞ	
1021	包含層	A6区	8	須恵器 壺	18.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1022	包含層	A6区	8	須恵器 壺	11.6	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N3/ 暗灰	N3/ 暗灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1023	包含層	A6区	8	須恵器 壺	12.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(中)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1024	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	7.0	底部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/3 にぶい褐	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
1025	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	4.3	底部3/8	石英・長石(中),黒色粒(小)微	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1026	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	6.4	底部1/8	石英・長石(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1027	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	-	頸部4/8	石英・長石(小)	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
1028	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	-	頸部8/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ	
1029	包含層	A6区	8	須恵器 壺	-	-	14.3	底部2/8	石英・長石(中)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,ﾅﾃﾞ	貼付高台
1030	包含層	A6区	8	須恵器 甕	24.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1031	包含層	A6区	8	須恵器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1032	包含層	A6区	8	須恵器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)多	7.5R4/2 灰赤	N4/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1033	包含層	A6区	8	土師器 甕	23.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1034	包含層	A6区	8	土師器 甕	34.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中)	7.5YR6/3 にぶい褐	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ,ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ,ﾏﾒﾂ	
1035	包含層	A6区	8	須恵質 円面硯	-	-	-	体部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	ｹｽﾞﾘ,回転ﾅﾃﾞ	
1036	包含層	A6区	8	土師質 管状土錘	3.8	1.6	0.6	8/8	石英・長石(中)多,雲母(小)少	10YR5/2 灰黄褐	10YR5/2 灰黄褐	指ﾅﾃﾞ	-	
1037	包含層	A6区	8	土師質 管状土錘	3.2	1.4	0.6	7/8	石英・長石(中),雲母(小)少	10YR3/1 黒褐	-	ｵｻｴ,指ﾅﾃﾞ	-	
1039	包含層	A6区		須恵器 杯身	11.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)微	2.5Y6/1 黄灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1040	包含層	A6区		須恵器 杯身	-	-	11.4	底部3/8	石英・長石(小)	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	残存率	胎土	色調 外面(釉)	内面(胎土)	調整 外面	内面	備考
1041	包含層	A6区		土師器 椀	-	-	6.0	底部2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微	2.5Y8/3 淡黄	5YR7/6 橙	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1042	包含層	A6区		黒色土器A類 椀	14.6	5.3	5.5	底部4/8	石英・長石(小),赤色粒(中)多	10YR8/2 灰白	2.5Y3/1 黒褐	回転ナデ,回転ナデ後オサエ,ヨコナデ	回転ナデ後ヘラミガキ	貼付高台
1043	包含層	A6区		黒色土器A類 椀	-	-	5.3	底部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	2.5Y8/1 灰白	N4/ 灰	ヘラミガキ,オサエ,ヨコナデ	ヘラミガキ	貼付高台
1044	包含層	A6区		黒色土器A類 椀	-	-	6.1	底部1/8	石英・長石(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	N2/ 黒	回転ナデ,ヨコナデ	マメツ	貼付高台
1045	包含層	A6区		瓦器 椀	-	-	5.4	底部3/8	石英・長石(中)少	7.5Y5/1 灰	7.5Y4/1 灰	オサエ,ヨコナデ	マメツ	貼付高台
1046	包含層	A6区		白磁 碗	-	-	6.8	底部1/8	石英・長石(小)少	釉)2.5Y6/3 にぶい黄	胎)2.5Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉,回転ヘラケズリ	回転ナデ後施釉	中国産,横田・森田Ⅳ類,削出高台
1047	包含層	A6区		青磁 碗	-	-	-	小片	-	釉)2.5Y5/3 黄褐	胎)2.5Y7/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	中国産
1048	包含層	A6区		白磁 碗	-	-	-	小片	石英・長石(小)微	釉)2.5GY 8/1灰白	胎)5Y8/1 灰白	回転ナデ後施釉	回転ナデ後施釉	中国産,横田・森田Ⅴ類,内面櫛描文
1049	包含層	A6区		須恵器 高杯	-	-	-	接合部8/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	7.5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ	(脚)シボリメ,回転ナデ	
1050	包含層	A6区		須恵器 壺	-	-	9.2	底部2/8	石英・長石(小)多,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ,貼付高台
1051	包含層	A6区		土師器 羽釜	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中),赤色粒(小)微	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ	回転ナデ,板ナデ	
1073	包含層	B2区		弥生土器 壺	14.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少,雲母(小)少	5YR5/6 明赤褐	10YR5/4 にぶい黄褐	ナデ,板ナデ,ハケメ	ナデ,オサエ,ハケメ後板ナデ	
1074	包含層	B2区		弥生土器 甕	16.7	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/8 橙	ナデ,ハケメ,タタキ後ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ,ハケメ後オサエ,ハケメ	
1075	包含層	B2区		弥生土器 甕	-	-	2.9	底部8/8	石英・長石(大)多,雲母(小)微	5YR6/6 橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ハケメ	ヘラケズリ,オサエ	
1076	包含層	B2区		弥生土器 鉢	9.2	6.6	1.4	底部8/8	石英・長石(小),雲母(小)少	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	ハケメ,ナデ	ハケメ後ヘラミガキ	
1077	包含層	B2区		弥生土器 甑	-	-	2.5	底部6/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少,雲母(小)少	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	タタキ後板ナデ後ナデ	ヘラケズリ	穿孔2穴
1078	包含層	B2区		須恵器 杯身	10.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1079	包含層	B2区		須恵器 杯蓋	19.3	3.5	-	つまみ部8/8	石英・長石(中)少	5Y6/1 灰	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ,ナデ	
1080	包含層	B2区		須恵器 杯蓋	16.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1081	包含層	B2区		須恵器 杯蓋	14.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	ヘラケズリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
1082	包含層	B2区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ,ナデ	
1083	包含層	B2区		須恵器 杯身	15.2	3.7	11.0	底部3/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	回転ナデ	回転ナデ	貼付高台
1084	包含層	B2区		須恵器 杯身	16.7	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	回転ナデ	回転ナデ	
1085	包含層	B2区		須恵器 杯身	13.0	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1086	包含層	B2区		須恵器 杯身	-	-	10.2	底部1/8	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,回転ヘラケズリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1087	包含層	B2区		須恵器 杯身	-	-	-	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1088	包含層	B2区		須恵器 杯	13.0	3.3	9.0	口縁部1/8	石英・長石(中)少,黒色粒(小)微	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	火ダスキ
1089	包含層	B2区		須恵器 杯	13.0	3.9	10.0	底部小片	石英・長石(小)少	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
1090	包含層	B2区		土師器 杯	11.8	3.9	7.6	口縁部1/8	石英・長石(小)微	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1091	包含層	B2区		須恵器 高杯	-	-	-	接合部3/8	石英・長石(中)少,黒色粒(小)少	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	回転ナデ	回転ナデ (脚)回転ナデ	
1092	包含層	B2区		須恵器 壺	12.7	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1093	包含層	B2区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	ナデ	ナデ	
1094	包含層	B2区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(大)多,赤色粒(中)微,雲母(小)少	5YR6/8 橙	7.5YR5/4 にぶい褐	ナデ	板ナデ後ナデ	
1095	包含層	B2区		須恵器 器種不明	5.0	7.8	3.1	小片	石英・長石(中)少,黒色粒(小)多	N6/ 灰	N6/ 灰	ナデ,ヘラキリ,ハケメ	-	火ダスキ
1098	包含層	B3区北	5・6	土師器 椀	-	-	5.5	底部2/8	石英・長石(小)少	2.5Y8/4 淡黄	2.5Y8/3 淡黄	ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	貼付高台
1099	包含層	B3区北	5・6	土師器 椀	-	-	5.4	底部4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微	10YR6/6 明黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	貼付高台
1100	包含層	B3区北	5・6	土師器 椀	-	-	5.0	底部6/8	石英・長石(小)	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/3 淡黄	ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	貼付高台
1101	包含層	B3区北	5・6	土師器 脚付皿	7.3	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	ヨコナデ,ヘラケズリ,ナデ	ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
1102	包含層	B3区北	5·6	須恵器 壺	-	-	-	高台部1/8	石英·長石(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1103	包含層	B3区北	5·6	瓦質土器 摺鉢	-	-	-	底部小片	石英·長石(小)	N5/ 灰	N4/ 灰	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	ｵﾛｼﾒ,ﾏﾒﾂ	
1104	包含層	B3区北	5·6	土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英·長石(小),赤色粒(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	(脚)板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1105	包含層	B3区北	5·6	瓦質土器 茶釜	-	-	-	小片	石英·長石(小)少	2.5Y3/1 黒褐	2.5Y4/1 黄灰	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1106	包含層	B3区北	7·8	須恵器 杯	13.0	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)微,黒色粒(小)微	10Y7/1 灰白	10Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1107	包含層	B3区北	7·8	須恵器 杯	17.0	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)少,黒色粒(小)少	7.5Y5/1 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1108	包含層	B3区北	7·8	土師器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)少	10YR8/4 浅黄橙	10YR7/6 明黄褐	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1109	包含層	B3区北	7·8	黒色土器A類 椀	-	-	7.6	底部1/8	石英·長石(小)少,赤色粒(小)微	7.5YR7/6 橙	2.5Y3/1 黒褐	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
1110	包含層	B3区北	7·8	土師器 小皿	7.9	1.1	6.2	底部1/8	石英·長石(小)微,赤色粒(小)	10YR8/3 浅黄橙	7.5YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1111	包含層	B3区北	9·10	須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1112	包含層	B3区北	9·10	須恵器 杯身	17.8	-	-	口縁部1/8	石英·長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1113	包含層	B3区北	9·10	須恵器 杯身	-	-	10.0	底部小片	石英·長石(小)微,赤色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1114	包含層	B3区北	9·10	土師器 杯	-	-	7.2	底部4/8	石英·長石(小)少,赤色粒(小)微	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ,ﾅﾃﾞ	
1115	包含層	B3区北	10	土師器 杯	-	-	6.0	底部2/8	石英·長石(小)少	5YR7/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1116	包含層	B3区北	9·10	須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	火ﾀﾞｽｷ
1117	包含層	B3区北	9·10	黒色土器B類 椀	16.0	-	-	口縁部1/8	石英·長石(小)	5Y4/1 灰	5Y3/1 ｵﾘｰﾌﾞ黒	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1118	包含層	B3区北	9·10	須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)微,赤色粒(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1119	包含層	B3区北	10	土師器 皿	13.8	-	-	口縁部1/8	石英·長石(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1120	包含層	B3区北	10	土師器 小皿	9.2	1.3	7.0	口縁部1/8	石英·長石(小),赤色粒(中)	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ	ﾅﾃﾞ	
1121	包含層	B3区北	9·10	須恵器 壺	19.5	-	-	口縁部1/8	石英·長石(中)少,赤色粒(小)少,黒色粒(小)少	5Y8/2 灰白	5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ,ﾏﾒﾂ	回転ﾅﾃﾞ	
1122	包含層	B3区北	9·10	須恵器 壺	-	-	-	頸部1/8	石英·長石(小)少,黒色粒(小)少	10YR5/1 褐灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ	
1123	包含層	B3区北	9·10	須恵器 壺	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(中)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	一部自然釉がかかる
1124	包含層	B3区北	9·10	土師器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(中),雲母(小)微	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1125	包含層	B3区北	9·10	土師器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小),赤色粒(小)微	10YR6/6 明黄褐	10YR7/3 にぶい黄橙	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1126	包含層	B3区北		須恵器 甕	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)微,黒色粒(小)少	10YR3/1 黒褐	2.5YR5/1 赤灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	自然釉がかかる
1127	包含層	B3区北		須恵器 甕	-	-	-	頸部小片	石英·長石(中)多,黒色粒(小)微	5PB6/1 青灰	5PB6/1 青灰	ﾅﾃﾞ,ﾀﾀｷ	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ,当て具痕後ﾅﾃﾞ	
1131	包含層	B3区南	4	須恵器 杯蓋	17.6	-	-	口縁部1/8	石英·長石(小)少,黒色粒(小)	5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	一部自然釉がかかる
1132	包含層	B3区南	4	須恵器 杯身	-	-	10.1	底部小片	石英·長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1133	包含層	B3区南	4·6	須恵器 杯身	-	-	9.9	底部1/8	石英·長石(小)少,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1134	包含層	B3区南	4	須恵器 杯身	-	-	-	底部小片	石英·長石(小)少	N4/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1135	包含層	B3区南	4	黒色土器A類 椀	-	-	6.2	底部7/8	石英·長石(小)微,赤色粒(小)微	2.5Y8/2 灰白	2.5Y4/1 黄灰	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	貼付高台
1136	包含層	B3区南	4	緑釉陶器 椀	-	-	-	小片	石英·長石(小)微	2GY6/5 黄みのふかい黄緑	N5/ 灰	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	硬質
1137	包含層	B3区南	4	陶器 碗	13.6	-	-	口縁部1/8	石英·長石(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1138	包含層	B3区南	4	土師器 皿	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小)少	2.5Y7/4 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1139	包含層	B3区南	4	須恵器 皿	-	-	-	口縁部小片	石英·長石(小),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1140	包含層	B3区南	4	須恵器 皿	24.4	-	-	口縁部小片	石英·長石(小),黒色粒(中)	5Y7/1 灰白	5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1141	包含層	B3区南	4	須恵器 壺	-	-	14.8	底部小片	石英·長石(小)少,黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y6/1 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1142	包含層	B3区南	4	土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英·長石(小)多,赤色粒(小)少	7.5YR7/3 にぶい橙	-	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	-	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
1143	包含層	B3区南	4	土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(大)多	10YR7/3 にぶい黄橙	-	板ナデ,ナデ	-	
1144	包含層	B3区南	4	土師質 管状土錘	4.4	1.5	0.7	8/8	石英・長石(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	-	ナデ	-	スジ状の窪みアリ
1150	包含層	B6区		弥生土器 鉢	17.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,雲母(小)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ	ヨコナデ,ハケメ	
1151	包含層	B6区		土師器 杯	14.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/2 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1152	包含層	B6区		土師器 小皿	8.2	1.5	5.1	口縁部2/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1153	包含層	B6区		須恵器 杯蓋	15.1	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラキリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
1154	包含層	B6区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1155	包含層	B6区		須恵器 杯身	-	-	10.4	底部2/8	石英・長石(小)	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1156	包含層	B6区		須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
1157	包含層	B6区		須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	火ダスキ
1158	包含層	B6区		黒色土器A類 椀	14.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y3/1 黒褐	ナデ	ヘラミガキ	
1159	包含層	B6区		黒色土器A類 椀	-	-	5.8	底部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	10YR8/2 灰白	N3/ 暗灰	ヨコナデ	ヘラミガキ	貼付高台
1160	包含層	B6区		施釉陶器 壺蓋	-	-	-	1/8	-	釉)5Y8/1 灰白,5Y2/1 黒	胎)10YR7/3 にぶい黄橙	回転ナデ後施釉	回転ナデ	
1161	包含層	B6区		須恵器 甕	21.4	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ,ナデ	
1162	包含層	B6区		須恵器 壺	-	-	11.2	底部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,黒色粒(小)少	2.5Y6/2 灰黄	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	貼付高台,外面自然釉
1163	包含層	B6区		土師器 摺鉢	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),赤色粒(小)	10YR8/1 灰白	10YR8/1 灰白	ナデ,オサエ後ナデ,ハケメ後ナデ	ナデ,ハケメ後オロシ目	
1167	包含層	D7区		弥生土器 壺	-	-	-	小片	石英・長石(中)多,雲母(小)少	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR4/1 褐灰	貼付突帯後キザミ目,ハケメ・マメツ	オサエ,ヘラケズリ	
1168	包含層	D7区		弥生土器 壺	-	-	2.3	底部8/8	石英・長石(中)多,雲母(小)	5YR4/3 にぶい赤褐	2.5Y3/1 黒褐	ハケメ,ナデ	板ナデ	
1169	包含層	D7区		弥生土器 甕	14.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少,雲母(小)多	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/3 にぶい黄橙	ナデ,ハケメ・マメツ	ナデ,オサエ,ヘラケズリ	
1170	包含層	D7区		弥生土器 甕	12.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少,雲母(小)多	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,タタキ後ハケメ	ヨコナデ,ハケメ	
1171	包含層	D7区		弥生土器 甕	12.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	7.5YR7/4 にぶい橙	10YR7/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ,マメツ	ヨコナデ,板ナデ	
1172	包含層	D7区		弥生土器 甕	15.8	-	-	頸部1/8	石英・長石(小)多,赤色粒(小)少,雲母(小)多,角閃石(小)少	2.5Y5/1 黄灰	10YR7/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,オサエ後ナデ,ハケメ	ヨコナデ,オサエ後ナデ	
1173	包含層	D7区		弥生土器 甕	12.6	27.3	6.5	5/8	石英・長石(小),赤色粒(中),雲母(小)多,角閃石(小)極多	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	ヨコナデ,ハケメ,ヘラミガキ,ナデ	ヨコナデ,ハケメ,オサエ,ヘラケズリ	下川津B類
1174	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N4/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1175	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	ナデ,ヘラケズリ	ナデ	
1176	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1177	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部8/8	石英・長石(小)少	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	マメツ	マメツ	
1178	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	つまみ部4/8	石英・長石(中)多	2.5Y8/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	マメツ	マメツ	
1179	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	13.3	-	-	1/8	石英・長石(中)多,黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1180	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	16.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1181	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	16.9	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1182	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	17.0	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1183	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	18.0	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1184	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ヘラケズリ,回転ナデ	回転ナデ	
1185	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ヘラケズリ後ナデ,回転ナデ	回転ナデ	
1186	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1187	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	
1188	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
1189	包含層	D7区		須恵器 杯蓋	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1190	包含層	D7区		須恵器 杯身	17.8	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N4/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1191	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	12.4	底部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)微,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1192	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	12.8	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
1193	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	11.0	底部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ	回転ナデ	貼付高台
1194	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	10.8	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N4/ 灰	N7/ 灰白	ナデ,回転ヘラキリ	ナデ	貼付高台
1195	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	9.0	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微,黒色粒(小)微	N5/ 灰,2.5YR5/3 にぶい赤褐	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
1196	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(中)微,赤色粒(小)微	N5/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1197	包含層	D7区		須恵器 杯身	14.2	4.7	9.7	底部2/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1198	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	9.1	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
1199	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	10.0	底部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	5B6/1 青灰	5B6/1 青灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	貼付高台
1200	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	8.0	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1201	包含層	D7区		須恵器 杯身	-	-	8.6	底部2/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1202	包含層	D7区		須恵器 杯	11.8	3.8	8.4	底部3/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	火ダスキ
1203	包含層	D7区		須恵器 杯	11.7	3.4	8.6	2/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	N5/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1204	包含層	D7区		須恵器 杯	13.7	3.0	10.0	底部1/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	7.5Y6/1 灰	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	内面自然釉がかかる
1205	包含層	D7区		須恵器 杯	13.4	3.4	9.6	底部4/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
1206	包含層	D7区		須恵器 杯	-	-	8.0	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	N6/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1207	包含層	D7区		須恵器 杯	-	-	-	底部小片	石英・長石(中)少,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	火ダスキ
1208	包含層	D7区		須恵器 杯	-	-	-	小片	石英・長石(小)微,黒色粒(中)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1209	包含層	D7区		須恵器 杯	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1210	包含層	D7区		土師器 杯	-	-	6.1	底部3/8	石英・長石(小),赤色粒(小)少	5YR7/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	ナデ,ヘラキリ後ナデ	ナデ	
1211	包含層	D7区		土師器 杯	14.8	-	-	口縁部1/8	石英・長石(大),赤色粒(中)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	ヨコナデ,マメツ	ヨコナデ,マメツ	
1212	包含層	D7区		土師器 椀	15.0	-	-	口縁部1/8	赤色粒(小)少	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	回転ナデ	回転ナデ	
1213	包含層	D7区		土師器 椀	13.2	-	-	口縁部1/8	石英・長石(小),赤色粒(小)	7.5YR7/2 明褐灰	7.5YR7/2 明褐灰	回転ナデ	回転ナデ	
1214	包含層	D7区		土師器 椀	-	-	6.8	底部4/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)多,黒色粒(小)	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	ナデ	ナデ	貼付高台
1215	包含層	D7区		須恵器 椀	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1216	包含層	D7区		須恵器 椀	-	-	5.9	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)少	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	貼付高台
1217	包含層	D7区		黒色土器A類 椀	-	-	8.8	底部2/8	石英・長石(小),赤色粒(小)微	2.5Y7/2 灰黄	5Y3/1 オリーブ黒	マメツ,ナデ	ヘラミガキ	貼付高台
1218	包含層	D7区		須恵器 皿	18.8	2.3	16.3	口縁部小片	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	
1219	包含層	D7区		須恵器 皿	15.8	2.1	13.1	口縁部1/8	石英・長石(小)微,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	
1220	包含層	D7区		須恵器 皿	15.4	2.1	12.8	口縁部1/8	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少,黒色粒(小)多	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ	回転ナデ	
1221	包含層	D7区		須恵器 皿	15.4	1.9	12.0	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	火ダスキ
1222	包含層	D7区		須恵器 皿	-	-	10.0	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)微	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	火ダスキ
1223	包含層	D7区		須恵器 皿	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ,ヘラキリ	回転ナデ	
1224	包含層	D7区		須恵器 皿	-	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)	N4/ 灰	N4/ 灰	回転ナデ,回転ヘラキリ	回転ナデ	
1225	包含層	D7区		須恵器 小皿	9.2	1.4	6.8	底部1/8	石英・長石(小)少	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y7/1 灰白	回転ナデ,ヘラキリ後ナデ	回転ナデ	
1226	包含層	D7区		須恵器 高杯	-	-	-	脚部小片	石英・長石(小),黒色粒(小)	N5/ 灰	N5/ 灰	回転ナデ	(脚)シボリメ,ヨコナデ	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			残存率	胎土	色調		調整		備考
					口径	器高	底径			外面(釉)	内面(胎土)	外面	内面	
1227	包含層	D7区		須恵器 高杯	-	-	9.4	脚部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(中)	2.5Y7/1 灰白	10YR7/1 灰白	回転ﾅﾃﾞ	(脚)回転ﾅﾃﾞ	
1228	包含層	D7区		須恵器 壺	-	-	6.4	底部2/8	石英・長石(小),黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	
1229	包含層	D7区		須恵器 壺	-	-	6.0	底部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1230	包含層	D7区		緑釉陶器 椀	-	-	6.3	底部2/8	石英・長石(小)少	釉)7.5Y7/2 灰白,7.5Y4/3 暗ｵﾘｰﾌﾞ	胎)10YR8/3 浅黄橙	回転ﾅﾃﾞ後施釉(釉ﾊｸﾘ)	回転ﾅﾃﾞ後施釉	貼付高台,軟質
1231	包含層	D7区		肥前系磁器 青磁染付碗	-	-	-	1/8	-	釉)外:10GY7/1 明緑灰,内:2.5GY8/1 灰白 染付)内:6BP4/12 さえた青紫,底:8.5B4/4 にぶい青	胎)5Y8/1 灰白	染付・施釉	染付・施釉	削出高台
1232	包含層	D7区		肥前系磁器 小杯	-	-	3.3	底部4/8	黒色粒(小)微	釉)N7/ 灰白,染付)7.5Y5/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ	胎)N8/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ後染付・施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	
1233	包含層	D7区		肥前系陶器 鉢	-	-	-	小片	石英・長石(小)微	釉)10Y7/1 灰白	胎)2.5Y8/2 灰白	回転ﾅﾃﾞ後施釉	回転ﾅﾃﾞ後施釉	
1234	包含層	D7区		須恵器 壺	21.4	-	-	口縁部1/8	石英・長石(中),黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1235	包含層	D7区		須恵器 壺	20.2	-	-	口縁部2/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)少	10Y3/1 ｵﾘｰﾌﾞ黒	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ,格子目ﾀﾀｷ	回転ﾅﾃﾞ,当て具痕,ﾅﾃﾞ	口縁部に自然釉がかかる
1236	包含層	D7区		須恵器 壺	-	-	14.1	底部1/8	石英・長石(小)少,黒色粒(小)	N6/ 灰	N6/ 灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1237	包含層	D7区		須恵器 壺	-	-	10.2	底部2/8	石英・長石(小)微,赤色粒(小)微,黒色粒(小)少	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ,回転ﾍﾗｷﾘ	回転ﾅﾃﾞ	貼付高台
1238	包含層	D7区		須恵器 鉄鉢	23.0	-	-	1/8	石英・長石(小)少	5PB6/1 青灰	5PB6/1 青灰	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ,回転ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
1239	包含層	D7区		須恵器 鉢	13.2	-	-	口縁部小片	石英・長石(小)微,黒色粒(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1240	包含層	D7区		土師器 土釜	-	-	-	脚部	石英・長石(小)多,赤色粒(小),雲母(小)少	10YR7/3 にぶい黄橙	-	ｵｻｴ後ﾅﾃﾞ,板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	-	
1241	包含層	D7区		土師質 竈	-	-	-	小片	石英・長石(大)多,赤色粒(小)少	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	ｵｻｴ,ﾅﾃﾞ	

第7表　西末則遺跡出土瓦観察表

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	法量(cm)			胎土	色調		調整		備考
					現存長	最大幅	最大厚		凹面	凸面	凹面	凸面	
207	下位包含層	B9区		瓦質　平瓦	－	－	1.7	石英・長石(小)少,赤色粒(小),黒色粒(小)	5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	布目	ﾀﾀｷ	
208	下位包含層	B9区		瓦質　平瓦	－	－	1.5	石英・長石(中),赤色粒(小)少,黒色粒(小)微	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	布目	ﾀﾀｷ	
248	包含層	B10区		須恵質　平瓦	－	－	1.6	石英・長石(中)多,黒色粒(小)多	7.5Y6/1 灰	7.5Y6/1 灰	布目	ﾀﾀｷ	
249	包含層	B9区		瓦質　平瓦	－	－	1.8	石英・長石(小),赤色粒(小),黒色粒(小)微	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	布目	ﾀﾀｷ	
350	SDa15	B6区	下層	須恵質　平瓦	－	－	1.7	石英・長石(中),赤色粒(小)少,黒色粒(中)	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	布目	ﾀﾀｷ	
358	SDa15	B6区		瓦質　軒平瓦	－	－	1.5	石英・長石(小)少,雲母(小)少	N3/ 暗灰	N3/ 暗灰	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
463	SRa01	B6区		須恵質　平瓦	－	－	2.0	石英・長石(中)多,赤色粒(小)少,黒色粒(中)	N6/ 灰	N6/ 灰	ﾍﾗｷﾘ,布目	ﾀﾀｷ	
464	SRa01	B6区		須恵質　丸瓦	－	－	2.2	石英・長石(小)	N7/ 灰白	N7/ 灰白	ﾏﾒﾂ	ｹｽﾞﾘ	
465	SRa01	B6区		須恵質　丸瓦	－	－	2.0	石英・長石(中)	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	布目	板ﾅﾃﾞ	
1038	包含層	A6区	8	土師質　平瓦	－	－	2.9	石英・長石(小)少,赤色粒(小)少	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y6/2 灰黄	布目	ﾀﾀｷ	
1052	包含層	A6区		土師質　平瓦	－	－	2.3	石英・長石(小),赤色粒(大)	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	布目	格子目ﾀﾀｷ	
1053	包含層	A6区		瓦質　平瓦	－	－	1.9	石英・長石(中)	7.5Y8/1 灰白	7.5Y8/1 灰白	布目	ﾏﾒﾂ	

第8表　西末則遺跡出土石器観察表

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	材質	法量(cm)			重量(g)	整理備考
						現存長	最大幅	最大厚		
53	SDa05	A8区	下層	石鏃	サヌカイト	2.8	1.9	0.5	1.49	
54	SDa05	B9区	下層	石鏃	サヌカイト	2.6	1.8	0.5	2.29	
55	SDa05	A8区	中層	石鏃 未製品	サヌカイト	3.4	2.1	0.5	3.08	
56	SDa05	B10区	中層	削器	サヌカイト	6.5	5.5	2.2	51.21	石核転用
57	SDa05	A8区	下層	削器	サヌカイト	7.4	7.3	2.5	139.65	
58	SDa05	A8区	下層	削器	サヌカイト	8.2	3.6	0.7	18.28	
59	SDa05	B9区	下層	削器	サヌカイト	7.2	3.3	0.5	15.09	側縁～刃部にマメツ痕
60	SDa05	A8区	下層	削器	サヌカイト	4.3	3.3	0.6	8.32	
61	SDa05	A8区	下層	削器	サヌカイト	5.4	3.3	0.5	9.01	側縁にマメツ痕
62	SDa05	A8区	下層	打製石庖丁	サヌカイト	11.4	5.2	1.0	57.33	側縁にマメツ痕
63	SDa05	A8区		打製石庖丁 未製品	サヌカイト	8.2	5.7	1.8	91.53	
64	SDa05	B9区	下層	打製石庖丁	サヌカイト	8.5	4.5	1.2	48.48	側縁にマメツ痕
65	SDa05	B9区	下層	打製石庖丁	サヌカイト	4.7	5.7	1.1	28.84	
66	SDa05	B9区	下層	打製石斧	サヌカイト	7.5	6.2	1.6	94.87	側縁・器面にマメツ痕
67	SDa05	B10区	中層	打製石斧	サヌカイト	8.1	5.8	2.6	102.96	側縁にマメツ痕
68	SDa05	B9区	上層	打製石斧	サヌカイト	7.3	4.5	1.4	57.50	側縁・器面にマメツ痕
69	SDa05	B9区	中層	打製石斧	サヌカイト	2.9	5.4	0.8	15.65	器面にマメツ痕
70	SDa05	B10区	中層	打製石斧	サヌカイト	5.2	6.1	0.7	35.80	側縁にマメツ痕
71	SDa05	B10区		打製石斧	サヌカイト	5.1	8.6	1.5	83.75	側縁にマメツ痕
72	SDa05	B10区	上層	打製石斧	サヌカイト	4.0	6.7	1.8	53.43	側縁にマメツ痕
73	SDa05	A8区	下層	打製石斧	サヌカイト	5.1	7.2	1.5	57.76	
74	SDa05	A8区	下層	楔形石器の素材	サヌカイト	3.4	3.9	0.6	10.27	刃部・器面にマメツ痕
75	SDa05	A8区	下層	楔形石器	サヌカイト	3.0	1.8	0.6	3.34	側縁・器面にマメツ痕
76	SDa05	A8区	下層	調整ある剥片	サヌカイト	6.1	6.6	0.8	36.13	
77	SDa05	A8区	下層	剥片	サヌカイト	2.4	4.3	0.6	5.98	風化が顕著
78	SDa05	B9区	中層	剥片	安山岩	5.2	4.8	0.9	20.47	
79	SDa05	B9区	下層	石核	サヌカイト	7.7	6.4	1.5	94.38	
102	SDa06	A8区	下層	石鏃	サヌカイト	2.0	1.4	0.3	0.64	
103	SDa06	A8区	下層	槍先形石器	サヌカイト	4.7	3.7	0.6	12.27	側縁・器面にマメツ痕,楔に転用?
104	SDa06	B10区	上層	削器	流紋岩	8.9	5.6	1.6	76.11	
105	SDa06	B10区	上層	打製石斧	サヌカイト	6.1	6.0	2.1	71.85	側縁～刃部にマメツ痕
106	SDa06	B10区	中層	打製石斧	サヌカイト	3.8	6.2	0.8	23.26	側縁にマメツ痕
107	SDa06	B10区	上層	打製石斧	サヌカイト	2.3	2.4	0.2	1.60	マメツ痕顕著
108	SDa06	A8区	下層	打製石斧	サヌカイト	5.0	4.2	0.9	19.82	器面にマメツ痕
109	SDa06	A8区	下層	楔形石器	ハリ質安山岩	2.5	1.0	1.8	4.22	細石刃核?側縁にマメツ痕
110	SDa08	B10区	上層	石鏃	サヌカイト	2.9	1.1	0.5	1.47	
111	SDa08	B10区		打製石庖丁	サヌカイト	7.0	3.7	1.0	31.15	器面・側縁・刃部にマメツ痕
251	下位包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	1.6	1.5	0.3	0.54	
252	上位包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	1.5	1.6	0.4	0.65	
253	下位包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	2.2	1.8	0.3	0.75	
254	下位包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	2.8	1.7	0.3	0.85	

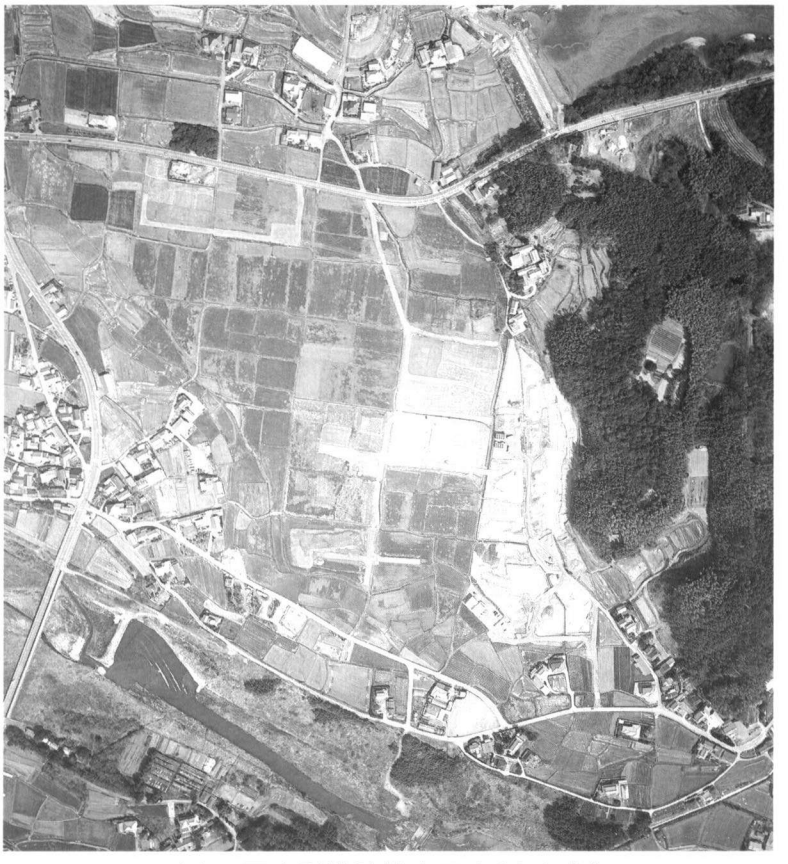
遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	材質	法量(cm)			重量(g)	整理備考
						現存長	最大幅	最大厚		
255	下位包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	2.4	1.5	0.4	0.69	
256	包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	2.1	1.5	0.2	0.49	
257	下位包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	1.7	1.4	0.3	0.43	
258	北西斜面部包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	1.8	1.5	0.3	0.44	
259	包含層	A8区		石鏃	サヌカイト	2.6	1.3	0.4	0.98	
260	包含層	A8区		石鏃	サヌカイト	2.3	1.9	0.6	1.72	
261	上位包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	2.1	1.4	0.3	0.75	
262	下位包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	1.8	1.1	0.3	0.44	
263	包含層	B10区		石鏃	サヌカイト	2.2	1.5	0.4	1.24	
264	包含層	B9区		石鏃	サヌカイト	2.0	1.4	0.3	0.77	
265	包含層	A8区		石鏃	サヌカイト	3.3	1.2	0.3	1.84	
266	包含層	B10区		削器	サヌカイト	3.9	4.2	0.9	15.76	側縁・器面にマメツ痕
267	包含層	B9区		削器	サヌカイト	4.7	3.4	0.9	14.03	器面にマメツ痕,打製石斧転用
268	下位包含層	B10区		削器	サヌカイト	5.8	3.7	1.3	23.00	
269	包含層	B10区		削器	サヌカイト	6.7	2.2	0.6	10.13	
270	包含層	A8区		削器	サヌカイト	5.4	4.3	0.8	20.89	
271	包含層	B10区		打製石庖丁	サヌカイト	8.5	4.1	1.1	49.13	器面・側縁・刃部にマメツ痕
272	包含層	A8区		打製石庖丁	サヌカイト	9.1	4.0	1.1	50.98	器面・側縁にマメツ痕
273	包含層	A8区		打製石庖丁	サヌカイト	6.3	5.0	0.9	28.69	側縁にマメツ痕
274	包含層	A8区		打製石庖丁	サヌカイト	6.4	4.6	1.1	34.20	側縁にマメツ痕
275	下位包含層	B10区		打製石庖丁	サヌカイト	3.0	3.7	0.7	10.09	刃部にマメツ痕
276	包含層	A8区		打製石庖丁	サヌカイト	1.7	3.7	0.7	4.40	
277	上位包含層	B9区		打製石庖丁	サヌカイト	6.9	4.2	0.7	21.72	器面・側縁にマメツ痕
278	上位包含層	B10区		打製石庖丁	サヌカイト	4.1	4.8	7.5	19.05	楔形石器?側縁・刃部にマメツ痕
279	包含層	B10区		磨製石庖丁 未製品	結晶片岩	3.8	4.6	0.8	20.02	
280	下位包含層	B9区		打製石斧	サヌカイト	7.6	6.7	1.9	88.03	器面・側縁にマメツ痕
281	包含層	B9区		打製石斧	サヌカイト	5.5	6.3	1.2	38.45	器面・側縁にマメツ痕
282	包含層	B9区		打製石斧	結晶片岩	8.2	7.6	0.9	89.02	器面にマメツ痕
283	上位包含層	B9区		打製石斧	サヌカイト	4.5	7.1	1.7	67.74	器面・側縁にマメツ痕
284	包含層	A8区		打製石斧	サヌカイト	3.4	4.3	1.0	14.98	器面・側縁にマメツ痕
285	包含層	B9区		打製石斧	サヌカイト	2.4	5.7	0.8	15.62	
286	包含層	B9区		磨製石斧	結晶片岩	10.8	5.0	2.7	215.59	
287	下位包含層	B9区		楔形石器	サヌカイト	3.7	4.6	1.5	27.89	側縁にマメツ痕
288	北西斜面部包含層	B9区		楔形石器	サヌカイト	3.1	2.8	1.1	10.04	側縁にマメツ痕
289	包含層	B9区		楔形石器の削片	サヌカイト	3.6	1.4	0.7	4.19	
290	下位包含層	B9区		剥片	ハリ質安山岩	1.8	3.8	0.6	4.14	
291	包含層	A8区		剥片	サヌカイト	2.7	4.0	0.8	6.22	
292	包含層	A8区		剥片	サヌカイト	4.0	5.3	0.8	14.43	側縁にマメツ痕
293	上位包含層	B10区		剥片	安山岩	4.7	2.6	1.3	13.06	縦長状,側縁にマメツ痕
294	下位包含層	B9区		剥片	安山岩	4.3	3.1	1.1	11.65	縦長状
295	包含層	A8区		石核	サヌカイト	4.1	5.5	1.5	31.66	
296	下位包含層	B9区		石核	サヌカイト	5.6	6.4	1.4	53.45	側縁にマメツ痕

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	材質	法量(cm)			重量(g)	整理備考
						現存長	最大幅	最大厚		
297	上位包含層	B9区		石核	サヌカイト	6.2	5.6	2.0	87.98	打製石斧転用,側縁にマメツ痕
298	包含層	A8区		石核	安山岩	8.8	9.1	14.3	1347.74	
299	上位包含層	B10区		磨石	結晶片岩	8.8	4.3	1.5	85.52	
300	上位包含層	B10区		砥石	流紋岩	8.0	3.4	1.9	41.66	
301	包含層	B10区		砥石	流紋岩	3.6	2.9	1.8	26.54	
306	SDa13	B6区		打製石斧	サヌカイト	11.7	7.2	1.9	166.84	側縁にマメツ痕
315	SDa14	B6区		磨石	砂岩	6.6	5.6	4.9	227.09	
359	SDa15	B6区	最下層	石鏃	サヌカイト	1.8	1.5	0.4	0.89	
360	SDa15	B6区	下層	石鏃	サヌカイト	2.0	1.3	0.3	0.89	
361	SDa15	B6区	最下層	削器	サヌカイト	2.1	4.0	0.6	4.89	石庖丁片?
362	SDa15	B6区	最下層	削器	サヌカイト	5.3	5.1	1.1	33.16	
363	SDa15	A6区	上層	削器	サヌカイト	4.3	4.1	1.5	20.06	
364	SDa15	B6区	下層	削器	サヌカイト	3.8	2.4	0.6	6.50	
365	SDa15	B6区		打製石斧	サヌカイト	8.6	6.4	1.5	73.24	側縁にマメツ痕
366	SDa15	B6区	最下層	楔形石器の素材	サヌカイト	4.1	4.7	1.0	25.80	側縁にマメツ痕
367	SDa15	A6区	上層	調整ある剥片	サヌカイト	2.1	1.6	0.3	0.80	
368	SDa15	B6区	下層	剥片	サヌカイト	3.2	1.1	0.6	1.89	
369	SDa15	A6区	上層	叩き石	砂岩	8.5	7.3	4.0	332.96	
370	SDa15	B6区	下層	叩き石	砂岩	11.2	9.1	5.9	743.40	
406	SXa04	B6区	中層	打製石斧	サヌカイト	8.4	5.6	1.4	65.36	側縁にマメツ痕
407	SXa04	B6区	中層	楔形石器の削片	サヌカイト	8.3	2.5	1.5	21.46	
408	SXa04	B6区	中層	二次加工ある剥片	サヌカイト	4.8	4.7	0.7	10.18	打製石斧?
409	SXa04	B6区	最下層	削器	サヌカイト	3.3	6.4	0.8	13.79	
410	SXa04	B6区	中層	叩き石	砂岩	12.2	8.2	7.5	939.70	
432	SXa09	D7区		楔形石器	サヌカイト	7.3	4.2	1.4	43.97	
433	SXa09	D7区		叩き石	砂岩	7.6	5.6	3.4	192.28	
434	SXa09	D7区		叩き石	砂岩	8.3	6.9	2.2	177.62	
435	SXa09	D7区		磨石	砂岩	15.2	9.8	8.5	1853.37	
436	SXa09	D7区		砥石	流紋岩	24.8	11.8	6.9	2126.53	
466	SRa01	B6区		削器	サヌカイト	6.0	4.4	1.0	25.66	刃部にマメツ痕
467	SRa01	B6区		削器	サヌカイト	6.4	4.4	0.9	30.59	
468	SRa01	B6区		削器	サヌカイト	4.5	2.8	0.7	8.39	
469	SRa01	B6区		打製石斧	サヌカイト	4.0	5.9	1.2	32.50	側縁にマメツ痕
470	SRa01	B6区		二次加工ある剥片	サヌカイト	2.7	3.5	1.1	8.24	
471	SRa01	B6区		二次加工ある剥片	サヌカイト	3.1	2.1	0.7	6.21	側縁にマメツ痕
472	SRa01	B6区		剥片	サヌカイト	6.4	7.3	1.0	54.59	
473	SRa01	B6区		剥片	サヌカイト	3.9	3.7	0.7	7.68	
506	SRa02	A6区	19·28·32以下	石鏃 未製品	サヌカイト	2.8	2.0	0.5	2.85	
507	SRa02	A6区	18	削器	サヌカイト	3.1	3.4	0.6	6.60	器面·側縁にマメツ痕
508	SRa02	A6区	39·40	削器	サヌカイト	3.1	4.7	0.9	8.61	
509	SRa02	A6区	39·40	叩き石	砂岩	13.6	7.5	5.6	927.90	
510	SRa02	A6区	19·28·32以下	叩き石	砂岩	8.7	4.2	3.1	152.43	

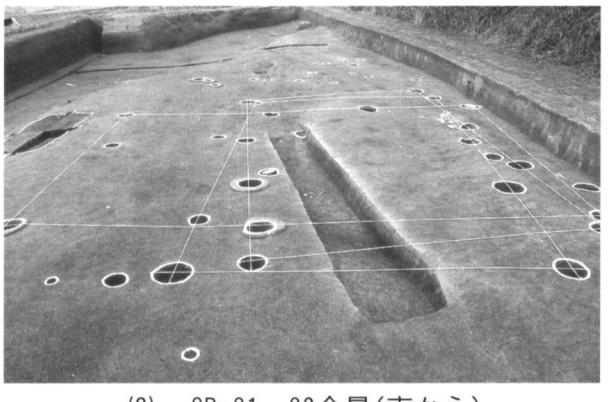
遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	材質	法量(cm)			重量(g)	整理備考
						現存長	最大幅	最大厚		
532	SRa02	B3区北	11·12	石鏃未製品	サヌカイト	2.7	1.6	0.4	1.74	
533	SRa02	B3区北	14	削器	サヌカイト	7.6	3.5	0.8	19.49	
600	SRa02	B6区		石鏃	サヌカイト	3.1	1.5	0.4	1.64	
601	SRa02	B6区		石鏃未製品	サヌカイト	3.3	1.9	0.7	4.71	側縁にマメツ痕
602	SRa02	B6区		剥片	サヌカイト	2.8	2.8	0.6	5.15	
603	SRa02	B6区		剥片	サヌカイト	3.2	4.3	0.6	8.28	
604	SRa02	B6区		楔形石器	サヌカイト	3.7	0.9	3.2	10.09	細石刃核?
605	SRa02	B6区		叩き石	砂岩	6.8	5.0	2.8	110.94	
669	SRa03	B2区	4	石鏃	サヌカイト	4.4	2.2	0.5	6.22	器面にマメツ痕
670	SRa03	B2区	11	打製石庖丁	サヌカイト	5.0	3.3	1.0	18.67	器面·刃部にマメツ痕
705	SRa03	B3区南	11	石皿	砂岩	14.6	10.8	4.9	917.73	
706	SRa03	B3区南	13	磨石	砂岩	11.3	8.9	6.8	881.17	
707	SRa03	B3区南	8	砥石	流紋岩	17.7	8.3	4.4	521.24	
851	SRa04	B2区	21·23	石鏃	サヌカイト	2.6	1.4	0.2	1.15	
852	SRa04	B2区	21	削器	サヌカイト	9.9	4.6	1.4	56.71	器面·刃部にマメツ痕
853	SRa04	B2区	18	打製石庖丁 未製品	サヌカイト	3.3	5.2	1.0	18.19	側縁にマメツ痕
854	SRa04	B2区	17	打製石斧	サヌカイト	4.1	5.7	1.8	57.62	側縁にマメツ痕
855	SRa04	B2区	21	磨製石斧	黒雲母斑岩	13.2	7.9	5.6	932.20	
856	SRa04	B2区	19·22	楔形石器の素材	サヌカイト	3.3	4.2	0.6	11.91	側縁にマメツ痕
857	SRa04	B2区	18	楔形石器	サヌカイト	5.5	2.5	0.9	13.08	側縁にマメツ痕
858	SRa04	B2区	17·19	楔形石器	サヌカイト	3.8	2.9	0.6	6.12	
859	SRa04	B2区		二次加工ある剥片	サヌカイト	3.1	2.6	0.9	10.08	
860	SRa04	B2区		剥片	サヌカイト	1.4	1.2	0.3	0.43	
861	SRa04	B2区	21	円盤状石器	砂岩	13.4	11.0	3.2	683.14	
862	SRa04	B2区	17	砥石	流紋岩	10.5	6.2	3.9	222.30	
863	SRa04	B2区	20	砥石	砂岩	23.9	8.8	8.1	2834.61	
864	SRa04	B2区	21	石皿	砂岩	15.6	13.0	5.1	1565.74	
865	SRa04	B2区	18	石皿	砂岩	24.0	14.8	6.1	3047.00	
935	SRa04	B3区南	16	二次加工ある剥片	サヌカイト	2.3	3.1	0.6	3.46	
936	SRa04	B3区南	14	剥片	サヌカイト	2.5	1.5	0.3	1.45	
937	SRa04	B3区南	16	磨石	砂岩	8.9	6.3	4.8	420.89	
938	SRa04	B3区南	14	叩き石	砂岩	12.7	8.4	6.1	820.76	
1054	包含層	A6区	5	石鏃	サヌカイト	2.6	0.9	0.4	0.92	
1055	包含層	A6区	4	石鏃	サヌカイト	1.9	1.4	0.3	0.54	
1056	包含層	A6区		石鏃	サヌカイト	2.0	1.5	0.3	0.81	
1057	包含層	A6区	5	石鏃	サヌカイト	1.2	1.5	0.3	0.35	
1058	包含層	A6区	8	石鏃	サヌカイト	2.3	1.8	0.7	2.21	
1059	包含層	A6区	5	石鏃 未製品	サヌカイト	1.6	1.8	0.4	1.18	
1060	包含層	A6区	5	石鏃 未製品	サヌカイト	3.0	3.0	0.6	4.85	
1061	包含層	A6区	4	掻器	サヌカイト	2.2	4.6	0.5	8.07	器面にマメツ痕
1062	包含層	A6区	5	打製石斧	サヌカイト	6.0	4.7	1.7	51.19	側縁·器面にマメツ痕
1063	包含層	A6区	4	楔形石器	サヌカイト	2.1	1.6	0.7	2.86	

遺物番号	報告遺構名	調査区	層位	器種	材質	法量(cm)			重量(g)	整理備考
						現存長	最大幅	最大厚		
1064	包含層	A6区	8	調整ある剥片	チャート	2.9	1.7	1.0	4.12	
1065	包含層	A6区	5	調整ある剥片	サヌカイト	4.4	5.1	0.6	21.11	
1066	包含層	A6区	8	剥片	サヌカイト	1.9	1.9	0.2	1.24	
1067	包含層	A6区	5	剥片	サヌカイト	1.9	2.0	0.4	1.27	
1068	包含層	A6区	4	円盤状石器	花崗岩	5.8	5.1	1.5	62.23	
1069	包含層	A6区	4	叩き石	砂岩	7.3	3.9	2.4	95.46	
1070	包含層	A6区	8	叩き石	砂岩	5.2	5.1	2.0	78.80	
1071	包含層	A6区	8	磨石	結晶片岩	5.9	4.6	0.9	39.67	
1072	包含層	A6区	5	碁石	スレート	1.5	1.5	0.8	2.48	
1096	包含層	B2区		石鏃	サヌカイト	2.8	1.6	0.4	2.24	器面にマメツ痕
1097	包含層	B2区		石鏃	サヌカイト	1.6	1.4	0.3	0.64	
1128	包含層	B3区北	9·10	石鏃	サヌカイト	2.6	1.6	0.4	1.41	
1129	包含層	B3区北	5·6	石錐	サヌカイト	5.2	4.0	0.6	10.61	
1130	包含層	B3区北	9·10	剥片	サヌカイト	6.6	5.2	0.8	26.27	
1145	包含層	B3区南	4	石錐	サヌカイト	4.4	3.2	0.5	7.83	
1146	包含層	B3区南	4	柱状片刃石斧	結晶片岩	6.1	1.6	2.4	38.73	
1147	包含層	B3区南	4	二次加工ある剥片	サヌカイト	4.7	3.3	1.1	17.21	
1148	包含層	B3区南	3	剥片	白色硬質流紋岩	3.6	2.4	0.8	7.23	
1149	包含層	B3区南	4	石核	サヌカイト	5.8	5.7	3.0	100.43	
1164	包含層	B6区		削器	サヌカイト	3.8	2.5	0.9	8.84	
1165	包含層	B6区		二次加工ある剥片	サヌカイト	4.2	4.9	1.0	30.16	
1166	包含層	B6区		楔形石器	サヌカイト	6.0	6.4	1.9	87.42	かなり風化
1242	包含層	D7区		打製石庖丁	サヌカイト	7.1	3.6	0.8	29.21	器面·側縁にマメツ痕
1243	包含層	D7区		調整ある剥片	サヌカイト	3.1	1.6	0.5	2.55	
1244	包含層	D7区		剥片	サヌカイト	2.4	2.7	0.3	2.48	調整打面

図　　版

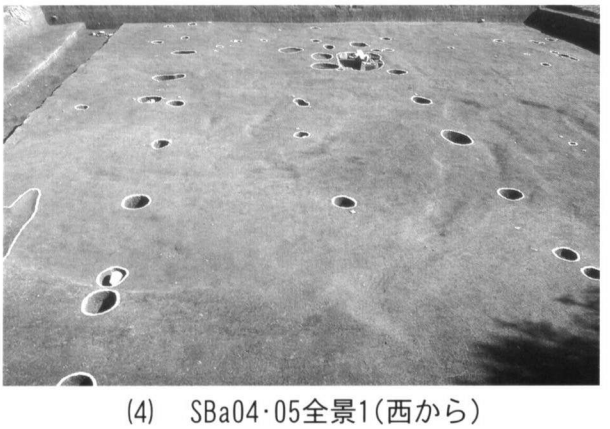


(1)　西末則遺跡航空写真(南から)



(2)　SBa01～03全景(南から)

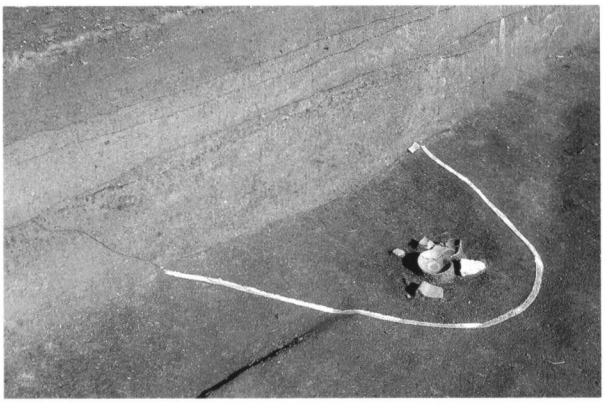
(3)　SBa04・05, SAa01全景(南西から)



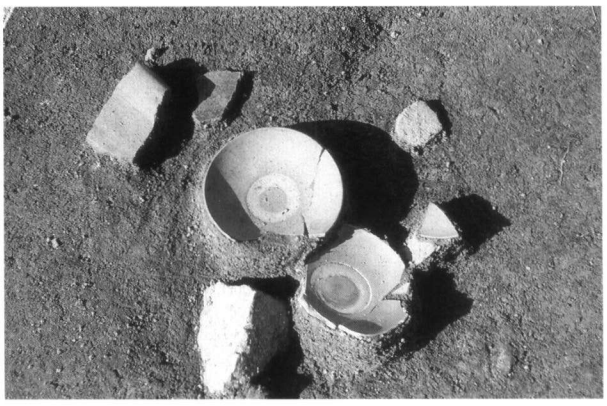
(4)　SBa04・05全景1(西から)

(5)　SBa04・05全景2(東から)

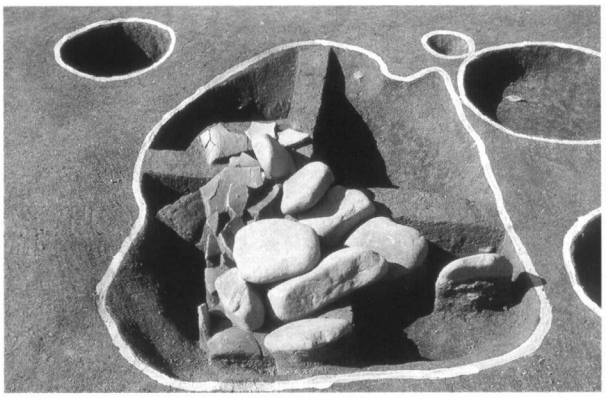
図版２



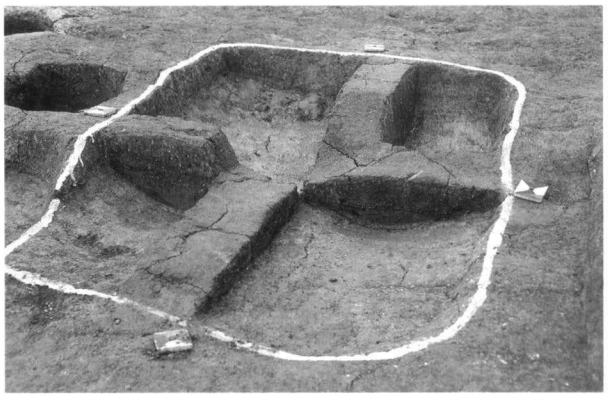
(1)　SKa02全景(南西から)



(2)　SKa02遺物出土状況(南から)

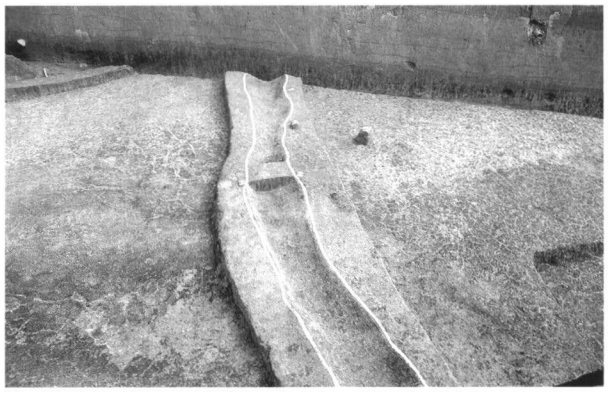


(3)　SKa03遺物出土状況(東から)



(4)　SKa05全景(南から)

(5)　SDa03全景(西から)

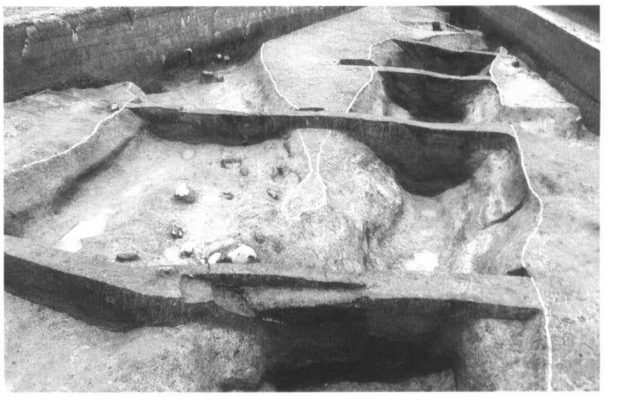


(6)　SDa04全景(西から)

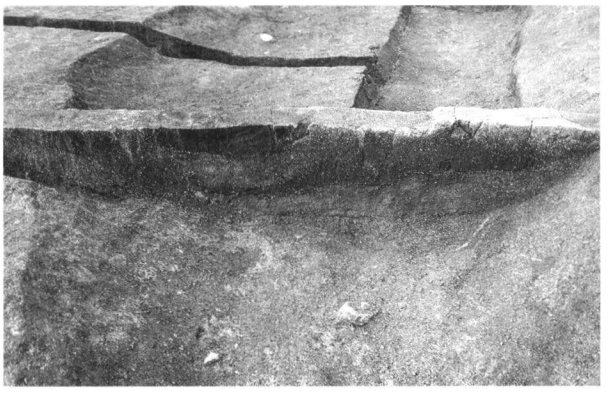
(7)　SDa05･06全景1(北から)

(8)　SDa05･06全景2(南から)

(1)　B9区 SDa05･06全景(南西から)

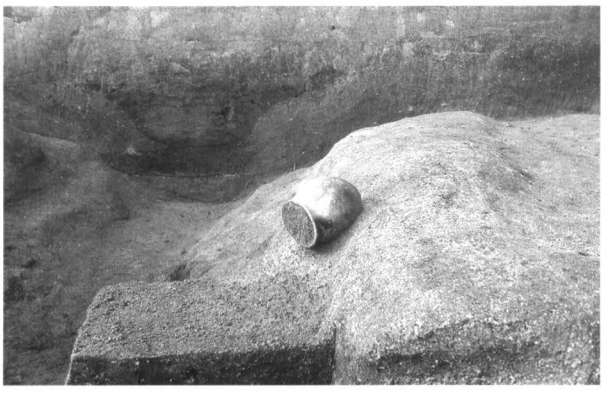


(2)　A8区 SDa05･06全景(北から)

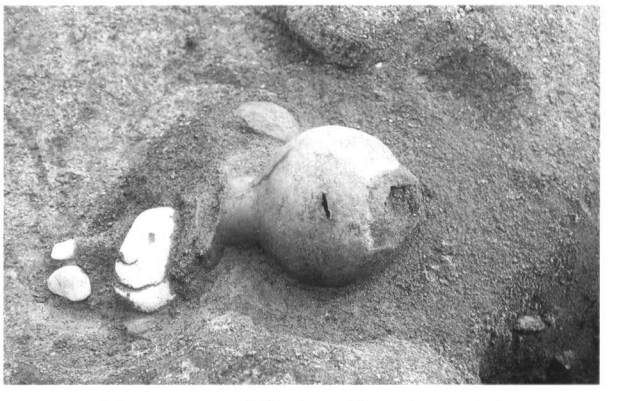


(3)　SDa05土層断面(南から)

(4)　SDa06土層断面(南から)



(5)　SDa05遺物出土状況(南から)

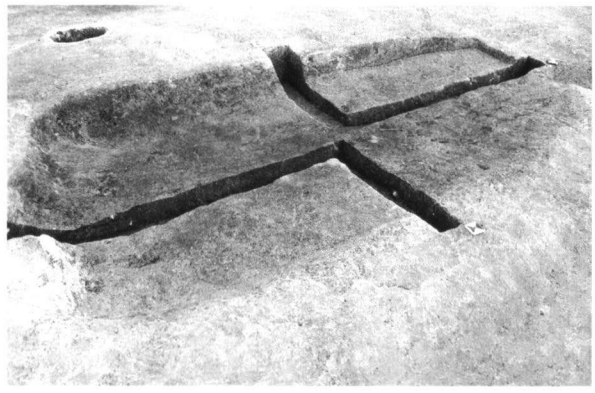


(6)　SDa06遺物出土状況(西から)

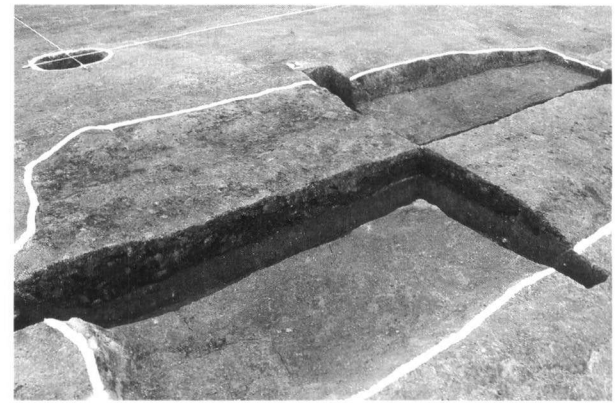
(7)　SDa08全景(北西から)

(8)　SDa06･08土層断面(南東から)

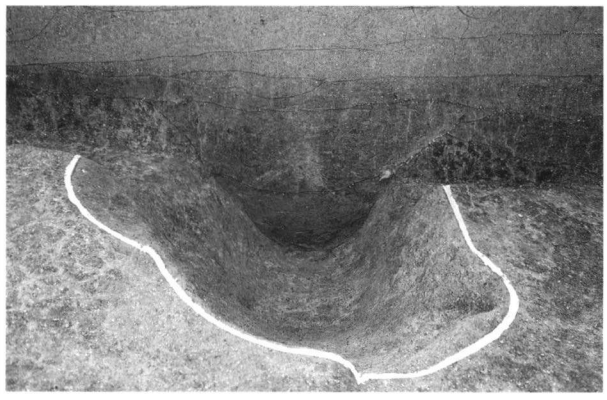
図版４



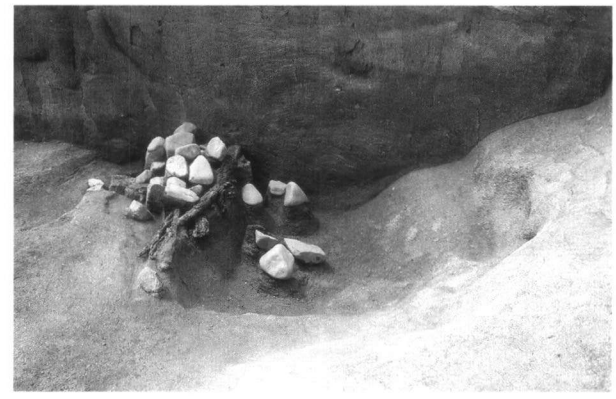
(1)　SFa01全景(北西から)



(2)　SFa01土層断面(北西から)



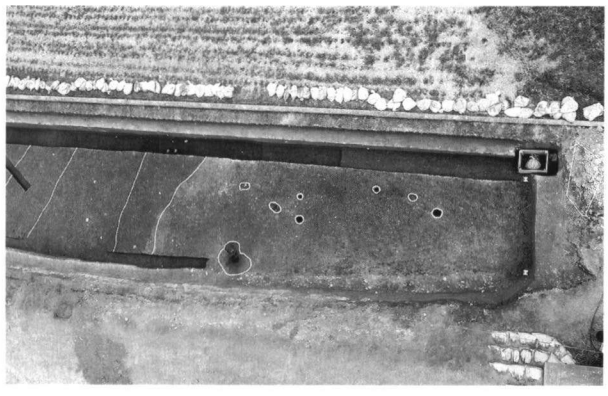
(3)　SXa01全景(東から)



(4)　SXa03全景(南から)

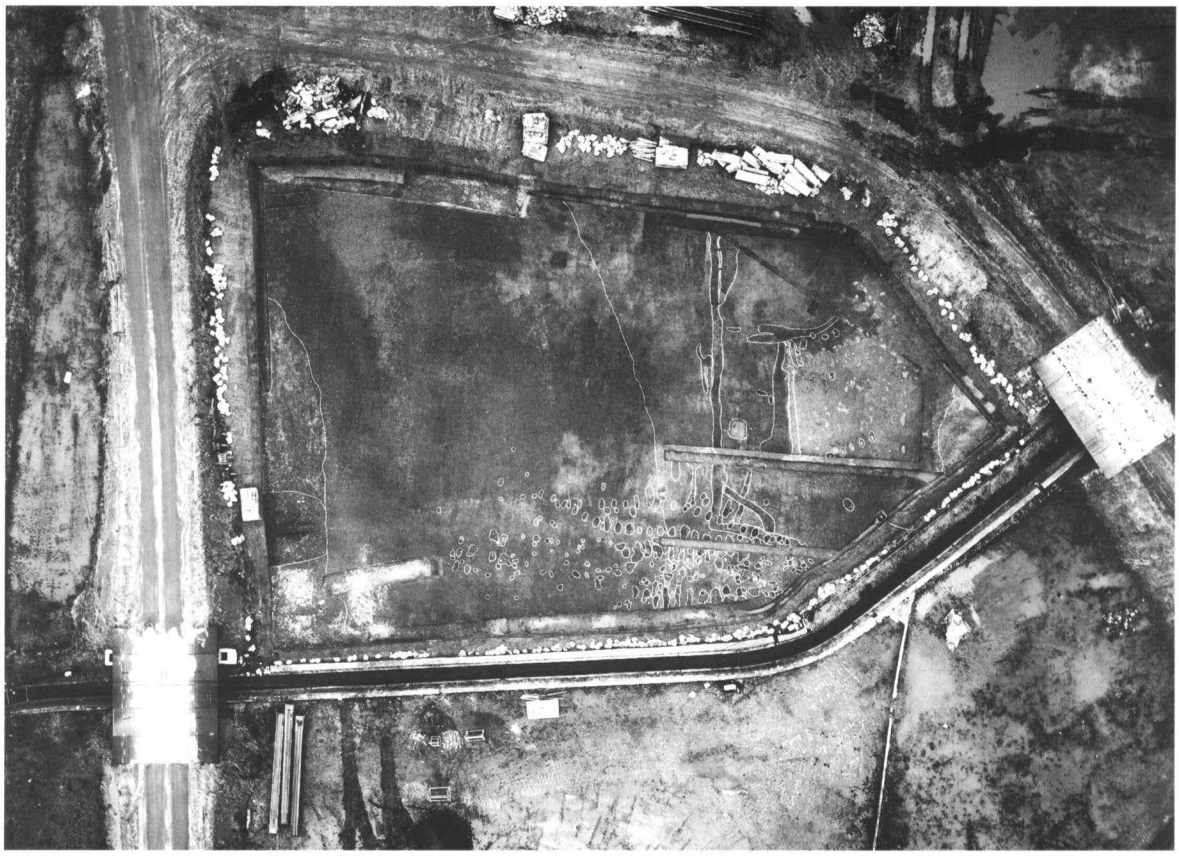
(5)　A6区　全景(北から)

(6)　A6区北半部　全景(南から)



(7)　A6区南半部　全景(西から)

(8)　B2区　全景(北から)



(1)　D7区 航空写真(東から)

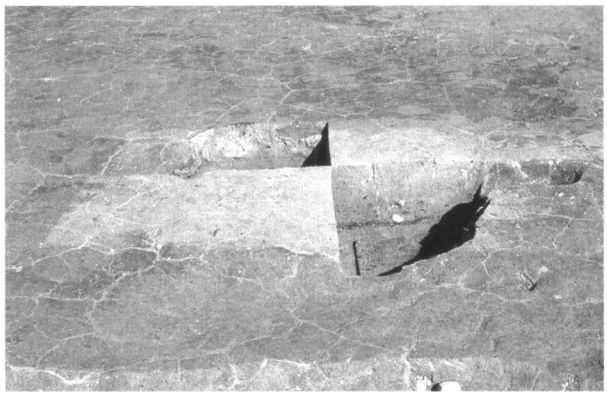
(2)　B6区 航空写真(東から)

図版6

(1)　SDa14～16全景(北から)

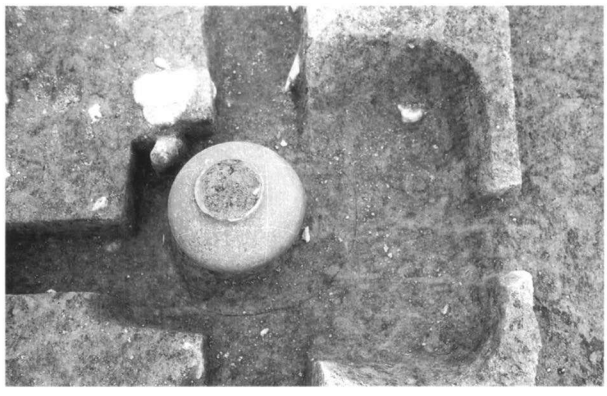
(2)　SDa15全景(北西から)

(3)　SDa18全景(西から)

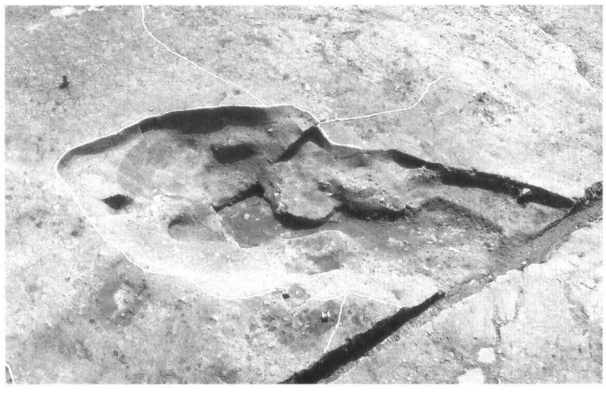


(4)　SFa02土層断面(南から)

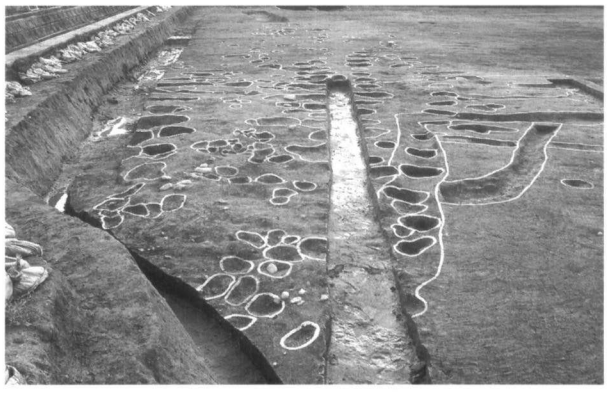
(5)　STa01全景1(北から)



(6)　STa01全景2(北から)



(7)　SXa04全景(北から)

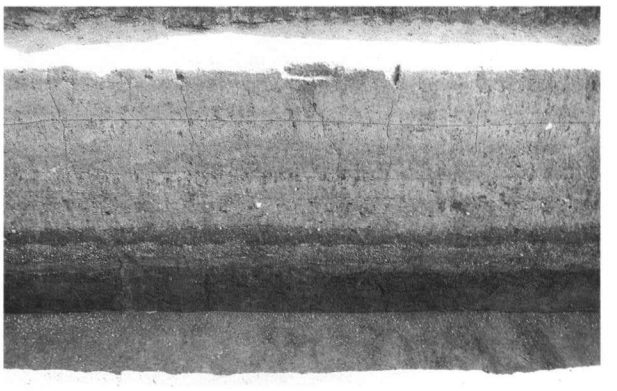


(8)　SXa06～08全景(北から)

(1)　SXa09全景(北から)

(2)　B6区 SRa02全景(東から)

(3)　A6区 SRa02土層断面1(南西から)



(4)　A6区 SRa02土層断面2(西から)

(5)　D7区 SRa02土層断面1(南西から)

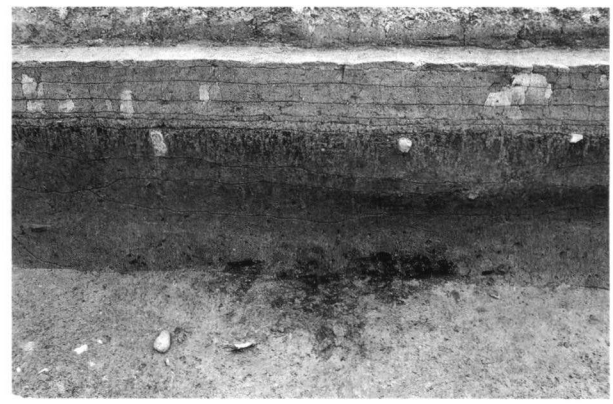
(6)　D7区 SRa02土層断面2(東から)

(7)　B2区 SRa03土層断面(北西から)

(8)　B2区 SRa03遺物出土状況(南から)

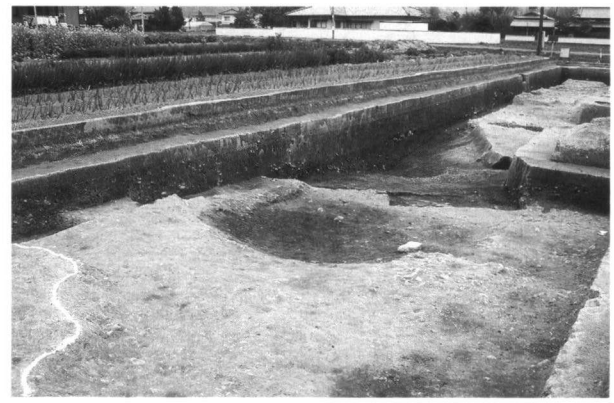
図版８

(1)　B3区 SRa03全景(南西から)



(2)　B3区 SRa03土層断面(西から)

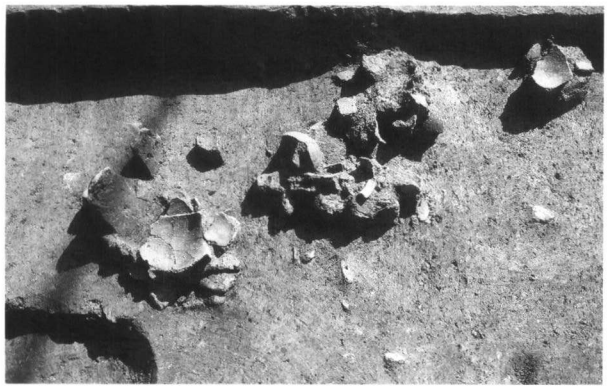
(3)　B3区 SRa03遺物出土状況(東から)



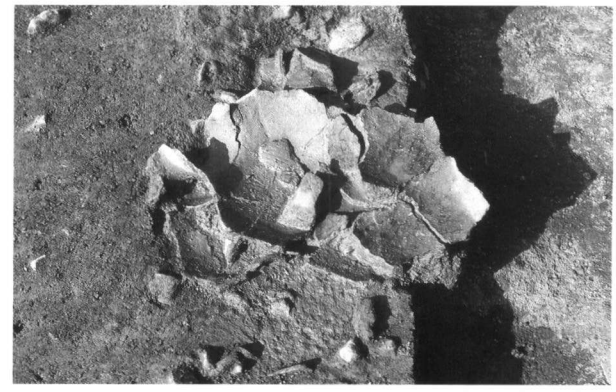
(4)　B2区 SRa04全景(北西から)

(5)　B2区 SRa04土層断面(西から)

(6)　B2区 SRa04遺物出土状況1(南から)



(7)　B2区 SRa04遺物出土状況2(北から)



(8)　B2区 SRa04遺物出土状況3(南から)

報 告 書 抄 録

ふりがな	にしすえのりいせき　いち
書名	西末則遺跡Ⅰ
副書名	香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
巻次	第1冊
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	西村尋文
編集機関	香川県埋蔵文化財センター
所在地	〒762－0024　香川県坂出市府中町南谷5001－4　TEL　0877（48）2191
発行機関名	香川県教育委員会
発行年月日	西暦2005年10月31日

総頁数	目次等	本文	観察表	図版	写真枚数	挿図枚数	付図枚数
189	16	129	34	10	59	97	2

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町	遺跡番号					
西末則遺跡（にしすえのりいせき）	綾歌郡綾上町山田下，綾南町北	37381		34°13′29″	133°13′29″	2001.10～2005.6	75,857㎡	香川県農業試験場移転

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西末則遺跡	集落跡	弥生時代後期～古墳時代前期	溝状遺構・自然河川	弥生土器・石器	
		奈良時代～平安時代	溝状遺構・火葬墓・自然河川	土師器・須恵器・黒色土器・青磁・白磁・瓦・蔵骨器・円面硯・水滴・線刻土器	
		中世後半～近世	掘立柱建物跡・溝・土坑	土師器・須恵器・陶磁器	

香川県農業試験場移転事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
第1冊

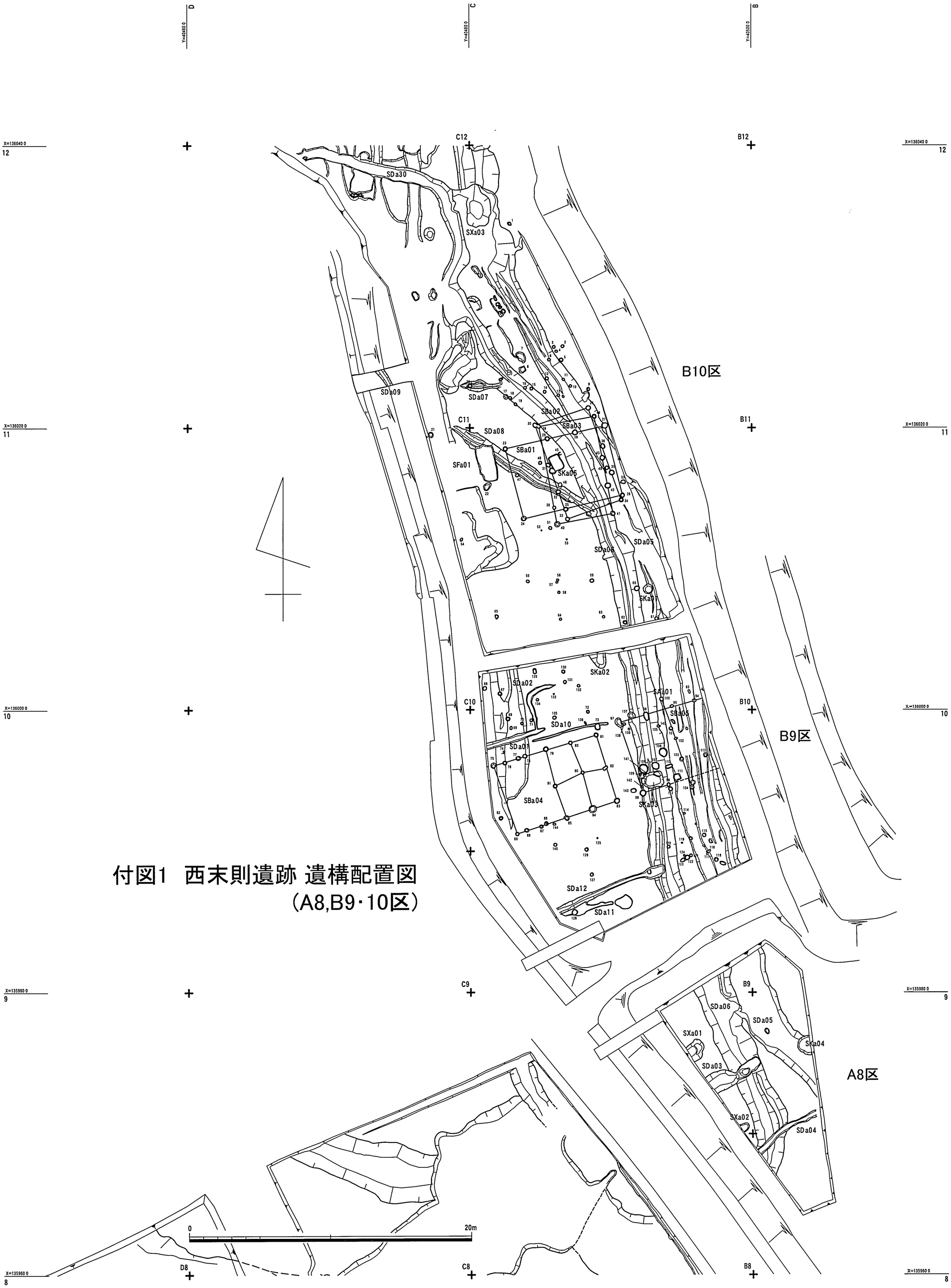
西末則遺跡 I

2005年10月31日

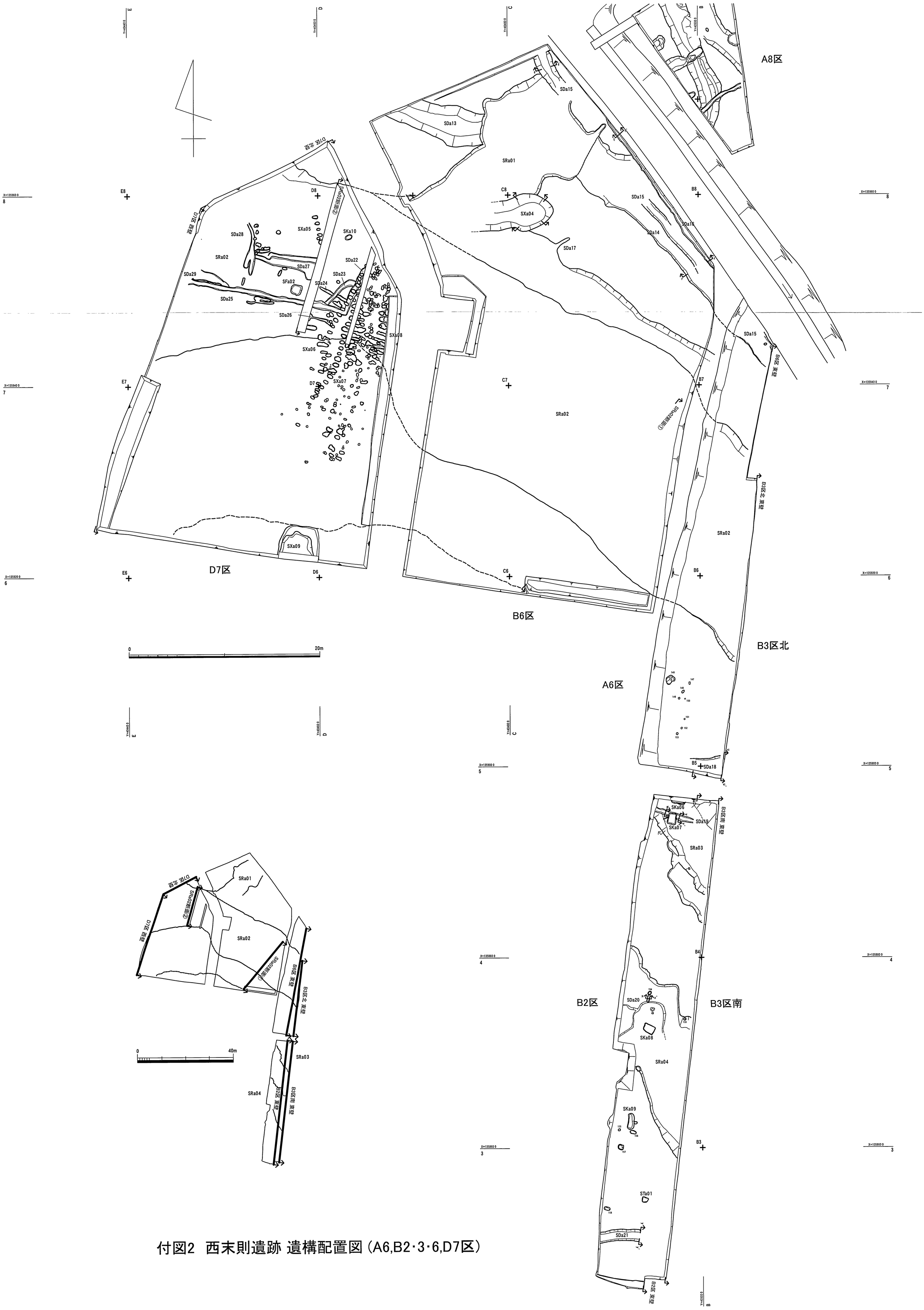
編集　香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷5001-4
TEL 0877(48)2191

発行　香川県教育委員会

印刷　ナカハタ印刷株式会社



付図1　西末則遺跡 遺構配置図
（A8,B9･10区）



付図2 西末則遺跡 遺構配置図（A6,B2･3･6,D7区）